



高崎健康福祉大学

Takasaki University of Health and Welfare

2018

平成 30 年度

シラバス

健康福祉学部 健康栄養学科



平成 30 年度 健康栄養学科 シラバス目次

基礎教養ゼミ(教養基礎).....	3	フランス語(リテラシー).....	91
日本語表現法(教養基礎).....	5	ポルトガル語(リテラシー).....	93
日本国憲法(教養基礎).....	7	中国語(リテラシー).....	94
法学(教養基礎).....	9	ハンガール語(リテラシー).....	97
経済学(教養基礎).....	11	コンピュータ入門Ⅰ(リテラシー).....	99
社会学(教養基礎).....	13	コンピュータ入門Ⅱ(リテラシー).....	101
生涯健康論(教養基礎).....	15	コンピュータ実習Ⅰ(リテラシー).....	103
生涯学習概論(教養基礎).....	18	コンピュータ実習Ⅱ(リテラシー).....	105
生命と環境の科学(教養基礎).....	20	世界の社会福祉発達史(専門教養科目).....	107
国際関係論(教養基礎).....	23	国際保健医療論(専門教養科目).....	109
体育理論(教養基礎).....	25	世界の歴史と日本(専門教養科目).....	111
体育実技(教養基礎).....	27	人間行動学(専門教養科目).....	113
キャリア形成論(教養基礎).....	29	健康運動実技(専門教養科目).....	115
哲学(人間理解).....	32	宗教と倫理(専門教養科目).....	117
倫理学(人間理解).....	34	レクリエーション論(専門教養科目).....	119
心理学(人間理解).....	36	生物学(専門導入科目).....	121
文学と人間(人間理解).....	38	化学(専門導入科目).....	123
芸術論(人間理解).....	40	有機化学Ⅰ(専門導入科目).....	125
ボランティア・市民活動論(人間理解).....	42	有機化学Ⅱ(専門導入科目).....	127
人権論(人間理解).....	44	管理栄養士実践入門(専門導入科目).....	129
人間関係論(人間理解).....	46	管理栄養士基礎実習(専門導入科目).....	133
ジェンダー論(人間理解).....	48	栄養情報処理論(専門基幹科目).....	134
共生の倫理(人間理解).....	50	栄養情報処理実習(専門基幹科目).....	136
チーム医療アプローチ論(人間理解).....	52	公衆衛生学Ⅰ(専門基幹科目).....	138
国際医療事情(人間理解).....	54	公衆衛生学Ⅱ(専門基幹科目).....	140
Introduction to Healthcare Sciences(人間理解).....	56	解剖生理学Ⅰ(専門基幹科目).....	142
囲碁の世界(人間理解).....	59	解剖生理学Ⅱ(専門基幹科目).....	144
英語ⅠA(リテラシー).....	61	解剖生理学実習(専門基幹科目).....	146
英語ⅠB(リテラシー).....	63	生化学Ⅰ(専門基幹科目).....	148
英語ⅠC(リテラシー).....	65	生化学Ⅱ(専門基幹科目).....	150
英語ⅡA(リテラシー).....	67	生化学実験Ⅰ(専門基幹科目).....	152
英語ⅡB(リテラシー).....	69	生化学実験Ⅱ(専門基幹科目).....	154
英語ⅡC(リテラシー).....	71	疾病の成り立ちⅠ(専門基幹科目).....	156
英語ⅢA(リテラシー).....	73	疾病の成り立ちⅡ(専門基幹科目).....	158
英語ⅢB(リテラシー).....	75	疾病の成り立ちⅢ(専門基幹科目).....	160
英語ⅢC(リテラシー).....	77	疾病の成り立ち実習(専門基幹科目).....	162
英語ⅣA(リテラシー).....	79	調理学(専門基幹科目).....	164
英語ⅣB(リテラシー).....	81	調理学実習Ⅰ(専門基幹科目).....	166
英語ⅣC(リテラシー).....	83	調理学実習Ⅱ(専門基幹科目).....	168
Integrated EnglishⅠ(リテラシー).....	85	調理科学(専門基幹科目).....	170
Integrated EnglishⅡ(リテラシー).....	87	食品学Ⅰ(専門基幹科目).....	172
ドイツ語(リテラシー).....	89	食品学Ⅱ(専門基幹科目).....	174

H30 年度 健康栄養学科 シラバス目次

食べ物と健康基礎実験(専門基幹科目)	176	総合演習Ⅱ(専門科目)	242
食品学実験(専門基幹科目)	178	総合演習Ⅲ(専門科目)	244
食品衛生学(専門基幹科目)	180	臨地実習Ⅰ(給食運営)(専門科目)	246
食品衛生学実験(専門基幹科目)	182	臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)(専門科目)	248
食品加工学(専門基幹科目)	185	臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)(専門科目)	250
食品加工学実習(専門基幹科目)	187	臨地実習Ⅳ(公衆栄養学)(専門科目)	252
基礎栄養学(専門科目)	190	食物学特別講座Ⅰ(応用専門科目)	254
基礎栄養学実験(専門科目)	192	食物学特別講座Ⅱ(応用専門科目)	256
応用栄養学Ⅰ(専門科目)	194	NR・サプリメントアドバイザー(応用専門科目)	258
応用栄養学Ⅱ(専門科目)	197	チーム医療アプローチ演習(応用専門科目)	260
スポーツ栄養学(専門科目)	200	特別講座(食育・公衆栄養学コース)(専門科目)	262
応用栄養学実習(専門科目)	203	特別講座(食品科学コース)(専門科目)	264
栄養教育論Ⅰ(専門科目)	206	特別講座(栄養科学・スポーツ栄養学コース)(専門科目)	266
栄養教育論Ⅱ(専門科目)	208	特別講座(臨床栄養学コース)(専門科目)	269
栄養教育論Ⅲ(専門科目)	210	卒業研究(専門科目)	271
栄養教育論実習(専門科目)	212	栄養教諭論(教職科目)	273
臨床栄養学Ⅰ(専門科目)	214	学校食指導各論(教職科目)	275
臨床栄養学Ⅱ(専門科目)	216	教職論(教職科目)	277
臨床栄養活動論(専門科目)	218	教育基礎論(教職科目)	279
臨床栄養管理論(専門科目)	220	教育心理学(教職科目)	281
臨床栄養学実習Ⅰ(食事療法実習)(専門科目)	222	教育制度論(教職科目)	283
臨床栄養学実習Ⅱ(臨床栄養ケアマネジメント実習)(専門科目)	224	教育課程論(教職科目)	285
公衆栄養学Ⅰ(専門科目)	226	特別活動論(教職科目)	287
公衆栄養学Ⅱ(専門科目)	228	道德教育の研究(教職科目)	289
公衆栄養学実習(専門科目)	230	教育方法論(保育・教育の方法技術)	291
給食経営管理Ⅰ(専門科目)	232	生徒指導論(教職科目)	293
給食経営管理Ⅱ(専門科目)	234	教育相談(教職科目)	295
給食経営管理実習Ⅰ(専門科目)	236	事前・事後指導(教職科目)	297
給食経営管理実習Ⅱ(専門科目)	238	栄養教育実習(教職科目)	299
総合演習Ⅰ(臨地実習前後教育)(専門科目)	240	教職実践演習(栄養教諭)(教職科目)	300

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	基礎教養ゼミ(教養基礎)			LAB001	講義
担当教員	町田修三、根岸恵子、小泉英明、武藤洋一				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	充実して実り多い大学生活を送るには、どうしたらいいのだろうか？大学で失敗しないためには、初年時に学生生活の送り方を修得しておくことが極めて大切である。本講義では大学生活のキーとなる、学習方法やレポート執筆等にかかる「学習スキル」、コミュニケーション能力をはじめとした「ソーシャルスキル」、読み書きや数的能力などの「アカデミックスキル」。学生にとって必要なこうしたスキルをしっかりと身につけていくことを、講義の目標としている。受講学生には、積極的に講義に参加する受講態度が求められる。				
到達目標	1. 大学での学習生活を確立する。 2. 基礎学力を確認し、自己学習の方向性をつかむ。 3. 社会人に必要とされる言葉使い・文章表現を習得する。 4. 総合適性検査(SPI)を意識し、対応するための基礎力を養成する。 5. キャリアデザインの構築を図るために、社会常識・マナー等を学び、自ら考え、自ら問える力を養う。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	参加度 50%、提出物 50%で総合的に評価する。総合評価 60%を合格とする。				
課題に対するフィードバック	提出物・レポート・小テストを返却し、解説をする。基礎力テストや実力テスト後に解説や結果を知らせる。				
使用教材	資料、プリント				
1	講義内容	学で何を学ぶか(意義と目的)			
	該当する到達目標	予習	事前にシラバスを読み、目標を確認し、大学生活をプランニングする。		1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法等を確認する。		1 時間
2	講義内容	書くためのスキル(ノート、レポート・論文の書き方)			
	該当する到達目標	予習	事前配布した資料に目を通しておく。		1 時間
	1,2,3	復習	ノートテキング、レポートの書き方をマスターする。		1 時間
3	講義内容	基礎力テスト(計算/言葉)			
	該当する到達目標	予習	言語・作文・計算や数式など基礎力を確認しておく。		1 時間
	1,2,3,4	復習	今までの学習を振り返り、復習する。		1 時間
4	講義内容	解くためのワーク I (計算)			
	該当する到達目標	予習	計算方法や文章題の復習をしておく。		1 時間
	1,2,4	復習	配布した問題の残りを解く。		1 時間
5	講義内容	考えるためのワーク I (言葉の多様性①GW)			
	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。		1 時間
	1,2,3	復習	添削を受けた作文を書き直す。		1 時間
6	講義内容	コミュニケーションスキル I (アクティブラーニング GW)			
	該当する到達目標	予習	事前配布した資料に目を通しておく。		1 時間
	1,2,3	復習	レポートを書く。		1 時間
7	講義内容	考えるためのワーク II (言葉の多様性②)			
	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。		1 時間
	1,2,3	復習	添削を受けた作文を書き直す。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	解くためのワークⅡ (数的処理①)		
	該当する到達目標	予習	前回の問題を解いておく。	1 時間
	1,2,4	復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
9	講義内容	キャリアデザイン		
	該当する到達目標	予習	自らの人生設計について考えておく。	1 時間
	1,2,5	復習	レポート書き方を確認しておく。	1 時間
10	講義内容	考えるためのスキルⅠ (新聞を読み説く)		
	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
11	講義内容	解くためのワークⅢ (数的処理②)		
	該当する到達目標	予習	前回の問題を解いておく。	1 時間
	1,2,4	復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
12	講義内容	考えるためのワークⅢ (自己紹介・他者紹介)		
	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
	1,2,3,5	復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
13	講義内容	コミュニケーションスキルⅡ (プレゼンテーション GW)		
	該当する到達目標	予習	事前配布した資料に目を通しておく。	1 時間
	1,2,5	復習	興味あるトピックについて発表できるようにする。	1 時間
14	講義内容	実力テスト		
	該当する到達目標	予習	今まで学習した内容を復習しておく。	2 時間
	1,2,3,4	復習	試験の内容を振り返り、学習する。	1 時間
15	講義内容	考えるためのスキルⅡ (社会を正しく理解する)		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を振り返り、どう活用するかを考えておく。	1 時間
	1,2,3,5	復習	大学生活を有意義に過ごすための方策を考える。	1 時間
備考	<p>オフィスアワー: 学習支援センター(2号館2階)は月~金(数的処理)、言語関係・レポート等は、木曜3時限より質問を受け付ける。</p> <p>メールアドレス「machida@takasaki.u.ac.jp」</p> <p>研究室: 1号館6階603号室</p> <p>予習復習については、試験前の学習で補完すること</p>			

科目名	日本語表現法(教養基礎)		LAB002	講義
担当教員	武藤 洋一			
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	選択 2単位	
講義目標	日本人の極端な日本語能力低下が問題視されている中で、「書きことば」における表現力を向上させるために、まず自分の「考え」をまとめ「書く」に至るプロセスを理解する。次に日本語の基礎知識の把握と生じやすい表現上のミスを具体的に認識し、「考え」をいかに「文章化」するかを修得する。同時に他者の「考え」を発言や文面から把握、その内容に対する自分の意見を構築、交換、指摘する機会を設け、学士力向上を図る。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.自分の「考え」をまとめ、意思表示できる。 2.日本語の基礎知識を表現・文法・語彙の三側面から確認し、理解できる。 3.日本語表現の基本的ミスを確認し、理解できる。 4.文章の組み立て方を理解し、習得できる。 5.日本語表現的に正確な文章が書けるようにする。 			
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理		
		専門的知識		
		問題発見・解決力		
		多様な社会・背景を理解し対応する能力		
	✓	コミュニケーション能力		
		自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	筆記試験(80%)・授業参加度(20%)によって、総合的に評価する。評価方法の基準については、講義時に通達する。			
課題に対する フィードバック	提出した文章の欠点・修正点を謙虚に捉え、新たな文章作成の場に生かし、文章力向上に挑戦する。			
使用教材	『文章表現テクニック』(教育弘報研究所)			
1	講義内容	「考え」をまとめるための5段階		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読み、自分なりの5段階法を考察しておく。	1時間
	1,4	復習	実際に5段階法で文章を書き、文章構成の手法を振り返ってみる。	1時間
2	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅰ 「公的」と「私的」		
	該当する到達目標	予習	「公的」「私的」の違いを把握し、教科書のテスト1を解いておく。	1時間
	1,5	復習	作文と小論文の違いをノートにまとめ、理解してみる。	1時間
3	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅱ 慣用句		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当部分を読み、テスト2を解いておく。	1時間
	2,3,5	復習	「慣用句」についての理解を深めてみる。	1時間
4	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅲ ことわざ・故事成語		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当部分を読み、テスト3を解いておく。	1時間
	2,3,5	復習	「慣用句」～「故事成語」についてノートにまとめ、自分でも調べてみる。	1時間
5	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅳ 四字熟語		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当部分を読み、テスト4を解いておく。	1時間
	2,3,5	復習	「四字熟語」の見識を深めるために、日常的に使われている熟語を調べてみる。	1時間
6	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅴ 比喩法		
	該当する到達目標	予習	比喩法の違いを把握しておく。	1時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	2,3,5	復習	比喻法を正確に識別できるか、試してみる。	1 時間
7	講義内容	表現のミスⅠ 主述関係		
	該当する到達目標	予習	主述関係のミスによる例文を考えておく。	1 時間
	2,3,5	復習	主述関係が正確に伝わる文章の条件を、ノートにまとめてみる。	1 時間
8	講義内容	日本語表現のミスⅡ 修飾語・被修飾語		
	該当する到達目標	予習	修飾語・被修飾語についての基本的知識を「文の成分」から学んでおく。	1 時間
	2,3,5	復習	修飾関係の乱れを生じさせない条件を、例文を用いてノートにまとめてみる。	1 時間
9	講義内容	日本語表現のミスⅢ 重複表現		
	該当する到達目標	予習	重複表現の例を調べておく。	1 時間
	2,3,5	復習	重複表現を故意に使用した駄洒落文を作ってみる。	1 時間
10	講義内容	日本語表現のミスⅣ 副詞の誤用		
	該当する到達目標	予習	陳述の副詞の誤用例を調べておく。	1 時間
	2,3,5	復習	社会の流れによって変わる「誤用」の要因を考えてみる。	1 時間
11	講義内容	日本語表現のミスⅤ 日本語表現の誤用		
	該当する到達目標	予習	日常的に使われている誤用を調べておく。	1 時間
	2,3,5	復習	オリジナルの誤用を作り出してみる。	1 時間
12	講義内容	文章の組み立て方Ⅰ 起承転結		
	該当する到達目標	予習	「起承転結」の意味を調べておく。	1 時間
	1,4,5	復習	「起承転結」を使用して400字程度の小論文を書いてみる。	1 時間
13	講義内容	文章の組み立て方Ⅱ 5WIH		
	該当する到達目標	予習	テキストを基に、5WIH の基本知識を習得しておく	1 時間
	1,4,5	復習	5W1H に従いながら文章構成を考え、100 字以内の文章を作ってみる。	1 時間
14	講義内容	文章の組み立て方Ⅲ キーワード・キーセンテンス		
	該当する到達目標	予習	新聞の社説を利用し、キーワード・キーセンテンスを見つけておく。	1 時間
	1,4,5	復習	キーワード・キーセンテンスを選択する際の必要事項をノートにまとめてみる。	1 時間
15	講義内容	文章の組み立て方Ⅳ 字数制限		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で配布された課題文の要旨を字数制限に従いまとめておく。	1 時間
	1,4,5	復習	800 字の文章を 200 字に、200 字の文章を 400 字に変える訓練を試みる。	1 時間
備考	<p>オフィスアワーは後期・木3、4時限目。場所は2号館2階の学習支援センター。受講には履修登録が必要。予習、復習に必要な最低限の時間を表示しておく。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。※1 単位の修得には、演習時間 30 時間(実質 90 分×15 回)＋自習時間(15 時間)が必要。</p>			

科目名	日本国憲法(教養基礎)			LAB003	講義
担当教員	金井 洋行				
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	憲法の基本理念と日本国憲法に関する基礎的知識を習得することを第一義的な学習目標とする。第二に、社会人として要求される価値規範意識を、憲法学習を通して醸成することを目標とする。終局的に、身近な生活関係の中から人々の権利の保護や社会への参加の問題を探り出し、憲法上の課題の理解を深めることを目標とする。				
到達目標	1.日本国憲法を貫いている思考や仕組みと日本国憲法の歴史的背景を理解することができる。 2.憲法が解決すべき紛争について、その歴史的、社会的背景を認識することができる。 3.市民相互間の法的関係や公的部門のそれに対する機能の関連性を考察することができる。 4.政治の世界で起きている出来事について、具体的な憲法規定と結びつけることができる。 5.主要な学説について、その対立の背景と主張のねらいを認識することができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
評価方法	・平常の授業に対する姿勢(20%)、中間テスト(20%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは、概ね 3 回の知識テスト、定期試験は知識と思考力のテスト				
課題に対するフィードバック	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)				
使用教材	テーマ別レジュメ、概要・事例資料(テキスト:有斐閣新書『注釈憲法』) * テーマによってはDVDの視聴あり。				
1	講義内容	憲法とは何か? - 憲法学習の意義と憲法の本質 -			
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 233-243 頁		2 時間
	1	復習	予備知識アンケート		0.5 時間
2	講義内容	国家・国民・政府 - 憲法を構成する基本要素の内容 -			
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 5-6 頁、138-140 頁		1 時間
	1	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
3	講義内容	日本国憲法の制定過程			
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 2-4 頁、資料;「日本国憲法の有効性」		1 時間
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
4	講義内容	日本国憲法の基本構造と特色			
	該当する到達目標	予習	資料;「日本国憲法の体系」熟読と疑問点の究明		1 時間
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
5	講義内容	国民主権と天皇制			
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 5-26 頁		1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
6	講義内容	平和主義と 9 条解釈の変遷			
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 27-33 頁		1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
7	講義内容	基本的人権の沿革と観念			
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 40-44 頁、232-234 頁		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	基本的人権規定の適用問題(範囲と限界)		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 35-36 頁、40-45 頁	1 時間
	2,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	個人主義・自由主義・平等主義		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 42-67 頁	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	日本国憲法上の諸権利の性格(消極的権利と積極的権利)		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 68-87 頁	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	国会の地位と選挙の構造と機能		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 109-121 頁、133-136 頁、145-149 頁	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	行政権の意義と内閣の組織・権限の特徴		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 154-168 頁	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	司法権の意義と裁判のルール		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 179-184 頁	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	権力分立と地方自治・分権		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 111-120 頁、214-226 頁	1 時間
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	憲法改正と憲法保障		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 227-243 頁	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
備考	<p>講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内的あるいは国際的に大きな政治の動きがあった場合には、その話題を飛び入りの的に割り込ませることはある。日々の社会や政治の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりに考えておくことを期待する。</p> <p>出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。</p> <p>最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	法学(教養基礎)			LAB004	講義
担当教員	金井 洋行				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	法の存在意義を人生の節目で生じる法律問題を通して理解することを基幹的目標とする。生活上生じる法律問題や法的処理事項の背景にある法社会的意味を考える。法律関係は権利義務の変動の関係であるので、それぞれ権利義務とその変動要因にどのような種類があるかを知ることを目指す。法律関係の基本的システムを習得することによって、社会的生活者に要求される法規範意識を身につける。				
到達目標	1.法の存在意義や社会的機能の全体的な姿を理解することができる。 2.法制度の社会的意義を理解することができる。 3.契約関係のシステムの意義と特色を理解することができる 4.家族関係の法的処理の方法を理解することができる。 5.法的紛争処理の限界を知り円滑な生活関係を維持する手法を考察することができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	・平常の授業に対する姿勢(20%)、中間テスト(20%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは、概ね 3 回の知識テスト、定期試験は知識と思考力のテストを実施する。				
課題に対するフィードバック	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)				
使用教材	テーマ別レジュメ、概要・事例資料(テキストに代替するプリント) *テーマによってはDVDの視聴あり。				
1	講義内容	法の意義と機能			
	該当する到達目標	予習	高校時の社会の教科書「法分野」の箇所を読んでおくこと		2 時間
	1,5	復習	予備知識アンケート		0.5 時間
2	講義内容	成人と法一人の年齢と能力の法的意味			
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み		1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
3	講義内容	就職と法一採用の法的意味と選別の法的問題			
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み		1 時間
	2,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
4	講義内容	労働と法一労働契約の内容と労働条件の保護			
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み		1 時間
	2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
5	講義内容	結婚と法一婚姻の要件と夫婦の法律関係			
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み		1 時間
	2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
6	講義内容	親子と法その 1ー出生をめぐる法律問題と親子関係の形成			
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み		1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
7	講義内容	親子と法その 2ー親権関係と扶養関係			
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み		1 時間
	2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	教育と法－義務教育の意義と就学過程の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	社会活動と法－団体の法律関係と団体生活の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	社会負担と法－租税等の国民負担と公共生活上の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	国際化と法－出入国管理の法律関係と涉外事件の処理		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	財産関係と法－取引の法律関係と契約締結上の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	犯罪と法－犯罪・刑罰の法的意味と科罰手続の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	争い事と法－紛争の法的処理方法と裁判の仕組み		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	老年期と法－介護・医療の法律問題と人の死の法的意味		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
備考	<p>講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に大きな社会問題が発生した場合には、その話題あるいは関連する事項を飛び入りのりに割り込ませることはある。日々の社会の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりにその背景や解決策を考えておくことを期待する。</p> <p>出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。</p> <p>最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	経済学(教養基礎)			LAB005	講義
担当教員	町田 修三				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	<p>経済に関する知識は一般社会や国際社会において極めて重要であるものの、多くの学生は十分な知識を持っていない。選挙権が与えられても経済知識なしで投票に行くのは危険である。この講義では身近なトピックを通して基礎的経済の知識を習得し、国内外の社会のメカニズムや流れを理解できるようになることを目的とする。レベルとしては、新聞やテレビのニュースがしっかりと理解できるようになることを想定している。また、医療分野を専攻する学生にとっては、医療の経済面からの考察も講義に取り入れるので参考にして理解を深めてほしい。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.日本の経済の現状を説明できる 2.需要と供給、市場メカニズムについて理解を深め、概説できる 3.景気やGDPについて理解を深め、概説できる 4.国の予算や税金制度について説明できる 5.お金の流れや物価変動について説明できる 6.経済政策について理解を深め、他者に説明できる 7.為替レートの変動と貿易の実態について概説できる 8.新聞やテレビのニュースが理解でき、他者に解説できる 				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	<p>学期末試験 80%、毎回の授業の最後に提出するコメントカード、その他の提出物(クイズ、小レポートなど) 20%</p>				
課題に対するフィードバック	<p>コメントカードに記載された質問事項、疑問点等に関しては、次回の講義で回答する。クイズについても次回の講義で解説する。小レポートにはコメントを付して返却する</p>				
使用教材	<p>必修テキストはない。推薦テキストは多数あるので、講義の中で必要に応じて紹介する。講義では毎回資料、データを配布する</p>				
1	講義内容	イントロダクション(一部AL[アクティブラーニング]実施)			
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく		1 時間
	8	復習	ニュースに触れる習慣(新聞、テレビ、ネット)を開始する		1 時間
2	講義内容	日本経済の流れ(世界との比較のなかで)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく		1 時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习		1.5 時間
3	講義内容	経済政策の2大潮流—マーケット or ケインズ(一部AL実施)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく		1 時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习		1.5 時間
4	講義内容	需要と供給(需要曲線の意味)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく		1 時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习		1.5 時間
5	講義内容	市場メカニズムと価格(どうして水よりもダイヤモンドのほうが高いんだらう?)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく		1 時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	価格の変動(どうして缶コーヒーやペットボトルのお茶は、どれも同じ値段なんだろう?)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習
7	講義内容	国民所得 I (国の経済力はどう測るんだろう? GDPって何?)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習
8	講義内容	国民所得 II (あなたが 1 万円使うとGDPはいくら増える?)(一部AL実施)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習
9	講義内容	財政(日本の借金は大丈夫? 消費税は何%に?)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく
	1,4,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習
10	講義内容	景気と失業(不景気で学生の就職はどうなる?)(一部AL実施)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習
11	講義内容	金融(日本銀行は何をすところ?)(一部AL実施)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく
	1,5,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習
12	講義内容	経済政策のしくみ(アベノミクスは何をした?)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく
	1,6,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習
13	講義内容	為替レート of the mechanism (円高、円安ってどうして起こるの?)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく
	1,7,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習
14	講義内容	世界と日本(日本の貿易は黒字?赤字?)(一部AL実施)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく
	1,7,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習
15	講義内容	まとめと確認のためのテスト	
	該当する到達目標	予習	これまで学習した事項について目を通し、理解を深めておく
	1~8	復習	期末試験の出題意図、講義の理解度の再確認と今後の学習の方向性を考える
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日4限目、金曜日2限目 研究室: 1号館6階603</p> <p>メールアドレス: machida@takasaki-u.ac.jp</p> <p>AL(アクティブラーニング)は、クローズドクエスチョン、オープンクエスチョン、ペアワーク、グループワークなど</p> <p>予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること</p>		

科目名	社会学(教養基礎)			LAB006	講義
担当教員	安達 正嗣				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	社会学的なもの見方とは、どういふものか、社会学的にもの考えるときに使用する専門的概念には、どのようなものがあるのかなどといった社会学の基本の理解を目指す。使用教材を中心にしながら、日常の具体的な事例から解説することによって、基本的な社会学の考え方を身につける。				
到達目標	1.大学生として社会学の基本的な考え方を身につけることができる。 2.社会学を通じて、豊かな人間性と倫理観を身につけることができる。 3.日常の人間関係を理解することによって、コミュニケーション能力を身につけることができる。 4.社会の仕組みを理解して、現代社会における自分自身の立ち位置を知ることができる。 5.現代社会の社会問題を認識して、その解決を探る能力を身につけることができる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	平常点(毎回提出してもらったアクションペーパーについては、第1回目の講義で説明します)50%、学期末試験50%です。				
課題に対する フィードバック	各受講生の提出したアクションペーパーに書かれた質問、意見、要望などに対して、つぎの講義の前にリプライを実施する。場合によって、担当教員と受講生、あるいは受講生同士のディスカッションをおこなうことを通じて、社会学の理解を深める。				
使用教材	篠原清夫・栗田真樹編著『大学生のための社会学入門』晃洋書房。				
1	講義内容	オリエンテーション、第1章社会学とは何か(1~12頁)について解説する。			
	該当する到達目標	予習	第1章を読んでおくこと。1頁の予習課題をしておくこと。		1.5時間
	1,2,3,4	復習	第1章の内容を理解しておくこと。9頁の課題をしておくこと。		1.5時間
2	講義内容	第2章 社会を観察する方法(13~24頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第2章読んでおくこと。13頁の予習課題をしておくこと。		1.5時間
	1,2,3	復習	第2章の内容を理解すること。22頁の課題をしておくこと。		1.5時間
3	講義内容	第3章 社会で生きる「私」(25~35頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第3章を読んでおくこと。25頁の予習課題をしておくこと。		1.5時間
	1,2,3	復習	第3章の内容を理解すること。34頁の課題をしておくこと。		1.5時間
4	講義内容	第4章 変容する家族のかたち(36~47頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第4章を読んでおくこと。36頁の予習課題をしておくこと。		1.5時間
	1,2,3	復習	第4章の内容を理解すること。47頁の課題をしておくこと。		1.5時間
5	講義内容	第5章 性の多様なあり方を考える(48~59頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第5章を読んでおくこと。48頁の予習課題をしておくこと。		1.5時間
	1,2,3	復習	第5章の内容を理解すること。57頁の課題をしておくこと。		1.5時間
6	講義内容	第6章 「現実を生きる」ための社会学—労働・産業・消費—(60~72頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第6章を読んでおくこと。60頁の予習課題をしておくこと。		1.5時間
	1,2,3,4	復習	第6章の内容を理解すること。70頁の課題をしておくこと。		1.5時間
7	講義内容	第7章 日本で進展する環境・災害社会学(73~86頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第7章を読んでおくこと。73頁の予習課題をしておくこと。		1.5時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3,4	復習	第7章の内容を理解すること。84頁の課題をしておくこと。	1.5時間
8	講義内容	第8章 社会学から医療を見つめる(87~97頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第8章を読んでおくこと。87頁の予習課題をしておくこと。	1.5時間
	1,2,3,4	復習	第8章の内容を理解すること。96頁の課題をしておくこと。	1.5時間
9	講義内容	第9章 社会学は教育とどう向き合うのか(98~109頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第9章を読んでおくこと。98頁の予習課題をしておくこと。	1.5時間
	1,2,3,4	復習	第9章の内容を理解すること。108頁の課題をしておくこと。	1.5時間
10	講義内容	第10章 逸脱行動と社会問題(110~121頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第10章を読んでおくこと。110頁の予習課題をしておくこと。	1.5時間
	1,2,3,4,5	復習	第10章の内容を理解すること。119頁の課題をしておくこと。	1.5時間
11	講義内容	第11章 「格差」の社会学(122~134頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第11章を読んでおくこと。122頁の予習課題をしておくこと。	1.5時間
	1,2,3,4,5	復習	第11章の内容を理解すること。132頁の課題をしておくこと。	1.5時間
12	講義内容	第12章 生活空間としての地域社会(135~149頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第12章を読んでおくこと。135頁の予習課題をしておくこと。	1.5時間
	1,2,3,4,5	復習	第12章の内容を理解すること。144頁の課題をしておくこと。	1.5時間
13	講義内容	第13章 グローバル社会とエスニシティ(150~162頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第13章を読んでおくこと。150頁の予習課題を読んでおくこと。	1.5時間
	1,2,3,4,5	復習	第13章の内容を理解すること。162頁の課題をしておくこと。	1.5時間
14	講義内容	第14章 宗教から社会を捉える(163~176頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第14章を読んでおくこと。163頁の予習課題をしておくこと。	1.5時間
	1,2,3,4,5	復習	第14章の内容を理解すること。173頁の課題をしておくこと。	1.5時間
15	講義内容	全講義を振り返り、社会学の考え方についてまとめる。		
	該当する到達目標	予習	教科書とノートを読み直して、全講義の理解の確認をしておくこと。	3時間
	1,2,3,4,5	復習	全講義の内容と概念について、再確認をしておくこと。	3時間
備考	<p>各受講生が、毎回の講義内容を自分自身の身近な具体的な状況のなかで理解することによって、社会学の考え方を深めることができるので、そうした観点から意欲的に講義に臨んでほしい。</p> <p>オフィスアワー:火曜日5限・水曜日3限</p>			

科目名	生涯健康論(教養基礎)			LAB007	講義
担当教員	鈴木 忠				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	生涯を幸せて豊かに過ごすための基本は健康である。日本人は世界有数の長寿を誇っているが、自立して生活を送る健康寿命は、平均寿命より約 10 年も短い。本講義では、健康寿命の延伸のための生涯にわたる健康増進法について理解し、人々の健康寿命延伸に健康支援チームの一員として参加できる基礎能力を身に着けることを目的としている。				
到達目標	1.健康の定義と集団の健康評価指標を理解する。 2.個体の健康を維持するため生体の調節機構について理解する。 3.環境・生活習慣の変容と疾病発症の関連について理解する。 4.健康寿命延伸にむけた取り組みについて理解する。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業参加度(課題に対する回答等)およびレポート:60点、期末試験:40点で総合60点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートに対しコメントする。				
使用教材	テキストは使用せず、配布資料及び視聴覚資料を使用する。 参考書として、厚生統計協会刊の「国民衛生の動向」を利用する				
1	講義内容	健康の定義と健康評価指標 WHO の提唱した健康の定義を知る。集団の健康評価の指標として最もよく使われるのが平均寿命であるが、寿命には、<平均寿命>、<平均余命>、<健康寿命>、<最長寿命>などの呼び方があり、これから重要なのは、健康寿命であることを理解する。			
	該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」より健康評価諸指標の年代推移を把握する。		1.5 時間
	1	復習	健康の定義と健康評価指標の理解を深める。		1.0 時間
2	講義内容	健康を維持するための構造と働き 健康を維持するための主たる生理機構は、<物質代謝>である。物質代謝に関わる体の構造とその働きについて理解する。			
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。		1.5 時間
	2	復習	物質代謝を理解し関わる体の構造とその働きについて理解を深める。		1.0 時間
3	講義内容	恒常性維持システムの役割と相互作用 物質代謝に関連する構造がバランスよく正常に機能するように統括する恒常性維持(<ホメオスタシス>)システムは、脳神経系、内分泌系及び免疫系で構成される。その働きと相互作用について理解する。			
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。		1.5 時間
	2	復習	生体の恒常性(<ホメオスタシス>)維持機構について理解する。		1.0 時間
4	講義内容	食物と健康 物質代謝のスタートは食物からの栄養摂取である。食物には健康に欠かすことのできないエネルギー			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

			源<栄養素>だけでなく、生体調節機能を有する成分が含まれることを理解し、食生活が健康維持に密接に関連することを学習する。	
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3,4	復習	食物の代謝過程を理解するとともに、食生活と健康との関連を学習する。	1.0 時間
5	講義内容	<p>運動と健康</p> <p>運動には、健康維持のための恒常性維持システムを正常に働かせるための運動と筋力を鍛えるための運動がある。ここでは、恒常性維持のための運動とその役割及び自立生活を支え、健康寿命を延ばすための筋力を鍛える運動について理解する。</p>		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3,4	復習	健康維持における運動の生理学的意義と健康寿命延伸に向けた運動について理解する。	1.0 時間
6	講義内容	<p>ストレスと生活環境</p> <p>現代の社会・生活環境は個体にとって多くのストレスを生む。ストレスが、恒常性維持システムのバランスに悪影響を及ぼし、健康を害するメカニズムを理解し、ストレスを解消するための心のケアが健康維持にいかに重要であるかを理解する。</p>		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3	復習	ストレスが、健康を害するメカニズムを理解し、その対策について理解する。	1.0 時間
7	講義内容	<p>喫煙による健康障害</p> <p>たばこが、発がん性だけでなく、血液循環障害や一酸化炭素中毒などの<喫煙と健康障害>のメカニズムについて理解する。<受動喫煙の影響>についても考える。</p>		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3,4	復習	喫煙とその健康障害及び健康障害の機序を理解する。	1.0 時間
8	講義内容	<p>21 世紀における国民健康づくり運動(健康日本 21)</p> <p>2000 年より、健康寿命の延伸を目指す健康づくり運動がスタートした。①食物・栄養、②運動及び③心の安静を<健康維持の 3 本柱>とし、これまでの早期発見・早期治療による二次予防及び確実な診断と治療・リハビリによる三次予防に対して、病気の発生そのものを防ぐ一次予防を重視する<予防医学>のスタートである。</p>		
	該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	1,3,4	復習	21 世紀における国民健康づくりと取り組みを理解する。	1.0 時間
9	講義内容	<p>特定健康診断の重要性及びメタボリックシンドローム</p> <p>特定健康診断の結果の値を、発病予防のための健康管理の指標とできることを理解する。さらに、<定期健康診断>によって、疾患の早期発見あるいは疾患前状態を発見することで、二次予防にも繋がることを理解する。また、<内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)>の怖さを理解し、その予防法について考える。</p>		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	メタボリックシンドロームの病態・対策を理解する。	1.0 時間
10	講義内容	<p>生活習慣病の危険因子としての糖尿病</p> <p><糖尿病>には、I 型と II 型があり、第 12 回で学習する冠状動脈や脳動脈における血液循環障害発生の危険因子となるのみならず、微小血管循環障害による腎障害、視力障害及び神経障害という<三大合併症>を引き起こす。人工透析が必要となる腎不全及び失明の原因の第 1 位は糖尿病である。危険因子としての糖尿病とその予防法について理解する。</p>		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	生活習慣病の危険因子としての糖尿病 を理解する。	1.0 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

11	講義内容	生活習慣病(心疾患・脳卒中)と発症を予防する生活習慣 死亡原因の2位及び3位の<心疾患(狭心症・心筋梗塞症)>及び<脳卒中>は、<血液循環障害>による。これらの疾患の本態を知り、生活習慣との関係を理解し、その予防のための生活習慣を考える。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	生活習慣病(心疾患・脳卒中)の病態と発症と生活習慣との関連を理解する。	1.0 時間
12	講義内容	ロコモティブシンドローム 脳卒中と運動器障害は介護の主要原因となっている。骨粗鬆症・サルコペニア・運動器不安定を特徴とするロコモティブシンドローム対策が健康寿命の延伸に重要である。 ロコモティブシンドロームの早期診断と予防の重要性について理解する。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	加齢に伴う運動器障害を理解し、早期診断と予防の重要性について理解する	1.0 時間
13	講義内容	生活習慣病(がん)と発症を予防するための生活習慣 日本人の死亡原因の1位はがん、2位は心疾患、3位は脳卒中であり、いずれも生活習慣に起因する。ここでは、がんという疾患を理解し、がんを発症する生活習慣<(がん発症危険因子)>を知る。また、<がん予防のための生活習慣>及び早期発見・早期治療のための<がん検診>の重要性について理解する。		
	該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	生活習慣と発がんとの関係を理解し、がん対策基本計画などその対策について学習する。	1.0 時間
14	講義内容	微生物感染症と感染・発症予防 日本人の死亡原因の第4位は肺炎と呼ばれる微生物感染症である。各種保健医療施設においては、入所(入院)者の<院内感染症>発症予防は、最重要課題である。輸血などの医療行為が微生物感染症の発生要因<(医原性感染症)>となる場合があること、感染症発生の予防法について理解する。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	最近の感染症の動向を理解しその対策について学習する。	1.0 時間
15	講義内容	地域における健康支援チーム構成員とその役割まとめ これまで、健康管理は個人が自分自身の責任で行うとされてきたが、地域における集団での支えあいに重点を置くようになった。地域における健康支援には、本人、家族を中心に、医療専門職者、診療情報管理士、管理栄養士、福祉専門職者、その他多数の職種者からなる<健康支援チームによるチーム医療>が必要である。どのような職種がどのような役割を果たしてチームを構成して健康を支えようとしているのかを理解する。		
	該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	4	復習	地域包括ケアシステムを理解し、地域における健康づくりチームの構成員としての各人の役割を理解する。	1.0 時間
備考	<p>オフィスアワー：月曜日 12:30～13:30 15:30～16:30 研究室 4号館2階学部長室</p> <p>メールアドレス suzuki-t@takasaki-u.ac.jp</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること</p>			

科目名	生涯学習概論(教養基礎)			LAB008	講義
担当教員	小西 尚之				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	我々の多くは「学校教育」を中心に「教育」を受けてきたが、人間が学ぶ場は学校だけではない。本授業では、「教育」ではなく「学習」の視点から、公民館・博物館・図書館等の社会教育施設における学習など、「生涯学習」について学ぶ。授業の進め方としては、各テーマについての説明を聞くだけでなく、話し合い活動を通じて課題に取り組むことによって理解を深めていく。				
到達目標	1.「生涯学習」や「生涯学習社会」の理念について理解している。 2.社会教育施設等における学びの概要・特徴について理解している。 3.他者と協力しながら課題に積極的に取り組むことができる。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	小テストに約 20%、レポート・発表に約 50%、日常点(授業への参加、授業態度、課題への取り組み、討論、授業に対する貢献度等)に約 30%を配分して総合評価する。				
課題に対する フィードバック	試験前後に出題の意図等を説明する。				
使用教材	授業担当者の作成資料による。				
	講義内容	オリエンテーション			
1	該当する到達目標	予習	シラバスを読んでおく。		1.5 時間
	1	復習	資料を読んで、授業の概要を確認し、生涯学習を学ぶ意味を理解する。		1.5 時間
	講義内容	「学習」とは何か			
2	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。		1.5 時間
	講義内容	今なぜ「生涯学習」がクローズアップされるのか			
3	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。		1.5 時間
	講義内容	人は発達段階に応じて何を学ぶか			
4	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。		1.5 時間
	講義内容	就職すると人はどのような学習をするのか			
5	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。		1.5 時間
	講義内容	公民館とは何か			
6	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。		1.5 時間
	講義内容	図書館とは何か			
7	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。		1.5 時間
8	講義内容	博物館とは何か			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	美術館とは何か		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	青年の家・少年自然の家とは何か		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	グループ発表①		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	グループ発表②		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	グループ発表③		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	グループ発表④		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	グループ発表⑤		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー： 火曜 5 限、金曜 2 限</p> <p>メールアドレス： konishi@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室： 8 号館 4 階 409 研究室</p> <p>履修上の注意： 学校教育の最終段階である大学で学ぶ皆さんにとって、今後の人生で重要となる「生涯学習」について学ぶ意義は大きいと思います。ただし、少人数や全体での話し合い活動に加え、フィールドワーク(生涯学習施設への訪問)、その成果の発表など多様な学習活動を重視するため、他者と協力しながら積極的に「学ぼう」という意欲が無い人には不向きです。</p>			

科目名	生命と環境の科学(教養基礎)			LAB009	講義
担当教員	奥 浩之				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	毎回、生命科学と環境科学の一つのトピックスについて、現状と問題・将来の課題など、高校までに学んだ知識をもとに、わかりやすく順を追って説明してゆく。具体的な事項を取り上げることで、漠然とした生命と環境についてのイメージを一新してもらうことを目的としている。生命分子の構造学習を行うので、各自で利用できるパソコンのあることが望ましい。(パソコンは持参する必要はなく、自宅で使用できればよい。)				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.地球環境について元素、物質循環、気候変動の観点から説明できる。 2.生命を構成する分子(核酸、タンパク質)について、分子構造、反応機構、応用の観点から説明できる。 3.私たちの生活に関連して、食品、バイオマス、医薬品や医療機器、のトピックスについて説明できる。 4.グローバルな視点から、新しい感染症、ワクチン開発、などのトピックスについて説明できる。 5.様々な文献や資料を参照し、レポート形式または要約・箇条書きの形式でまとめられるようになる。 				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	レポート課題 50%、授業参加度 50%				
課題に対するフィードバック	提出されたレポート課題に対しては、コメントを付けて返却または講義時間内に課題の解説を行うことで受講学生へフィードバックする。				
使用教材	使用しない(講義にて用いるスライドを配布予定)				
1	講義内容	生命と環境－地球における化学進化と生命における元素の役割			
	該当する到達目標	1,5	予習	元素周期表(http://stw.mext.go.jp/series.html)を読んでみよう。	1 時間
			復習	(1)人体を構成する元素の存在比 (2)主要元素・微量・超微量元素の具体的な元素名 (3)様々な元素の生体または医薬品における役割	1.5 時間
2	講義内容	生命と環境－地球における元素の循環			
	該当する到達目標	1,5	予習	ヒトの活動による、水需要の増大、化石燃料の大量燃焼、窒素肥料の大量使用と地球環境への影響について調べてみよう。	1 時間
			復習	(1)大気・土壌における物質循環 (2)水循環、窒素循環、炭素循環、硫黄循環、リン循環の特徴 (3)人類の活動による物質循環への影響	1.5 時間
3	講義内容	生命と環境－温室効果ガスによる地球温暖化			
	該当する到達目標	1,5	予習	温室効果ガスとは？温室効果は何故起こるか？調べてみよう。	1 時間
			復習	(1)地球上での物質循環は気候変動と密接に関連する (大気を暖める要因と冷やす要因) (物質循環の詳細な研究による、地球環境変化の予測) (2)IPCC 第5次報告書(2014 年)におけるRCPシナリオ (気候モデルによって予測された 21 世紀末の世界の気温) (世界全体のCO ₂ 累積排出量と気温上昇量は比例する) (3)国連気候変動枠組条約 (日本における温室効果ガス削減目標)	1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

4	講義内容	生命と生体分子…DNA 二重らせんとX線構造解析	
	該当する到達目標 2,5	<p>予習</p> <p>ワトソンとクリックによるDNA二重らせんモデル (1) 当時用いられた分子モデル(ロンドン・サイエンスミュージアム) http://www.sciencemuseum.org.uk/broughttolife/objects/display?id=6145 (2) 1953 年の論文 http://www.nature.com/nature/dna50/watsoncrick.pdf (3) DNA構造について(英文なので、最初は図を見るのがよい) 特に Figure 5 を見て、3 種類の二重らせん構造があることに注目しよう http://www.nature.com/scitable/topicpage/discovery-of-dna-structure-and-function-watson-397</p> <p>復習</p> <p>(1) DNAの分子構造はX線回折法によって求められる (2) ブラッグの回折条件式 (3) DNA繊維写真のX型パターン</p>	<p>1 時間</p> <p>1.5 時間</p>
5	講義内容	生命と生体分子…タンパク質の構造解析における2つの方法	
	該当する到達目標 2,5	<p>予習</p> <p>(1) タンパク質を構成する 20 種類のアミノ酸とは? (2) アミノ酸の“光学活性”とは?</p> <p>復習</p> <p>(1) アミノ酸 20 種類の分子構造 (2) X線回折測定によるタンパク質の3次元構造解析 (3) NMR測定によるタンパク質の3次元構造解析</p>	<p>1 時間</p> <p>1.5 時間</p>
6	講義内容	生命と生体分子…タンパク質の構造と機能	
	該当する到達目標 2,5	<p>予習</p> <p>(1) 膜タンパク質とは? (2) アイスクリームの成分について。 (3) 低脂肪アイスクリームの成分がわかったら調べてみよう。</p> <p>復習</p> <p>(1) swiss-pdb によってカリウムチャンネルの分子構造を見てみよう (2) 低脂肪アイスクリームにおける不凍タンパク質の機能について</p>	<p>1 時間</p> <p>1.5 時間</p>
7	講義内容	生命と生体分子…さまざまなタンパク質	
	該当する到達目標 2,5	<p>予習</p> <p>(1) 70S リボソームにおけるタンパク質合成 (2) 電子伝達系におけるATP合成 (3) ビタミンB12の役割 (4) マメ科植物における根粒菌とは?</p> <p>復習</p> <p>(1) 70S リボソームと tRNA の分子構造(PDB ID: 4v4j) (PDB ID: 2tra) (2) F1-ATPase プロトン濃度勾配によるATP合成 (3) カルモデュリンの分子構造変化(PDB ID: 3cln) (PDB entry 2bbm)</p>	<p>1 時間</p> <p>1.5 時間</p>
8	講義内容	生命と生体分子…酵素・タンパク質の反応機構	
	該当する到達目標 2,5	<p>予習</p> <p>(1) セリンプロテアーゼによるタンパク質の加水分解機構 (2) 加水分解酵素の活性中心における触媒反応を行うアミノ酸残基について (3) 光合成における二酸化炭素固定反応について</p> <p>復習</p> <p>(1) 酵素の活性中心におけるさまざまな金属イオンとその役割について (2) 光合成における RuBisCO(二酸化炭素と水とリブローズ 1,5 ビスリン酸から二分子の3-ホスホグリセリン酸を得る反応を触媒する)の反応機構について。</p>	<p>1 時間</p> <p>1.5 時間</p>
9	講義内容	生命と生体分子…ヘム蛋白(Mb, Hb, Cyt c, CYP450)	
	該当する到達目標 2,5	<p>予習</p> <p>(1) ヘムタンパク質とは? (2) ミオグロビンとヘモグロビンの違いは? (3) CYP3A4 とは?</p>	<p>1 時間</p>

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

		復習	(1)ミオグロビン (PDB ID, 1A6M) (2)チトクローム c (PDB ID, 2B4Z) (3)チトクローム P450 (PDB ID, 1W0E) (4)医薬品の代謝における CYP3A4 の影響について	1.5 時間
10	講義内容	ヒトの活動と環境: 食品の安全確保(加工食品の成分)		
	該当する到達目標	予習	(1)アクリルアミドの分子構造、用途、注意点	1 時間
	3,5	復習	(1)行政(農水省)では加工食品の安全確保についてどのような活動をおこなわれているか?	1.5 時間
11	講義内容	ヒトの活動と環境: バイオマスとバイオリファイナリー		
	該当する到達目標	予習	(1)バイオマスとは? (2)バイオエタノールとは?	1 時間
	3,5	復習	(1)バイオリファイナリーとは? (2)バイオガソリンの成分は? (3)バイオマスプラスチックの具体的な事例は?	1.5 時間
12	講義内容	ヒトの活動と環境: 外科手術用の接着剤		
	該当する到達目標	予習	(1)ポリウレタンの分子構造とは? (2)ポリウレタンはどのような原料から作られるか?	1 時間
	3,5	復習	(1)ウレタンプレポリマーによる血管の吻合メカニズム (2)血管の吻合における瞬間接着剤の欠点は? (3)血管の吻合におけるウレタンプレポリマーの優れている点は?	1.5 時間
13	講義内容	生命と環境...インフルエンザワクチンの成分		
	該当する到達目標	予習	(1)ワクチンによる予防免疫のしくみ	1 時間
	4,5	復習	(1)様々なインフルエンザワクチンについて	1.5 時間
14	講義内容	生命と環境...グローバル化と感染症(ジカ熱、デング熱など)		
	該当する到達目標	予習	(1)蚊によって媒介される感染症とは? (2)グローバル化におけるヒトの移動や経済活動の活発化について	1 時間
	4,5	復習	(1)グローバル化と感染症の拡大はどのように関係するか? (2)ワクチンの開発例について	1.5 時間
15	講義内容	生命と環境 ... 食べると甘い香りが発散するお菓子について		
	該当する到達目標	予習	(1)ワインやコーヒーの香りを分析する装置について調べてみよう(ヘッドスペース装置の付いたガスクロトグラフィー/質量分析計) (2)ヒトにおける薬物代謝のしくみ	1 時間
	4,5	復習	(1)ヒトの体の匂いに関与する成分はどのようにして分析されたか? (2)お菓子を食べてから、体表面から香気成分が発散するまでの経路は?(ヒトにおける薬物代謝から説明してみよう。)	1.5 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。			

科目名	国際関係論(教養基礎)		LAB010	講義
担当教員	片桐 庸夫			
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標	アメリカのトランプ大統領の誕生、北朝鮮の核開発、イスラエルによるエルサレム首都化などにより増々混乱の度を増す今日の世界の基本構造について理解すること。			
到達目標	1.現代世界の理解 2.今日の世界の基本構造の理解 3.国家間の対立要因の理解 4.国家間の相互理解の理解 5.自由主義イデオロギーと社会主義的イデオロギーの理解 6.現代の戦争の理解 7.国家の安全保障の理解 8.核の下の平和の理解 9.国際秩序概念の理解 10.国際テロ、難民、民族や宗教対立発生要因の理解 11.第二次世界大戦後の米軍による日本占領の理解 12.日本の原型の形成の理解 13.戦後日本外交の理解 14.日本に突き付けられた国際貢献問題の理解			
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理		
		専門的知識		
		問題発見・解決力		
		多様な社会・背景を理解し対応する能力		
		コミュニケーション能力		
		自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	講義中に行う 3 回程度の試験(60%)と授業に臨む態度(20%)、授業参加度(20%)等により総合評価する。			
課題に対するフィードバック	試験を行った場合には、翌週に採点結果を返却する。その際には、一人一人に論文やレポート用の分の構成、文体、文の修正、誤字脱字等について指導を行う。			
使用教材	教科書を用いず、プリントを配布する。			
1	講義内容	授業展開の方法、出席の取り方、試験の方法、成績評価の方法等についてガイダンスを行う。		
	該当する到達目標	予習	必要なし。	0 時間
		復習	必要なし。	0 時間
2	講義内容	今日の世界の混迷した状況やトランプ氏当選の背景等について概観する。		
	該当する到達目標	予習	1 週間分の新聞の 1,2 面の記事に目を通しておくこと。	1 時間
	1,3,7,8,10	復習	ノートテイキングした部分の加筆、整理と新聞記事の内容を付加すること。	1 時間
3	講義内容	「冷戦の特異性」の意味と大規模な戦争後に起こりやすい戦勝同盟国間の対立を理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントのウイーン会議の項を読んでおくこと。	1 時間
	1,2,3,9	復習	細谷雄一『国際秩序』中公新書の p.115-120、p.282 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
4	講義内容	戦勝同盟国間の対立の典型的事例であるウイーン会議について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントのウイーン会議の項を読んでおくこと。	1 時間
	2,4,7	復習	『国際秩序』の p.121-124 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
5	講義内容	国際コミュニケーションにとって大切な共通の価値観の意味について理解する。		

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	プリントの共通の価値観の項を読んでおくこと。	1 時間
	3,4,5	復習	『国際秩序』の p.128-130 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
6	講義内容	ウイーン会議とは反対に共通の価値観の欠如していた米ソ間の体制間対立について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの米ソ間の体制間対立の項を読んでおくこと。	1 時間
	2,3,4,5,8	復習	『国際秩序』の p.230-241 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
7	講義内容	米ソ間のイデオロギー対立について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントのイデオロギー対立の項を読んでおくこと。	1 時間
	3,5,7	復習	『国際秩序』の p.237-241 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
8	講義内容	米ソ両国間の安全保障観の相違と戦争の性格の変化について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの安全保障観の相違と戦争の性格の変化の項を読んでおくこと。	1 時間
	6,7,8	復習	戦争の性格の変化についてのDVDを観て、同変化をノートにまとめること	1 時間
9	講義内容	冷戦の定義、それに基づく形で冷戦の起源と終焉について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの冷戦の定義と冷戦の起源と終焉についての項を読んでおくこと。	1 時間
	2,6,7,8	復習	永井陽之助『冷戦の起源』中央公論社の p.6-10 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
10	講義内容	究極の兵器がもたらした核の下の平和について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの核の下の平和についての項を読んでおくこと。	1 時間
	1,6,7,8	復習	『国際政治』の p.253-255 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
11	講義内容	冷戦の逆説である長い平和について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントのガディスの逆説についての項を読んでおくこと。	1 時間
	1,7,8,9	復習	『国際政治』の p.256-260 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
12	講義内容	冷戦終焉と終焉後の世界の不安定性の理由について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの国際秩序維持勢力と国際秩序の喪失の項を読んでおくこと。	1 時間
	2,7,9	復習	『国際政治』p.281-285 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
13	講義内容	冷戦後の初の戦争-湾岸戦争の意義、テロ・民族対立・宗教対立・難民発生の理由を理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの湾岸戦争、国際秩序なき時代についての項を読んでおくこと。	1 時間
	6,7,10	復習	『文明の衝突と 21 世紀の日本』集英社新書の p.21-36 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
14	講義内容	終戦、米国の対日占領政策、天皇制存置、SF 講和、日米安保について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの終戦から SF 講和に至る項を読んでおくこと。	1 時間
	7,11,12	復習	小此木・赤木共編『冷戦期の国際政治』慶応大学出版会 p.288-306 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
15	講義内容	『「戦後」の克服』の意味、現代の日本外交の課題について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの「戦後」の克服、国際貢献問題等の項を読んでおくこと。	1 時間
	1,10,13,14	復習	講義中に配布する新聞の切抜き記事を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
備考	オフィスアワーは、前期の木曜日、昼休み時間に設ける。質問等があったら、随時、非常勤講師室に来てほしい。「復習」に挙げられている本が参考文献も兼ねています。利用してください。予習復習の結果、不明の点がありましたら質問して下さい。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完して下さい。			

科目名	体育理論(教養基礎)			LAB011	講義
担当教員	大家 千枝子				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	現代社会における運動・スポーツの意義を理解し、生涯にわたり健康・体力づくりを実践するために必要な基礎知識を学ぶ。自らの健康・体力の現状を把握し、健康・体力づくりに適した身体活動について、その効果や実践方法を知り、実際の生活に活用する能力を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における運動・スポーツの意義を理解し、具体的に述べることができる。 2. 自身の健康・体力の状況とともにわが国の健康・体力の現状を把握し、問題点をあげることができる。 3. 自主的・継続的に健康の保持増進を図るためのアイデアを探り、方法を創造することができる。 4. 教養を広げるための課題に積極的に取り組み、履修者同士でコミュニケーションをとることができる。 5. 人間が創造した運動(文化)の意味を考え、運動への認識を深めることができる。 				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業への取り組み実践点 30%、毎回のコメントシート 30%、レポート 40%				
課題に対するフィードバック	自分以外の履修者による課題(体力テストの結果など)や感想、評価を知ることが学生相互の刺激になるため、C-learning を使って瞬時にフィードバックする。場合によっては、プリントアウトして配布、PPT で映写するなどの方法でフィードバックする。また授業期間中における紙媒体の提出課題は、適宜返却を予定している。ただし最終課題は返却する予定はないので、開示を希望するものは本人が直接申し出ること。				
使用教材	プリント適宜配布。参考文献適宜紹介。				
1	講義内容	ガイダンス、大学での学び・健康とは・上達の秘訣を考える			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		0.5 時間
	1,2,5	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。		0.5 時間
2	講義内容	からだのしくみ(器官・神経・骨格・筋肉)			
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。		0.5 時間
	1,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。		0.5 時間
3	講義内容	からだのしくみ(筋収縮、筋カトレーニング)			
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。		0.5 時間
	1,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。		0.5 時間
4	講義内容	A 組: 体力を知る(新体力テスト)・B 組: 図書館利用術(図書館コラボ企画)			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。配布された資料に目をとおす。		0.5 時間
	2,4	復習	C-learning に測定結果と必要事項を入力する。		0.5 時間
5	講義内容	A 組: 図書館利用術(図書館コラボ企画)・B 組: 体力を知る(新体力テスト)			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。配布された資料に目をとおす。		0.5 時間
	2,4	復習	C-learning に測定結果と必要事項を入力する。		0.5 時間
6	講義内容	体力を評価する(体力とは)			
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。課題を仕上げる。		0.5 時間
	1,2	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。		0.5 時間
7	講義内容	運動・スポーツの実施状況、体力、体格(BMI)について			
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。		0.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
8	講義内容	体組成、体脂肪の測定方法、エネルギー消費量の算出方法、内臓脂肪について		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。フィットネスルームで体組成を測定しておく。	0.5 時間
	1,2	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
9	講義内容	アクティブガイド、運動の種類、継続するための仕組みづくり、問題解決のための作戦を立てる		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。	0.5 時間
	1,2,3	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
10	講義内容	問題解決のための作戦づくり・グループワーク		
	該当する到達目標	予習	問題解決のための作戦を仕上げる。	0.5 時間
	2,3,4	復習	グループで決定した作戦内容を C-learning に回答する。	0.5 時間
11	講義内容	学生主体授業・教養を広げるための活動		
	該当する到達目標	予習	課題を必ず仕上げて、学生主体授業に備える。	0.5 時間
	2,3,4	復習	出来上がったリストから本を選び、後期期間中に読む。	0.5 時間
12	講義内容	食と運動と健康について考える(その1 視聴覚教材使用)		
	該当する到達目標	予習	課題を仕上げて、C-learning に回答する。	0.5 時間
	1,3	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
13	講義内容	食と運動と健康について考える(その2)		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。	0.5 時間
	1,3	復習	課題を仕上げて、期日までに提出する。	0.5 時間
14	講義内容	健康づくり運動の基礎知識		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。	0.5 時間
	1,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
15	講義内容	トレーニングの原理・原則、まとめ		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。最終課題を仕上げる。	0.5 時間
	1,5	復習	目標達成度の確認。今後どのように運動・スポーツを取り入れるか検討する。	0.5 時間
備考	オフィスアワー・・・火曜日 12:00～14:30、1号館(健康福祉学部)、3階 302 研究室、3階エレベータ前にポスト有。 受講上の注意・・・①積極的に C-learning を活用するため、スマホ所有やネット環境が整っていることが望ましい (※整っていない場合は大学 PC 室などを利用して下さい)。			

科目名	体育実技(教養基礎)			LAB012	演習
担当教員	大家 千枝子				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	さまざまな運動・スポーツの実践をとおして、体力の維持・向上をめざすとともに、運動・スポーツを楽しむ能力を身につける。また、運動・スポーツに関わる基礎知識を学び、健康的な生活を送るための自己管理能力を身につける。さらに、仲間や教員とのコミュニケーションを深める。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.運動・スポーツの基礎知識、各スポーツ種目の歴史、ルール、マナーを理解し、説明することができる。 2.授業の性質やグループ内の個人の役割を意識し、自らコミュニケーションをとって意欲的に活発に動ける。 3.知識を実践に生かす健康保持増進のための自己管理能力を身につける。 4.技術の高低や得意・不得意にとらわれず、運動・スポーツそのものを楽しむ能力を身につける。 5.種目特性によって異なる身体感覚、健康・体力に興味・関心をもち、簡潔に記録できる。 				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業ごとの取り組みの評価 65%、テスト 15%、毎回のコメント記録 20%				
課題に対するフィードバック	毎回の授業後に授業記録カードの提出を求める。授業記録カードに付したコメントやスタンプは必ずチェックすること。また最終日には、授業で学んだことの整理・確認テスト・目標到達度の確認(ループリックにて自己評価)を行う。				
使用教材	プリント適宜配布。参考文献適宜紹介。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで講義目標などを理解する。要配慮の場合は事前に申し出る。		0.5 時間
	1,3	復習	到達目標、学位記授与方針、成績評価方法などを確認する。		0.5 時間
2	講義内容	筋トレ、ストレッチ			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。		0.5 時間
3	講義内容	バレーボール (特有の体さばきの理解と気づき)			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。バレーボールのルールを事前に理解しておく。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。		0.5 時間
4	講義内容	バレーボール (基本スキル習得とコミュニケーションスキルをあげる。ゲーム。)			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。バレーボールのルールを事前に理解しておく。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。		0.5 時間
5	講義内容	テニス (基本スキルの習得・フォアとバックのフォームづくり)			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。テニスのルールを事前に理解しておく。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。		0.5 時間
6	講義内容	テニス (基本スキルの習得・フォアハンドストロークとバックハンドストローク)			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。テニスのルールを事前に理解しておく。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。		0.5 時間
7	講義内容	テニス (ローカルルール採用のゲーム)			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。テニスのルールを事前に理解しておく。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。		0.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	フットサル（基本スキルの習得とコミュニケーションスキルをあげる・ゲーム）		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。フットサルのルールを事前に理解しておく。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
9	講義内容	フットサル（基本スキルの習得とコミュニケーションスキルをあげる・ゲーム）		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。冬の始まりで屋外の寒さに慣れる。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
10	講義内容	バスケットボール（基本スキルの習得・ボールハンドリング・ドリブル・シュート）		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。バスケットボールのルールを事前に理解しておく。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
11	講義内容	バスケットボール（基本スキルの習得・パス・シュート・オフェンス・ディフェンス）		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。バスケットボールのルールを事前に理解しておく。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
12	講義内容	バスケットボール（基本スキルの習得とコミュニケーションスキルをあげる・ゲーム）		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。バスケットボールのルールを事前に理解しておく。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
13	講義内容	バドミントン（基本スキルの習得・簡易ゲーム）		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。バドミントンのルールを事前に理解しておく。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
14	講義内容	バドミントン(簡易ゲーム)とフィットネス活動(フィットネスルーム体験)		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
15	講義内容	まとめ、授業で学んだことの整理・確認テスト・目標到達度の確認。		
	該当する到達目標	予習	これまで授業で学んだこと、自身の授業態度を振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	目標達成度の確認。今後どのように運動・スポーツを継続できるか検討する。	0.5 時間
備考	<p>オフィスアワー・・・火曜日 12:00～14:30、1 号館(健康福祉学部)3 階、302 研究室、3 階エレベータ前にポスト有。</p> <p>受講上の注意</p> <p>1 運動に適したスポーツウエア(ジャージ、T シャツなど)とシューズ(屋内外別)を着用すること(ジーンズや普段着での受講は不可)。また怪我防止の観点から、時計、指輪ブレスレット、ネックレス、ピアスなどの貴金属類は身につけていないこと。</p> <p>2 原則として見学は認めません。また実技授業をすすめるうえで配慮を必要とする学生は初回のガイダンス当日までに担当教員へ申し出ること。</p> <p>3 貴重品の管理は各自で行うこと。</p> <p>4 授業で使用する用具は大学側で用意しますが、テニス・バドミントンのラケットなど個人で所有している場合は、積極的に持参してください。</p> <p>5 天候により施設変更することがあります。教務課掲示板やポータルサイトで確認してください。</p> <p>6 フットサルコートの人草がとれやすく、靴下やウエアに付着することがあります。</p>			

科目名	キャリア形成論(教養基礎)			LAB013	講義
担当教員	小泉 英明				
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	選択 2単位		
講義目標	<p>社会の仕組みはもとより、経済、雇用など私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変わり、仕事の質や内容が大きく変化しています。本講座では、大学生が社会(企業・組織)から求められている「能力」について理解を深め、社会ですぐに役立つ人材となることを目指します。授業ではSGD(スモール・グループ・ディスカッション)を通じてお互いを高め合い、コミュニケーション能力・思考力・問題解決能力を醸成するとともに、様々なケーススタディによって社会・職場適応力を習得します。さらに、本学卒業後、社会人として適切なスタートを切ることができるよう、“自身”の強化プラン策定と目標管理を行いながら、将来のキャリア形成につながる基礎を固めます。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会の出来事を理解し、社会に通用する就業観、勤労観を学ぶ。 2. 自己の成長に向けて、自己を正しく理解するとともに、自己効力感を養う。 3. 社会人基礎力を理解し、社会適応力を身につける。 4. 読む・聞く・書く・話す力の基本を身につけ、コミュニケーション能力を高める。 5. 論理を組み合わせる手法を学び、論理的思考力を高める。 6. アイデアの出し方を学び、創造的思考力を高める。 7. 気づく力を身につけ、問題発見能力を高める。 8. 問題解決のスキルと手法を学び、問題解決能力を高める。 9. 自己変革のために必要な自身の問題点を探る。 10. 自律型人材に向けての目標管理ができる。 11. 社会における人間関係を学び、社会適応力を高める。 				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	<p>最終レポート 60%、授業後の提出課題 30%、授業参加度・授業態度 10% それぞれの評価基準については初回授業で説明します。総合評価 60%以上を合格とします。</p>				
課題に対する フィードバック	<p>授業後の提出課題については、随時コメントをつけてフィードバックします。 最終レポートの後に、出題テーマの意図を掲示によって示します。</p>				
使用教材	講義内容を随時プリントして配布します。				
1	講義内容	ガイダンス／キャリア形成に必要なこと			
	該当する到達目標	予習	新聞、テレビなどのニュースから、社会の出来事を理解して臨む		1時間
	1	復習	社会が求めていること、キャリア形成に必要なコアコンピタンスを理解する。		1時間
2	講義内容	先行きの予測が困難な時代／社会が求める人材			
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第2回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。		1時間
	1,3	復習	キャリア形成に必要な「社会人基礎力」について理解を深める。		1時間
3	講義内容	自己の理解			
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第3回講義プリントを読む。自己理解シートに記入する。		1時間
	2	復習	自己理解と、自己効力感を理解する。自分のパーソナリティを確認する。		1時間
4	講義内容	コミュニケーション力			
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第4回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。		1時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	3,4	復習	チェックシートによって自身のコミュニケーション力を客観的につかむ。	1 時間
5	講義内容	実践コミュニケーション力		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 5 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,4	復習	ディスカッションを振り返り、自身のストロング・ウィークポイントを知る。	1 時間
6	講義内容	気づく力		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 6 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,7	復習	事例研究課題に取り組む。気づく力が問題解決の入り口であることを理解する。	1 時間
7	講義内容	考える力 I (ロジカルシンキング・クリティカルシンキング)		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 7 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,5	復習	事例研究によって論理的思考を理解する。(課題→第 9 回の BS で使用)	1 時間
8	講義内容	考える力 II (クリエイティブシンキング)		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 8 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,6,7,8	復習	事例研究によって創造的思考の重要性を理解する。アイデア発想演習。	1 時間
9	講義内容	創造力を伸ばす (BS 演習ほか)		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 9 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,6,7,8,9	復習	ブレインストーミングをはじめ、創造力を伸ばす技法の理解を深める。	1 時間
10	講義内容	問題解決能力 I (問題点を探る・WHY ツリー)		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 10 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,7,8,9	復習	自身が抱える問題の「問題点」を WHY ツリーで探る。(課題→提出)	1 時間
11	講義内容	働く意味/「仕事力」と「就業力」		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 11 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	1,3	復習	「仕事観」「就業観」を理解し、レポートを書く。(課題→提出)	1 時間
12	講義内容	問題解決能力 II (問題解決の手法・HOW ツリー/目標設定・キャリアマニフェスト)		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 12 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,8,9,10	復習	自身の課題を解決するため、目標設定と計画立案を行う。(課題→提出)	1 時間
13	講義内容	社会における人間関係		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 13 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,11	復習	人との接し方と、よりよい人間関係を築く方法を理解する。	1 時間
14	講義内容	自己の確立(内面のコントロール)		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 14 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,10	復習	将来のキャリア形成に向けて、自己を確立することの重要性を理解する。	1 時間
15	講義内容	ストレスマネジメント		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 15 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,11	復習	ストレス対処法を理解し、ストレスに対する耐性力に高める。	1 時間
備考	<p>オフィスアワー: 木曜日(12~17 時)</p> <p>事前に配布するプリントをもとに予習して授業に臨んでください。配布プリントはファイリングし、毎回持参してください。授業は積み上げ方式で進めていくので、授業後は必ず復習してください。新聞やテレビなどのニュースには常に関心を持ち、社会の出来事を理解し授業に臨んでください。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完してください。</p> <p>〔健康福祉学部の学生に求められる基本的な資質〕</p> <p>①人の役に立つという心構え</p> <p>②生活者本位の視点</p> <p>③コミュニケーション能力</p>			

④チームワーキングへの参画

⑤自己研鑽

科目名	哲学(人間理解)			LAH001	講義
担当教員	大石 桂子				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	「他者とどう関わっていけばよいか」「絶対に正しいことはあるのか」、「病気や“弱さ”にどう向き合うか」。普段は漠然と理解しているように感じることに、改めて疑問を持ち考えるのが哲学である。本講義では身近な題材をもとに医療・福祉・健康分野に関わる者として考えておきたいトピックを取り上げる。哲学者たちの議論や、統計からみえる社会情勢などを手引きとして、論理的に考えていくための基礎力を身につける。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.人與人、人と社会の関係、平等性、自由と責任などについて、多様な視点から説明できる。 2.共生の意義や、弱者の排除が社会にもたらす影響を説明できる。 3.各テーマについて、自分の意見をもつことができる。 4.課題やグループワークを通して、自分の考えを他者に伝わりやすく表現できる。 5.自分と異なる他者の考えを受け止め、そこから新たな発見ができる。 				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験(60%)、講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	提出された課題の内容にコメントを付けて、授業中に紹介する。				
使用教材	講義中にプリントを配布する。				
	講義内容	ガイダンス			
1	該当する到達目標	予習	シラバスの内容をよく読み、講義の目標や取り扱う内容を理解する。		1 時間
	1	復習	「哲学」の目標、学ぶ意義について理解する。		1 時間
	講義内容	自分と他者(1)「人に認められたい」のは本能? ——ヘーゲル			
2	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。		1 時間
	1,3	復習	ヘーゲルのいう「承認への欲求」を理解する。		1.5 時間
	講義内容	自分と他者(2)「本当の自分」とは何か ——キルケゴール			
3	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。		1 時間
	1,3	復習	キルケゴールの「大衆と実存」の違いを理解する。		1.5 時間
	講義内容	自分と他者(3)人と人の関係性 ——ブーバー、サルトル			
4	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。		1 時間
	1,3	復習	第 2 回から第 4 回までの内容を整理する。		1.5 時間
	講義内容	ディスカッション ——これからの自分に大切なこと			
5	該当する到達目標	予習	第 2 回から第 4 回までの内容について、自分の考えをまとめる。		1 時間
	1,3,4,5	復習	自分にとって大切なことを改めて熟考し、課題を仕上げる。		1.5 時間
	講義内容	平等と共生(1)誰もが信じられる正しさはあるか ——ロールズ			
6	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。		1 時間
	2,3	復習	「機会の平等」と「結果の平等」を理解する。		1.5 時間
	講義内容	平等と共生(2)環境は人の心にどう影響するのか			
7	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	2,3,4	復習	「無知のヴェール」について理解する。平等について課題を仕上げる。	2 時間
8	講義内容	自由・正しい自己決定のために——カント		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3	復習	「自律」の意義について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	心と身体(1)「私」を形づくるのは心か身体か——ニーチェ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	身体がものの見方や価値観に影響する例を考える。	1.5 時間
10	講義内容	心と身体(2)人間の中心は脳なのか		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	脳死の問題について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	エンハンスメント(1)変化する「病」の定義		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	エンハンスメントや「医療化」について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	エンハンスメント(2)「弱さ」を否定する社会——ハーバーマス、サンデル		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	弱さを排除した場合の社会的影響について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	ディスカッション——医療技術と自己決定		
	該当する到達目標	予習	個人の欲求でどこまで医療技術を利用してよいか、自分の考えをまとめる。	1 時間
	2,3,4,5	復習	エンハンスメントについての自分の考えをまとめる。	1.5 時間
14	講義内容	責任(1)責任の範囲はどこまで?——アリストテレスほか		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3	復習	責任が問われる基準について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	責任(2)「何もなかった」ことに責任はあるのか——ヤスパース		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3,4	復習	講義中にあげた事例について、自分の考えを課題にまとめる。	1.5 時間
備考	<p>本講義では知識の修得だけでなく、みずから考えることを重視するので、課題など積極的に取り組んで下さい。予習・復習については試験前の学習で補完して下さい。</p> <p>オフィスアワー:水曜日の 2 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付けます。</p> <p>メールアドレス「oishi@takasaki-u.ac.jp」</p> <p>研究室:1 号館 6 階 601</p>			

科目名	倫理学(人間理解)			LAH002	講義
担当教員	出雲 春明				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	現代の医療をめぐる問題をとりあげ、それぞれのトピックを通じて、倫理学の諸理論、人々の多様な価値観について学ぶ。				
到達目標	1.医療に関連する倫理的諸問題について正確な知識を習得し、 2.自分の考えを表現することができる。 3.また、自分と対立する考えについても理解を深める。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業への参加とその態度(20%)、小テスト・期末レポート(80%)から評価する。				
課題に対するフィードバック	講義中、課題を出し、自分の考えをまとめて提出してもらい場合がある。有意義な意見に関しては講義中に紹介する。				
使用教材	講義中に資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス—生命倫理学について			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み講義の目的を理解する。		1時間
	1	復習	生命倫理学の成立事情について、技術の発展と人間観の変化から理解する。		1.5時間
2	講義内容	不妊治療(1)人工授精			
	該当する到達目標	予習	人工授精の定義を確認し、書籍、報道から関連情報を取得しておく。		1時間
	1,2,3	復習	人工授精の特徴とそこで生じる倫理的問題について理解する。		1.5時間
3	講義内容	不妊治療(2)体外受精、代理母			
	該当する到達目標	予習	体外受精と人工授精の違い、代理母がなぜ求められるかを確認しておく。		1時間
	1,2,3	復習	人工授精、体外受精、代理母の特徴とその倫理的問題について理解する。		1.5時間
4	講義内容	遺伝子操作(1)ヒトゲノム計画			
	該当する到達目標	予習	ヒトゲノム計画とは何かを調べておく。		1時間
	1,2	復習	遺伝情報が現在社会においてどのように利用されようとしているか理解する。		1.5時間
5	講義内容	遺伝子操作(2) 遺伝子診断技術と優生思想			
	該当する到達目標	予習	遺伝子診断技術と優生思想について調べておく。		1時間
	1,2,3	復習	実際の事件などを手がかりに優生思想について理解する。		1.5時間
6	講義内容	人工妊娠中絶: パーソン論			
	該当する到達目標	予習	日本における人工妊娠中絶の法的規定について調べておく。		1時間
	1,2,3	復習	人工妊娠中絶をめぐる現在の状況、議論について理解する。		1.5時間
7	講義内容	遺伝子操作(3)クローン技術			
	該当する到達目標	予習	クローン技術に対する現段階のイメージとその是非についてまとめてみる。		1時間
	1	復習	映画などで描かれるクローンと実際のクローンを比較して考えてみる。		1.5時間
8	講義内容	遺伝子操作(4) 幹細胞研究と将来世代のための倫理			
	該当する到達目標	予習	クローン技術に関して確認し、再生医療との関わりについて調べてみる。		1時間
	1, 2	復習	ES細胞、iPS細胞ならびに今後期待されるその役割について理解する。		1.5時間
9	講義内容	終末期医療(1)告知をめぐる問題			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1,2,3	予習	告知をすべきか、すべきでないかその理由と共に考えをまとめてみる。	1 時間
		復習	予習での自分の意見と比較しつつ、告知をめぐる状況と議論について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	終末期医療(2) インフォームド・コンセント		
	該当する到達目標 1,2	予習	インフォームド・コンセントが求められた歴史的なきっかけを調べておく。	1 時間
		復習	患者を主役とする医療という考え方について確認しておく。	1.5 時間
11	講義内容	終末期医療(3) 安楽死とホスピスケア		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	安楽死に対する現段階のイメージ、その是非についてまとめてみる。	1 時間
		復習	安楽死の区分について理解し、自分の意見をまとめてみる。	1.5 時間
12	講義内容	臓器移植(1) 生体臓器移植		
	該当する到達目標 1,2	予習	日本での生体臓器移植の位置づけについて調べてみる。	1 時間
		復習	生体臓器移植の特徴とその倫理的問題について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	臓器移植(2) 死後移植と臓器移植法改正		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	日本における昨今の死後移植の位置づけについて調べてみる。	1 時間
		復習	改正臓器移植法について理解し、自分の意見をまとめてみる。	1.5 時間
14	講義内容	エンハンスメント: 薬剤の使用をめぐる問題		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	エンハンスメントの定義を調べておく。	1 時間
		復習	ドーピングなどの薬剤による強化をめぐる問題について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	総括—福祉に携わる者として		
	該当する到達目標 1,2	予習	企業による不祥事の隠蔽事件について調べ、自分の考えをまとめてみる。	1 時間
		復習	資料に提示されたケースをもとに自らがいかに行動すべきか考える。	1.5 時間
備考	<p>なるべく平易な表現を用いて講義を行う。講義前にシラバスを確認し、当該テーマについて自分がどのようなイメージを持っているのかについて、講義後はそれがどのように変わったのかについて確認しておくこと。配付された資料に基づいて必ず復習しておくこと。講義中、一つの問題をめぐる様々な、そしてしばしば対立する見解が示される。自分ならどの立場をとるか、対立する相手に対してどのように反論するか、常に考えながら講義に臨んでほしい。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。</p> <p>参考文献: 加藤尚武『脳死・クローン・遺伝子治療—バイオ・エシックスの練習問題』、PHP 新書、1999 年。</p> <p>小林亜津子『はじめて学ぶ生命倫理—「いのち」は誰が決めるのか』、筑摩書房、2011 年。</p> <p>オフィスアワー: 質問などがある者は、授業の前後、非常勤講師控え室で対応する。</p>			

科目名	心理学(人間理解)			LAH003	講義
担当教員	角野 善司				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	人間の心理的諸機能に関する理論・研究について学び、支援に必要な基礎的知識の習得を目指す。こころのしくみに関して心理的諸機能を概観し、心の発達や健康について理解したうえで、心理的支援の方法と実際を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.心理学理論による人の理解とその技法の基礎について説明できる。 2.人の成長・発達と心理との関係について説明できる。 3.日常生活と心の健康との関係について説明できる。 4.心理的支援の方法と実際について説明できる。 				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	毎回の宿題 30%(復習課題 15%、予習課題 15%)、学期末テスト 70%(知識問題 50%、論述問題 20%)。宿題の得点が一定水準に達しなければ、学期末テストの得点に関わらず、単位を付与しない。				
課題に対するフィードバック	宿題は毎回授業時に、学期末テストは事後に講評解説の機会を設ける。				
使用教材	加藤伸司ほか「心理学理論と心理的支援[第2版]」ミネルヴァ書房 2014年 2,800円+税				
1	講義内容	こころのしくみの理解(1):心理学における主要な理論			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
2	講義内容	こころのしくみの理解(2):心と脳/情動・情緒			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
3	講義内容	こころのしくみの理解(3):欲求・動機づけと行動			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
4	講義内容	こころのしくみの理解(4):感覚・知覚・認知			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
5	講義内容	こころのしくみの理解(5):学習・記憶・思考/知能・創造性			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
6	講義内容	こころのしくみの理解(6):人格・性格/自己概念・自己実現			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
7	講義内容	こころのしくみの理解(7):集団			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
8	講義内容	こころのしくみの理解(8):適応/人と環境			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

1	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
9	講義内容	人の成長・発達と心理:発達の概念		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
2		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
	講義内容	日常生活と心の健康:ストレスとストレッサ		
10	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
11	講義内容	心理的支援の方法と実際(1):心理検査の概要		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
4		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
	講義内容	心理的支援の方法と実際(2):カウンセリングの概念と範囲		
12	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
13	講義内容	心理的支援の方法と実際(3):カウンセリングとソーシャルワークとの関係		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
4		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
	講義内容	心理的支援の方法と実際(4):心理療法の概要と実際		
14	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
1,2,3,4		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
	備考	<p>・宿題の提出は、C-learning による。</p> <p>・オフィスアワー(後期):月曜 3・4 限 研究室:8 号館 4 階 405 室</p> <p>・メールアドレス:zsumino@takasaki-u.ac.jp</p>		

科目名	文学と人間(人間理解)			LAH004	講義
担当教員	斎藤 順二				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	選択 2単位		
講義目標	現代人の基礎教養として、日本の名作文学を朗読CDで味わうことで、文章表現による心のコミュニケーションを図ることができる。				
到達目標	1.視聴覚教材を活用して「文学と人間」への洞察を深めることができる。 2.歴史の諸相における人間と人間生活の理解に役立てることができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	まとめのレポートを100点満点で採点し、それに授業参加度を加味して総合評価する。				
課題に対するフィードバック	共通課題「授業で学んだ近代文学の名作の中から、人間と人間生活の理解に役立つと思われる10作品を選び、それぞれ80～90字で論評しなさい」を採点し、その結果を講評する。				
使用教材	小田切進『日本の名作』(中央公論新社)定価(本体720+税)				
1	講義内容	二葉亭四迷『浮雲』・森鷗外『舞姫』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5時間	
2	講義内容	森鷗外『高瀬舟』・『雁』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5時間	
3	講義内容	幸田露伴『五重塔』・樋口一葉『たけくらべ』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5時間	
4	講義内容	尾崎紅葉『金色夜叉』・徳富蘆花『不如帰』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5時間	
5	講義内容	泉鏡花『高野聖』・島崎藤村『破戒』『夜明け前』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5時間	
6	講義内容	夏目漱石『坊っちゃん』『ころ』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5時間	
7	講義内容	伊藤左千夫『野菊の墓』・田山花袋『田舎教師』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5時間	
8	講義内容	芥川龍之介『羅生門』『鼻』『地獄変』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5時間	
9	講義内容	有島武郎『或る女』・武者小路実篤『友情』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
10	講義内容	川端康成『伊豆の踊子』・小林多喜二『蟹工船』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
11	講義内容	林芙美子『放浪記』・尾崎士郎『人生劇場』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
12	講義内容	谷崎潤一郎『春琴抄』『細雪』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
13	講義内容	志賀直哉『暗夜行路』・太宰治『人間失格』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
14	講義内容	壺井栄『二十四の瞳』・井上靖『天平の甕』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
15	講義内容	学習の整理と展望(まとめのレポート)		
	該当する到達目標	予習	これまでに学んだ近代文学の名作の中から 10 作品に絞り込む。	1.5 時間
	2	復習	知的好奇心から問題意識を持ち、さらに読書の幅を広げる。	1.5 時間
備考	授業では、視聴覚教材を活用して作品の梗概を理解させ、人物相関図の板書とテキストの読解から、作品鑑賞を深める。これをきっかけにして、さらに各自が近代文学に興味関心を抱いて原作を読み、発展させた読書につなげることが望ましい。なお、質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。			

科目名	芸術論(人間理解)			LAH005	講義
担当教員	石原 綱成				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	芸術を学ぶことで、豊かな人間性と教養を身につける。また、他文化の芸術を深く理解することは、これから国際化が進む現代にあっては必須の教養となる。また、自国の芸術や文化を学ぶことで、多様な社会・背景を理解し対応する能力が身につけることができる。また、これらの学問に真摯に取り組むことにより、より豊かな人間性を涵養できる。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 芸術に対してより専門的な知識を身につけることができる。 2. 芸術を学ぶことで、豊かな人間性と教養を身につけることができる。 3. 自国の文化を深く理解することで、他国の文化を受け入れることができる。 4. 歴史・文化に精通することで、多様な社会・背景を理解し対応する能力が身につく 5. 学生として自律的・意欲的に学習する力を身に着けることができる 				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験にて評価する。				
課題に対するフィードバック	講義形式をとるが、一方的な講義にならぬよう、受講生の意見、学習状況は逐一確かめる。				
使用教材	教科書は使用せず、逐次プリントを配布する。また、授業においてはパワーポイントを使用する。				
	講義内容	ガイダンス			
1	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を理解し授業の目標を理解する。		1.5 時間
		復習	授業内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法を確認する。		1.5 時間
	講義内容	芸術とは何かー芸術のイメージの調査ー			
2	該当する到達目標 1,2	予習	芸術における各自のイメージを箇条書きできるようにしておく。		1.5 時間
		復習	配布したプリントをもとに芸術のジャンルを理解する。		1.5 時間
	講義内容	芸術史概説			
3	該当する到達目標 1,2	予習	芸術史の流れを体系的に理解しておく。		1.5 時間
		復習	芸術史の区分についてそれぞれの特色を理解する。		1.5 時間
	講義内容	視覚芸術について			
4	該当する到達目標 1,2	予習	視覚芸術の特色を理解する。		1.5 時間
		復習	視覚芸術と人間の「主体」との関係を理解する。		1.5 時間
	講義内容	宗教と芸術ーキリスト教美術の起源ー			
5	該当する到達目標 1,2,4	予習	配布したプリントをもとに宗教美術の特色を理解する。		1.5 時間
		復習	キリスト教の教理・教義を理解する。		1.5 時間
	講義内容	宗教と芸術ーロマネスク美術ー			
6	該当する到達目標 1,2,5	予習	配布したプリントをもとにロマネスク建築の構造を理解する。		1.5 時間
		復習	宗教美術の抽象性とはなにかを理解する。		1.5 時間
	講義内容	宗教と芸術ーゴシック美術ー			
7	該当する到達目標 1,2,5	予習	配布したプリントをもとにゴシック建築の構造を理解する。		1.5 時間
		復習	宗教美術の具象性とはなにかを理解する。		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	ルネサンス美術ー古典古代の芸術ー		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにギリシャ・ローマ神話を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,5	復習	神話の世界がいかに図像化されたかの経緯を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	ルネサンス美術ー遠近法の思想ー		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに遠近法とは何かを理解する。	1.5 時間
	1,2,5	復習	遠近法と人間の「主体」への意識を考える。	1.5 時間
10	講義内容	ルネサンス美術ーアイデア論をめぐってー		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにプラトンとアリストテレスの相違を理解する。	1.5 時間
	1,2,5	復習	アイデア論の違いが視覚芸術にいかに現れるかを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	ルネサンス美術ー図像解釈学と美術ー		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにパノフスキーの学説を理解する。	1.5 時間
	1,2,5	復習	パノフスキーの学説をもとに図像を解釈してみる。	1.5 時間
12	講義内容	仏教美術史概説ー仏像彫刻の様式ー		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに仏教美術史を理解する。	1.5 時間
	1,2,5	復習	各時代の仏像彫刻の特徴を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	仏教美術ー仏教の世界観と仏像ー		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに仏教美術史を理解する。	1.5 時間
	1,2,5	復習	日本人の宗教心を考える。	1.5 時間
14	講義内容	精神史としての芸術ー心とかたちー		
	該当する到達目標	予習	これまで配布したプリントをもとに精神と形象の関係を総合的に理解する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	精神史としての芸術史とは何か理解する。	1.5 時間
15	講義内容	芸術と人間性ーヒューマニズムとは何かー		
	該当する到達目標	予習	芸術と人間について総合的に考察する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	人間性とは何か、多様な社会・背景を理解しながら総合的に考察する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜日の 3 限、4 限質問はメールで受け付ける。 メールアドレス ishihara@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 501			

科目名	ボランティア・市民活動論(人間理解)			LAH006	講義
担当教員	金井 敏				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	ボランティア・市民活動は、手助けを求めている個人や団体に対して自主的に貢献する活動です。身近な地域や福祉、環境、情報、国際協力まで幅広く取り組まれ、今日の社会に不可欠な存在です。この講義では、具体的なボランティア・市民活動の考え方や実践方法を学び、学生が自ら実践する力を養成します。				
到達目標	1. ボランティア・市民活動の対象者のニーズを学び、ボランティア・市民活動の意義を説明できる。 2. ボランティア・市民活動の多様な実践例を学ぶことにより、活動の実際の展開を説明できる。 3. ボランティア・市民活動支援センターを活用して、自身の関心に即した活動に参加する。 4. 参加したボランティア・市民活動の実践を振り返り、成果や課題、次のチャレンジについて考察できる。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	成績評価 ① 学期末レポートによる評価(60%)。なお、追再試は実施しません。 ② ボランティア活動に参加して作成する実践レポートによる評価(20%)。 ③ 授業のリアクションペーパー(主にゲストスピーカーの5回)による評価(20%)。 その他の評価 ① 授業開講数の2/3以上を出席することにより、成績の評価対象とします。 ② 忌引きや実習、就職活動などによる欠席は、届け出(要添付書類)を提出すれば出席扱いとします。なお、15分以上の遅刻は欠席とみなします。 ③ ボランティア実践の時間(1回当たり4時間×4回=16時間相当)も本時の講義時間に含めます。				
課題に対するフィードバック	実践や授業内容などに関する質問や意見については、授業のなかで取りあげるなど随時、学生にフィードバックします。				
使用教材	テキストは使用しない。レジュメ・関係資料は授業にて配布する。				
1	講義内容	ボランティア・市民活動～新しい世界への誘い ボランティア・市民活動支援センター(VSC)の活用方法、授業の進め方を確認する。			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容をよく読んで、現時点でのボランティアの理解を把握する。		1.5 時間
	1,3	復習	講義内容、学位授与方針、成績評価方法、VSC 利用方法などを確認する。		1.5 時間
2	講義内容	ボランティアの力を活かす仕組み～ボランティアセンターの役割			
	該当する到達目標	予習	自分の地元市町村のボランティアセンターの組織や活動内容を調べる。		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	ボランティアセンターの活用方法を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	子どもの明日と子育てをサポートするボランティア活動			
	該当する到達目標	予習	児童を対象としたボランティア活動を調べる。		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	児童を対象としたボランティアの意義や活動上の注意事項などを理解する。		1.5 時間
4	講義内容	被災地に届け、災害支援ボランティア活動			
	該当する到達目標	予習	我が国における災害ボランティア活動について調べる。		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	被災地におけるボランティア活動の内容や活動上の注意事項などを理解する。		1.5 時間
5	講義内容	人々はどのようにボランティアに取り組んできたか～欧米と日本の歴史			
	該当する到達目標	予習	世界の国々でボランティア活動がどのように取り組まれているか調べる。		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3,4	復習	欧米と日本のボランティア活動の歴史の違いや長所を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	障害者スポーツ・レクリエーションをサポートするボランティア活動		
	該当する到達目標	予習	障害者を対象としたスポーツやレクリエーションについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	障害者との接し方や支援の内容や方法を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	ボランティアとNPO～学生でも創れるNPO法人		
	該当する到達目標	予習	NPO 法人の概要について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	NPO 法人の活動内容や設立の要件, ボランティアとの違いなどを理解する。	1.5 時間
8	講義内容	地域ささえあいのボランティア ～ふれあい・いきいきサロン～		
	該当する到達目標	予習	地域で取り組まれているふれあい・いきいきサロンについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	高齢者の介護予防や健康, 子育て家庭を住民で支える活動について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	身近な動物とボランティアの良い関係		
	該当する到達目標	予習	動物を対象としたボランティア活動について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	動物に対するボランティア活動の実際や人間との共生について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	小中高校の福祉教育・ボランティア学習はこれでいいか		
	該当する到達目標	予習	小中高校で取り組まれている福祉実践について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	小中高校における福祉教育のあり方や自身の関わり方について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	心と命をつなぐボランティア活動～いのちの電話の実践から考える		
	該当する到達目標	予習	心の悩みや自殺予防に取り組むボランティア活動を調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	いのちの電話の役割と学生でもできる活動について考察する。	1.5 時間
12	講義内容	国際貢献・多文化共生とボランティア活動		
	該当する到達目標	予習	海外で活躍するボランティア活動について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	国際貢献や多文化共生のボランティア活動のあり方を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	分かちあう寄付の文化で花咲く貢献社会～赤い羽根共同募金		
	該当する到達目標	予習	赤い羽根共同募金の概要や寄付の実際について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	赤い羽根共同募金のあり方や寄付の文化とは何かを理解する。	1.5 時間
14	講義内容	行政に協力するボランティア ～民生委員・児童委員の活躍～		
	該当する到達目標	予習	行政に協力するボランティアについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	民生委員・児童委員の活動を理解し, 自分の地域の民生委員を確認する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ～新しい支え合いと20年後の自分の生き方		
	該当する到達目標	予習	さまざまなボランティア活動を通じて理解した人々の生活のしづらさや今後の課題について考える。	1.5 時間
	1,3,4	復習	ボランティア活動の講義と実際の実践活動を踏まえて, ボランティア活動のあり方や自身の将来の役割について考察する。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー:水曜日4時限・木曜日1時限で相談に応じます。研究室:1号館3階310研究室 質問・意見はメールでも対応します。 ボランティア・市民活動支援センター(VSC, 9号館1階)も活用してください。活動を始める前には必ず, ボランティア活動保険に加入すること。そのほかボランティアの相談に何でも応じます。 VSC直通TEL:027-352-1108, VSCメールアドレス:vsc@takasaki-u.ac.jp</p>			

科目名	人権論(人間理解)			LAH007	講義
担当教員	金井 洋行				
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	選択 2単位		
講義目標	人権の観念について、他の観念－人道、倫理、文化規範、宗教的信念、条理原則等－との比較を通して分析し、人間の本性(human nature)との関係を理解する。日本国憲法に規定する「国民の権利」の内容を知り、その効力にどのような制約や限界があるかについて認識する。身近な生活体験から感得した権利侵害や不条理の発生について、人権の観点から考察する姿勢を身につける。				
到達目標	1.人権について特にヨーロッパの歴史的発展を背景に人道等の他の価値観との比較で観念できる。 2.人権の様々な観念から憲法の人権規定の適用関係を認識できる。 3.個々の人権の性格を、内面的と外面的、精神的と経済的、消極的と積極的、等の区分で理解できる。 4.人権の擁護がどのような考え方と仕組みによって行われるのかについて、憲法規定を通して認識できる。 5.人権に関する主要な争点について裁判所、特に最高裁判所の考え方を整理できる。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	・平常の授業に対する姿勢(20%)、中間テスト(20%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは、概ね3回の知識テスト、定期試験は知識と思考力のテスト				
課題に対するフィードバック	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)				
使用教材	テーマ別レジュメ、基礎知識資料(テキストに代替するプリント) *テーマによってDVDの視聴あり				
1	講義内容	人権の観念と内容			
	該当する到達目標	予習	前期の「日本国憲法」において履修した基本的人権の項目の教材を再チェック	2時間	
	1	復習	予備知識アンケート	0.5時間	
2	講義内容	人権の享有主体と人権規定の適用関係			
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1時間	
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5時間	
3	講義内容	人権の制約と限界			
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1時間	
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5時間	
4	講義内容	幸福追求権の意義と具体化			
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1時間	
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5時間	
5	講義内容	法の下での平等－平等権と平等原則－			
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1時間	
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5時間	
6	講義内容	人間の内心の価値と保護			
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1時間	
	1,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5時間	
7	講義内容	自由と自由主義			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	表現の自由とその抑制		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	経済活動の自由と財産権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	人身の自由と刑事手続の保障		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	政治活動の自由と参政権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	生存権の意義と福祉国家の諸権利		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	教育を受ける権利と学習権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	人権の国際化		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	人権の現状と今後の課題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
備考	<p>講義内容はできるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内的にあるいは国際的に大きな人権をめぐる事象があった場合には、その話題を飛び入的に割り込ませることはある。日常の身の回りに起こる権利侵害や条理違反に目を向け、人権擁護の観点から自分なりに考えておくことを期待する。</p> <p>出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。</p> <p>最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。</p>			

科目名	人間関係論(人間理解)			LAH008	講義
担当教員	宮内 洋				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	「人間関係論」とはホーソン実験によって得られた発見をもとに、経営組織の諸状況が人間関係によって規定され、その間の因果関係を体系化した理論である。当然のことながら、これらのことを講じるが、本科目が全学部全学科共通教養科目であるということも鑑みて、人間関係の心理学的・社会的側面についても焦点を当てる。また、人間関係の発達の側面についても講じる。				
到達目標	1.人間関係論に関する基礎的な知識を有している。 2.日常生活における人間関係に関する心理学的な基礎的な知識を有している。 3.日常生活における人間関係に関する社会的な基礎的な知識を有している。 4.日常生活における人間関係に関する教育学的な基礎的な知識を有している。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	全講義終了後に実施される定期試験(85%)と、講義期間中に課せられる課題(10%)、講義に臨む態度・参加する姿勢(5%)によって、総合的に判断する。				
課題に対する フィードバック	講義終了時に感想シートを配付し、そこで書かれた質問等には次回に回答するように努める。				
使用教材	教科書は指定しない。必要に応じて、資料を配付する。また、より知りたい・学びたい人のために、参考文献や映画やマンガ等の種々の作品を、講義の中で適宜紹介する。 参考書・参考資料等 ・宮内洋『体験と経験のフィールドワーク』北大路書房 ・宮内洋・好井裕明 編著『〈当事者〉をめぐる社会学—調査での出会いを通して』北大路書房				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	なし		0 時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1 時間
2	講義内容	初対面の人間関係			
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。		1 時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1 時間
3	講義内容	他者との距離			
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。		1 時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1 時間
4	講義内容	表層的な人間関係			
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。		1 時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1 時間
5	講義内容	人間関係の深まり			
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。		1 時間
		1,2,3,4			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
6	講義内容	青年期の人間関係		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
7	講義内容	2者間のジレンマ		
	該当する到達目標	予習	なし	0 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
8	講義内容	社会的ジレンマ		
	該当する到達目標	予習	ジレンマについて客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
9	講義内容	「人間関係論」の成立		
	該当する到達目標	予習	経営学について調べておく。	2 時間
	1	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
10	講義内容	職場と人間関係		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
11	講義内容	恋愛関係論(1): 恋と愛の違い		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
12	講義内容	恋愛関係論(2): 恋愛の心理学		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
13	講義内容	恋愛関係論(3): 現代日本社会における恋愛		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
14	講義内容	恐ろしい人間関係		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容の理解を深めておく。	6 時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
備考	質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。 講義を妨害する者の受講は基本的に認めない。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	ジェンダー論(人間理解)			LAH009	講義
担当教員	前田 由美子				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	人間の性とはどういう意味をもつのか。それによって形成されている秩序と、それゆえに起こるさまざまな葛藤を真摯にみつめ、性を制度設計に組み込む社会の問題を解き明かす。その上で、それらをどのように解決して行ったら良いのかを深く思索する。そうすることによってより豊かで包容力のある社会を創造する力を備え、行動する人になり、新しい自分や社会を発見することになるであろう。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.自分自身の内部にある「性」のとらえ方を見つめ直す。 2.内面化している固定的な性のイメージや制度に対する固定観念に気づく。 3.他者や社会への豊かなまなざしを持てる。 4.豊かな社会創造への力を身につける。 				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	レポートを4日間それぞれに提出(1日につき25%相当)。合計で評価する。 総合評価60%以上で合格とする。				
課題に対する フィードバック	レポートを返却し、コメント解説を行う。				
使用教材	授業用プリント、文献資料等を随時配布する。必要に応じてメディア教材を使用する。				
1	講義内容	講義全体の説明			
	該当する到達目標	予習	性別についての自分の考え方を見つめておく。		1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価法などを確認する。		1.5時間
2	講義内容	ジェンダーと言う概念			
	該当する到達目標	予習	文献資料に目を通す。		1 時間
	1	復習	ジェンダー概念について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	生き物としての性とその多様性			
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。		1 時間
	1,2	復習	性の多様性を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	セクシュアリティ・性的指向			
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。		1 時間
	1,2,3	復習	セクシュアリティの多様性について理解する。		1.5 時間
5	講義内容	性役割と性規範			
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。		1 時間
	1,2	復習	身の回りの性役割や性規範について気づく。		1.5 時間
6	講義内容	ジェンダー・アイデンティティ			
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。		1 時間
	1,2,3	復習	ジェンダー・アイデンティティについて理解する。		1.5 時間
7	講義内容	性別と経済			
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。		1 時間
	1,2,3	復習	経済と性別のつながりを理解する。		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	女性と子ども		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	女性と子どものつながりへの偏重を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	男性と子ども		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	男性と子どものつながりの困難を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	労働と性別		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	労働と性別のつながりの問題を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	労働と性別とそれぞれの暮らし		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	ワーク・ライフ・バランスを理解し、問題解決法を考える。	1.5 時間
12	講義内容	男性のかかえる問題		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	男性をとりまく問題を理解し、女性の問題との関連を考える。	1.5 時間
13	講義内容	セクシュアル・ハラスメント		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	問題の本質を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	ドメスティック・バイオレンス		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	社会問題として理解する。	1.5 時間
15	講義内容	性別と社会の問題		
	該当する到達目標	予習	全ての文献のつながりを理解する。	1 時間
	3,4	復習	問題の確認と解決法を考える。	1.5 時間
備考	仕事の選択、恋愛、卒業後の人生設計において、この授業で学ぶ知識は大きな影響をもたらすはずである。自身のために、社会を創るために是非学んでほしい。質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	共生の倫理(人間理解)			LAH010	講義
担当教員	大石 桂子				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	現代では多様な価値観・文化をもった人々が、性別や年齢、職業や病気・障がいの有無などを超えて「共生」することが求められている。差別や排除をのりこえ、共生を実現するためのどのような取り組みができるのか、基礎的な理論と方法の知識を習得することを目標にする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会での共生の意義について理解し、説明できる。 2. 共生の歴史について理解し、説明できる。 3. 共生を支える社会学、倫理学また教育や臨床的なアプローチを理解し、説明できる。 4. 共生の具体的なあり方や事例について理解し、説明できる。 5. 各テーマについて自分の考えをもつことができる。 				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験(60%)、講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	提出課題の内容にコメントを添えて、講義中に紹介する。				
使用教材	講義中にプリントを配布する。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容に目を通し、到達目標などを確認する。	1 時間	
		復習	講義の目的や学ぶ意義を理解する。	1.5 時間	
2	講義内容	共生とは何か、共生に関わる社会意識			
	該当する到達目標	予習	共生の定義を調べる。	1.5 時間	
	1	復習	なぜ共生が必要とされるのか理解する。	1.5 時間	
3	講義内容	多文化社会と価値の多様化			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間	
	1,5	復習	価値の多様化の社会的な影響について、事例を考え課題を作成する。	1.5 時間	
4	講義内容	分断と隔離の歴史			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間	
	2,5	復習	近代以降に障がい者などの隔離が進んだ背景を理解する。	1.5 時間	
5	講義内容	優生思想			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間	
	2,5	復習	20 世紀初頭～現在の優生思想について、問題点を理解する。	1.5 時間	
6	講義内容	共生の歴史: ノーマライゼーションからエンパワーメントへ			
	該当する到達目標	予習	ノーマライゼーションの定義を調べる。	1 時間	
	2,4,5	復習	ノーマライゼーションの意義と、他の概念へ置き換わった背景を理解する。	1.5 時間	
7	講義内容	公共空間のユニバーサルデザイン			
	該当する到達目標	予習	ユニバーサルデザインの定義を調べる。	1 時間	
	4,5	復習	ユニバーサルデザインの意義を理解し、身近な実例を考える。	1.5 時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	共生をめざして(1) 社会学からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	世代間保障について理解し、課題を作成する。	2 時間
9	講義内容	共生をめざして(2) 倫理学からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	共感の道徳的な役割を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	共生をめざして(3) 教育学からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	学校教育での共生の取り組みを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	共生をめざして(4) 非行臨床からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	矯正教育の意義と成果について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	共生をめざして(5) 認知症ケアの臨床からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	介護での QOL 向上やコミュニケーション改善の取り組みを理解する。	1.5 時間
13	講義内容	「排除型社会」がもたらすリスク		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,5	復習	価値多様化の時代の「自己」のあり方、共済、相互扶助の意義を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	事例研究: 多民族、多文化の共生		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	4,5	復習	講義の内容をふまえ、課題を作成する。	2 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでのノート・資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	共生の意義、方法について理解し、自分の考えをまとめる。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日の 3 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付けます。</p> <p>メールアドレス「oishi@takasaki-u.ac.jp」</p> <p>研究室: 1 号館 6 階 601</p> <p>予習・復習については試験前の学習で補完すること。</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	チーム医療アプローチ論(人間理解)			LAH011	講義
担当教員	竹内真理、木村憲洋、原田欣宏、土井信幸、小笠原映子、鈴木忠、篠原智行、松田直				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	福祉・医療系の専門職育成を担う大学として、チーム医療を推進する上で各学科の学生が各専門職の役割・活動を理解する。				
到達目標	1.チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について理解できる。 2.各専門職の役割と活動について理解できる。 3.チーム医療における専門職の連携を促進するための課題について考察できる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	授業参加への積極性 40%、レポート 60%				
課題に対する フィードバック	・他学科の学生が参加していることから講義中に双方向型講義を行い、学生の考えや意見を導入しながら講義を展開する。 ・課題レポートを読んで感じた点や補足すべき点について文章化し、次回の授業時に受講生に配布する。				
使用教材	講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について			
	該当する到達目標	予習	チーム医療とはどのようなものなのか、学習する。		1.5 時間
	1	復習	21 世紀の医療では、なぜ多職種協働のチーム医療が必須であるか理解する。		1.5 時間
2	講義内容	チーム医療における看護師・保健師の役割と活動			
	該当する到達目標	予習	最近の多職種連携に関連する書籍、雑誌等を読んでおく		1.5 時間
	1,2,3	復習	看護師と多職種の役割との違い、連携について講義内容なら復習しておく。		1.5 時間
3	講義内容	チーム医療における理学療法士の役割と活動			
	該当する到達目標	予習	リハビリテーションチームを構成する各職種について調べる		1.5 時間
	1,2,3	復習	チームの中でその役割を果たすために、なすべきことを確認する		1.5 時間
4	講義内容	チーム医療における薬剤師の役割と活動			
	該当する到達目標	予習	チーム医療における薬剤師の役割と活動についてインターネット等の電子媒体を用いて調査する。		1 時間
	1,2,3	復習	講義受講後のレポート作成。チーム医療における薬剤師の役割について、地域包括ケアシステムの観点から整理すること		2 時間
5	講義内容	チーム医療における管理栄養士の役割と活動			
	該当する到達目標	予習	事前に学習した他のコメディカルの役割と活動について復習し授業に臨む		1.5 時間
	1,2,3	復習	管理栄養士と他のコメディカルのチーム医療と、チーム内での役割や活動について考察する		1.5 時間
6	講義内容	チーム医療における社会福祉士の役割と活動			
	該当する到達目標	予習	①高齢化社会の現状を調べる ②地域医療の進展を調べる ③ 社会福祉専門職の職場を調べる。		1.5 時間
	1,2,3	復習	①疾患と障害の関連を理解し、地域で自立した生活支援に必要なチーム医療のあり方を理解する。		1.5 時間
7	講義内容	チーム医療における保育士・幼稚園教諭・小学校教諭、特別支援学校教諭の役割と活動			
	該当する到達目標	予習	乳幼児期・学齢期に罹患しやすい病気の概要や主要な障害について予習をする		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3		こと。	
		復習	保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援学校教諭と各種医療職との連携のあり方について復習をすること。	1.5 時間
8	講義内容	チーム医療における診療情報士の役割と活動		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士と病院事務について調べてみる。	0.5 時間
	1,2,3	復習	診療情報管理士と病院事務について得た知識を整理する。	0.5 時間
備考	<p>予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。</p> <p>【キーワード】専門職、チーム医療、チームアプローチ</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>木村(情報)：月曜日 1 時限(1 号館 610 研究室)</p> <p>原田(福祉)：火 2 限、金 3 限(1 号館 506 研究室)</p> <p>竹内(栄養)：木曜 2-4 時限(1 号館 308 研究室) 質問等はメールでも受け付けます。 mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp</p> <p>小笠原(看護)：月曜日 3 限(4 号館 505 研究室)</p> <p>鈴木(理学)：月曜日 12:30～13:30、15:30～16:30(4 号館 2 階学部長室)</p> <p>篠原(理学)：月曜日 5 限 . 随時メールで問い合わせを受けます。</p> <p>土井(薬学)：12:00～13:00(7 号館 319 研究室) doi-n@takasaki-u.ac.jp</p> <p>松田(子ども)：火曜日 3 限、木曜日 2 限(9 号館 301 研究室) メールアドレス: matsuda-t@takasaki-u.ac.jp</p>			

科目名	国際医療事情(人間理解)		LAH012	講義
担当教員	クリストファー・ターン、町田修三			
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	選択2単位	
講義目標	学生の国際化促進とグローバル人材の養成を目的として設置された科目である。特に本学学生は医療系を専攻する者が多いため、海外の医療に関する様々な事項を経験的に学ぶことに重点を置いている。具体的な内容としては、海外諸国の健康・医療教育、健康・医療の実態、医療制度、病医院や医師・コメディカル等の供給体制、病医院や医療施設の世界比較等について学ぶ。国際化を促進するため、学生には英語で日本の文化や医療の説明をしたり、医療に関する基礎的なディスカッションをしたりすることを取り入れる。また本講義では、学生が実際に海外に赴き実体験として国際医療事情を見聞することを強く推奨する			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 諸外国の医療教育を理解し、日本との違いを説明できる 2. 諸外国の医療の実態を理解し、日本との違いを説明できる 3. 諸外国の医療制度を理解し、日本との違いを説明できる 4. 諸外国の病医院について学び、日本との違いを説明できる 5. 日本の医療教育や医療事情について、英語で解説ができる 			
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理		
		専門的知識		
		問題発見・解決力		
		多様な社会・背景を理解し対応する能力		
		コミュニケーション能力		
		自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	最終レポート(50%)、提出物(20%)、発表、討論など授業参加度(30%) 海外研修参加者は、事前・事後研修および発表のパフォーマンス(30%)、研修レポート(30%)、研修中のパフォーマンス(40%)			
課題に対するフィードバック	レポートや提出物については、コメントを付して返却する。発表や討論等のパフォーマンスについては、その都度コメントやアドバイスを伝える			
使用教材	特に指定はない。各自自分のリサーチ目的に沿った文献、教材を探すこと			
1	講義内容	イントロダクション		
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく	1時間
		復習	自分の興味のある国の医療事情リサーチを開始する	1.5時間
2	講義内容	医療の国際化とは		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習、特に世界で進行中の医療の国際化についてしっかりと理解する	1.5時間
3	講義内容	日本の医療教育、医療制度、医療事情（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5時間
4	講義内容	日本の医療教育、医療制度、医療事情を英語で説明してみよう		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1時間
	5	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5時間
5	講義内容	先進国(アメリカ、イギリス、ドイツ)の医療教育		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1時間
	1	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5時間
6	講義内容	先進国の医療事情 I（一部AL実施）		

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
7	講義内容	先進国の医療事情Ⅱ（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
8	講義内容	先進国の病院		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
9	講義内容	その他の先進国(北欧, カナダ, オーストラリアなど)の医療事情Ⅰ（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
10	講義内容	その他の先進国の医療事情Ⅱ（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
11	講義内容	中進国(台湾, シンガポール, 中国など), 途上国(ベトナム, インドネシア, タイなど)の医療教育		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
12	講義内容	中進国, 途上国の医療事情Ⅰ（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5 時間
13	講義内容	中進国, 途上国の医療事情Ⅱ（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5 時間
14	講義内容	学生プレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5 時間
15	講義内容	学生プレゼンテーションとまとめ		
	該当する到達目標	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5 時間
備考	<p>最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。</p> <p>オフィスアワー: 月曜日 4 限目, 金曜日 2 限目 研究室: 1 号館 6 階 603</p> <p>メールアドレス: machida@takasaki-u.ac.jp</p> <p>AL(アクティブラーニング)は、ペアワーク, グループワーク, ディスカッション, クローズドクエスチョン, オープンクエスチョンなど</p>			

科目名	Introduction to Healthcare Sciences(人間理解)			LAH013	講義
担当教員	町田修三、小澤滯司、クリストファー・ターン、長谷川恵子、下川哲昭、今井純				
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	学生の国際化推進とグローバル人材の育成を目的に設置された講義科目であり、授業は原則英語で行う。日本では医療分野の国際化はまだ遅れているが、世界的には急速に拡大しつつある。本講義では、国際的な医療人養成のため、世界共通語である英語を用いて、医療に関する基礎的な事項を易しく解説していく。複数の教員がオムニバス形式で担当するが、学生の理解度を確認しながら平易な英語で解説するので、受講に際して特に高度な英語力は要求しない。英語による授業を学生がしっかりと理解し、医療コミュニケーション能力を高めることで、医療教育の国際化を先取りするような講義へと発展させることを目指す。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.医療に関する基礎的な内容に関して、英語での説明を理解できる 2.理解した内容について、第三者に説明できる 3.医療に関するトピックに関して、英語での基礎的なプレゼンテーションやディスカッションができる 4.医療に関するトピックについて、外国の学生と話をすることができる 				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	担当各教員による評価を総合して決定する。各教員は、毎回の授業参加度(20%程度)や講義終了時に課す提出物または小レポート(80%程度)により、それぞれの持ち点に応じて学生を評価する				
課題に対するフィードバック	提出物や小レポートには、コメントを付して返却する				
使用教材	各教員が作成した資料やデータを用いて講義する				
1	講義内容	Introduction of the course (町田)			
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく		1 時間
	1	復習	講義内容の復習、特に専門用語(英語)を覚える		1 時間
2	講義内容	Medical globalization and Japan's healthcare system (町田)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解		1.5 時間
3	講義内容	Healthcare system of foreign countries (町田)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解		1.5 時間
4	講義内容	U.S. healthcare in the media I (長谷川)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解		1.5 時間
5	講義内容	U.S. healthcare in the media II (長谷川)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English I (小澤)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
7	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English II (小澤)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
8	講義内容	Immunity and diseases I (今井)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
9	講義内容	Immunity and diseases II (今井)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
10	講義内容	Immunity and diseases III (今井)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
11	講義内容	Genes and cancer : basic understanding of the disease I (下川)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
12	講義内容	Genes and cancer : basic understanding of the disease II (下川)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
13	講義内容	Mental Health (ターン)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
14	講義内容	Mental health and social skills (ターン)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
15	講義内容	Summary and concluding remarks (ターン)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
備考	<p>英語を使用する授業であるので, 予習用に授業で用いる教材・資料・データ等をあらかじめ配布する. 授業にはこれらの資料を十分に下調べしたうえで臨むことが特に重要である. 最終的に単位修得に必要な時間との差異は, 各自で補完すること.</p> <p>オフィスアワー(町田): 月曜日4限目、金曜日2限目 研究室: 1号館6階603</p>			

科目名	囲碁の世界(人間理解)			LAH014	講義
担当教員	三谷 哲也				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	近年、囲碁は脳を活性化し考える力を養うということで注目されている。囲碁を学ぶことで「考える力」と「集中力」を磨き、「先を読む力」を身につける。また、日本の伝統文化である囲碁を体得することで、言葉と世代を超えたコミュニケーション力を身につけ、国際交流のコミュニケーション力を高める。				
到達目標	1. 全く囲碁を知らない状態から囲碁の世界を知り、19路盤で最後まで打てるようになる。 2. いくつかのパターンの囲碁の心得を覚え、囲碁の考え方を身につける。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	毎回の授業貢献度、技術の習熟度を総合的に判断する(60%) 試験(20%)×2回				
課題に対する フィードバック	試験後に解説を行う。				
使用教材	光文社新書「東大教養囲碁講座」				
1	講義内容	囲碁の歴史と基本ルール			
	該当する到達目標	予習	教科書第1章1～3に目を通し講義の目的を理解する。		1.5 時間
	1,2	復習	囲碁の基本的なルールを理解する。		1.5 時間
2	講義内容	ルールの復習(1)			
	該当する到達目標	予習	教科書第2章1-1～1-3に目を通し基本ルールを確認する。		1.5 時間
	1,2	復習	囲碁の5つの基本ルールを理解する。		1.5 時間
3	講義内容	ルールの復習(2)			
	該当する到達目標	予習	教科書第2章1-4～1-5に目を通し基本ルールを確認する。		1.5 時間
	1,2	復習	打てない場所、打てる場所を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(1)			
	該当する到達目標	予習	教科書第97Pに目を通し、囲碁の打ち方のポイントを確認する。		1.5 時間
	1,2	復習	基本的な3つの心得を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(2)			
	該当する到達目標	予習	教科書第3章2に目を通し、石の取り方を確認する。		1.5 時間
	1,2	復習	取れている石、シチョウを理解する。		1.5 時間
6	講義内容	問題演習			
	該当する到達目標	予習	教科書第2章1～2に目を通し基本的な考え方を理解する。		1.5 時間
	1,2	復習	地の数え方、石のつながりを理解する。		1.5 時間
7	講義内容	技術の解説(1)			
	該当する到達目標	予習	教科書 P188～199に目を通し終盤の考え方を確認する。		1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の終盤の考え方を理解する。		1.5 時間
8	講義内容	技術の解説(2)			
	該当する到達目標	予習	教科書P173～188に目を通し中盤の考え方を確認する。		1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の中盤の考え方を理解する。		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

9	講義内容	技術の解説(3)		
	該当する到達目標	予習	教科書P158～172に目を通し序盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の序盤の考え方を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	9子局の解説・連碁(対局)		
	該当する到達目標	予習	教科書第5章1に目を通し9子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	9子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	技術の解説(4)		
	該当する到達目標	予習	教科書P207～220に目を通し決め打ち碁のポイントを理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	隅の死活を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	技術の解説(5)とペア碁		
	該当する到達目標	予習	教科書第4章に目を通し、19路盤の考え方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	問題演習		
	該当する到達目標	予習	教科書第2章4に目を通し、石の追い方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	石の取り方、死活、終局の仕方を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	技術の解説(6)		
	該当する到達目標	予習	教科書P259～267に目を通し、総合的な石の取り方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の序盤～中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	代表者対局 まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書第5章1～2に目を通し、9子局の攻め方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	9子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
備考	<p>囲碁の道具の片づけについても授業の一環である。チュードレントアシスタント(SA)の方がいても、積極的に片づけに関わること。オフィスアワーは授業の前後 15 分ずつであるが、状況により次回の授業で対応となる場合がある。</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	英語 I A(リテラシー)			LAL001	講義
担当教員	柳澤 順一				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	大学生に必要とされる基礎的な英語運用能力のうち、とりわけリーディング・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標	1.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2.一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3.リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	平常点 50%(授業への参加度、単語試験、提出物など)、定期試験 50%を総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック	レポートは評価またはショートコメントを付した後返却する(学期末課題については返却しないことがある)。 期末試験は採点后、得点を通知する(非常勤のため事務局経由での通知)。				
使用教材	<i>Select Readings Pre-Intermediate</i> , Linda Lee & Erik Gundersen, Oxford University Press (2011), 2,500 円				
1	講義内容	Introduction			
	該当する到達目標	予習	特になし		0 時間
	1,2,3	復習	基礎語彙カテストの復習、プリント問題の解法		3.0 時間
2	講義内容	Chapter 1 Are You Getting Enough Sleep? (1)			
	該当する到達目標	予習	Pre-reading exercises		1.5 時間
	1,2,3	復習	スラッシュ・リーディング練習 p.3		1.5 時間
3	講義内容	Chapter 1 Are You Getting Enough Sleep? (2)			
	該当する到達目標	予習	当該パラグラフの精読		1.5 時間
	1,2,3	復習	スラッシュ・リーディング練習 p.4		1.5 時間
4	講義内容	Chapter 1 Are You Getting Enough Sleep? (3)			
	該当する到達目標	予習	Post-reading exercises		1.5 時間
	1,2,3	復習	Building vocabulary p.7		1.5 時間
5	講義内容	Chapter 2 Mika's Homestay in London (1)			
	該当する到達目標	予習	Pre-reading exercises		1.5 時間
	1,2,3	復習	スラッシュ・リーディング練習 p.13		1.5 時間
6	講義内容	Chapter 2 Mika's Homestay in London (2)			
	該当する到達目標	予習	当該パラグラフの精読		1.5 時間
	1,2,3	復習	スラッシュ・リーディング練習 p.14		1.5 時間
7	講義内容	Chapter 2 Mika's Homestay in London (3)			
	該当する到達目標	予習	Post-reading exercises		1.5 時間
	1,2,3	復習	Building vocabulary p.17		1.5 時間
8	講義内容	Chapter 3 It's Not Always Black and White (1)			
	該当する到達目標	予習	Pre-reading exercises		1.5 時間
	1,2,3	復習	スラッシュ・リーディング練習 p.23		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

9	講義内容	Chapter 3 It's Not Always Black and White (2)	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	当該パラグラフの精読 1.5 時間
		復習	スラッシュ・リーディング練習 p.24 1.5 時間
10	講義内容	Chapter 3 It's Not Always Black and White (3)	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Post-reading exercises 1.5 時間
		復習	Building vocabulary p.27 1.5 時間
11	講義内容	Chapter 4 Helping Others (1)	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Pre-reading exercises 1.5 時間
		復習	スラッシュ・リーディング練習 p.33 1.5 時間
12	講義内容	Chapter 4 Helping Others (2)	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	当該パラグラフの精読 1.5 時間
		復習	スラッシュ・リーディング練習 p.34 1.5 時間
13	講義内容	Chapter 4 Helping Others (3)	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Post-reading exercises 1.5 時間
		復習	Building vocabulary p.37 1.5 時間
14	講義内容	Chapter 5 Generation Z: Digital Natives (1)	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Pre-reading exercises 1.5 時間
		復習	スラッシュ・リーディング練習 p.43 1.5 時間
15	講義内容	Chapter 5 Generation Z: Digital Natives (2)	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	当該パラグラフの精読 1.5 時間
		復習	スラッシュ・リーディング練習 p.44 1.5 時間
備考	質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。		

科目名	英語 I B(リテラシー)			LAL001	講義
担当教員	出雲 春明				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	大学生に必要とされる基礎的な英語運用能力のうち、とりわけリーディング・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標	1.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2.一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3.リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	平常点 50%(授業への参加度、単語試験、提出物など)、定期試験 50%を総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック	レポートは添削・コメントを付した後返却する。 期末試験は採点後返却する。				
使用教材	外山晴子『Enjoy English with Charlie Brown and Friends 『ピーナッツ』で学ぶ英語と比較文化』、南雲堂、2008年。¥2,100+税。				
	講義内容	ガイダンス			
1	該当する到達目標	予習	シラバスとテキストを照らし合わせ、予習、復習、評価方法について確認する。	1.5 時間	
	1	復習	講義におけるテキストの使用法について理解する。	1.5 時間	
	講義内容	Lesson 1 Body Language in Peanuts ①			
2	該当する到達目標	予習	テキスト pp.12-15 の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間	
	1,3	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
	講義内容	Lesson 1 Body Language in Peanuts ②			
3	該当する到達目標	予習	テキスト pp.16-17 の不明な単語を調べ、英文を読んでみる。	1.5 時間	
	1,2	復習	不明であった文法事項を確認しておく。	1.5 時間	
	講義内容	Lesson 2 Lucy's Psychiatry Stand ①			
4	該当する到達目標	予習	テキスト pp.18-21 の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間	
	1,3	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
	講義内容	Lesson 2 Lucy's Psychiatry Stand ②			
5	該当する到達目標	予習	テキスト pp.22-23 の不明な単語を調べ、英文を読んでみる。	1.5 時間	
	1,2	復習	不明であった文法事項を確認しておく。	1.5 時間	
	講義内容	Lesson 3 Friends Forever ①			
6	該当する到達目標	予習	テキスト pp.24-27 の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間	
	1,3	復習	重要表現を復習し、声に出してそれを身につける。	1.5 時間	
	講義内容	Lesson 3 Friends Forever ②			
7	該当する到達目標	予習	テキスト pp.28-29 の不明な単語を調べ、英文を読んでみる。	1.5 時間	
	1,2	復習	不明であった文法事項を確認しておく。	1.5 時間	
	講義内容	Lesson 4 Peanuts as a Social Group ①			
8	該当する到達目標	予習	テキスト pp.32-35 の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間	
	1,3	復習	重要表現を復習し、それを用いて表現してみる。	1.5 時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

9	講義内容	Lesson 4 Peanuts as a Social Group ②		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp.36-37 の不明な単語を調べ、英文を読んでもみる。	1.5 時間
	1,2	復習	不明であった文法事項を確認しておく。	1.5 時間
10	講義内容	Lesson 5 Schroeder the Music Lover ①		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp.38-41 の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1,3	復習	重要表現を復習し、それを用いて表現してみる。	1.5 時間
11	講義内容	Lesson 5 Schroeder the Music Lover ②		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 42-43 の不明な単語を調べ、英文を読んでもみる。	1.5 時間
	1,2	復習	不明であった文法事項を確認しておく。	1.5 時間
12	講義内容	Lesson 6 Girls in Peanuts ①		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp.44-47 の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1,3	復習	重要表現を復習し、声に出してそれを身につける。	1.5 時間
13	講義内容	Lesson 6 Girls in Peanuts ②		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp.48-49 の不明な単語を調べ、英文を読んでもみる。	1.5 時間
	1,2	復習	不明であった文法事項を確認しておく。	1.5 時間
14	講義内容	Lesson 7 Sally and her Legal Beagle ①		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp.52-55 の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1,3	復習	重要表現を復習し、それを用いて表現してみる。	1.5 時間
15	講義内容	Lesson 7 Sally and her Legal Beagle ②		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp.56-57 の不明な単語を調べ、英文を読んでもみる。	1.5 時間
	1,2	復習	不明であった文法事項を確認しておく。	1.5 時間
備考	辞書必携。最低限の予習として不明な単語を調べておくこと。テキスト付属の CD を用いて発音の確認と練習をしておくとなおよい。質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。			

科目名	英語 I C(リテラシー)			LAL001	講義
担当教員	岡田 和子				
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	大学生に必要とされる基礎的な英語運用能力のうち、とりわけリーディング・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標	1.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2.一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3.リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	平常点 50% (授業への参加度、単語試験、提出物など)、定期試験 50%を総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック	レポートは添削・コメントを付した後返却する。 期末試験は採点後返却する。				
使用教材	須永紫乃生 他著、『Food for Thought 現代の食を考える』(南雲堂), 2010 年, 1,700 円				
1	講義内容	賞味期限と消費期限 (1)			
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる		1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の書き取りをする		1.5 時間
2	講義内容	賞味期限と消費期限 (2)			
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認		1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の暗記をする		1.5 時間
3	講義内容	和食～うまみと寿司 (1)			
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる		1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の書き取りをする		1.5 時間
4	講義内容	和食～うまみと寿司 (2)			
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認		1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の暗記をする		1.5 時間
5	講義内容	英語でレシピを (1)			
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる		1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の書き取りをする		1.5 時間
6	講義内容	英語でレシピを			
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認		1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の暗記をする		1.5 時間
7	講義内容	ダイエット: 日本対アメリカ (1)			
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる		1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の書き取りをする		1.5 時間
8	講義内容	ダイエット: 日本対アメリカ (2)			
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認		1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の暗記をする		1.5 時間
9	講義内容	家庭料理を作ろう (1)			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間
10	講義内容	家庭料理を作ろう (2)		
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間
11	講義内容	外国のクリスマス (1)		
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間
12	講義内容	外国のクリスマス (2)		
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間
13	講義内容	お茶: 日本対イギリス (1)		
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間
14	講義内容	お茶: 日本対イギリス (2)		
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	本文の意味と発音の確認	1.5 時間
	1,2,3	復習	暗記箇所の復習	1.5 時間
備考	オフィス・アワー火・水・木曜の 4 限まで 1 号館 1 階の非常勤講師室			

科目名	英語ⅡA(リテラシー)			LAL002	講義
担当教員	ベアリー・キース				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	本講義の目的は学生の英語力を総合的に向上させることとともに学生の語彙力を高めることである。また、英語の本(多読教材)を読むことによって異文化理解や学生の教養を涵養する。英語を流暢に読めるように、読む速度を高めることに主眼を置く。具体的に、英語読本の「多読」を始め、語彙学習や速読訓練やリーディング・サークルでそれらについてグループ・ディスカッションし、自らの意見や解釈を発表することが主である。				
到達目標	1.英語を読む速度が早くなる(一分間 250 語を目指す)。 2.グループ・ディスカッションし、自らの意見や解釈を発表することができる。 3.英単語の語彙力を 200 以上増やすこと。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業参加度(10%)と小テスト/課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材	Paul Nation (2007), <i>Reading for Speed and Fluency 2</i> (Compass Publishing Japan), 1,900 円				
1	講義内容	Reading for Speed & Fluency 1; Vocabulary Test; Oxford Reading Level Test, Moodle Orientation			
	該当する到達目標	予習	シラバスの確認		1.5 時間
	1,2,3	復習	語彙を確認し、多読プログラムを進める		1.5 時間
2	講義内容	Reading for Speed & Fluency 2; Hand in Vocabulary Test & Oxford Reading Level Test Results			
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める		1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙		1.5 時間
3	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 3; Book Spot 1			
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める		1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙		1.5 時間
4	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 4; Reading Circle #1-1			
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める		1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙		1.5 時間
5	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 5; Reading Circle #1-2			
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める		1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙		1.5 時間
6	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 6; Book Spot 2			
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める		1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙		1.5 時間
7	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 7; Reading Circle #2-1			
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める		1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 8; Reading Circle #2-2		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
9	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 9; Book Spot 3		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
10	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 10; Reading Circle #3-1		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
11	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 11; Reading Circle #3-2; Reading list for Final Test		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
12	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 12; Book Spot 4		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
13	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 13; Reading Circle #4-1; Sign-up for Final Test		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
14	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 14; Reading Circle #4-2; Hand in Oxford Reading Level #2; Confirm Final Test		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
15	講義内容	Reading for Speed & Fluency 15; Final Test & Reflection Paper		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
備考	質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	英語ⅡB(リテラシー)			LAL002	講義
担当教員	ジム・ヘイ				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標	1.英語の歌やゲームに親しみ、異文化に対する理解を深める。 2.基礎的な英語表現を理解する。 3.英語による日常的なコミュニケーション能力を獲得する。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業参加度(10%)と小テスト/課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材	特に定めない。				
1	講義内容	Introduction, rules, Greetings review			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を把握する		1.5 時間
	1,2	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
2	講義内容	TV Reporter pair work unit 1			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
3	講義内容	TV Reporter pair work unit 2			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
4	講義内容	be 動詞			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
5	講義内容	Greetings unit 1			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
6	講義内容	Greetings unit 2			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
7	講義内容	He, She, It			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
8	講義内容	過去形			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
9	講義内容	Songs and Poems			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
10	講義内容	“My Town” Listening unit		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
11	講義内容	“ing” Form		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
12	講義内容	Body Parts Unit		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
13	講義内容	Body Parts Songs		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
14	講義内容	Opposite unit and Games		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
15	講義内容	“Words Game” Team Contest		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
備考	質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。			

科目名	英語ⅡC(リテラシー)			LAL002	講義
担当教員	クリストファー・ターン				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	英語をコミュニケーションの道具としてとらえ、英語によるコミュニケーション能力基礎の確立を目指す。この目的のために、まずジェスチャーや one word English、one phrase English から始めて、便利かつ最低限必要な英語表現を繰り返し練習する。複雑な文法や語法を無視してこうした練習を繰り返すことで、気楽に感じたことをそのまま口に出すくせをつけさせたい。授業は主に教員が自ら用意した教材を用いて行うが、ゲーム、ペアワーク、写真、ビデオ、音楽等を多く利用して、学生が積極的に授業に参加できるような雰囲気をつくっていきたい。発表の機会が増えると思う。学生の習熟度に応じ、講義のレベルを調整していく。				
到達目標	1.英語によるコミュニケーション能力の基礎を確立する。 2.英語による口語表現に親しむ。 3.英語によるプレゼンテーションを行う。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(授業への参加度、発言、発表課題など)の総合評価とする。				
課題に対する フィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材	特に定めない。				
1	講義内容	イントロダクション:講義の解説・自己紹介			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を確認しておく		1.5 時間
	1,2	復習	口語表現の復習		1.5 時間
2	講義内容	自己紹介してみよう			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習		1.5 時間
	1,2	復習	新出表現の復習・発音の確認		1.5 時間
3	講義内容	サバイバル・イングリッシュ ① Where do I get the bus? 道案内等			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認		1.5 時間
4	講義内容	サバイバル・イングリッシュ ② Could you repeat that? 予約等			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認		1.5 時間
5	講義内容	便利な one phrase English ① How is your family?			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認		1.5 時間
6	講義内容	便利な one phrase English ② Where do you live?			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認		1.5 時間
7	講義内容	英語の話し方・意思の伝え方			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	英語と日本語の違い		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
9	講義内容	外国について知ろう		
	該当する到達目標	予習	外国について調べてくる	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
10	講義内容	外国や日本について知ろう		
	該当する到達目標	予習	外国と日本の比較点をまとめる	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
11	講義内容	外国や日本について話そう		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
12	講義内容	英語だけで1時間過ごしてみよう(Q & A)		
	該当する到達目標	予習	質問内容を考えてくる	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
13	講義内容	英語だけで1時間過ごしてみよう(何かを説明する)		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
14	講義内容	大学生活についてのスモール・トーク		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
15	講義内容	英語でプレゼンテーションにチャレンジにしてみよう		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜日 3 限、金曜日 3 限 メールアドレス: tarn@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 3 階 315 研究室			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	英語ⅢA(リテラシー)			LAL003	講義
担当教員	嶋田 和成				
学年・開講期	2年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	平易な英語によって書かれた、厳選されたトピックを読むことで、現代社会についての議論を英文で理解するとともに、大学生に必須の語彙力を身につける。また、テキストにしたがって、簡単な問題を解きながら、自らの考えを英語で表現する方法についても学ぶ。				
到達目標	1.基本的な語彙を修得する。 2.大学生基礎レベル(CEFR Level B1)のリーディング・スキルを身につける。 3.基本的な英語表現力を身につける。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業への参加度、発表、課題(50%)、期末試験(50%)で総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック	課題はコメントをつけて返却する。				
使用教材	J. C. Richards & S. Eckstut-Didier. (2012). <i>Strategic Reading 1</i> (2nd ed.). Cambridge University Press. 2,570 円				
1	講義内容	ガイダンス・Reading Strategies とは			
	該当する到達目標	予習	教科書のまえがき、シラバスの内容を読んで、授業の目標などを理解する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	Warm-up 用の配布プリントの内容を理解する。	1.5 時間	
2	講義内容	Culture (Thinking Beyond the Text)			
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間	
3	講義内容	Money (Identifying Main Ideas and Supporting Details)			
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間	
4	講義内容	Sports (Understanding the Order of Events)			
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間	
5	講義内容	Music (Distinguishing Fact from Opinion)			
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間	
6	講義内容	Animals (Recognizing Purpose)			
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間	
7	講義内容	Travel (Recognizing Point of View)			
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間	
8	講義内容	第 2 回～第 7 回のまとめ			
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を再度読み、内容を要約する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を使って、パラグラフ単位の英文を書く。	1.5 時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

9	講義内容	The Internet (Making Inferences)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
10	講義内容	Friends (Applying Information from the Text)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	Gifts (Paraphrasing)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
12	講義内容	Emotions (Organizing Information into an Outline)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	Food (Recognizing Cause and Effect)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
14	講義内容	Sleep and Dreams (Summarizing)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
15	講義内容	第 9 回～第 14 回のまとめ、復習		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を再度読み、内容を要約する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を使って、パラグラフ単位の英文を書く。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー：木曜日 3 限、金曜日 5 限 メールアドレス：shimada-k@takasaki-u.ac.jp 研究室：9 号館 303 研究室 授業外学習においては、オンラインの授業支援システム CaLabo Bridge を使用する。</p>			

科目名	英語ⅢB(リテラシー)			LAL003	講義
担当教員	高橋 栄作				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標	1.グローバル化する社会で必要とされる異文化理解を深め、国際感覚を身につける。 2.基礎的な日常的実用英語表現を習得する。 3.これからの国際社会において必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキルを向上させる。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	向上的変化 10%、平常点 40%(確認テスト、提出物、授業への参加度など)、定期試験 50%を総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック	質問などはリアクションペーパーで確認する。 確認テスト・期末試験は採点后返却する。				
使用教材	須永紫乃生 (2010) <i>Food for Thought: Eating for Health and Happiness</i> 南雲堂, 1,700 円				
1	講義内容	Introduction、Warm-up Activity			
	該当する到達目標	予習	Unit 1 の単語調べ		1.5 時間
	1,2,3	復習	Warm-up Activity の内容理解		1.5 時間
2	講義内容	Unit 1 Counting Calories (1)			
	該当する到達目標	予習	Reading を読み質問に解答する。		1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。		1.5 時間
3	講義内容	Unit 1 Counting Calories (2)			
	該当する到達目標	予習	指定された教材の単語と内容を確認する。		1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。		1.5 時間
4	講義内容	Recipe (1)			
	該当する到達目標	予習	指定された教材の単語と内容を確認する。		1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。		1.5 時間
5	講義内容	Recipe (2)			
	該当する到達目標	予習	Unit 3 の単語調べ		1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。		1.5 時間
6	講義内容	Unit 3 As American as Apple Pie (1)			
	該当する到達目標	予習	Reading を読み質問に解答する。		1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。		1.5 時間
7	講義内容	Unit 3 As American as Apple Pie (2)			
	該当する到達目標	予習	Unit 4 の単語調べ		1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。		1.5 時間
8	講義内容	Unit 4 Use as Directed (1)			
	該当する到達目標	予習	Reading を読み質問に解答する。		1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。		1.5 時間
9	講義内容	Unit 4 Use as Directed (2)			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	英語の音について疑問点を明らかにする。	1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
10	講義内容	英語の音について (1)		
	該当する到達目標	予習	指定された教材の内容を確認する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
11	講義内容	英語の音について (2)		
	該当する到達目標	予習	Unit 5の単語調べ	1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
12	講義内容	Unit 5 The End of Home Cooking? (1)		
	該当する到達目標	予習	Reading を読み質問に解答する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
13	講義内容	Unit 5 The End of Home Cooking? (2)		
	該当する到達目標	予習	Unit 7の単語調べ	1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
14	講義内容	Unit 7 Supplemental Health (1)		
	該当する到達目標	予習	Reading を読み質問に解答する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
15	講義内容	Unit 7 Supplemental Health (2)		
	該当する到達目標	予習	期末試験のための学習	1.5 時間
	1,2,3	復習	15 回の授業を振り返る。	1.5 時間
備考	授業には辞書を必ず持参してください。授業は各回が連続しています。 質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じます。			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	英語ⅢC(リテラシー)			LAL003	講義
担当教員	山田・ヘイ・美由紀				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標	1. 英語の歌やゲームに親しみ、異文化に対する理解を深める。 2. 基礎的な英語表現を理解する。 3. 英語による日常的なコミュニケーション能力を獲得する。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業参加度(10%)と小テスト/課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材	特に定めない。				
1	講義内容	Introduction, rules, Greetings review			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を把握する		1.5 時間
	1,2	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
2	講義内容	TV Reporter pair work unit 1			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
3	講義内容	TV Reporter pair work unit 2			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
4	講義内容	be 動詞			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
5	講義内容	Greetings unit 1			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
6	講義内容	Greetings unit 2			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
7	講義内容	He, She, It			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
8	講義内容	過去形			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
9	講義内容	Songs and Poems			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
10	講義内容	“My Town” Listening unit		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
11	講義内容	“ing” Form		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
12	講義内容	Body Parts Unit		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
13	講義内容	Body Parts Songs		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
14	講義内容	Opposite unit and Games		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
15	講義内容	“Words Game” Team Contest		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
備考	質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。			

科目名	英語ⅣA(リテラシー)			LAL004	講義
担当教員	岡田 和子				
学年・開講期	2年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	本講義では、食事と食文化関連のテキストを読むことで、「現代の食をめぐる話題」と「英米の伝統的な食文化」に関する情報を英語で得る訓練を行う。また、テキスト中の英語表現や文法事項を習得することで、英文読解力と同時に、英語表現力の向上も目指す。				
到達目標	1.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2.食・栄養学に関する英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3.リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	平常点 50%(授業への参加度、単語試験、提出物など)、定期試験 50%を総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック	レポートは添削・コメントを付した後返却する。 期末試験は採点后返却する。				
使用教材	須永紫乃生 他著、『Food for Thought 現代の食を考える』(南雲堂), 2010年, 1,700円				
1	講義内容	賞味期限と消費期限 (1)			
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間	
	1,2,3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間	
2	講義内容	賞味期限と消費期限 (2)			
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間	
	1,2,3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間	
3	講義内容	和食～うまみと寿司 (1)			
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間	
	1,2,3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間	
4	講義内容	和食～うまみと寿司 (2)			
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間	
	1,2,3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間	
5	講義内容	英語でレシピを (1)			
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間	
	1,2,3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間	
6	講義内容	英語でレシピを (2)			
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間	
	1,2,3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間	
7	講義内容	ダイエット:日本対アメリカ (1)			
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間	
	1,2,3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間	
8	講義内容	ダイエット:日本対アメリカ (2)			
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間	
	1,2,3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

9	講義内容	家庭料理を作ろう (1)		
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間
10	講義内容	家庭料理を作ろう (2)		
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間
11	講義内容	外国のクリスマス (1)		
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間
12	講義内容	外国のクリスマス (2)		
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間
13	講義内容	お茶: 日本対イギリス (1)		
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間
14	講義内容	お茶: 日本対イギリス (2)		
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間
	1,2,3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	本文の意味と発音の確認	1.5 時間
	1,2,3	復習	暗記箇所の復習	1.5 時間
備考	オフィス・アワー火・水曜の 4 限まで 1 号館 1 階の非常勤講師室			

科目名	英語ⅣB(リテラシー)			LAL004	講義
担当教員	飛田 ルミ				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	本講義では、食事と食文化関連のテキストを読むことで、「現代の食をめぐる話題」と「英米の伝統的な食文化」に関する情報を英語で得る訓練を行う。また、テキスト中の英語表現や文法事項を習得することで、英文読解力と同時に、英語表現力の向上も目指す。				
到達目標	1.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2.食・栄養学に関する英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3.リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	平常点 50%(授業への参加度、単語試験、提出物など)、定期試験 50%を総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック	プレゼンテーションなどの課題に対して評価シートを返却しフィードバックをする。 レポート、小テスト、期末試験は採点の後返却する。				
使用教材	Living Well, Eating Well ヘルシーライフをめざして Josh Norman ジョシュ・ノーマン他 朝日出版社、 2016年、1,700円				
1	講義内容	講義概要の説明 Unit 1 Why do people love sweets?			
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする		1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す		1.5 時間
2	講義内容	Unit 1 Why do people love sweets?			
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする		1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す		1.5 時間
3	講義内容	Unit 2 Do you have a “dessert stomach”?			
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする		1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す		1.5 時間
4	講義内容	Unit 3 Why is Japanese cuisine so popular			
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする		1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す		1.5 時間
5	講義内容	Unit 4 Did you enjoy your school meals?			
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする		1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す		1.5 時間
6	講義内容	Unit 5 Why do children dislike vegetables so much?			
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする		1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す		1.5 時間
7	講義内容	Unit 6 How do you wash your dishes and vegetables?			
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする		1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す		1.5 時間
8	講義内容	Unit 7 What a long way frozen food has come!			
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
9	講義内容	Unit 8 Where do you get your food?		
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
10	講義内容	Unit 9 Do you know the power of fermentation?		
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
11	講義内容	Unit 10 Do you take your medicine correctly?		
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
12	講義内容	Unit 11 Are you dieting the right way?		
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
13	講義内容	Unit 12 Is collagen really effective?		
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
14	講義内容	Unit 13 What is the water content?		
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
15	講義内容	Unit 14 What kind of tea would like?		
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
備考	質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。			

科目名	英語IVC(リテラシー)			LAL004	講義
担当教員	高橋 栄作				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標	1.グローバル化する社会で必要とされる異文化理解を深め、国際感覚を身につける。 2.基礎的な日常的実用英語表現を習得する。 3.これからの国際社会において必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキルを向上させる。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	向上的変化 10%、平常点 40%(確認テスト、提出物、授業への参加度など)、定期試験 50%を総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック	質問などはリアクションペーパーで確認する。 確認テスト・期末試験は採点后返却する。				
使用教材	津久井良充・高橋栄作・高木亜希子編著, <i>Internet English</i> 三訂版 (2012) Yumi Press, 2,052 円				
1	講義内容	Introduction、Warm-up Activity			
	該当する到達目標	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
2	講義内容	Unit 1 Search Engine			
	該当する到達目標	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
3	講義内容	Unit 3 Online English			
	該当する到達目標	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
4	講義内容	Unit 3 Online English			
	該当する到達目標	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
5	講義内容	Unit 4 Cooking			
	該当する到達目標	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
6	講義内容	Unit 4 Cooking			
	該当する到達目標	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
7	講義内容	Unit 6 Weather			
	該当する到達目標	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
8	講義内容	Unit 6 Weather			
	該当する到達目標	予習	英語の音について疑問点を明らかにする。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
9	講義内容	英語の音について			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1,2,3	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
10	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 Unit 7 Music		
		予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
11	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 Unit 8 Art		
		予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
12	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 Unit 9 Famous People		
		予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
13	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 Unit 10 Movies		
		予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
14	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 Unit 11 News		
		予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
15	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 Unit 12 Science		
		予習	期末試験のための学習	1.5 時間
		復習	15 回の授業を振り返る。	1.5 時間
備考	授業には辞書を必ず持参してください。授業は各回が連続しています。e-Learning 教材を積極的に使用してください。質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じます。			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	Integrated English I (リテラシー)			LAL005	演習
担当教員	クリストファー・ターン				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標	本講義では、海外英語研修参加希望者を対象とする。英語による日常英会話レベルのコミュニケーション能力を獲得することを講義目標とする。				
到達目標	1.コミュニケーションの基礎知識を学ぶ 2.海外での様々な場面を想定した英会話の練習をする 3.プレゼンテーションの実践練習を行う また、海外英語研修にむけた事前準備や説明も行う。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業内パフォーマンス 90%、提出物 10%				
課題に対するフィードバック	レポートにコメントをつけて返却する。個人面接を行う。				
使用教材	開講時に指示する。				
1	講義内容	What is communication?			
	該当する到達目標	予習	なし		0 時間
	1	復習	授業内容についての要約を書く。		1.5 時間
2	講義内容	Cognitive Psychology: Get to know yourself			
	該当する到達目標	予習	自分自身について書く。		1.5 時間
	1	復習	自分のインターナルコミュニケーションスキルについて書く。		1.5 時間
3	講義内容	Social skills.			
	該当する到達目標	予習	社会心理学について事前調べを行う。		1.5 時間
	1	復習	改善すべき自分の社会的スキルについて書く。		1.5 時間
4	講義内容	The power of imagination and innovation			
	該当する到達目標	予習	行きたい国、行きたい理由をあげる。		1.5 時間
	2	復習	その国について調べる。		1.5 時間
5	講義内容	learning to control a conversation			
	該当する到達目標	予習	言葉が理解できない状況でどのようなコミュニケーションが有効かを考える。		1.5 時間
	2	復習	ホストファミリーとの会話例を考える。		1.5 時間
6	講義内容	Listening strategies			
	該当する到達目標	予習	訪問国の英語発音について調べる。		1.5 時間
	2	復習	訪問国の短編映画やアニメを見る。		1.5 時間
7	講義内容	Basic English: Self introduction and first steps for communication in English			
	該当する到達目標	予習	自己紹介文を書く。		1.5 時間
	3	復習	自己紹介文を仕上げる。		1.5 時間
8	講義内容	Create your own English database			
	該当する到達目標	予習	ノートの準備をする。		1.5 時間
	3	復習	English Database を作成する。		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

9	講義内容	Meet a foreigner	
	該当する到達目標	予習	外国人ゲストとの会話を考える。 1.5 時間
	2	復習	外国人ゲストとの会話から、スピーキングの課題を見つける。 1.5 時間
10	講義内容	Speech basics: Talking to an audience	
	該当する到達目標	予習	相手に伝わるプレゼンテーションについて調べる。 1.5 時間
	3	復習	大学紹介についてのパワーポイントプレゼンテーションを作成する。 1.5 時間
11	講義内容	Presentation 1(power point)	
	該当する到達目標	予習	自分の学科(専門)についてのプレゼンテーションを準備する。 1.5 時間
	3	復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする。 1.5 時間
12	講義内容	Presentation 2(power point)	
	該当する到達目標	予習	テーマーについてプレゼンテーションの準備をする。 1.5 時間
	3	復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする。 1.5 時間
13	講義内容	Make your own textbook 1	
	該当する到達目標	予習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する。 1.5 時間
	2	復習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する。 1.5 時間
14	講義内容	Do group work to improve your textbook	
	該当する到達目標	予習	グループ毎に各自のテキストブックについて話し合い改善する 1.5 時間
	2	復習	想定した研修やホームステイについてレポートを書く。 1.5 時間
15	講義内容	Conclusion	
	該当する到達目標	予習	1~14 回の授業の復習をする 1.5 時間
	1,2,3	復習	全講義を通して学んだことについてレポートを書く。 1.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜日 3 限、金曜日 3 限 予習復習時間については各自補完すること。		

科目名	Integrated English II (リテラシー)			LAL006	講義
担当教員	真下 裕子				
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	選択 1単位		
講義目標	実践問題演習を通して、TOEIC テストの全貌と特徴、傾向と対策をおさえるととも、スコアアップのための受験のストラテジーも習得する。				
到達目標	1.TOEIC の形式と内容を理解できる。 2.語彙力が身につく。 3.文法事項を理解できる。 4.音読トレーニングで英語の音の聞き取りに慣れる。 5.英文読解力が身につく。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	語彙テスト(50%)、ミニ模擬テスト(50%)で「評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	前回の授業で学習した語彙を、毎回テストする。 課題(文法プリント)の解説をする。				
使用教材	TOEIC テスト学習スタートブック JMook18(Jリサーチ出版) JCBN978-4-86392-270-9- C9482				
1	講義内容	Introduction (TOEIC テストの概略説明と学習法)			
	該当する到達目標	1	予習 教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。	1 時間	
			復習 講義内容を理解し、TOEIC テストの概要と学習法を確認する。	1.5 時間	
2	講義内容	Part 1 文法:品詞			
	該当する到達目標	2, 3, 4	予習 Part 1 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間	
			復習 Part 1 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間	
3	講義内容	Part 2 文法:名詞を修飾する言葉			
	該当する到達目標	2, 3, 4	予習 Part 2 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間	
			復習 Part 2 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間	
4	講義内容	Part 3 文法:動詞の形			
	該当する到達目標	2, 3, 4	予習 Part 3 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間	
			復習 Part 3 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間	
5	講義内容	Part 4 文法:時制と仮定法			
	該当する到達目標	2, 3, 4	予習 Part 4 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間	
			復習 Part 4 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間	
6	講義内容	Part 5 文法:代名詞			
	該当する到達目標	2, 3, 4	予習 Part 5 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間	
			復習 Part 5 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間	
7	講義内容	Part 6 文法:接続詞			
	該当する到達目標		予習 Part 6 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	2, 3, 4	復習	Part 6 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
8	講義内容	Part 7		
	該当する到達目標	予習	Part 7 の語彙の意味を調べる。	1 時間
	2, 4, 5	復習	Part 7 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
9	講義内容	Part 1, 2 文法:分詞		
	該当する到達目標	予習	Part 1, 2 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 1, 2 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
10	講義内容	Part 3, 4 文法:関係詞		
	該当する到達目標	予習	Part 3, 4 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 3, 4 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
11	講義内容	Part 5,6 文法:比較		
	該当する到達目標	予習	Part 5, 6 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 5, 6 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
12	講義内容	Part 7 文法:語法		
	該当する到達目標	予習	Part 7 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 7 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
13	講義内容	ミニ模擬テスト(リスニング)		
	該当する到達目標	予習	Part 1-4 のリスニング問題を練習する。	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	リスニング問題の確認をする。	1.5 時間
14	講義内容	ミニ模擬テスト(リーディング)		
	該当する到達目標	予習	Part 5-7 のリーディング問題を練習する。	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	リーディング問題の確認をする。	1.5 時間
15	講義内容	模擬テストの解答と解説		
	該当する到達目標	予習	リスニング問題、リーディング問題を練習する。	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	解説を聞いて理解し、間違えたところを確認する。	1.5 時間
備考	質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	ドイツ語(リテラシー)			LAL007	講義
担当教員	出雲 春明				
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	選択 2単位		
講義目標	初習者がドイツ語に親しみ、講義終了後も学習を持続していくための足がかりを築く。				
到達目標	1.ドイツ語を正確に発音し、聞き取ることができる。 2.初級文法を用いて基本的な会話をを行い、読み書きすることができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業への参加とその態度(20%)、小テスト・期末テスト(80%)で評価する。				
課題に対するフィードバック	授業の進行に応じて、練習問題を課し、採点して返却する。				
使用教材	羽根田知子・熊谷知実『ネコと学ぶドイツ語』、三修社(¥2,400)。なお、必要に応じて別途資料を配付する。				
1	講義内容	ガイダンス—日常のなかのドイツ語と、ドイツ語のアルファベット—			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み講義内容を理解する。テキスト Lektion1 に目を通しておく。		1 時間
	1	復習	アルファベットの読みを声に出して練習する。		1.5 時間
2	講義内容	Lektion1 母音の発音、ドイツ語の挨拶 (1)			
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 1, 8.)を読み、付属の CD の対応する箇所を聞いておくこと。		1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。		1.5 時間
3	講義内容	Lektion1 子音の発音 (1)、ドイツ語の挨拶 (2)			
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 1-2, 8.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。		1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。		1.5 時間
4	講義内容	Lektion1 子音の発音 (2)、ドイツ語の数字 (1)			
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 2, 14.)を読み、付属の CD を聞いておくこと。		1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。		1.5 時間
5	講義内容	Lektion1 特殊な発音、ドイツ語の数字 (2)			
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 1-2, 8.)の対応箇所、配付資料を読み、付属の CD を聞いておくこと。		1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。		1.5 時間
6	講義内容	Lektion2 一般動詞の特徴とその人称変化 (1)、ドイツ語の時刻表現			
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 4-5, 14.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。		1 時間
	1,2	復習	テキスト(p.4.) を用いて人称変化の練習をしておくこと。		1.5 時間
7	講義内容	Lektion2 ドイツ語の一般動詞の特徴とその人称変化 (2)			
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 5-6.)を読み、付属の CD を聞いておくこと。		1 時間
	1,2	復習	テキストに出てくる動詞を用いて人称変化の練習をしておくこと。		1.5 時間
8	講義内容	Lektion2 ドイツ語の平叙文、疑問文、否定文、命令文 (1)			
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 4-6.)を読み、付属の CD を聞いておくこと。		1 時間
	1,2	復習	テキストに出てくる語句を用いて、ドイツ語での作文を練習しておくこと。		1.5 時間
9	講義内容	Lektion2 ドイツ語の平叙文、疑問文、否定文、命令文 (2)、ドイツ語での自己紹介			
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 7.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2	復習	作文の練習だけでなく、CD の音声を参照しながら、正しい発音か確認しておく。	1.5 時間
	講義内容	Lektion3 sein 動詞の特徴とその人称変化 (1)		
10	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 9-10, 12.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	sein 動詞の変化を確認しておくこと。	1.5 時間
	講義内容	Lektion3 sein 動詞の特徴とその人称変化 (2)		
11	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 9, 13.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	sein 動詞の使い方をテキストの語句を用いて練習しておくこと。	1.5 時間
	講義内容	Lektion3 haben の特徴とその人称変化 (1)		
12	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 9, 11.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	haben の変化を確認、練習しておくこと。	1.5 時間
	講義内容	Lektion3 haben の特徴とその人称変化 (2)		
13	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 9, 13.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	haben の使い方をテキストの語句を用いて練習しておくこと。	1.5 時間
	講義内容	Lektion4 ドイツ語の名詞には性別がある (1)		
14	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 15-16.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	ドイツ語の名詞には男性、女性、中性名詞の区別があることを理解すること。	1.5 時間
	講義内容	Lektion4 ドイツ語の名詞には性別がある (2)		
15	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 16-17.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	それぞれの名詞の性別について確認しておく。	1.5 時間
備考	<p>予習としてはシラバスを参考にテキストの該当部分に目を通しておくこと。余裕があれば単語の意味を調べておく とよい。語学は積み重ねが大切なので一つ一つの事項をきちんと復習しておくこと。特に、発音に関してはテキ スト付属の CD を用いて確認し、おろそかにしないこと。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完す ること。</p> <p>オフィスアワー: 質問などがある者は、授業の前後、非常勤講師控え室で対応する。</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	フランス語(リテラシー)			LAL008	講義
担当教員	カディオンボ・アナスタシア				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	フランス語に興味を持ってもらう				
到達目標	1.基本の読み書きができる 2.級文法を用いて基本的な会話を行い、フランス語検定 5 級合格レベルに到達する				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 80%、宿題 20%				
課題に対する フィードバック	宿題を返却する。				
使用教材	「ゼロからは始める書き込み式フランス語 BOOK」成美堂出版				
1	講義内容	アルファベットとつづり字記号、発音			
	該当する到達目標	予習	テキストやシラバスを読んでおく		1.5 時間
	1	復習	テキストを読んでもくる		1.5 時間
2	講義内容	リエゾンとアンシュヌマン			
	該当する到達目標	予習	テキストの単語を辞書で女性名詞か男性名詞か調べてくる		1.5 時間
	1	復習	テキストを読んでもくる、宿題を出すのでやってくる		1.5 時間
3	講義内容	名詞(性)と冠詞、数字			
	該当する到達目標	予習	テキスト上のそれぞれの名詞に対して、冠詞を書いてくる		1.5 時間
	1	復習	宿題を出すのでやってくる		1.5 時間
4	講義内容	母音の発音			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる、テキスト付属のCDを聴いてくる		1.5 時間
	1	復習	発音練習をしてくる		1.5 時間
5	講義内容	子音の発音			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる、テキスト付属のCDを聴いてくる		1.5 時間
	1	復習	発音練習をしてくる		1.5 時間
6	講義内容	あいさつ表現			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる、テキスト付属のCDを聴いてくる		1.5 時間
	2	復習	発音練習をしてくる		1.5 時間
7	講義内容	依頼の表現			
	該当する到達目標	予習	自分の依頼表現を使う場面を考えてくる		1.5 時間
	2	復習	発音練習をしてくる		1.5 時間
8	講義内容	Be 動詞(être)			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる		1.5 時間
	2	復習	宿題を出すのでやってくる		1.5 時間
9	講義内容	Have(avoir)動詞			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	2	復習	全員の自己紹介文を覚えてくる。練習をしてくる	1.5 時間
10	講義内容	第1群規則動詞(-er 動詞)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んてくる	1.5 時間
	2	復習	自分の好きなものと嫌いなものをフランス語で書いてくる	1.5 時間
11	講義内容	否定文		
	該当する到達目標	予習	第8～10回授業の復習をしてくる	1.5 時間
	2	復習	自分で否定文を作成し、書いてくる。発音練習をする	1.5 時間
12	講義内容	時刻・年齢の表現		
	該当する到達目標	予習	第3回授業の復習をしてくる	1.5 時間
	2	復習	時刻をフランス語で書いてくる	1.5 時間
13	講義内容	第2群規則動詞(-ir 動詞)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んてくる	1.5 時間
	2	復習	自分のスケジュールをフランス語でかいてくる	1.5 時間
14	講義内容	形容詞①		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んてくる	1.5 時間
	2	復習	宿題を出すのでやってくる	1.5 時間
15	講義内容	形容詞②		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んてくる	1.5 時間
	2	復習	第1～15回授業の復習をしてくる	1.5 時間
備考	毎回の復習を必ずしててくること。質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。 コミュニケーションを目的にした授業のため、積極的に会話に参加してほしい。			

科目名	ポルトガル語(リテラシー)			LAL009	講義
担当教員	伊勢島 セリア明美				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	ポルトガル語の基礎文法を習得することを目標とします。又、ブラジルの文化にも触れたいと思います。				
到達目標	1.初歩レベルの日常会話 2.異文化理解				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	小テスト(50%)及びミニ会話の発表(50%)で100%評価。 総合評価60%以上を合格とします。				
課題に対する フィードバック	会話の発表前に内容を確認し、必要に応じて補足の説明を行います。				
使用教材	教材プリントを配布します。				
1	講義内容	ガイダンス。アルファベット、挨拶、基本構文。			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。		1 時間
	1, 2	復習	会話の発表に向けて、挨拶と自己紹介ができるようにする。		1.5 時間
2	講義内容	否定文、疑問文、動詞 ser、前置詞 de。			
	該当する到達目標	予習	動詞 ser の活用形を覚える。		1 時間
	1, 2	復習	疑問文の作り方と答えかたを確認する。		1.5 時間
3	講義内容	家族や親族の呼び方、所有形容詞。			
	該当する到達目標	予習	所有形容詞の単数形及び家族の呼び方を覚える。		1 時間
	1	復習	家族の紹介とそれぞれの職業が言えるようにする。		1.5 時間
4	講義内容	形状を表す形容詞①、形容詞の変化。			
	該当する到達目標	予習	形容詞①を覚える。		1 時間
	1	復習	形容詞を使った文型を確認する。		1.5 時間
5	講義内容	数詞①、名詞の性と数、動詞 ter。			
	該当する到達目標	予習	動詞 ter の活用形及び数詞(1~10)を覚える。		1 時間
	1, 2	復習	年齢を表す表現を確認する。		1.5 時間
6	講義内容	比較の表現、形容詞②、定冠詞。			
	該当する到達目標	予習	形容詞②を覚える。		1 時間
	1, 2	復習	日本とブラジルを比較する表現を確認する。		1.5 時間
7	講義内容	動詞 gostar、動詞 preferir			
	該当する到達目標	予習	動詞 gostar の活用形を覚える。		1 時間
	1, 2	復習	自分の好みを表現できるようにする。		1.5 時間
8	講義内容	不定冠詞、動詞 querer			
	該当する到達目標	予習	動詞 querer の活用形を覚える。		1 時間
	1, 2	復習	願望を表現できるようにする。		1.5 時間
9	講義内容	動詞 estar、前置詞 em			
	該当する到達目標	予習	動詞 estar の活用形を覚える。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1	復習	存在を表す表現を確認する。	1.5 時間
10	講義内容	動詞 ir、前置詞 a、前置詞 de		
	該当する到達目標	予習	動詞 ir の活用形を覚える。	1 時間
	1	復習	行き先を伝える表現を確認する。	1.5 時間
11	講義内容	数詞②、-ar 動詞		
	該当する到達目標	予習	-ar 動詞の活用の語尾変化を覚える。	1 時間
	1	復習	時間を表現できるようにする。	1.5 時間
12	講義内容	時の表現①、-er 動詞、前置詞 com		
	該当する到達目標	予習	-er 動詞の活用の語尾変化を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	日課を伝える表現を確認する。	1.5 時間
13	講義内容	曜日、-ir 動詞、前置詞 em		
	該当する到達目標	予習	曜日の言い方を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	曜日の言い方と使いかたを確認する。	1.5 時間
14	講義内容	時の表現②、月の名前、規則動詞の完全過去形		
	該当する到達目標	予習	規則動詞の完全過去形の変化を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	過去の事柄を伝える表現を確認する。	1.5 時間
15	講義内容	時の表現③、規則動詞の未来形。小テスト。		
	該当する到達目標	予習	規則動詞の未来形の変化を確認する。	1 時間
	1	復習	小テストの解答例を確認する。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー： 授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。</p> <p>参考文献： ニューエクスプレス ブラジル ポルトガル語 香川正子著 白水社 初級 ブラジル ポルトガル語 深沢暁著 東洋書店</p> <p>メッセージ： 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 第2又は第3外国語を話す楽しさを味わって頂ければ嬉しく思います。</p>			

科目名	中国語(リテラシー)		LAL010	講義
担当教員	渡邊 賢			
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標	中国語を学ぶ上で不可欠である発音とその表記と、また最も基礎的な語彙と構文とを身に付け、簡単なコミュニケーションができる語学力の養成を目指す。同時に中国文化の全般に関する興味を喚起したい。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.中国の地理、風俗および言語とその多様性を理解する。 2.中国語音を表記する音声記号を習得する。 3.中国語音を表記する音声記号を正確に発音する能力を育成する。 4.中国語音を聞いて、弁別する聴力を育成する。 5.日常会話に不自由しない程度の語彙と語法とを習得する。 			
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理		
		専門的知識		
		問題発見・解決力		
		多様な社会・背景を理解し対応する能力		
		コミュニケーション能力		
		自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	毎回の小試験 20%、発音中間試験 30%、学期末筆記試験 50%により評価する。 総合評価 60%以上を合格とみなす。			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

課題に対する フィードバック	毎回の小試験は採点の上、返却する。各自、未熟な点をよく自覚し克服されたい。		
使用教材	教科書『大学一年生のための合格る中国語』小幡敏行著(朝日出版社) ISBN97-4-255-45224-1C1087		
1	講義内容	ガイダンス	
	該当する到達目標 1	予習	シラバス内容、教科書第8頁「中国語について」を読み、講義目標や中国語の特性などについて理解する。
		復習	不要
2	講義内容	発音の基礎Ⅰ：ピンイン字母、単母音、四声などを学習する。	
	該当する到達目標 2,3,4	予習	不要
		復習	授業で学習したことを、毎日、一日10分程度、発音する。
3	講義内容	発音の基礎Ⅱ：複合母音、「声(子音)」の唇音・舌先音・舌根音などを学習する。	
	該当する到達目標 2,3,4	予習	不要
		復習	授業で学習したことを、毎日、一日10分程度、発音する。
4	講義内容	発音の基礎Ⅲ：鼻母音、「声(子音)」の舌面音・捲舌音・舌歯音などを学習する。	
	該当する到達目標 2,3,4	予習	不要
		復習	授業で学習したことを、毎日、一日10分程度、発音する。
5	講義内容	教科書第1課、名前の聞き方・答え方、人称代名詞などの学習。	
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第1課の本文および新出語句の発音を練習しておく。
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。
6	講義内容	教科書第2課、指示代名詞、「是」を用いた判断文などの学習。	
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第2課の本文および新出語句の発音を練習しておく。
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。
7	講義内容	教科書第3課、形容詞述語文や数量表現などの学習。	
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第3課の本文および新出語句の発音を練習しておく。
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。
8	講義内容	教科書第4課、存在文や構造助詞「的」などの学習。	
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第4課の本文および新出語句の発音を練習しておく。
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。
9	講義内容	教科書第5課、介詞構造や方位詞などの学習。	
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第5課の本文および新出語句の発音を練習しておく。
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。
10	講義内容	教科書第6課、連動文や能願動詞などの学習。	
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第6課の本文および新出語句の発音を練習しておく。
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。
11	講義内容	教科書第7課、数量補語や動態助詞の「了」と語気詞の「了」などの学習。	
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第7課の本文および新出語句の発音を練習しておく。
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。
12	講義内容	教科書第8課、動態助詞「過」や程度補語などについての学習。	
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第8課の本文および新出語句の発音を練習しておく。
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。
13	講義内容	教科書第9課、能願動詞「会」「能」「可以」などについての学習。	
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第9課の本文および新出語句の発音を練習しておく。
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	講義内容	教科書第 10 課、方向補語や結果補語などについての学習。		
14	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 10 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
	講義内容	教科書第 11 課、主述述語文や比較表現などについての学習。		
15	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 11 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
備考	<p>机に向かって学習するには及ばない。通学時などわずかな余暇を利用して、10 分程度で構わぬので、必ず毎日、口や舌を動かして毎回の授業の内容を消化することが望ましい。また習慣的学習を身に着けたい。毎回の積み重ねが肝要。後刻、自力でマスターしようとしてもほとんど不可能と心得よ。質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。</p> <p>最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。</p>			

科目名	ハングル語(リテラシー)			LAL011	講義
担当教員	徐 明煥				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	はじめて韓国語をまなぶ学生を対象とする。表音文字であるハングルの表記を覚え、単語や文章を正確に発音する練習をする。会話の練習を通して簡単な挨拶や自己紹介、身の回りのものについて覚える。				
到達目標	1.韓国語の文字であるハングルの正確な読み書きができる。 2.基本文型を身に付けさせて簡単な日常会話ができる。 3.基本的な韓国語の 4 技能の「聞く」「話す」「読む」「書く」能力を向上させる。 4.初級レベルの韓国語運用能力を身につける。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	宿題 30%、小テスト 20%、中間・期末試験 50%				
課題に対するフィードバック	宿題にはコメントを付けて返却する。 小テストを毎回返却し解説する。				
使用教材	李淑炫(2011)『チェミナ韓国語—自然に身につく会話と文法 韓国語初級テキスト』白帝社 ISBN-13:978-4891748593				
1	講義内容	授業概要、ハングルについて、第1課:母音			
	該当する到達目標	1	予習 テキストを用意し、12 頁～14 頁を読んでくる。韓国語のノートを用意する。	1 時間	
			復習 次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間	
2	講義内容	第2課:子音(平音と有声音)			
	該当する到達目標	1	予習 22 頁～25 頁を読んでくる。	1 時間	
			復習 次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間	
3	講義内容	第2課:子音(激音と濃音)			
	該当する到達目標	1	予習 26 頁～31 頁を読んでくる。	1 時間	
			復習 次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間	
4	講義内容	第3課:パッチム、パッチム 7 つの代表音			
	該当する到達目標	1	予習 32 頁～37 頁を読んでくる。	1 時間	
			復習 次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間	
5	講義内容	第4課:二重母音、名前を書く、まとめ			
	該当する到達目標	1	予習 38 頁～43 頁を読んでくる。	1 時間	
			復習 次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間	
6	講義内容	第5課:発音の変化、発音の基本、パッチム音の変化			
	該当する到達目標	1	予習 46 頁～54 頁を読んでくる。	1 時間	
			復習 次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間	
7	講義内容	第6課:主題を表す助詞「～は」、体言について、指定詞の丁寧な表現 I			
	該当する到達目標	1, 2, 3, 4	予習 56 頁～63 頁を読んでくる。	1 時間	
			復習 次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間	
8	講義内容	第7課:指示代名詞(これ・それ・あれ)、「～ではありません」			
	該当する到達目標		予習 64 頁～71 頁を読んでくる。	1 時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習しておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	第8課: 主語を表す助詞「～が」、「～と」、「いる/ある、ない/いない」について、まとめ		
	該当する到達目標	予習	72 頁～81 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習しておくこと。	1.5 時間
10	講義内容	第9課: 場所や位置を表す表現、数詞 I		
	該当する到達目標	予習	82 頁～91 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習しておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	第10課: 用言の丁寧形 I (改まった表現)、用言の否定形		
	該当する到達目標	予習	92 頁～97 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習しておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	第10課: 羅列の表現、場所を表す助詞、目的格を表す助詞、まとめ		
	該当する到達目標	予習	97 頁～101 頁を読んでくる。まとめ	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習しておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	第6課～10課、総合まとめ		
	該当する到達目標	予習	第 6 課から第 10 課まで読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	今まで勉強した内容をもう一度、確認して理解しておく。	1.5 時間
14	講義内容	第11課: 指定詞(丁寧な表現Ⅱ)逆接を表す表現数詞Ⅱ や時間の言い方		
	該当する到達目標	予習	102 頁～105 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習しておくこと。	1.5 時間
15	講義内容	第11課: 数詞Ⅱ や時間の言い方		
	該当する到達目標	予習	106 頁～111 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	数詞Ⅰ と数詞Ⅱ の使い分けや読み方を理解する。	1.5 時間
備考	<p>質問等がある場合は intgvseo21jp@gmail.com までに連絡すること。</p> <p>メールを送る際は「件名」に「高崎健康福祉大学ハングル語:名前」を必ず記入すること。</p> <p>毎回小テストを行う。必ず予習・復習を行うこと。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	コンピュータ入門 I (リテラシー)			LAL012	講義
担当教員	中山 和夫				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	本講義では、J 検 情報活用試験の 1 級～3 級レベルの内容の理解を目指す。 入門では特に、コンピュータの動作の本質、背景を理解するための基盤となる知識を習得する。				
到達目標	1.コンピュータにおける情報表現について説明できる。 2.問題解決技法について説明できる。 3.コンピュータの基本構成とその取り扱いについて説明できる。				
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 80%、課題等 20%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	解説を行う。				
使用教材	「改訂 2 版 J 検情報活用 1 級・2 級完全対策公式テキスト」日本能率協会マネジメントセンター ISBN 978-4-8207-4921-9				
1	講義内容	導入			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、成績評価法などを確認する。		1.5 時間
2	講義内容	データと情報			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 部 1-1 に目を通す。		1 時間
	1	復習	論理演算を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	コンピュータにおける情報の表現			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 部 1-2～1-3 に目を通す。		1 時間
	1	復習	基数変換、コード体系を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	問題を解決するための方法			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 部 2-1～2-2 に目を通す。		1 時間
	2	復習	問題発見の技法、問題分析の技法を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	情報を処理するための基礎的な手順			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 部 2-3 に目を通す。		1 時間
	2	復習	アルゴリズムを理解する。		1.5 時間
6	講義内容	情報の収集と発信			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 部 3-1～3-3 に目を通す。		1 時間
	2	復習	図解による情報分析を理解する。		1.5 時間
7	講義内容	コンピュータの種類と動作原理			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 1-1 に目を通す。		1 時間
	3	復習	コンピュータの種類と動作原理を理解する。		1.5 時間
8	講義内容	ハードディスク			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 1-2～1-3 に目を通す。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	3	復習	周辺機器の種類と役割を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	オペレーティングシステムの役割		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 2-1 に目を通す。	1 時間
	3	復習	オペレーティングシステムの基本的な機能を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	ファイルシステムの基礎知識		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 2-2 に目を通す。	1 時間
	3	復習	ファイルシステムについて理解する。	1.5 時間
11	講義内容	入力装置と出力装置		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 3-1 に目を通す。	1 時間
	3	復習	入出力装置の種類と役割について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	インタフェースとヒューマンインタフェース		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 3-2～3-3 に目を通す。	1 時間
	3	復習	入出力インタフェースの種類と役割, ヒューマンインタフェースの特徴について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	主記憶装置		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 3-4 に目を通す。	1 時間
	3	復習	主記憶装置を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	補助記憶装置		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 3-5～3-6 に目を通す。	1 時間
	3	復習	補助記憶装置の種類と役割について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	インターネットのサービス		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 1-1 に目を通す。	1 時間
	3	復習	インターネットでのサービスの種類とプロトコルを理解する。	1.5 時間
備考	<p>質問は授業中およびメールで受け付けます。</p> <p>メールアドレス「nakayama@elc.gunma-ct.ac.jp」</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	コンピュータ入門Ⅱ (リテラシー)			LAL013	講義
担当教員	中山 和夫				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	本講義では、J検情報活用試験の 1 級～3 級レベルの内容の理解を目指す。 入門Ⅱでは特に、コンピュータを活用していくために必要となる情報技術に関連した知識を習得する。				
到達目標	1.インターネットの利用や基礎的な仕組みについて説明できる。 2.情報ネットワーク社会で必要となるモラルやセキュリティについて説明できる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 80%、課題等 20%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	解説を行う。				
使用教材	「改訂 2 版 J 検情報活用 1 級・2 級完全対策公式テキスト」日本能率協会マネジメントセンター ISBN 978-4-8207-4921-9				
1	講義内容	インターネットの基礎			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 1-2 に目を通す。		1 時間
	1	復習	インターネットへの接続を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	IP アドレス			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 1-3 に目を通す。		1 時間
	1	復習	IP アドレスを理解する。		1.5 時間
3	講義内容	WWW・電子メールの利用			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 1-4～1-5 に目を通す。		1 時間
	1	復習	ホームページ閲覧の仕組み、メール送受信の仕組みを理解する。		1.5 時間
4	講義内容	HTML			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 1-6～1-7 に目を通す。		1 時間
	1	復習	マークアップ言語を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	インターネット技術の応用			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 1-8～2-1 に目を通す。		1 時間
	1	復習	イントラネットを理解する。		1.5 時間
6	講義内容	プロトコルと OSI 基本参照モデル			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 2-2 に目を通す。		1 時間
	1	復習	プロトコルを理解する。		1.5 時間
7	講義内容	LAN の基礎知識			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 2-3～2-6 に目を通す。		1 時間
	1	復習	LAN の接続形態、種類を理解する。		1.5 時間
8	講義内容	パソコンとネットワーク			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 2-7 に目を通す。		1 時間
	1	復習	LAN の種類とパソコンの役割を理解する。		1.5 時間
9	講義内容	LAN の構築			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 2-8に目を通す。	1 時間
	1	復習	小規模 LAN を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	無線 LAN の構築		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 2-9に目を通す。	1 時間
	1	復習	無線 LAN の特徴を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	情報通信技術の進展		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 部 1-1~1-2に目を通す。	1 時間
	2	復習	情報通信技術の現状を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	社会におけるコンピュータの利用		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 部 1-3~1-4に目を通す。	1 時間
	2	復習	コンピュータの利用状況を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	情報社会の問題点		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 部 2-1~2-3に目を通す。	1 時間
	2	復習	情報社会の問題点を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	情報モラルとネットワークセキュリティ		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 部 1-1~1-3に目を通す。	1 時間
	2	復習	コンピュータウイルス, 暗号化の仕組みを理解する。	1.5 時間
15	講義内容	コンピュータセキュリティ		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 部 2-1~2-3に目を通す。	1 時間
	2	復習	コンピュータの安全対策を理解する。	1.5 時間
備考	<p>質問は授業中およびメールで受け付けます。</p> <p>メールアドレス「nakayama@elc.gunma-ct.ac.jp」</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	コンピュータ実習 I (リテラシー)			LAL014	演習
担当教員	室賀 進也				
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	現在は ICT(情報通信技術)の時代といわれ、コンピュータ・インターネット・通信技術の進歩発展は目覚ましく、各種職業分野はもちろん、一般家庭でも利用することが当たり前になっている。このような状況の中で、ICTを活用する能力の重要性はますます高くなっている。この現状と将来のために、ICTの基本的知識と技術を習得し、情報化社会で活用できる能力を養う。				
到達目標	1.タッチタイピングができる。 2.ワープロソフトで文書作成の基礎技術が習得できる。 3.ワープロソフトで実務的文書(ビジネス文書、連絡・報告書、新聞、広告など)の作成ができる。 4.簡易描画ツール使って CG を描くことができる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	課題(約 20 題)提出 70%、提出課題の出来具合 30%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	提出された課題は毎回チェックし、間違っているところ・適切でないところを指摘し、その理由と合わせて次回に知らせるので、修正して再提出する。				
使用教材	「30 時間でマスターoffice2010」(実教出版) 演習問題(8 題)をプリント(同時にコンピュータ内フォルダにも提示)して配布する。				
1	講義内容	本校メールシステムの利用法			
	該当する到達目標	予習	自分の ID、パスワードを確認しておくこと。		0.5 時間
	1	復習	メールの作成・送信、本校発信の各種情報・伝達事項の受信方法を習得する。		0.5 時間
2	講義内容	オリエンテーション及び本校コンピュータシステムの使用法			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義目標・到達目標などを理解する。		0.5 時間
	1	復習	ファイルの作成・保存・提出方法を理解する。		0.5 時間
3	講義内容	ワープロソフト Word による練習問題(4 題)			
	該当する到達目標	予習	教科書第 3 章 34～53 ページに目を通しておく。		0.5 時間
	1,2	復習	タッチタイピングの習熟。文字入力の基本(左寄せ入力)を理解習得する。		0.5 時間
4	講義内容	Word による基礎的文書の作成① 基本的文書の構成(教科書例題 1, 2)			
	該当する到達目標	予習	教科書第 3 章 55～63 ページに目を通す。		0.5 時間
	1,2	復習	ページ設定、文字の拡大・縮小・修飾などを理解習得する。		0.5 時間
5	講義内容	Word による基礎的文書の作成② 表の活用(教科書例題 3, 4)			
	該当する到達目標	予習	教科書第 3 章 65～78 ページに目を通しておく。		0.5 時間
	1,2	復習	表の挿入・文字入力・編集などを理解習得する。		0.5 時間
6	講義内容	Word による基礎的文書の作成③ 画像の活用(教科書例題 5, 6)			
	該当する到達目標	予習	教科書第 3 章 79～91 ページに目を通しておく。		0.5 時間
	1,2	復習	画像(ワードアート・クリップアート・図形)の挿入方法を理解習得する。		0.5 時間
7	講義内容	Word による基礎的文書の作成④ 基礎総合(教科書例題 7)			
	該当する到達目標	予習	教科書第 3 章 93～95 ページに目を通しておく。		0.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2	復習	文章作成のポイントや効果的な書式設定(レイアウト)を理解する。	0.5 時間
8	講義内容	Word による実務的文書の作成① 演習問題1		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布する演習問題1に目を通しておく。	0.5 時間
	1,3	復習	箇条書き、表の挿入、図の貼り付け方などを理解習得する。	0.5 時間
9	講義内容	Word による実務的文書の作成② 演習問題2		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布する演習問題2に目を通しておく。	0.5 時間
	1,3	復習	縦書き文書、縦段組み文書などの作成方法を理解習得する。	0.5 時間
10	講義内容	Word による実務的文書の作成③ 演習問題3		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布する演習問題3に目を通しておく。	0.5 時間
	1,3	復習	文書の一部を横段組みにする方法、ドロップキャップなどを理解習得する。	0.5 時間
11	講義内容	Word による実務的文書の作成④ 演習問題4		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布する演習問題4に目を通しておく。	0.5 時間
	1,3	復習	地図の描き方、左・右タブ設定方法などを理解習得する。	0.5 時間
12	講義内容	Word による実務的文書の作成⑤ 演習問題5		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布する演習問題5に目を通しておく。	0.5 時間
	1,3	復習	写真の貼り付け・トリミング方法などを理解習得する。	0.5 時間
13	講義内容	Word による実務的文書の作成⑥ 演習問題6		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布する演習問題6に目を通しておく。	0.5 時間
	1,3	復習	ビジネス文書(社内、社外)の形式について理解する。	0.5 時間
14	講義内容	Word 図形ツール機能を使ったアート技法① 演習問題7(花鳥画の作成)		
	該当する到達目標	予習	参照フォルダ内に記載されている「花鳥画の描き方」に目を通しておく。	0.5 時間
	1,4	復習	図形ツール(オートシェイプ)を使ったアート技法を習得する。	1 時間
15	講義内容	Word 図形ツール機能を使ったアート技法② 演習問題8(人物画の作成)		
	該当する到達目標	予習	参照フォルダ内に記載されている「人物画の描き方」に目を通しておく。	0.5 時間
	1,4	復習	図形ツール(オートシェイプ)を使ったアート技法を習得する。	1 時間
備考	<p>課題の提出が遅れる場合は、コンピュータ室や自宅のパソコンを積極的に活用して仕上げること。 最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	コンピュータ実習Ⅱ(リテラシー)			LAL015	演習
担当教員	室賀 進也				
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	現在は ICT(情報通信技術)の時代といわれ、コンピュータ・インターネット・通信技術の進歩発展は目覚ましく、各種職業分野はもちろん、一般家庭でも利用することが当たり前になっている。このような状況の中で、ICTを活用する能力の重要性はますます高くなっている。この現状と将来のために、ICTの基本的知識と技術を習得し、情報化社会で活用できる能力を養う。				
到達目標	1.表計算ソフトで表計算処理の基礎技術が習得できる。 2.表計算ソフトで実用的(会計処理、統計計算、成績処理など)な表計算処理ができる。 3.プレゼンテーションソフトで効果的・説得的なプレゼンテーション資料を作成することができる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	課題(約 20 題)提出 70%、提出課題の出来具合 30%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	提出された課題は毎回チェックし、間違っているところ・適切でないところを指摘し、その理由と合わせて次週に知らせるので、修正して再提出する。				
使用教材	「30 時間でマスターoffice2010」(実教出版) 演習問題(8 題)をプリントして配布する。				
1	講義内容	オリエンテーション、「我が国のインターネット利用状況」の調査・レポート作成			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。	0.5 時間	
	1	復習	指定された調査項目を Web などで調べまとめる。	0.5 時間	
2	講義内容	表計算ソフト Excel による表計算の基礎① 教科書例題 1、2、3の作成			
	該当する到達目標	予習	教科書 4 章 96~119 ページに目を通しておく。	0.5 時間	
	1	復習	ワークシート、縦横合計計算方法、オートフィル、罫線などを理解習得する。	0.5 時間	
3	講義内容	Excel による表計算の基礎② 教科書例題 4、5、6の作成			
	該当する到達目標	予習	教科書 4 章 120~147 ページに目を通しておく。	0.5 時間	
	1	復習	関数(SUM,AVERAGE,MAX,MIN, IF など)の使い方を理解習得する。	0.5 時間	
4	講義内容	Excel による表計算の基礎③ 教科書例題 7、8、9の作成			
	該当する到達目標	予習	教科書 4 章 148~157 ページに目を通しておく。	0.5 時間	
	1	復習	条件判定・複合条件判定の方法を理解習得する。	0.5 時間	
5	講義内容	Excel による表計算の基礎④ 教科書例題 10、11、12の作成			
	該当する到達目標	予習	教科書 4 章 168~173 ページに目を通しておく。	0.5 時間	
	1	復習	順位付け(RANK)、相対参照、絶対参照などを理解習得する。	0.5 時間	
6	講義内容	Excel による表計算の応用① 演習問題 1、2の作成			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布する演習問題 1、2に目を通しておく。	時間	
	2	復習	割合の求め方、絶対参照、棒グラフ・円グラフの描き方などを理解習得する。	0.5 時間	
7	講義内容	Excel による表計算の応用② 演習問題 3、4の作成			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布する演習問題 3、4に目を通しておく。	0.5 時間	
	2	復習	率の求め方、通貨表示、折れ線・ドーナツグラフの描き方などを理解習得する。	0.5 時間	
8	講義内容	Excel による表計算の応用③ 演習問題 5、6の作成			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布する演習問題5、6に目を通しておく。	0.5 時間
	2	復習	関数 COUNTIF、複合条件判定などについて理解習得する。	0.5 時間
9	講義内容	Excel による表計算の応用④ 演習問題7の作成		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布する演習問題7に目を通しておく。	0.5 時間
	2	復習	成績一覧表作成に必要な様式・計算方法などを理解習得する。	0.5 時間
10	講義内容	Excel による表計算の応用⑤ 演習問題8の作成		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布する演習問題8に目を通しておく。	0.5 時間
	2	復習	Excel ワークシートのセルのマス目を利用した地図の描き方を習得する。	0.5 時間
11	講義内容	プレゼンテーションソフト Power Point による資料作成 基礎① 教科書例題作成		
	該当する到達目標	予習	教科書 5 章 190~218 ページに目を通しておく。	0.5 時間
	2	復習	スライドのレイアウト、文字修飾、アニメーションを理解習得する。	0.5 時間
12	講義内容	Power Point による資料作成 基礎② 教科書例題作成続き		
	該当する到達目標	予習	教科書 5 章 219~236 ページに目を通しておく。	0.5 時間
	3	復習	図の挿入(CR-ROM の使い方)、Excel グラフの貼り付け方を理解習得する。	0.5 時間
13	講義内容	Power Point による資料作成 応用① 自由テーマで資料作成		
	該当する到達目標	予習	教科書 5 章 243 ページを参考に、作成テーマを考え構想を練っておく。	0.5 時間
	3	復習	時間外にコンピュータ室や自宅パソコンを利用して進める。	0.5 時間
14	講義内容	Power Point による資料作成 応用② 自由テーマで資料作成続き		
	該当する到達目標	予習	ハイパーリンクについて、ヘルプなどで調べておく。	0.5 時間
	3	復習	時間外にコンピュータ室や自宅パソコンを利用して進める。	1 時間
15	講義内容	Power Point による資料作成 応用③ 自由テーマで資料作成続き		
	該当する到達目標	予習	教科書 5 章 240~241 ページに目を通し、まとめる時の参考にする。	0.5 時間
	3	復習	時間外にコンピュータ室や自宅パソコンを利用して進める。	1 時間
備考	<p>課題の提出が遅れる場合は、コンピュータ室や自宅のパソコンを積極的に活用して仕上げること。</p> <p>最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。</p> <p>質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。</p>			

科目名	世界の社会福祉発達史(専門教養科目)			LSH001	講義
担当教員	戸澤 由美恵				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	今日、様々な人が社会福祉を必要としている。社会福祉が、その国の中でどのように発展してきたのか、各国の歴史的経緯を踏まえて、現状を理解する。				
到達目標	1.視聴覚教材や配布資料等を参考に、その国の歴史や文化、人々の生活のイメージがもてる 2.歴史的文化的背景を踏まえた、その国の社会福祉制度の発達を理解できる 3.各国の人々の生活と社会福祉の現状を知り、自国や自身の生活との共通点・相違点等を考えることができる				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	1.期末試験で 80%。 2.提出物(授業時間内に実施するミニレポートやリアクションペーパー)等で 20% 3.試験は自筆ノートのみ持ち込み可とする。自筆ノートの作り方は、初回のオリエンテーションで説明する。 4.自筆ノートの条件を満たしていないものは、持ち込みを不可とする。 5.再試験は、試験のみで 100 点とし、60 点以上を可とする。				
課題に対する フィードバック	各国につき 1 回、ミニレポートの記載を実施する。必要に応じて、全体への追加説明やコメント等を行う。				
使用教材	教科書は指定しない。 授業時に資料を配布する。該当する国の学習回が終わるまで資料を持参すること。 その他、参考文献等を随時紹介する。				
	講義内容	オリエンテーション			
1	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで、授業内容や講義の目標などを理解する		0.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容、到達目標、評価方法などを確認し、全体像を把握する		1 時間
	講義内容	アジアの社会福祉-マレーシア① マレーシアの歴史や文化をイメージする			
2	該当する到達目標	予習	インターネットや世界史(高校)の教科書・資料を調べ、マレーシアを知る		1 時間
	1	復習	配布資料や映像を元に、マレーシアの新たな側面を確認しノートを整理する		1 時間
	講義内容	アジアの社会福祉-マレーシア② マレーシアの社会福祉の考え方を理解する			
3	該当する到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する		1 時間
	1,2	復習	配布資料全てを読み、歴史的文化的背景をふまえたマレーシアの社会福祉観を知る		1 時間
	講義内容	アジアの社会福祉-マレーシア③ マレーシアの福祉の現状を知る			
4	該当する到達目標	予習	配布資料をノートに整理し、マレーシアの社会福祉観を理解する		1 時間
	2,3	復習	マレーシアの社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ		1 時間
	講義内容	西欧の社会福祉-英国① 英国の歴史や文化をイメージする			
5	該当する到達目標	予習	インターネットや世界史(高校)の教科書・資料を調べ、英国を知る		1 時間
	1	復習	配布資料や映像を元に、英国の新たな側面を確認・整理する		1 時間
	講義内容	西欧の社会福祉-英国② 英国の社会福祉の考え方を理解する			
6	該当する到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する		1 時間
	1,2	復習	配布資料全てを読み、歴史的文化的背景をふまえた英国の社会福祉観を知る		1 時間
7	講義内容	西欧の社会福祉-英国③ 英国の福祉の現状を知る			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	配布資料をノートに整理し、英国の社会福祉観を理解する	1 時間
	2,3	復習	英国の社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1 時間
8	講義内容	前半のまとめ		
	該当する到達目標	予習	マレーシア・英国のノート作成を通し、不明な点を確認しておく	1.5 時間
	1,2,3	復習	二国の特徴を理解し、自分なりの感想や意見をもつ	1.5 時間
9	講義内容	北米の社会福祉—アメリカ合衆国① アメリカ合衆国の歴史や文化をイメージする		
	該当する到達目標	予習	インターネットや世界史(高校)の教科書・資料を調べ、アメリカ合衆国を知る	1 時間
	1	復習	配布資料や映像を元に、アメリカ合衆国の新たな側面を確認・整理する	1 時間
10	講義内容	北米の社会福祉—アメリカ合衆国② アメリカ合衆国の福祉の考え方を理解する		
	該当する到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する	1 時間
	1,2	復習	配布資料全てを読み、歴史的文化的背景をふまえたアメリカ合衆国の社会福祉観を知る	1 時間
11	講義内容	北米の社会福祉—アメリカ合衆国③ アメリカ合衆国の福祉の現状を知る		
	該当する到達目標	予習	配布資料をノートに整理し、アメリカ合衆国の社会福祉観を理解する	1 時間
	2,3	復習	アメリカ合衆国の社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1 時間
12	講義内容	北欧の社会福祉—スウェーデン① スウェーデンの歴史や文化をイメージする		
	該当する到達目標	予習	インターネットや世界史(高校)の教科書・資料を調べスウェーデンを知る	1 時間
	1	復習	配布資料や映像を元に、スウェーデンの新たな一面を確認・整理する	1 時間
13	講義内容	北欧の社会福祉—スウェーデン② スウェーデンの福祉の考え方を理解する		
	該当する到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する	1 時間
	1,2	復習	配布資料全てを読み、歴史的文化的背景をふまえたスウェーデンの社会福祉観を知る	1 時間
14	講義内容	北欧の社会福祉—スウェーデン③ スウェーデンの福祉の現状を知る		
	該当する到達目標	予習	配布資料をノートに整理し、スウェーデンの社会福祉観を理解する	1 時間
	2,3	復習	スウェーデンの社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	アメリカ合衆国・スウェーデンのノート整理を通し、不明な点を確認しておく	1.5 時間
	1,2,3	復習	二国の特徴を理解し、自分なりの感想や意見をもつ。四カ国の学びを元に、日本の社会福祉について自分なりの意見をもつ	1.5 時間
備考	<p>予習は、日頃から新聞を読み、ニュースや映画を見るなどして海外情勢や文化などに興味を持つようにしましょう。</p> <p>復習は、配布資料や紹介された文献・映画等を視聴し、試験前にも行い、不足時間を補うようにしましょう。</p> <p>不明な点、疑問点、連絡事項がある場合は、まずはメールで連絡し、訪室してください。</p> <p>メールアドレス: 初回授業時に配布する詳細シラバスに記載</p> <p>オフィスパワー: 水曜2限</p>			

科目名	国際保健医療論(専門教養科目)			LSH002	講義
担当教員	望月経子、李孟蓉				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	世界における健康格差の実態を知り、医療従事者として世界平和・全人類の繁栄と福祉を願いつつ国際協力の必要性と意義を理解し、国際保健医療の活動の場を地球的視野で認識できる。また保健医療分野での国際協力の理論と実際を学びながら、国際協力に必要な知識や方法を習得できる。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.国際保健医療協力の概念を理解する。 2.保健医療分野での国際協力の必要性と意義を理解する。 3.世界の健康問題がわかり、それらに対する国際的戦略および課題を理解する。 4.異文化を理解し、異文化適応のプロセスを理解する。 5.国際保健医療協力の実践手法を理解する。 6.在留外国人への健康支援を考察する。 				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	レポート課題 70%、授業参加度 30%				
課題に対する フィードバック	レポートはコメントを付けて返却する。 レポートの中でみられた疑問や課題を授業の中で再確認する。				
使用教材	配布資料				
1	講義内容	国際保健医療協力の概念			
	該当する到達目標	予習	国際保健医療協力に関する新聞・雑誌などの記事を読む。		1.5 時間
	1	復習	国際協力の定義、世界や国内の国際協力の歴史を理解する。		1 時間
2	講義内容	保健医療関連の国際機関の取り組みと日本の国際協力			
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	WHO、UNICEF、UN、UNFPA の活動を理解する。ODA の活動を理解する。		1 時間
3	講義内容	世界の保健医療事情			
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。		1.5 時間
	1,2,3	復習	世界で起きている健康問題と支援の必要性を理解する。		1 時間
4	講義内容	世界における健康の格差			
	該当する到達目標	予習	世界で生じている健康格差について情報を集め、その原因を考える。		1.5 時間
	1,2,3	復習	健康格差の実態とその原因を理解する。		1 時間
5	講義内容	発展途上国における疾病構造			
	該当する到達目標	予習	日本における疾病構造について学ぶ。		1.5 時間
	1,2,3	復習	発展途上国の保健医療課題とその原因を理解する。		1 時間
6	講義内容	事例検討			
	該当する到達目標	予習	健康格差と保健医療課題につきその関係性を整理する。		1.5 時間
	1,2,3	復習	事例検討で学んだ健康格差と保健医療課題の関係性やその支援を理解する。		1 時間
7	講義内容	国際協力でのアセスメント①「地理・社会・教育」			
	該当する到達目標	予習	サンライズモデルについて学習する。		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	3,4	復習	サンライズモデルを用いた「地理・社会・教育」のアセスメントの実際を理解する。	1 時間
8	講義内容	国際協力でのアセスメント②「文化・宗教」		
	該当する到達目標	予習	サンライズモデルについて学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	サンライズモデルを用いた「文化・宗教」のアセスメントの実際を理解する。	1 時間
9	講義内容	国際保健医療協力における世界の潮流		
	該当する到達目標	予習	世界で行われてる国際保健医療協力を調べる。	1.5 時間
	3,4,5	復習	国際協力として行われている支援について、目的、活動内容を理解する。	1 時間
10	講義内容	プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション		
	該当する到達目標	予習	「ヘルスプロモーション」和田雅史 (著), 聖学院大学出版会の第 1~2 章を読む。	1.5 時間
	1,2,3	復習	世界の歴史の中でのプライマリーヘルスケアとヘルスプロモーションの変遷と基本理念を理解する。	1 時間
11	講義内容	グローバルヘルスの展望と課題		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	今起きている世界的な健康問題とその解決に向けて何が必要なのか、またミレミアム開発目標を整理する。	1 時間
12	講義内容	問題解決手法: Project Cycle Management		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する Project Cycle Management の資料に目を通す。	1.5 時間
	4,5	復習	Project Cycle Management の手法を用いて紙面上で活動が展開できる。	1 時間
13	講義内容	国際協力の実際(対象国での協働)		
	該当する到達目標	予習	世界で行われている国際協力を調べる。(ODA)	1.5 時間
	4,5	復習	国際協力の実際(開始までのステップ、支援手法、評価)を理解する。	1 時間
14	講義内容	在留外国人と多文化共生		
	該当する到達目標	予習	群馬県内の在留外国人について調べる。(人口、居住地域、生活など)	1.5 時間
	6	復習	在留外国人が抱えている健康問題と支援を理解する。	1 時間
15	講義内容	異文化コミュニケーション		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。	1.5 時間
	4,5,6	復習	異文化の中で行われるコミュニケーションの実際とその課題を理解する。	1 時間
備考	<p>オフィスアワー: 水曜日の 3 限、質問はメールでも対応する。</p> <p>メールアドレス: mochizuki@taakasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 3 号館 2 階 209</p> <p>講義の中でグループワークなどを取り入れていきます。積極的に参加し自分の意見を述べること。</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	世界の歴史と日本(専門教養科目)			LSH003	講義
担当教員	山本 麻子				
学年・開講期	2年 後期	必選・単位数	選択 2単位		
講義目標	多様化し複雑になっている現代社会において仕事をしたり人間関係を築いていくためには、異なる価値観の存在を認識し異文化への理解を深めることは重要だ。本講座では、イギリスの場合をケーススタディとし特定のテーマについて、どのような背景・原因があったか、どのような過程をたどり、どのような結果に至り、どのように現代に影響しているかを考察する。必要に応じてイギリス以外の国々にも言及したり日本の諸側面と比較する。				
到達目標	1.テーマについての知識を深め、理解を深めることができる。 2.先人たちの努力や業績を認識することができる。 3.日本の該当する箇所と比較考察することができる。 4.毎回の授業を通して、物事を多角的に考え、日常生活に応用することのできる能力を発展させられる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	レポートが50%、予習、復習の実践・授業中の態度等々が50%。				
課題に対する フィードバック	予習復習を含め質問等には、できる限りフィードバックを与える。				
使用教材	特定な教材は使用しないが、必要に応じて資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス:授業の進め方のイントロ、「歴史とは何か」について			
	該当する到達目標	予習	講座選択の理由、「歴史とは何か」について数項目を書いてくる		1時間
	1,2,3	復習	授業で扱った例について質問、コメントを考えてくる		1.5時間
2	講義内容	イギリスの最近の話題から			
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる		1時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く		1.5時間
3	講義内容	イギリスの教育1:多文化環境での学校;実践例			
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる		1時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く		1.5時間
4	講義内容	イギリスの教育2: 学習の方法、内容等での日英の比較を含める			
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる		1時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く		1.5時間
5	講義内容	産業革命1: 背景と経過			
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる		1時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く		1.5時間
6	講義内容	産業革命2: 影響と問題			
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる		1時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く		1.5時間
7	講義内容	女性の地位1: 婦人参政権運動の背景と経過			
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる		1時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く		1.5時間
8	講義内容	女性の地位2: 経過の続きと結果等々			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
9	講義内容	英語の歴史1:英語の歴史は英国の歴史(前半)		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
10	講義内容	英語の歴史2:英語の歴史は英国の歴史(続き)		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
11	講義内容	シェイクスピアの時代の前後1:スペインの無敵艦隊(背景)		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
12	講義内容	これまでの復習等、レポートの書き方等		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,4	復習	レポートの題材、構成を書く	1.5 時間
13	講義内容	シェイクスピアの時代の前後2:シェイクスピアについて、背景、グローブ座、その周辺等々		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
14	講義内容	マグナカルタ等について:意義と背景、影響		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	2,3,4	復習		
備考	質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。 最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。			

科目名	人間行動学(専門教養科目)			LSH004	講義
担当教員	上原 徹・服部 卓				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	学生が、行動科学の基礎と応用を学ぶことで、臨床や対人支援の場面におけるクライアントの行動や、支援者である自らの行動との相互作用を理解することができる。				
到達目標	1.医療などの対人支援における基本的姿勢を身につける 2.ケアを受ける人の心理や行動を理解できる 3.適切な対人的交流のための知識と技術が説明できる 4.他職種と機能的に連携する視点を持てる 5.行動科学や心理学の初級知識を解説できる				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	レポートを 80%とし、授業中の態度を 20%程度参考にして総合評価する。授業態度(静肅さ、不必要な私語、真摯な姿勢など)に問題がある場合は、個別に厳しく減点する。				
課題に対する フィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。				
使用教材	福村出版「行動科学への招待[改訂版] 現代心理学のアプローチ」を教科書として用いるので必携。DVD 教材を用いた授業も加える。				
1	講義内容	青年期の心理と性格			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		0.5 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。		1 時間
2	講義内容	対人行動			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		1 時間
	1,2	復習	ノートを読むこと。		1 時間
3	講義内容	集 団			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		1 時間
	2,3,4	復習	ノートを読むこと。		1 時間
4	講義内容	異文化と自己			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。		1 時間
5	講義内容	ヒューマンファクター——労働の心理学			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		1 時間
	1,5	復習	ノートを読むこと。		1 時間
6	講義内容	きずなの発達			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		1 時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。		1 時間
7	講義内容	自己の形成と発達			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		1 時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	医療における人間関係		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関する部分を読むこと。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートを読むこと。	1 時間
9	講義内容	健康		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関する部分を読むこと。	1 時間
	1,2,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
10	講義内容	学習と学習支援		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
11	講義内容	知覚		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
12	講義内容	記憶		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
13	講義内容	思考		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
14	講義内容	疲労・メンタルヘルスと現代の職場		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関する部分を読むこと。	1 時間
	4,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
15	講義内容	音楽と脳・まとめ		
	該当する到達目標	予習	ノートを読むこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	教科書の講義に関する部分を読むこと。	1 時間
備考	複数の学科学生が多数で聴講し、非常勤講師もお迎えするので、静粛に臨むこと。授業中の不必要な私語や不謹慎な態度は、厳に慎むこと(成績評価に影響する)。予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。オフィスアワーや連絡先は、主任講師の上原がオリエンテーション時に案内する。			

科目名	健康運動実技(専門教養科目)			LSH005	演習
担当教員	大家 千枝子				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標	健康の保持増進のための運動の実践力育成と体力の向上を図る。そして生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質と能力を身につけるための入り口・一助となることを目標とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動に対する欲求や運動が好きであることを感じることができる。 2. 運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。 3. 公正・協力・責任・参画・勇気などに対する意欲をもつことができる。 4. 仲間や教員と積極的にコミュニケーションを図ることができる。 5. 健康・安全を確保して、スポーツライフを継続するための工夫や仕組みを創造することができる。 				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業ごとの取り組みの評価点 65%、レポート 20%、記録(提出物・コメント)15%				
課題に対するフィードバック	毎回の授業後に授業記録カードの提出を求める。授業記録カードに付したコメントやスタンプは必ずチェックすること。また最終日には、授業で学んだことの整理・確認テスト・目標到達度の確認(ルーブリックにて自己評価)を行う。				
使用教材	プリント適宜配布。参考文献適宜紹介。				
1	講義内容	ガイダンス・履修者からの需要調査			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで講義目標などを理解する。要配慮の場合は事前に申し出る。		0.5 時間
	3,4,5	復習	到達目標、学位記授与方針、成績評価方法などを確認する。		0.5 時間
2	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。		0.5 時間
3	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。		0.5 時間
4	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。		0.5 時間
5	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。		0.5 時間
6	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。		0.5 時間
7	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。		0.5 時間
8	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
9	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
10	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
11	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
12	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
13	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
14	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまで授業で学んだこと、自身の授業態度を振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	目標達成度の確認。今後どのように運動・スポーツを継続できるか検討する。	0.5 時間
備考	<p>オフィスアワー…火曜日 12:00～14:30、1 号館(健康福祉学部)3 階、302 研究室 3 階エレベータ前にポスト有。</p> <p>●履修者数によって選択種目の変動します。到達目標の達成に向けて柔軟に対応できることが履修条件です。</p> <p>受講上の注意</p> <p>1 運動に適したスポーツウエア(ジャージ、T シャツなど)とシューズ(屋内外別)を着用すること(ジーンズや普段着での受講は不可)。また怪我防止の観点から、時計、指輪ブレスレット、ネックレス、ピアスなどの貴金属類は身につけていないこと。2 原則として見学は認めません。また実技授業をすすめるうえで配慮を必要とする学生は初回のガイダンス当日までに担当教員へ申し出ること。3 貴重品の管理は各自で行うこと。4 授業で使用する用具は基本的に大学側で用意しますが、個人所有の用具は積極的に持参してください。5 施設変更することがあります。教務課掲示板やポータルサイトで確認してください。</p>			

科目名	宗教と倫理(専門教養科目)			LSH006	講義
担当教員	出雲 春明				
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	東西の代表的な宗教・倫理思想に触れることで、世の多様な価値観への理解を養うことを目的とする。また、それによって自己の在り方に対する客観的・批判的な視座を養う。				
到達目標	1.講義で取り扱った諸宗教・倫理思想の基本について説明することができる。 2.そして、それを自己理解、他者理解に役立てることができる。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業への参加と小レポート(30%)、期末レポート(70%)から評価する。				
課題に対する フィードバック	毎回、授業終了時に意見や質問などを提出してもらう(小レポート)。質問に関しては次回授業時に解説の時間を設ける。有意義な意見に関しても紹介の時間を設ける。				
使用教材	講義中に資料を配布する。				
	講義内容	ガイダンス			
1	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標、到達目標、評価方法などについて確認しておく。		1 時間
	1	復習	これからの講義内容の大枠について確認しておく。		1.5 時間
	講義内容	『聖書』の思想:一神教の系譜			
2	該当する到達目標	予習	一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)それぞれの関係について調べておく。		1 時間
	1, 2	復習	ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、それぞれの特徴について確認しておく。		1.5 時間
	講義内容	善人とは何か—『旧約聖書』(『ヨブ記』)より(1)「契約」について			
3	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』の概略について調べておく。		1 時間
	1, 2	復習	「旧約」、「新約」とは何か、「応報主義」とは何か理解する。		1.5 時間
	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(2)生誕の災い			
4	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』のプロローグを読んでおく。		1 時間
	1, 2	復習	ヨブ記、ギリシア神話、仏教などにおけるペシミスティックな人間観を理解する。		1.5 時間
	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(3)自己の在り方を省みる			
5	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』の登場人物の関係性について考えておく。		1 時間
	1, 2	復習	自己と他者の間にある鏡像的な相互関係について理解する。		1.5 時間
	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(4)現代の事例から考える			
6	該当する到達目標	予習	ヨブと彼の友人たちの議論を確認しておく。		1 時間
	1, 2	復習	自己批判の欠如がもたらす事態について歴史的的事件を通じて理解する。		1.5 時間
	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(5)「懺悔」ということ			
7	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』エピローグを読んでおく。		1 時間
	1, 2	復習	聖書の思想における「懺悔」の位置づけについて理解する。		1.5 時間
	講義内容	旧約から新約へ:イエスの教え			
8	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』をめぐる議論について確認しておく。		1 時間
	1, 2	復習	イエスの教えが登場してくる背景とその意義について理解する。		1.5 時間
	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(1)『歎異抄』について			
9	該当する到達目標	予習	『歎異抄』とはどんな書か調べておく。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1	復習	『歎異抄』第三条の特異性について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(2)罪の意識		
	該当する到達目標	予習	『歎異抄』第三条に関する様々な見解を確認しておく。	1 時間
	1	復習	親鸞の内面を支配していた深い罪の意識を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(3)浄土思想の展開(1)		
	該当する到達目標	予習	親鸞の師である法然が登場してきた時代背景について調べておく。	1 時間
	1, 2	復習	当時の人々の心に去来していた思いについて理解する。	1.5 時間
12	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(4)浄土思想の展開(2)		
	該当する到達目標	予習	親鸞の生涯について調べておく。	1 時間
	1, 2	復習	親鸞の罪の意識の由来について理解し、自らに引きつけて考える。	1.5 時間
13	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(5)「悪人正機説」		
	該当する到達目標	予習	これまでの議論について確認しておく。	1 時間
	1, 2	復習	『歎異抄』第三条の悪人正機説の意味を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(6)悪の不可避性とそれゆえの無力		
	該当する到達目標	予習	親鸞における悪について自らに引きつけて考えておく。	1 時間
	1, 2	復習	我々が気づかず捕らわれている自己中心的な考え方について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	総括—東西の宗教		
	該当する到達目標	予習	聖書の思想と浄土思想の核心部分について確認しておく。	1 時間
	1, 2	復習	東西の宗教、倫理思想の共通点について理解する。	1.5 時間
備考	<p>なるべく平易な表現を用いて講義を行う。シラバスを参考にして、講義中に取り扱う書物や人物についてあらかじめ調べておくことが望ましい。また、配付された資料を読むなど復習は必ず行うこと。「宗教」は「非日常的なもの」として敬遠されることも多い。しかし、だからこそ、そこで語られる教えや物語は、しばしば漠然と過ごされている私たちの日常を省みる絶好の機会を提供してくれる。自分が普段、どのような判断や行動をしているか常に考えつつ、講義に臨んでほしい。なお、最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。</p> <p>参考図書: 関根正雄(訳)『旧約聖書 ヨブ記』、岩波文庫、1971 年。 金子大栄『歎異抄』、岩波文庫、改版、1981 年。</p> <p>オフィスアワー: 質問などがある者は、授業の前後、非常勤講師控え室で対応する。</p>			

科目名	レクリエーション論(専門教養科目)			LSH007	演習
担当教員	大家 千枝子				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	人びとの「心を元気にする」ための手助けができるレクリエーション支援の強み(専門性)を理解する。支援の目的とそれを達成するための方法の裏付けとなる人の心の仕組みを学ぶ。(※履修者が教員から一方的にレクリエーション支援を受けて楽しむ授業ではない。)				
到達目標	1.レクリエーション支援の目的と手段を理解している。 2.レクリエーション活動の楽しさが心を元気にすることを理解している。 3.コミュニケーションの促進がレクリエーション支援の基盤であると理解している。 4.授業の性質やグループ内での個人の役割を理解し、行動することができる。 5.必要な資料や情報を収集して意見をまとめ、期日を守って提出できる(C-learning での回答を含む)。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	グループワークでの活発な議論・活動への貢献度 30%、授業での課題 35%、レポート 35% (※ 履修期間中、学内外のレク支援に自ら関わった場合は所定用紙提出で「課題」点に加点。)				
課題に対する フィードバック	自分以外の履修者による課題や感想、評価を知ることが学生相互の刺激になるため、C-learning やコメントシートを使ってフィードバックする。また授業期間中における紙媒体の提出課題は、適宜返却を予定している。ただし最終課題は返却する予定はないので、開示を希望するものは本人が直接申し出ること。				
使用教材	「楽しさをとおした心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」、公益財団法人日本レクリエーション協会、1,800 円+税 ISBN978-4-931180-95-6				
1	講義内容	ガイダンス、さまざまな現場でのレク支援について理解を深める(視聴覚教材使用)			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。		1.5 時間
2	講義内容	レクリエーション概論(レクリエーションの主旨と手段を理解する)			
	該当する到達目標	予習	テキスト第1章に目をおす。		1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。		1.5 時間
3	講義内容	楽しさと心の元気づくりの理論(楽しさをとおした心の元気づくりを理解する)			
	該当する到達目標	予習	テキスト第2章に目をおす。		1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。		1.5 時間
4	講義内容	楽しさと心の元気づくりの理論(楽しさをとおした心の元気づくりを理解する)			
	該当する到達目標	予習	テキスト第2章に目をおす。		1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。		1.5 時間
5	講義内容	レクリエーション支援の理論 (コミュニケーションと信頼関係づくりの理論)			
	該当する到達目標	予習	テキスト第3章に目をおす。		1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。		1.5 時間
6	講義内容	レクリエーション支援の理論 (良好な集団づくりの理論)			
	該当する到達目標	予習	テキスト第3章に目をおす。		1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。		1.5 時間
7	講義内容	レクリエーション支援の理論 (自主的、主体的に楽しむ力を高める理論)			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	テキスト第3章に目をおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
8	講義内容	レクリエーション支援の方法（ホスピタリティの体験的理解 その1）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
9	講義内容	レクリエーション支援の方法（ホスピタリティの体験的理解 その2）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
10	講義内容	レクリエーション支援の方法（アイスブレイキング・モデルの体験）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
11	講義内容	レクリエーション支援の方法（アイスブレイキングのプログラムを体験する）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
12	講義内容	レクリエーション支援の方法（ハードル設定の習得）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
13	講義内容	レクリエーション支援の方法（アレンジ方法の習得）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
14	講義内容	レクリエーション支援の方法（CSS プロセスの習得）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
15	講義内容	安全管理の方法		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー…火曜日 12:00～14:30、1号館(健康福祉学部)、3F、302 研究室、3Fエレベータ前ポスト有。 受講上の注意…①積極的に C-learning を活用するため、スマホ所有やネット環境が整っていることが望ましい (※整っていない場合は大学 PC 室などを利用してください)。</p>			

科目名	生物学(専門導入科目)			HNI111	講義
担当教員	下川 哲昭				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	現代生物学の基礎的事項について専門教育を受ける前に必要な生物学的知識を解説する。ただしヒトにおける食品・栄養学を履修する事を前提にヒトの生物学につながる事項を中心に講義を行う。生命現象の基本原理である「発生」「遺伝」「細胞」「筋収縮機構」「骨代謝」等の理解を深めることを目標とする。				
到達目標	1.ヒトにおける生物としての普遍的なシステムと特徴について正確に理解することができる。 2.資料を基に各々の生命現象の物質的・機能的側面を統合し他人に説明することができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期(筆記)試験 100%で評価する。60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	定期試験後に出題の意図と試験結果を掲示する。				
使用教材	教科書:解剖生理学テキスト(第1版)、多久和典子著、南山堂、3200円+税。講義のスライドをて適宜プリントとして配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、イントロダクション、生物学とは?			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、講義の構成を理解する。		1.5 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、成績評価法などを確認する。		1.5 時間
2	講義内容	人体の基本構造 1: 人体外観			
	該当する到達目標	予習	教科書 P1-P9 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	ヒトの体の概要について覚える。		1.5 時間
3	講義内容	人体の基本構造 2: 細胞			
	該当する到達目標	予習	教科書 P10-P17 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	細胞の基本構造と細胞分裂について覚える		1.5 時間
4	講義内容	人体の基本構造 3: 組織			
	該当する到達目標	予習	教科書 P18-P20 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	組織: 上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織を覚える。		1.5 時間
5	講義内容	人体の基本構造 4: 体液とホメオスタシス			
	該当する到達目標	予習	教科書 P21-P23 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	細胞外液と内液、ホメオスタシスについて覚える。		1.5 時間
6	講義内容	運動器系 1: 骨格			
	該当する到達目標	予習	教科書 P229-P235 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	骨の構造と代謝を覚える。		1.5 時間
7	講義内容	運動器系 2: 骨格筋			
	該当する到達目標	予習	教科書 P238-P242 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	骨格筋の概要と収縮の仕組みについて覚える。		1.5 時間
8	講義内容	運動器系 3: 体幹の骨格			
	該当する到達目標	予習	教科書 P243-P244 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	脊柱、胸郭の骨について覚える。		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

9	講義内容	運動器系 4: 体幹の筋		
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書 P245-P248 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	体幹の筋について部位別に覚える。	1.5 時間
10	講義内容	運動器系 5: 上肢の骨格		
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書 P249 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	上肢の骨格と関節を覚える。	1.5 時間
11	講義内容	運動器系 6: 上肢の筋		
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書 P250-P252 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	上肢の筋とその運動について覚える。	1.5 時間
12	講義内容	運動器系 7: 下肢の骨格		
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書 P252-P254 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	下肢の骨格と関節を覚える。	1.5 時間
13	講義内容	運動器系 8: 下肢の筋		
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書 P255-P257 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	下肢の筋とその運動について覚える。	1.5 時間
14	講義内容	運動器系 9: 頭部の骨格		
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書 P257-P259 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	脳頭蓋と顔面頭蓋について覚える。	1.5 時間
15	講義内容	運動器系 10: 頭部の筋		
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書 P260-P261 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	頭部・顔面の筋(特に咀嚼筋)と頸部の筋について覚える。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日 研究室: 1 号館 3 階・311、6 号館 1 階・栄養生理学研究室 メールアドレス: shimokawa-n@takasaki-u.ac.jp			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	化学(専門導入科目)			HNI112	講義
担当教員	永井 俊匡				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	生命現象の多くは化学的な知識で説明できる。本科目では化学の基礎(物理化学・無機化学)を学び、食品学・栄養学を理解するために必要な化学的知識を修得することを目標とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.原子と分子の構造について、化学的に説明できる。 2.物質量の概念を用いて、量的計算ができる。 3.中和反応、酸化還元反応について、説明できる。 4.発熱反応と吸熱反応について、説明できる。 5.各種反応について、反応物の名称から反応式を記述できる。 6.濃度計算ができる。 				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 80%、平常点 20%				
課題に対するフィードバック	期末試験は、解説と合わせて答案を返却するので、復習すること。				
使用教材	「化学の視点—健康へのアプローチ」山倉文幸・大森大二郎・馬場猛・著、東京教学社 2016 年、2,300 円。 基本的にテキストに沿って授業を進める。補足の必要な内容については、適宜プリントを配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、問題演習			
	該当する到達目標	予習	高校の化学の教科書・参考書をおさらいしておく。		1.5 時間
	1	復習	演習した問題を復習する。		1 時間
2	講義内容	原子・分子・イオン			
	該当する到達目標	予習	教科書 1-1~1-7 の図表を書き写し、確認問題を解く。		1.5 時間
	1	復習	教科書 1-1~1-7 の発展問題を解く。		1 時間
3	講義内容	原子量・分子量、物質量			
	該当する到達目標	予習	教科書 1-8~1-9 の図表を書き写し、確認問題を解く。		1.5 時間
	2	復習	教科書 1-8~1-9 の発展問題を解く。		1 時間
4	講義内容	原子量・分子量、物質量(演習)			
	該当する到達目標	予習	配布した演習問題を解く。		1.5 時間
	2	復習	配布した演習問題を復習する。		1 時間
5	講義内容	気体			
	該当する到達目標	予習	教科書 3-1~3-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。		1.5 時間
	1	復習	教科書 3-1~3-4 の発展問題を解く。		1 時間
6	講義内容	溶液			
	該当する到達目標	予習	教科書 3-5, 3-7~3-9 の図表を書き写し、確認問題を解く。		1.5 時間
	1	復習	教科書 3-5, 3-7~3-9 の発展問題を解く。		1 時間
7	講義内容	溶液の濃度			
	該当する到達目標	予習	教科書 3-6 の図表を書き写し、確認問題を解く。		1.5 時間
	2, 6	復習	配布した演習問題を解く。 配布した演習問題を復習する。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	酸と塩基、pH		
	該当する到達目標	予習	教科書 4-1～4-3 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
	3, 5	復習	教科書 4-1～4-3 の発展問題を解く。	1 時間
9	講義内容	中和反応		
	該当する到達目標	予習	教科書 4-4～4-6 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
	3, 5	復習	教科書 4-4～4-6 の発展問題を解く。	1 時間
10	講義内容	酸と塩基、pH、中和反応(演習)		
	該当する到達目標	予習	配布した演習問題を解く。	1.5 時間
	2, 3, 5, 6	復習	配布した演習問題を復習する。	1 時間
11	講義内容	反応速度		
	該当する到達目標	予習	教科書 5-1, 5-2 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
	4	復習	教科書 5-1, 5-2 の発展問題を解く。	1 時間
12	講義内容	化学平衡		
	該当する到達目標	予習	教科書 5-3, 5-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
	4	復習	教科書 5-3, 5-4 の発展問題を解く。	1 時間
13	講義内容	化学反応とエネルギー		
	該当する到達目標	予習	教科書 6-1～6-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
	4, 5	復習	教科書 6-1～6-4 の発展問題を解く。	1 時間
14	講義内容	酸化還元反応		
	該当する到達目標	予習	教科書 7-1～7-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
	3, 5	復習	教科書 7-1～7-4 の発展問題を解く。	1 時間
15	講義内容	酸化還元反応(演習)		
	該当する到達目標	予習	配布した演習問題を解く。	1.5 時間
	2, 3, 5, 6	復習	配布した演習問題を復習する。	1 時間
備考	<p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p> <p>キーワード: 原子と分子、物質質量、中和、酸化還元、濃度。</p> <p>オフィスアワー: 月曜 5 限。1 号館 504 研究室または 1 号館 4F 栄養学研究室に常駐しているので、メールで連絡をもらえれば、それ以外の時間も柔軟に対応する。</p> <p>メールアドレス: tnagai@takasaki-u.ac.jp</p>			

科目名	有機化学 I (専門導入科目)			HNI113	講義
担当教員	永井 俊匡				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	食品学・栄養学の基礎となる有機化学について、基礎知識を修得することを目標とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な有機化合物について、構造式から IUPAC 名または慣用名を導ける。 2. 基本的な有機化合物について、IUPAC 名または慣用名から構造式を描ける。 3. 簡単な分子式から、考えられる異性体をすべて導ける。 4. 各種の有機化合物について、化学的な性質を説明できる。 5. 各種の有機化合物について、主要な反応の反応式を書ける 				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 80%、平常点 20%				
課題に対する フィードバック	期末試験は、解説と合わせて答案を返却するので、復習すること。				
使用教材	「化学の視点—健康へのアプローチ」山倉文幸・大森大二郎・馬場猛・著、東京化学社 2016 年、2,300 円。 基本的にテキストに沿って授業を進める。補足の必要な内容については、適宜プリントを配布する。				
1	講義内容	化学結合			
	該当する到達目標	予習	教科書 2-1, 2-2, 2-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。		1.5 時間
	4	復習	配布した演習問題を解く。		1 時間
2	講義内容	極性、分子間力			
	該当する到達目標	予習	教科書 2-5, 2-6 の図表を書き写し、確認問題を解く。		1.5 時間
	4	復習	教科書 2-5, 2-6 の発展問題を解く。		1 時間
3	講義内容	アルカン			
	該当する到達目標	予習	教科書 8-1, 8-2 の図表を書き写し、確認問題を解く。		1.5 時間
	1, 2, 4, 5	復習	教科書 8-1, 8-2 の発展問題を解く。		1 時間
4	講義内容	アルケン・アルキン、環式化合物			
	該当する到達目標	予習	教科書 8-3, 8-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。		1.5 時間
	1, 2, 4, 5	復習	教科書 8-3, 8-4 の発展問題を解く。		1 時間
5	講義内容	化合物の命名法(演習)			
	該当する到達目標	予習	配布した演習問題を解く。		1.5 時間
	1, 2	復習	配布した演習問題を復習する。		1 時間
6	講義内容	芳香族化合物			
	該当する到達目標	予習	教科書 8-5 の図表を書き写す。		1.5 時間
	1, 2, 4, 5	復習	配布した演習問題を解く。		1 時間
7	講義内容	アルコール			
	該当する到達目標	予習	教科書 9-1 の図表を書き写し、確認問題を解く。		1.5 時間
	1, 2, 4, 5	復習	教科書 9-1 の発展問題を解く。		1 時間
8	講義内容	アルデヒド・ケトン			
	該当する到達目標	予習	教科書 9-2 の図表を書き写し、確認問題を解く。		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1, 2, 4, 5	復習	配布した演習問題を解く。	1 時間
9	講義内容	カルボン酸		
	該当する到達目標	予習	教科書 9-3 (1)~(3)の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
	1, 2, 4, 5	復習	配布した演習問題を解く。	1 時間
10	講義内容	エステル・エーテル		
	該当する到達目標	予習	教科書 9-4, 9-5 の図表を書き写す。	1.5 時間
	1, 2, 4, 5	復習	教科書 9-4, 9-5 の発展問題を解く。	1 時間
11	講義内容	アミン・アミド		
	該当する到達目標	予習	教科書 10-1~10-3 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
	1, 2, 4, 5	復習	教科書 10-1~10-3 の発展問題を解く。	1 時間
12	講義内容	構造異性体		
	該当する到達目標	予習	配布した演習問題を解く。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	配布した演習問題を復習する。	1 時間
13	講義内容	立体異性体		
	該当する到達目標	予習	教科書 9-3 (4), (5)の図表を書き写す。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	配布した演習問題を解く。	1 時間
14	講義内容	異性体(演習)		
	該当する到達目標	予習	配布した演習問題を解く。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	配布した演習問題を復習する。	1 時間
15	講義内容	まとめ講義・問題演習		
	該当する到達目標	予習	配布した演習問題を解く。	1.5 時間
	1-5	復習	配布した演習問題を復習する。	1 時間
備考	<p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p> <p>キーワード:炭化水素、アルコール、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、エステル、アミン、アミド。</p> <p>オフィスアワー:月曜5限。1号館504研究室または1号館4F栄養学研究室に常駐しているので、メールで連絡をもらえれば、それ以外の時間も柔軟に対応する。</p> <p>メールアドレス:tnagai@takasaki-u.ac.jp</p>			

科目名	有機化学Ⅱ(専門導入科目)			HNI114	講義
担当教員	永井 俊匡				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	1.生命を構成する化合物の性質・役割を、有機化学の知識を用いて理解することを目標とする。 2.有機化学と生化学の中間領域を学ぶことで、より専門的な栄養学を学ぶ準備をすることを目標とする。				
到達目標	1.糖質の構造的特徴を説明できる。 2.二糖類・多糖類の結合様式を説明できる。 3.単純脂質の性質を説明できる。 4.タンパク質の構造を説明できる。 5.タンパク質合成に使われる 20 種類のアミノ酸の構造式が描ける。 6.DNA・RNA の構造を説明できる				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 100%				
課題に対する フィードバック	期末試験は、解説と合わせて答案を返却するので、復習すること。				
使用教材	「化学の視点—健康へのアプローチ」山倉文幸・大森大二郎・馬場猛・著、東京化学社 2016 年、2,300 円。 基本的にテキストに沿って授業を進める。補足の必要な内容については、適宜プリントを配布する。				
1	講義内容	単糖類			
	該当する到達目標	予習	教科書 11-1, 11-2 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間	
	1	復習	教科書 11-1, 11-2 の発展問題を解く。	1 時間	
2	講義内容	二糖類			
	該当する到達目標	予習	教科書 11-3 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間	
	2	復習	教科書 11-3 の発展問題を解く。	1 時間	
3	講義内容	多糖類			
	該当する到達目標	予習	教科書 11-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間	
	2	復習	教科書 11-4 の発展問題を解く。	1 時間	
4	講義内容	単純脂質			
	該当する到達目標	予習	教科書 12-1, 12-2 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間	
	3	復習	教科書 12-1, 12-2 の発展問題を解く。	1 時間	
5	講義内容	複合脂質			
	該当する到達目標	予習	教科書 12-3 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間	
	3	復習	配布した演習問題を解く。	1 時間	
6	講義内容	誘導脂質			
	該当する到達目標	予習	教科書 12-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間	
	3	復習	配布した演習問題を解く。	1 時間	
7	講義内容	アミノ酸			
	該当する到達目標	予習	教科書 13-1 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間	
	5	復習	教科書 13-1 の発展問題を解く。	1 時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	ペプチド	
	該当する到達目標	予習	教科書 13-2 の図表を書き写し、確認問題を解く。
	4	復習	配布した演習問題を解く。
	1.5 時間		
9	講義内容	タンパク質	
	該当する到達目標	予習	教科書 13-3 の図表を書き写し、確認問題を解く。
	4	復習	教科書 13-3 の発展問題を解く。
	1.5 時間		
10	講義内容	DNA	
	該当する到達目標	予習	教科書 14-1, 14-2, 14-4 (1)の図表を書き写し、確認問題を解く。
	6	復習	教科書 14-1, 14-2, 14-4 (1)の発展問題を解く。
	1.5 時間		
11	講義内容	RNA	
	該当する到達目標	予習	教科書 14-3, 14-4 (2)の図表を書き写し、確認問題を解く。
	6	復習	配布した演習問題を解く。
	1.5 時間		
12	講義内容	遺伝情報の発現	
	該当する到達目標	予習	教科書 14-4 (3), (4)の図表を書き写し、確認問題を解く。
	6	復習	配布した演習問題を復習する。
	1.5 時間		
13	講義内容	ビタミン	
	該当する到達目標	予習	配布した図表を書き写す。
	3, 4	復習	配布した演習問題を解く。
	1.5 時間		
14	講義内容	代謝	
	該当する到達目標	予習	教科書 11-5, 11-6, 12-5 の図表を書き写し、確認問題を解く。
	1,2,3,4	復習	配布した演習問題を復習する。
	1.5 時間		
15	講義内容	まとめ講義・問題演習	
	該当する到達目標	予習	配布した演習問題を解く。
	1,2,3,4,5,6	復習	配布した演習問題を復習する。
	1.5 時間		
備考	<p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p> <p>キーワード:炭化水素、アルコール、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、エステル、アミン、アミド。</p> <p>受講資格:「有機化学 I」を履修済みであることが望ましい。</p> <p>オフィスアワー:月曜 5 限。1 号館 504 研究室または 1 号館 4F 栄養学研究室に常駐しているので、メールで連絡をもらえれば、それ以外の時間も柔軟に対応する。</p> <p>メールアドレス:tnagai@takasaki-u.ac.jp</p>		

科目名	管理栄養士実践入門(専門導入科目)		HNI115	講義
担当教員	木村典代・村松芳多子・神戸美恵子・五十嵐美絵・竹内真理・内田薫			
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	必修 2単位	
講義目標	<p>栄養学、管理栄養士の歴史を学び、社会における管理栄養士の使命や役割および活動分野の理解を通して管理栄養士を目指す気持ちを育むことを目的とする。</p> <p>専門科目を学ぶ前の管理栄養士を目指す動機づけとした学修を行う。</p> <p>関連する教員がオムニバスで行う。</p>			
到達目標	<p>1. 日常の生活の中で、食べ物、人間のからだの働きへの関心を深める。</p> <p>2. 自分の食生活を振り返り、より良い食生活を実践する力を身につける。</p> <p>3. 栄養学、栄養士活動の歴史を理解する。</p> <p>4. 管理栄養士の使命、役割を医療、行政、学校などの分野別に説明できる。</p> <p>5. 管理栄養士養成の方法を理解する。</p>			
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理		
	✓	専門的知識		
	✓	問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力		
	✓	コミュニケーション能力		
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	授業態度 30%、各担当教員が行う確認テスト・レポートなどの課題 70%			
課題に対するフィードバック	<p>実習中の課題は、授業中に解説を行う。</p> <p>確認テストは解答を掲示する。</p>			
使用教材	<p>担当教員作成のプリント、ライフコーダ</p> <p>「日本人の食事摂取基準 2015 年版」 菱田明、佐々木敏監修(第一出版)</p> <p>ISBN978-4-8041-1312-8</p> <p>日本食品標準成分表 2015 年版(七訂) 文部科学省科学技術・学術審議会資源調査分科会報告</p> <p>ISBN978-4-86458-118-9</p>			
1	講義内容	オリエンテーション、グループ分け		
	該当する到達目標 3,5	予習	シラバスを読んで講義の目標などを確認しておく。	0.5 時間
		復習	管理栄養士が働いている場所、内容を調べておく。	1.5 時間
2	講義内容	栄養学、栄養士の歴史		
	該当する到達目標 3	予習	栄養士のルーツを調べておく。	1 時間
		復習	栄養士・管理栄養士の歴史をまとめる。	1 時間
3	講義内容	食をめぐる最近の話題と生活の中の「食」を考える		
	該当する到達目標 1	予習	栄養・食生活の最近の話題をみつける。	1 時間
		復習	重要な話題を掘り下げ、まとめる。	2 時間
4	講義内容	自分の生活(身体活動)を知る。(ライフコーダの使用)		
	該当する到達目標 2	予習	運動不足が原因となる疾病には何があるかを考えてくる。	0.5 時間
		復習	自分の身体活動状況を調査する。	1 時間
5	講義内容	自分の食事を知る I (日本食品標準成分表・日本人の食事摂取基準)		
	該当する到達目標 2	予習	日本人の食事摂取基準 2015 年版」総論(p. 1~44)を読む。	0.5 時間
		復習	【課題】2 日間の食事を秤量及び目視による記録と、簡易自記式食事履歴質問票の記入を行う。	1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	化学関連①単位の接頭語・有効数字		
	該当する到達目標	予習	SI 接頭語や有効数字の定義を調べておく。	0.5 時間
	1	復習	単位と接頭語の組み合わせや有効数字の使い方を理解する。	1 時間
7	講義内容	自分の食事を知るⅡ(日本食品標準成分表・日本人の食事摂取基準)		
	該当する到達目標	予習	食事調査法の違いを整理する。(p. 22~25, オリジナル資料 p. 24~25, 34~37)	0.5 時間
	2	復習	【課題】1 日目の食事調査記録の栄養計算を行う。	1.5 時間
8	講義内容	化学関連②物質質量		
	該当する到達目標	予習	物質質量とモル濃度の関係を確認する。	1 時間
	1	復習	試薬調製の計算について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	グループワーク(自分の生活を振り返る)		
	該当する到達目標	予習	調査した身体活動状況からエネルギー消費量を求める。	2 時間
	1,2	復習	自分の身体活動の特徴をまとめ考察する。	1 時間
10	講義内容	化学関連③カ価		
	該当する到達目標	予習	カ価とは何か調べておく。	0.5 時間
	1	復習	真の濃度、実験器具の精度について理解する。	1 時間
11	講義内容	自分の食事を知るⅢ(日本食品標準成分表・日本人の食事摂取基準)		
	該当する到達目標	予習	「日本食品標準成分表 2015 年版」第 1 章説明(p. 1~33)を読む。	0.5 時間
	1	復習	【課題】2 日目の食事調査記録の栄養計算と、集計を行う。	1.5 時間
12	講義内容	栄養士の使命と役割1(医療施設・高齢者施設で働く管理栄養士)		
	該当する到達目標	予習	医療施設、高齢者施設の概要、特徴を調べておく。	1 時間
	4	復習	施設で働く管理栄養士の声を聴き、使命、役割をまとめ提出する。	1.5 時間
13	講義内容	管理栄養士の職業倫理		
	該当する到達目標	予習	職業倫理とは何か調べておく	1 時間
	3	復習	講義内容についての質問項目に答え、提出する。	1.5 時間
14	講義内容	化学関連④パーセント濃度		
	該当する到達目標	予習	百分率、密度について確認する。	1 時間
	1	復習	調味%について理解する。	1 時間
15	講義内容	栄養士の使命と役割2(学校・保育所・事業所等で働く管理栄養士)		
	該当する到達目標	予習	学校、保育所、事業所施設の概要、特徴を調べておく。	1 時間
	4	復習	施設で働く管理栄養士の声を聴き、使命、役割をまとめ提出する。	1.5 時間
16	講義内容	栄養士の使命と役割3(保健所・市町村等行政で働く管理栄養士)		
	該当する到達目標	予習	保健所、市町村保健センター施設の概要、特徴を調べておく。	1 時間
	4	復習	施設で働く管理栄養士の声を聴き、使命、役割をまとめ提出する	1.5 時間
17	講義内容	管理栄養士養成に必要なカリキュラム／実験・実習の心得		
	該当する到達目標	予習	履修ガイドを読んでおく。	1 時間
	5	復習	今後の自分の履修方針を考える。	1 時間
18	講義内容	栄養士の使命と役割4(スポーツ栄養等新しい分野で働く管理栄養士)		
	該当する到達目標	予習	管理栄養士が働く新しい分野にはどんな仕事があるか調べておく。	1 時間
	4	復習	これからの管理栄養士どのような分野で働くことができるかを考えて提出する。	1.5 時間
19	講義内容	化学関連⑤含有率、含有量		
	該当する到達目標	予習	含有率、塩分濃度について調べておく。	0.5 時間
	1	復習	汁物中の塩分含有率や試薬中の特定物質の含有量について理解する。	1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

20	講義内容	グループワーク(自分の食生活を振り返る)テーマディスカッション		
	該当する到達目標 2	予習	【講義参加の条件課題】2 日間の食事調査の栄養計算と集計等が終了していること。	1.5 時間
		復習	【課題】「まとめ 自分の食生活を振り返る」の記載と提出	0.5 時間
21	講義内容	化学関連⑥溶液の希釈		
	該当する到達目標 1	予習	パーセント濃度やモル濃度について確認する。	1 時間
		復習	試薬調製における希釈について理解する。	1.5 時間
22	講義内容	グループワーク、確認テスト(実践入門振り返り)		
	該当する到達目標 1,2	予習	今までに配布されたプリントを読んで、学習しておく。	3 時間
		復習	レポートに備え準備する。	1 時間
23	講義内容	化学関連⑦確認テスト		
	該当する到達目標 1	予習	①～⑥の配布プリントをよく見直し、学習する。	4 時間
		復習	他教科で活用できるように、内容を整理する。	1.5 時間
24	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
25	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
26	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
27	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
28	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
29	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
30	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	<p>オフィスアワー:</p> <p>五十嵐美絵:木曜日の 5 時限(1 号館 3 階 305 研究室) メールアドレス:igarashi@takasaki-u.ac.jp 《身体活動調査、身体活動について》</p> <p>木村典代:水曜日の 5 時限(1 号館 3 階 301 研究室) 授業がある日は事前連絡をくれれば、17:00 まで対応 メールアドレス:kimura@takasaki-u.ac.jp 《食事調査、栄養管理等について》</p> <p>村松芳多子:講義のある曜日の午後(3～5 時限)(1 号館 4 階 404 研究室) 相談・質問がある場合は予めアポイントメントを取る。 メールアドレス:muramatsu@takasaki-u.ac.jp</p> <p>平日の予習・復習時間の不足分は、土日祝日等に必ず補うこと。課題は、記載の平日時間だけでは終了できません。</p>			

<化学関連について>

内田薫:水曜日 5,6 限(1 号館 3 階 301 セミナー室) メールアドレス:uchida-k@takasaki-u.ac.jp

科目名	管理栄養士基礎実習(専門導入科目)		HNI116	実習
担当教員	河原田 律子			
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	選択 1単位	
講義目標	1 年生前期の段階で、管理栄養士がどのような場(病院、福祉施設、学校など)でどのように活躍しているのかを見学・体験することを目的としている。3 年次以降の「臨地実習 I ~IV」がスムーズに行えるようにする。			
到達目標	1.管理栄養士という専門職に求められるニーズ(どのような技術や知識)を説明できる。 2.現場体験を踏まえて、専門科目への学習意欲を高めることができる。 3.専門職に就くための意識を高めることができる。			
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理		
	✓	専門的知識		
	✓	問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力		
	✓	コミュニケーション能力		
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	実習態度や取り組み等 50%、課題レポート 30%、実習ノート 20%、巡回指導教員からの報告なども含め総合的に評価する。			
課題に対するフィードバック	実習ノートを提出期限内に提出した学生には、授業担当者からのコメントを付して返却する。実習報告会に向けて作成した資料は資料集として当日配布を予定している。			
使用教材	実習ノート(実習前に配布)・配布資料			
講義内容	<p>学内(実習前学修)</p> <p>(実習は夏季休業中に行うので、前期のあいている時間に事前学習を行う)</p> <p>1)実習の目的(身につけたいことは何か)</p> <p>2)実習先の選定(実習先の概要)</p> <p>3)実習現場におけるマナー</p> <p>4)実習計画書の作成</p> <p>実習体験 (5か所の実習先に1日9時間通い、上記の到達目標に向けて実習を受講する)</p> <p>1)管理栄養士の役割</p> <p>2)管理栄養士の業務内容</p> <p>3)管理栄養士のニーズ</p> <p>4)管理栄養士の資質</p> <p>学内(実習後学修)</p> <p>1)実習ノートの作成</p> <p>2)実習の反省と改善</p>			
	予習	実習先の特徴を調べ、どのような対象者に対する施設かを知り、何を学びたいか考える。		2 時間
	復習	実習内容の復習、実習ノートの作成・提出。		2 時間
備考	<p>オフィスアワー:水曜日 5 時限</p> <p>メールアドレス: nasu@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 406 研究室(4 階 臨床栄養研究室)</p> <p>予習復習時間の不足分は、各自補完すること。</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	栄養情報処理論(専門基幹科目)			HNB211	講義
担当教員	渡辺由美				
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	栄養学の専門領域および関連領域の情報を収集し、収集した情報を評価する能力を習得する。また調査・研究等で得られたデータを適切な統計学的手法を用いて分析し、正しい評価ができるような知識と技術を修得することを目標とする。				
到達目標	1.データの特性を考えた適切な集計方法や統計処理方法を選択できる。 2.課題解決に向けた目標を設定し、研究計画を立てることができる。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%で評価する。 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。				
使用教材	教科書はないが、講義に必要な資料は、毎回印刷し配布する。				
1	講義内容	栄養情報処理とは			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解しておくこと。		0.5 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べること。		1.5 時間
2	講義内容	統計の基礎(1) データの種類			
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。		1 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。		1.5 時間
3	講義内容	統計の基礎(2) データの表示方法			
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。		1 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。		1.5 時間
4	講義内容	統計の基礎(3) 代表値			
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。		1 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。		1.5 時間
5	講義内容	統計の基礎(4) 散布度			
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。		1 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。		1.5 時間
6	講義内容	統計の基礎(5) データの分布			
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。		1 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。		1.5 時間
7	講義内容	統計の基礎(6) クロス集計			
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。		1 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。		1.5 時間
8	講義内容	統計の基礎(7) 平均値の推定			
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。		1 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。		1.5 時間
9	講義内容	統計の基礎(8) 比率の推定			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

1	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解しておくこと。	1 時間
		復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。	1.5 時間
講義内容 統計の基礎(9) 仮説検定の考え方				
10	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解しておくこと。	1 時間
		復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。	1.5 時間
講義内容 調査の進め方				
11	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解しておくこと。	1 時間
	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。	1.5 時間
講義内容 調査対象の選定				
12	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解しておくこと。	1 時間
	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。	1.5 時間
講義内容 調査票の作成				
13	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解しておくこと。	1 時間
	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。	1.5 時間
講義内容 食事調査				
14	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解しておくこと。	1 時間
	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べること。	1.5 時間
講義内容 健康情報の信頼性				
15	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解しておくこと。	1 時間
	1,2	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べること。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日の 5 時限、質問はメールでも受け付ける。</p> <p>メールアドレス: wyumi@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 1 号館 3 階 304</p> <p>予習・復習の不足分については、試験前の学習等で各自補完すること。</p>			

科目名	栄養情報処理実習(専門基幹科目)			HNB212	実習
担当教員	渡辺由美				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	コンピュータを用いて、栄養学分野のデータの扱い方、集計方法、解析方法等について学び、データを客観的に比較・検討するための知識と技術を修得し、栄養情報を正しく有効に活用する能力を身につけることを目標とする。				
到達目標	1. 授業で取り上げた専門用語の説明ができる。 2. コンピュータを用いて、データの整理、集計、グラフ化ができる。 3. コンピュータを用いて、基本的な統計処理、解析ができる。 4. コンピュータを用いて、プレゼンテーションのための資料を作成できる。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 90%、課題 10%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	授業中に提出した課題については、次回の授業で解説する。				
使用教材	教科書はないが、講義に必要な資料は、毎回印刷し配布する。				
	講義内容	オリエンテーション			
1	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。		0.5 時間
	1	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。		1 時間
	講義内容	データの種類と基礎統計量			
2	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。		0.5 時間
	1	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。		1 時間
	講義内容	データの整理・集計(1) 論理関数			
3	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。		0.5 時間
	1,2	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。		1 時間
	講義内容	データの整理・集計(2) ピボットテーブル			
4	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。		0.5 時間
	1,2	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。		1 時間
	講義内容	統計グラフの作成			
5	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。		0.5 時間
	1,2	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。		1 時間
	講義内容	統計分析(1) 母平均の差の検定、分散分析			
6	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。		0.5 時間
	1,3	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。		1 時間
	講義内容	統計分析(2) 相関分析、回帰分析			
7	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。		0.5 時間
	1,3	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。		1 時間
8	講義内容	統計分析(3) 区間推定			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。	0.5 時間
	1,3	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	1 時間
9	講義内容	差し込み印刷の応用		
	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。	0.5 時間
	1,2	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	1 時間
10	講義内容	「栄養計算ソフト」の活用		
	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。	0.5 時間
	1,2	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	1 時間
11	講義内容	プレゼンテーション資料の作成(1)		
	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。	0.5 時間
	1,4	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	1 時間
12	講義内容	プレゼンテーション資料の作成(2)		
	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。	0.5 時間
	1,4	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	1 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	<p>オフィスパワー:水曜日の 5 時限、質問はメールでも受け付ける。</p> <p>メールアドレス:wiyumi@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室:1 号館 3 階 304</p> <p>コンピュータ実習Ⅱ(1 年生・後期)を履修していることが望ましい。</p> <p>予習・復習の不足分については、試験前の学習等で各自補完すること。</p>			

科目名	公衆衛生学 I (専門基幹科目)		HNB213	講義
担当教員	渡辺由美			
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 2 単位	
講義目標	公衆衛生学は人間集団を対象として、疾病の予防、健康の維持・増進、福祉の向上を図り、QOLの向上に寄与することを目的とした学問である。本講義では、社会的要因が健康に及ぼす影響を理解し、現代社会における健康問題と対策について学ぶ。また、健康状態とその規定要因を評価し、健康の維持・増進や疾病予防に役立てるための知識や考え方や方法論を学習することを目標とする。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.健康の概念と社会との関わりについて説明できる。 2.健康の現状と問題について説明できる。 3.健康状態や疾病の測定と評価ができる。 4.生活習慣と主要疾患の現状と対策について説明できる。 5.健康に関わる社会制度と保健対策について説明できる。 			
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理		
	✓	専門的知識		
	✓	問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力		
		コミュニケーション能力		
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	定期試験(筆記試験)100%で評価する。 60%以上を合格とする。			
課題に対するフィードバック	定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。			
使用教材	講義に必要な資料は、適宜印刷し配布する。			
1	講義内容	公衆衛生学概論		
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解しておくこと。	0.5 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
2	講義内容	人口静態・動態統計		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1 時間
	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
3	講義内容	死亡統計と傷病統計		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1 時間
	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
4	講義内容	疫学(1) 疫学の概念と歴史		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
5	講義内容	疫学(2) 疫学指標		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
6	講義内容	疫学(3) 研究デザイン		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
7	講義内容	疫学(4) スクリーニング		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
8	講義内容	生活習慣の現状と対策		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1 時間
	4	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
9	講義内容	主要疾病の疫学と予防対策		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1 時間
	4	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
10	講義内容	母子保健		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1 時間
	5	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
11	講義内容	学校保健		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1 時間
	5	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
12	講義内容	感染症の予防と対策		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1 時間
	5	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
13	講義内容	精神保健		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1 時間
	5	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
14	講義内容	歯科保健		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1 時間
	5	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
15	講義内容	国際保健		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1 時間
	5	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日の 5 時限、質問はメールでも受け付ける。</p> <p>メールアドレス: wiyumi@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 1 号館 3 階 304</p> <p>日頃から、新聞やテレビが報じる公衆衛生に関する情報に関心を持つことにより、授業の理解が深まる。</p> <p>予習・復習の不足分については、試験前の学習などで各自補完すること。</p>			

科目名	公衆衛生学Ⅱ(専門基幹科目)			HNB214	講義
担当教員	渡辺由美				
学年・開講期	3年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	公衆衛生学は人間集団を対象として、疾病の予防、健康の維持・増進、福祉の向上を図り、QOLの向上に寄与することを目的とした学問である。本講義では、人々の健康の維持・増進と環境の関わりを理解するために必要な知識を修得し、健康に関わる社会制度、労働者の保健対策について理解することを目標とする。				
到達目標	1.人間を取り巻く環境要因と健康障害について説明できる。 2.労働者の健康の現状と問題および産業保健対策について説明できる。 3.わが国における社会保障制度の仕組みについて説明ができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%で評価する。 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。				
使用教材	教科書:「社会・環境と健康」古野純典、辻一郎、吉池信男編集(南江堂) 講義に必要な資料は、適宜印刷し配布する。				
1	講義内容	生態系と人々の生活			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章の関連分野に目を通す。	1 時間	
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間	
2	講義内容	環境汚染と健康影響			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章の関連分野に目を通す。	1 時間	
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間	
3	講義内容	環境衛生(1) 気候・大気・圧力・温度			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章の関連分野に目を通す。	1 時間	
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間	
4	講義内容	環境衛生(2) 騒音・放射線・住居環境			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章の関連分野に目を通す。	1 時間	
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間	
5	講義内容	産業保健(1) 産業保健の目的			
	該当する到達目標	予習	教科書の第12章の関連分野に目を通す。	1 時間	
	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間	
6	講義内容	産業保健(2) 労働衛生管理			
	該当する到達目標	予習	教科書の第12章の関連分野に目を通す。	1 時間	
	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間	
7	講義内容	産業保健(3) 職業病			
	該当する到達目標	予習	教科書の第12章の関連分野に目を通す。	1 時間	
	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間	
8	講義内容	社会保障制度			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章の関連分野に目を通す。	1 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
9	講義内容	医療制度(1) 医療保険制度		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章の関連分野に目を通す。	1 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
10	講義内容	医療制度(2) 国民医療費		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章の関連分野に目を通す。	1 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
11	講義内容	介護保険制度(1) 介護保険制度の概要		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章の関連分野に目を通す。	1 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
12	講義内容	介護保険制度(2) 介護保険サービス		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章の関連分野に目を通す。	1 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
13	講義内容	高齢者福祉		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章の関連分野に目を通す。	1 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
14	講義内容	高齢者保健		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章の関連分野に目を通す。	1 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
15	講義内容	衛生関係法規のまとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書の関連分野に目を通す。	1 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 火曜日の 5 時限、質問はメールでも受け付ける。</p> <p>メールアドレス: wiyumi@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 1 号館 3 階 304</p> <p>日頃から、新聞やテレビが報じる公衆衛生に関する情報に関心を持つことにより、授業の理解が深まる。</p> <p>予習・復習の不足分については、試験前の学習などで各自補完すること。</p>			

科目名	解剖生理学 I (専門基幹科目)			HNB221	講義
担当教員	下川 哲昭				
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	正常な人体の仕組みについて、個体とその機能を構成する細胞レベルから組織・器官レベルまでの構造や機能を学修する。「解剖生理学 I」では、血液と免疫系の詳細、バイタルサインの基本である循環・呼吸器系、さらに生体調節の機能と維持に大きく関わる内分泌系を講義する。これら生命現象の基盤を系統的に理解することを目標とする。				
到達目標	1.人体の構成および構造の詳細を系統的に理解し説明できる。 2.ヒトにおける基本的活動(血圧や体液の恒常性の維持、呼吸、血流、等)を理解し他人に説明することができる。 3.生理機能破綻による疾患の基本的な発症メカニズムを理解し説明することができる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期(筆記)試験 100%で評価する。60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	定期試験後に出題の意図と試験結果を掲示する。				
使用教材	教科書:解剖生理学テキスト(第1版)、多久和典子著、南山堂、3200円+税。講義のスライドをて適宜プリントとして配布する。				
1	講義内容	血液学(1)血漿			
	該当する到達目標	予習	教科書 P122-P125 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	血漿と血清についてその構成と機能を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	血液学(2)血液細胞			
	該当する到達目標	予習	教科書 P125-P132 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	血球の由来、機能を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	血液学(3)止血と線溶			
	該当する到達目標	予習	教科書 P132-P134 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	造血機構と止血・血液凝固機構、線維素溶解現象を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	免疫学(1)			
	該当する到達目標	予習	教科書 P135-P139 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	免疫細胞、免疫器官、免疫の種類について理解する。特に「食物アレルギー」について十分理解する。		1.5 時間
5	講義内容	免疫学(2)			
	該当する到達目標	予習	教科書 P139-P141 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ABO 式血液型や Rh 式血液型、輸血とそれに伴う拒絶反応について理解する。		1.5 時間
6	講義内容	循環器系(1)循環器総論			
	該当する到達目標	予習	教科書 P26-P27 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	循環器系の構成について理解する。		1.5 時間
7	講義内容	循環器系(2)心臓と血管			
	該当する到達目標	予習	教科書 P28-P42 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1, 2	復習	心臓の構造と機能を理解する。血管の機能的分類を覚える	1.5 時間
8	講義内容	循環器系(3)循環の調節機構		
	該当する到達目標	予習	教科書 P43-P51 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	血圧の調節機構について理解する。循環器系の調節機構とリンパ循環機構について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	呼吸器系(1)呼吸器系の構成と仕組み		
	該当する到達目標	予習	教科書 P54-P65 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	呼吸器系の構成を覚える。	1.5 時間
10	講義内容	呼吸器系(2)呼吸運動		
	該当する到達目標	予習	教科書 P65-P68 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	呼吸筋、呼吸中枢、呼吸調節を理解する。肺気量分画を覚える。呼吸調節機構と呼吸の異常について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	呼吸器系(3)呼吸機能検査		
	該当する到達目標	予習	教科書 P70-P74 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	2, 3	復習	呼吸障害の種類を理解する。O ₂ 、CO ₂ の運搬と酸素解離曲線を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	内分泌系(1)内分泌総論		
	該当する到達目標	予習	教科書 P148-P150 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	内分泌器官とホルモンの名称、標的器官、作用を覚える。ホルモンの過剰と欠乏による代表的な内分泌疾患を理解し覚える。	1.5 時間
13	講義内容	内分泌系(2)視床下部・下垂体・		
	該当する到達目標	予習	教科書 P152-P155 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	視床下部、下垂体のホルモンとその作用を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	内分泌系(3)甲状腺・副腎		
	該当する到達目標	予習	教科書 P156-P159 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	甲状腺、副腎のホルモンとその作用を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	内分泌系(4)糖代謝ホルモン、Ca ²⁺ 代謝ホルモン、性腺のホルモン		
	該当する到達目標	予習	教科書 P161-P168 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	糖代謝とCa ²⁺ 代謝、生殖腺に関わるホルモンを理解する。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日</p> <p>研究室: 1 号館 3 階・311、6 号館 1 階・栄養生理学研究室</p> <p>メールアドレス: shimokawa-n@takasaki-u.ac.jp</p>			

7科目名	解剖生理学Ⅱ(専門基幹科目)			HNB222	講義
担当教員	下川 哲昭				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	正常な人体の仕組みについて、個体とその機能を構成する細胞レベルから組織・器官レベルまでの構造や機能を学修する。「解剖生理学Ⅱ」では、生殖器系、消化器系および泌尿器系、神経系と感覚系の詳細を講義する。これら生命現象の基盤を系統的に理解することを目標とする。				
到達目標	1.人体の構成および構造の詳細を系統的に理解し説明できる。 2.ヒトにおける基本的活動(生殖行動、栄養素の消化と吸収、尿の生成、神経活動等)を理解し他人に説明することができる。 3.生理機能破綻による疾患の基本的な発症メカニズムを理解し説明することができる。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期(筆記)試験 100%で評価する。60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	定期試験後に出題の意図と試験結果を掲示する。				
使用教材	教科書:教科書:解剖生理学テキスト(第1版)、多久和典子著、南山堂、3200円+税。講義のスライドをて適宜プリントとして配布する。				
	講義内容	生殖器系(1)			
1	該当する到達目標	予習	教科書 P264-P276 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	男性/女性の生殖器の構成と機能を理解する。		1.5 時間
	講義内容	生殖器系(2)受精・妊娠・分娩・泌乳			
2	該当する到達目標	予習	教科書 P277-P287 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	2, 3	復習	生殖における諸相(性周期、受精、着床、分娩、泌乳、閉経)を理解する。		1.5 時間
	講義内容	消化器系(1)総論			
3	該当する到達目標	予習	教科書 P76-P79 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	消化器系の構成について覚える。		1.5 時間
	講義内容	消化器系(2)口腔から胃			
4	該当する到達目標	予習	教科書 P79-P85 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	口腔、食道、胃の機能について理解する。		1.5 時間
	講義内容	消化器系(3)小腸から肛門			
5	該当する到達目標	予習	教科書 P86-P96 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	小腸、大腸、について理解する。三大栄養素の消化・吸収過程を理解し覚える。		1.5 時間
	講義内容	消化器系(4)肝臓・胆嚢・膵臓			
6	該当する到達目標	予習	教科書 P96-P103 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	肝臓、膵臓の機能。消化器系における内分泌的/神経的な機能調節とその破綻について理解する		1.5 時間
	講義内容	泌尿器系(1)泌尿器系の構成			
7	該当する到達目標	予習	教科書 P106-P107 に目を通し不明な単語を調べておく。		1.5 時間
	1	復習	泌尿器系の構成を覚える。		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	泌尿器系(2)腎臓		
	該当する到達目標	予習	教科書 P108-P116 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	腎臓の形態や働きおよび尿生成のメカニズムについて理解する。	1.5 時間
9	講義内容	泌尿器系(3)尿路		
	該当する到達目標	予習	教科書 P116-P118 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	蓄尿と排尿のメカニズム、および泌尿器疾患を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	神経系(1)神経系の概観		
	該当する到達目標	予習	教科書 P170-P173 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1	復習	神経細胞の構造と神経系の構成を覚える。	1.5 時間
11	講義内容	神経系(2)中枢神経系		
	該当する到達目標	予習	教科書 P173-P185 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	中枢神経の構成と機能を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	神経系(3)末梢神経系		
	該当する到達目標	予習	教科書 P186-P193、P144-148 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	脳神経と自律神経の機能と特性を覚える。	1.5 時間
13	講義内容	神経系(4)神経障害		
	該当する到達目標	予習	教科書 P194-P197 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	2, 3	復習	代表的な神経疾患(パーキンソン病、アルツハイマー病など)の発症原因を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	感覚器系(1)視覚・聴覚・平衡感覚		
	該当する到達目標	予習	教科書 P200-P215 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	視覚と聴覚の特性、および視覚障害、聴覚障害を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	感覚器系(2)味覚・嗅覚・皮膚感覚		
	該当する到達目標	予習	教科書 P216-P225 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	味覚・嗅覚・皮膚感覚、内臓感覚における特性とその破綻を理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日 研究室: 1号館3階・311、6号館1階・栄養生理学研究室 メールアドレス: shimokawa.n@takasaki-u.ac.jp			

科目名	解剖生理学実習(専門基幹科目)			HNB223	実習
担当教員	下川 哲昭				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	「解剖生理学Ⅰ・Ⅱ」の講義で学習した臓器構成や血液、呼吸器、消化器の基礎的事項について実際に実験で確認し系統的な理解を確立することを目標とする。				
到達目標	1.人体の基本的な構造と機能を知るための実験方法とその原理を理解することができる。 2.実験の結果得られたデータを適正に解釈し、その妥当性を他人と討論することができる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	実習への出席、取り組む姿勢、レポートの採点によって総合的に評価する。 評価方法の基準については実習開始時と終了時にアナウンスする。				
課題に対する フィードバック	提出されたすべてのレポートは、詳細に検討する。 レポートとして完成度の著しく低いものは再提出を指示する。				
使用教材	実習毎に実験目的、プロトコル、課題が示されたプリントを配布する。				
1	講義内容	オリエンテーション			
	該当する到達目標	予習	事前に配布される実験の基礎事項について目を通しておく。		1.5 時間
	1	復習	実習に使用する器具・装置の使用法、試薬の調整法を理解する。		1 時間
2	講義内容	呼吸器系の実習 1・スパイロメーターによる呼吸・肺機能の測定			
	該当する到達目標	予習	呼吸曲線と肺気量分画についてこれまでの講義内容を確認しておく。		1.5 時間
	1	復習	実験結果を整理する。		1 時間
3	講義内容	呼吸器系の実習 2・結果の解析とレポートの作成			
	該当する到達目標	予習	呼吸曲線により肺気量分画を計算できるように理解する。		1.5 時間
	2	復習	肺機能障害を分類し説明できるようにする。		1 時間
4	講義内容	血液学と臓器構成 1			
	該当する到達目標	予習	事前に配布される実験の基礎事項について目を通しておく。		1.5 時間
	1	復習	ラットの採血法、血球の計算、ヘマトクリット、溶血反応を理解する。		1 時間
5	講義内容	血液学と臓器構成 2			
	該当する到達目標	予習	事前に配布される実験の基礎事項について目を通しておく。		1.5 時間
	1	復習	ラットの解剖による主要臓器の構造と各器官系を確認しておく。		1 時間
6	講義内容	血液学と臓器構成 3			
	該当する到達目標	予習	事前に配布される実験の基礎事項について目を通しておく。		1.5 時間
	2	復習	1. 血球の計算とヘマトクリット値の算出ができるようにする。 2. 浸透圧の計算と溶血反応の説明ができるようにする。 3. ヒトとラットの臓器における位置関係の比較が説明できるようにする。		1 時間
7	講義内容	消化器系(口腔) 1			
	該当する到達目標	予習	事前に配布される実験の基礎事項について目を通しておく。		1.5 時間
	1	復習	舌の各部位における四味の味覚閾値の測定について理解する。		1 時間
8	講義内容	消化器系(口腔) 2			
	該当する到達目標	予習	味蕾の構造と機能、味覚の神経伝達についてこれまでの講義内容を確認してお		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	2		く。	
		復習	1. 味覚における舌上での部位差を説明できるようにする。 2. 味覚の受容と神経伝達機構を説明できるようにする。 3. 唾液腺、唾液の成分、分泌機序(反射)、分泌調節(自律神経系)を説明できるようにする。	1 時間
9	講義内容	感覚器系(重量感覚)1		
	該当する到達目標	予習	事前に配布される実験の基礎事項について目を通しておく。	1.5 時間
	1	復習	実験結果を整理する。	1 時間
10	講義内容	感覚器系(重量感覚)2		
	該当する到達目標	予習	「スチーブンスのべき法則」について理解しておく。	1.5 時間
	2	復習	重量感覚について主観値と客観値の間の法則について理解する。	1 時間
11	講義内容	消化器系 3・(顕微鏡による細胞観察実習)		
	該当する到達目標	予習	ヒトの消化器系の細胞についてこれまでの講義内容を確認しておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	味蕾、食道、胃、小腸、大腸、膵臓ランゲルハンス島を構成する細胞の特性について理解する。	1 時間
12	講義内容	感覚器系(視覚:対光反射とマリオットの盲点)		
	該当する到達目標	予習	視覚の解剖生理についてこれまでの講義内容を確認しておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	対光反射による視覚刺激の伝達とマリオットの盲点から眼球内の構造について理解する。	1 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	<p>予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること。</p> <p>オフィスアワー: 月曜日。</p> <p>研究室: 1号館3階・311、6号館1階・栄養生理学研究室</p> <p>メールアドレス: shimokawa-n@takasaki-u.ac.jp</p>			

科目名	生化学 I (専門基幹科目)			HNB231	講義
担当教員	田中 進				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	人体の構造と機能および疾病の成り立ちを理解するための基盤として、生体分子(たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、核酸、ビタミン、ホルモン)の化学構造や生体内機能に関する知識を修得することを目標とする。				
到達目標	1.生体膜と細胞小器官の種類と機能について説明できる。 2.生体分子(たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、核酸、ビタミン、ホルモン)の種類、化学構造、生体内機能について説明できる。 3.酵素反応の特性と酵素反応調節機構を説明できる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 90%、小テスト 10%(10 回)で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	小テストは毎回、解説を行う。 期末試験後に問題出題意図を説明する。				
使用教材	教科書: Visual 栄養学テキスト人体の構造と機能および疾病の成り立ち II 生化学、編集: 岡 純、田中 進 (中山書店)、2016 年、2700+税、ISBN978-4-521-74285-4C3347 講義や小テスト解説に教科書を使用 講義内容の一部はプリントを配布				
1	講義内容	生体膜と細胞小器官			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 1-1~1-6 に目を通す。		1 時間
	1	復習	生体膜と細胞小器官の種類、機能を理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
2	講義内容	アミノ酸・たんぱく質の構造と機能 1			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 2-1~2-2 に目を通す。		1 時間
	2	復習	アミノ酸の基本構造と性質、アミノ酸同士の結合や相互作用を理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
3	講義内容	アミノ酸・たんぱく質の構造と機能 2			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 2-3 に目を通す。		1 時間
	2	復習	代表的なペプチドやたんぱく質について構造、分類、性質などを理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
4	講義内容	糖質の構造と機能 1			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 3-1~3-2 に目を通す。		1 時間
	2	復習	単糖、二糖の構造と機能を理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
5	講義内容	糖質の構造と機能 2			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 3-3~3-4 に目を通す。		1 時間
	2	復習	多糖、複合糖質の構造と機能を理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
6	講義内容	脂質の構造と機能 1			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 4-1~4-2 に目を通す。		1 時間
	2	復習	脂質の基本構造と種類を理解する。小テストの復習を行う。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

7	講義内容	脂質の構造と機能 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 4-3～4-4 に目を通す。	1 時間
	2	復習	脂質の生体内の役割を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
8	講義内容	核酸の構造と機能 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 5-1 に目を通す。	1 時間
	2	復習	DNA と RNA の構造を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
9	講義内容	核酸の構造と機能 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 5-2 に目を通す。	1 時間
	2	復習	細胞内の核酸の分布と役割を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
10	講義内容	ビタミンの構造と機能 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 6-1～6-2 に目を通す。	1 時間
	2	復習	脂溶性ビタミンの構造と機能を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
11	講義内容	ビタミンの構造と機能 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 6-3～6-4 に目を通す。	1 時間
	2	復習	水溶性ビタミンの構造と機能を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
12	講義内容	酵素		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 8-1～8-2 に目を通す。	1 時間
	3	復習	酵素の特徴と分類を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
13	講義内容	酵素反応の調節機構		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 8-3～8-4 に目を通す。	1 時間
	3	復習	酵素反応の調節機構を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
14	講義内容	ホルモンの構造と機能 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章 9-1～9-2 に目を通す。	1 時間
	2	復習	視床下部ホルモン、下垂体前葉ホルモン、その下流のホルモンの構造と機能を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
15	講義内容	ホルモンの構造と機能 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章 9-3～9-4 に目を通す。	1 時間
	2	復習	ホルモンの作用機序について理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
備考	<p>オフィスアワーは前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。 ※2 単位を修得するためには、講義時間(30 時間(実質 90 分×15 回))+予習・復習時間(60 時間)が必要です。 不足分は各自で補完すること。</p>			

科目名	生化学Ⅱ(専門基幹科目)			HNB232	講義
担当教員	田中 進				
学年・開講期	2年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	人体の構造と機能および疾病の成り立ちを理解するため、生体を構成する成分(たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、核酸)の生体内における代謝について基本的な知識を修得し、代謝調節と代謝異常について理解を深める。また、遺伝情報の伝達(セントラルドグマ)について学習する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.三大栄養素であるたんぱく質・アミノ酸、糖質の代謝とエネルギー産生について説明できる。 2.核酸の合成と分解が説明できる 3.生体内の代謝調節と代謝異常について栄養疾患、代謝疾患と関連づけて説明できる。 4.遺伝情報の伝達(セントラルドグマ)が説明できる。 				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 90%、小テスト 10%(10 回)で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	小テストは毎回、解説を行う。 期末試験後に問題出題意図を説明する。				
使用教材	教科書: Visual 栄養学テキスト人体の構造と機能および疾病の成り立ちⅡ生化学、編集:岡 純、田中 進(中山書店)、2016年、2700+税、ISBN978-4-521-74285-4C3347 講義や小テスト解説に教科書を使用 講義内容の一部はプリントを配布				
1	講義内容	生体エネルギーと代謝 1			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第 10 章 10-1~10-4 に目を通す。		1 時間
		復習	ATP の役割と ATP 産生におけるミトコンドリアの役割を理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
2	講義内容	生体エネルギーと代謝 2			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第 10 章 10-5~10-8 に目を通す。		1 時間
		復習	基質レベルのリン酸化、酸化リン酸化、脱共役たんぱく質について理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
3	講義内容	アミノ酸・たんぱく質の代謝 1			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第 11 章 11-1~11-3 に目を通す。		1 時間
		復習	食餌性たんぱく質の消化と吸収の機序を理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
4	講義内容	アミノ酸・たんぱく質の代謝 2			
	該当する到達目標 1,3	予習	教科書の第 11 章 11-4~11-6 に目を通す。		1 時間
		復習	アミノ酸の代謝、たんぱく質の修飾と分解経路を理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
5	講義内容	糖質の代謝 1			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第 12 章 12-1~12-2 に目を通す。		1 時間
		復習	解糖系、クエン酸回路を理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
6	講義内容	糖質の代謝 2			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

1	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章 12-3～12-5 に目を通す。	1 時間
		復習	ペントースリン酸回路、グルクロン酸経路、グリコーゲンの合成・分解、糖新生を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
7	講義内容	糖質の代謝 3		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章 12-6～12-7 に目を通す。	1 時間
	1,3	復習	血糖の調節、糖質代謝の異常と疾病を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
8	講義内容	脂質の代謝 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章 13-1～13-4 に目を通す。	1 時間
	1	復習	リポたんぱく質の代謝、脂肪酸の合成・分解、エイコサノイドの代謝を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
9	講義内容	脂質の代謝 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章 13-5～13-8 に目を通す。	1 時間
	1,3	復習	アシルグリセロール、リン脂質、コレステロールの代謝と脂質代謝異常を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
10	講義内容	ヌクレオチドの代謝 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章 14-1～14-2 に目を通す。	1 時間
	2	復習	プリン・ピリミジン代謝を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
11	講義内容	ヌクレオチドの代謝 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章 14-2～14-3 に目を通す。	1 時間
	2,3	復習	痛風と代謝異常を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
12	講義内容	遺伝子発現とその制御 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 15 章 15-1～15-3 に目を通す。	1 時間
	4	復習	DNA の複製と修復、転写、翻訳を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
13	講義内容	遺伝子発現とその制御 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 15 章 15-4～15-7 に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	遺伝子発現の調節、先天性代謝異常、遺伝子と栄養、遺伝子操作・解析方法を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
14	講義内容	情報伝達の機構 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 16 章 16-1～16-2 に目を通す。	1 時間
	2	復習	内分泌系と神経系による情報伝達を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
15	講義内容	情報伝達の機構 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 16 章 16-3～16-4 に目を通す。	1 時間
	2	復習	受容体による情報伝達、細胞内シグナル伝達を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
備考	<p>オフィスアワーは前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。 ※2 単位を修得するためには、講義時間(30 時間(実質 90 分×15 回))+予習・復習時間(60 時間)が必要です。 不足分は各自で補完すること。</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	生化学実験 I (専門基幹科目)			HNB233	実験
担当教員	田中 進				
学年・開講期	2年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	人体の構造と機能および疾病の成り立ちを理解するための基礎として、生体を構成する成分(たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、核酸)の化学的性質とそれらを取り扱うための基本的技能を修得し、更なる理解及び応用について学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生体を構成する成分(たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、核酸)の定性的試験方法を理解し、実験できる。 2. 生体分子の機能と関連づけて、それぞれの実験原理が説明できる。 3. 代表的な酵素の活性測定ができる。 4. 他者が実験後その実験プロセスを追って再現性を確認できるような、正確な実験の記録を行うことができるようになる。 5. 他者が納得できるような実験データの整理・解析を行うことができるようになる。 6. 他者が理解しやすい実験レポート(論文)が作成できるようになる。 7. 他者との議論を活かして、自分のレポートの問題点を改善することができるようになる 				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 60%、レポート 40%(8回)で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	提出したレポートについては、ルーブリックで評価をし、フィードバックしていく。				
使用教材	教科書: N ブックス 実験シリーズ 生化学実験、編集: 後藤 潔(建帛社)、2009年、1900+ 税、ISBN978-4-7679-0380-4C3047 実験方法の説明に教科書を使用 実験ごとにプリントを配布				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章 1-1~1-3に目を通す。		1 時間
		復習	生化学実験の基礎を理解する。		1 時間
2	講義内容	細胞の観察			
	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリントに目を通す。		1 時間
		復習	観察結果をまとめ、レポートを作成する。		1 時間
3	講義内容	たんぱく質・アミノ酸の定性実験			
	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第2章 2-1~2-3に目を通す。		1 時間
		復習	観察結果をまとめ、レポートを作成する。		1 時間
4	講義内容	呈色反応を利用した未知の糖溶液の判定実験 1			
	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第3章 3-1~3-4に目を通す。		1 時間
		復習	観察結果をまとめ、レポートを作成する。		1 時間
5	講義内容	呈色反応を利用した未知の糖溶液の判定実験 2			
	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第3章 3-1~3-4に目を通す。		1 時間
		復習	観察結果をまとめ、レポートを作成する。		1 時間
6	講義内容	脂質実験 1 脂質の溶解度			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第4章4-1~4-4に目を通す。	1時間
	1,2,4,5,6,7	復習	観察結果をまとめ、レポートを作成する。	1時間
7	講義内容	脂質実験2 脂質一重層の透過性に対する脂質組成の影響		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第4章4-1~4-4に目を通す。	1時間
	1,2,4,5,6,7	復習	観察結果をまとめ、レポートを作成する。	1時間
8	講義内容	酵素実験1 検量線の作成とpHの影響		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリント、教科書の第3章3-1~3-3、講義用の教科書の第8章8-1~8-4に目を通す。	1時間
	2,3,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1時間
9	講義内容	酵素実験2 基質濃度の影響と阻害作用の影響		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリント、教科書の第3章3-1~3-3、講義用の教科書の第8章8-1~8-4に目を通す。	1時間
	2,3,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1時間
10	講義内容	核酸実験1 ニワトリ肝からのDNA抽出		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリント、教科書の第2章2-1、講義用の教科書の第5章5-1~5-2に目を通す。	1時間
	1,2,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1時間
11	講義内容	核酸実験2 DNA溶液の紫外吸収曲線		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリント、講義用の教科書の第5章5-1~5-2に目を通す。	1時間
	1,2,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1時間
12	講義内容	核酸実験3 制限酵素によるDNAの切断と電気泳動による解析		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリント、教科書の第9章9-4、9-7、講義用の教科書の第5章5-1~5-2に目を通す。	1時間
	1,2,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	オフィスアワーは前期(火4時限目)、後期(火4時限目)。			

科目名	生化学実験Ⅱ(専門基幹科目)			HNB234	実験
担当教員	田中 進				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	人体の構造と機能および疾病の成り立ちを理解するための基礎として、栄養素(たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、ビタミン、ミネラル)の定量方法と遺伝子の増幅方法について基本的技能を修得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養素(たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、ビタミン、ミネラル)の定量方法を理解し、生体内の機能と関連づけて、それぞれの実験原理が説明できる。 2. 栄養素(たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、ビタミン、ミネラル)の定量ができる。 3. PCR の原理を理解し、PCR を使用し遺伝子の増幅ができる。 4. 他者が実験後その実験プロセスを追って再現性を確認できるような、正確な実験の記録を行うことができるようになる。 5. 他者が納得できるような実験データの整理・解析を行うことができるようになる。 6. 他者が理解しやすい実験レポート(論文)が作成できるようになる。 7. 他者との議論を活かして、自分のレポートの問題点を改善することができるようになる 				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 60%、レポート 40%(8回)で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	提出したレポートについては、ルーブリックで評価をし、フィードバックしていく。				
使用教材	教科書: N ブックス 実験シリーズ 生化学実験、編集: 後藤 潔(建帛社)、2009年、1900+ 税、ISBN978-4-7679-0380-4C3047 実験方法の説明に教科書を使用 実験ごとにプリントを配布				
1	講義内容	たんぱく質・アミノ酸実験 紫外外部吸収によるタンパク質の定量			
	該当する到達目標	1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリント、教科書の第2章2-2、講義用の第2章2-1~2-3に目を通す。	1 時間
			復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
2	講義内容	たんぱく質・アミノ酸実験 ELISA 法によるタンパク質の定量			
	該当する到達目標	1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリント、講義用の第2章2-1~2-3に目を通す。	1 時間
			復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
3	講義内容	糖質実験 グルコースの定量 1			
	該当する到達目標	1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第3章3-1~3-4に目を通す。	1 時間
			復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
4	講義内容	糖質実験 グルコースの定量 2			
	該当する到達目標	1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第12章12-1~12-7に目を通す。	1 時間
			復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
5	講義内容	脂質実験 遊離脂肪酸の定量 1			
	該当する到達目標		予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第4章4-1~4-4に目を通す。	1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
6	講義内容	脂質実験 遊離脂肪酸の定量 2		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第 13 章 13-1~13-8 に目を通す。	1 時間
	1,2,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
7	講義内容	無機質実験 リンの定量 1		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第 7 章 7-1~7-2 に目を通す。	1 時間
	1,2,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
8	講義内容	無機質実験 リンの定量 2		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第 7 章 7-1~7-2 に目を通す。	1 時間
	1,2,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
9	講義内容	ビタミン実験 ビタミンの定性実験 1		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリント、講義用の教科書の第 6 章 6-1~6-4 に目を通す。	1 時間
	1,2,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
10	講義内容	ビタミン実験 ビタミンの定性実験 2		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリント、講義用の教科書の第 6 章 6-1~6-4 に目を通す。	1 時間
	1,2,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
11	講義内容	遺伝子実験 PCR による遺伝子の増幅 1		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリント、教科書の第 6 章 6-2、講義用の教科書の第 15 章 5-7 に目を通す。	1 時間
	3,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
12	講義内容	遺伝子実験 PCR による遺伝子の増幅 2		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリント、教科書の第 6 章 6-2、講義用の教科書の第 15 章 5-7 に目を通す。	1 時間
	3,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	オフィスアワーは前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。			

科目名	疾病の成り立ち I (専門基幹科目)			HNB241	講義
担当教員	岡村 信一				
学年・開講期	2年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	管理栄養士として修得すべき疾病の成因・病態・診断・治療および栄養学との関わりについて学び、修得した知識を統合して臨床栄養管理に活用できるようにする。「疾病の成り立ち I」では、診断のための身体診察と検査、疾患の治療、栄養・代謝系疾患、内分泌系疾患について学ぶ。				
到達目標	1. 代表的な疾病の成因について理解し説明できる。 2. 代表的な疾病の病態について理解し説明できる。 3. 代表的な疾病の診断について理解し説明できる。 4. 代表的な疾病の治療について理解し説明できる。 5. 代表的な疾病と栄養学との関わりについて理解し説明できる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	1. 筆記試験 100% 2. 評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対する フィードバック	定期試験は、正答の提示と出題意図の解説をする。				
使用教材	1. 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学疾病の成り立ち 改訂第 2 版」・田中明ほか・羊土社・2015 年・2800 円(税別)・ISBN978-4-7581-0881-2C3047 2. 講義スライドをプリントして配布する。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義目標などを理解する。	1 時間	
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する	1.5 時間	
2	講義内容	診断のための身体診察と検査(1) 問診、全身状態、全身徴候			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 1~3 に目を通す。	1 時間	
	1,2,3,4,5	復習	問診、全身状態、全身徴候について理解する。	1.5 時間	
3	講義内容	診断のための身体診察と検査(2) 特徴的な病態と臨床検査の基本			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 4~6 に目を通す。	1 時間	
	1,2,3,4,5	復習	特徴的な病態と臨床検査の基本を理解する。	1.5 時間	
4	講義内容	診断のための身体診察と検査(3) 一般臨床検査			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 7~9 に目を通す。	1 時間	
	1,2,3,4,5	復習	一般臨床検査について理解する。	1.5 時間	
5	講義内容	診断のための身体診察と検査(4) 特殊検査、生理機能検査、画像検査			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 10~14 に目を通す。	1 時間	
	1,2,3,4,5	復習	特殊検査、生理機能検査、画像検査について理解する。	1.5 時間	
6	講義内容	疾患の治療について			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章に目を通す。	1 時間	
	1,2,3,4,5	復習	治療の種類と特徴について理解する。	1.5 時間	
7	講義内容	栄養・代謝系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 栄養障害			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の第3章1に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	栄養障害の病態を理解する。	1.5時間
8	講義内容	栄養・代謝系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 糖尿病		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章2に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	糖尿病について理解する。	1.5時間
9	講義内容	栄養・代謝系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 脂質異常症		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章3に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	脂質異常症について理解する。	1.5時間
10	講義内容	栄養・代謝系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(4) 肥満、高尿酸血症		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章4～5に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	肥満、高尿酸血症について理解する。	1.5時間
11	講義内容	栄養・代謝系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(5) 先天代謝異常ほか		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章6～9に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	先天代謝異常、ビタミン・ミネラル異常症、酸塩基平衡について理解する。	1.5時間
12	講義内容	内分泌系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) ホルモン調節と脳下垂体異常		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章1～2に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	ホルモン調節と脳下垂体異常について理解する。	1.5時間
13	講義内容	内分泌系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 甲状腺・副甲状腺異常		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章3～4に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	甲状腺・副甲状腺異常について理解する。	1.5時間
14	講義内容	内分泌系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 副腎異常		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章5に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	副腎異常について理解する。	1.5時間
15	講義内容	疾病の成り立ち I のまとめ		
	該当する到達目標	予習	疾病の成り立ち I の教科書該当部分や配付資料に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	理解不十分だったところを復習する。	1.5時間
備考	オフィスアワー: 金曜日の5時限 メールアドレス: okamura@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1号館4階403号室 予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。			

科目名	疾病の成り立ちⅡ(専門基幹科目)			HNB242	講義
担当教員	岡村 信一				
学年・開講期	2年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	管理栄養士として修得すべき疾病の成因・病態・診断・治療および栄養学との関わりについて学び、修得した知識を統合して臨床栄養管理に活用できるようにする。「疾病の成り立ちⅡ」では、消化管疾患、肝・胆・膵疾患、循環器系疾患、腎・尿路系疾患、神経・精神系疾患について学ぶ。				
到達目標	1. 代表的な疾病の成因について理解し説明できる。 2. 代表的な疾病の病態について理解し説明できる。 3. 代表的な疾病の診断について理解し説明できる。 4. 代表的な疾病の治療について理解し説明できる。 5. 代表的な疾病と栄養学との関わりについて理解し説明できる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	1. 筆記試験 100% 2. 評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対する フィードバック	定期試験は、正答の提示と出題意図の解説をする。				
使用教材	1. 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学疾病の成り立ち 改訂第2版」・田中明ほか・羊土社・2015年・2800円(税別)・ISBN978-4-7581-0881-2C3047 2. 講義スライドをプリントして配布する。				
1	講義内容	消化管疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 口腔疾患、食道疾患			
	該当する到達目標	予習	教科書の第5章1～2に目を通す。		1 時間
	1,2,3,4,5	復習	口腔疾患、食道疾患について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	消化管疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 胃・十二指腸疾患			
	該当する到達目標	予習	教科書の第5章2に目を通す。		1 時間
	1,2,3,4,5	復習	胃・十二指腸疾患について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	消化管疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 下部消化管疾患			
	該当する到達目標	予習	教科書の第5章3に目を通す。		1 時間
	1,2,3,4,5	復習	下部消化管疾患について理解する。		1.5 時間
4	講義内容	肝・胆・膵疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 急性肝疾患			
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章1に目を通す。		1 時間
	1,2,3,4,5	復習	急性肝疾患について理解する。		1.5 時間
5	講義内容	肝・胆・膵疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 慢性肝疾患、肝がん			
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章1に目を通す。		1 時間
	1,2,3,4,5	復習	慢性肝疾患、肝がんについて理解する。		1.5 時間
6	講義内容	肝・胆・膵疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 膵・胆疾患			
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章2に目を通す。		1 時間
	1,2,3,4,5	復習	膵・胆疾患について理解する。		1.5 時間
7	講義内容	循環器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 心不全、動脈硬化			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の第7章1～2に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	心不全、動脈硬化について理解する。	1.5時間
8	講義内容	循環器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 虚血性心疾患、高血圧		
	該当する到達目標	予習	教科書の第7章3～4に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	虚血性心疾患、高血圧について理解する。	1.5時間
9	講義内容	循環器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 不整脈、肺塞栓、脳血管疾患		
	該当する到達目標	予習	教科書の第7章5～7に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	不整脈、肺塞栓、脳血管疾患について理解する。	1.5時間
10	講義内容	腎・尿路系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 急性・慢性腎炎症候群		
	該当する到達目標	予習	教科書の第8章1～5に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	急性・慢性腎炎症候群について理解する。	1時間
11	講義内容	腎・尿路系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) ネフローゼ症候群、腎不全、慢性腎臓病		
	該当する到達目標	予習	教科書の第8章6～8に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	ネフローゼ症候群、腎不全、慢性腎臓病について理解する。	1.5時間
12	講義内容	腎・尿路系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 末期腎不全の治療と尿路系疾患		
	該当する到達目標	予習	教科書の第8章9～10に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	末期腎不全の治療と尿路系疾患について理解する。	1.5時間
13	講義内容	神経・精神系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 摂食障害、認知症、アルコール依存症		
	該当する到達目標	予習	教科書の第9章1～3に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	摂食障害、認知症、アルコール依存症について理解する。	1時間
14	講義内容	神経・精神系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 神経変性疾患、精神疾患、脳腫瘍		
	該当する到達目標	予習	教科書の第9章4～6に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	神経変性疾患、精神疾患、脳腫瘍について理解する。	1.5時間
15	講義内容	疾病の成り立ちⅡのまとめ		
	該当する到達目標	予習	疾病の成り立ちⅡの教科書該当部分や配付資料に目を通す。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	理解不十分だったところを復習する。	1.5時間
備考	オフィスアワー: 金曜日の5時限 メールアドレス: okamura@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1号館4階403号室 予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。			

科目名	疾病の成り立ちⅢ(専門基幹科目)			HNB243	講義
担当教員	岡村 信一				
学年・開講期	3年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	管理栄養士として修得すべき疾病の成因・病態・診断・治療および栄養学との関わりについて学び、修得した知識を統合して臨床栄養管理に活用できるようにする。「疾病の成り立ちⅢ」では、呼吸器系疾患、血液・造血器系疾患、運動器系疾患、皮膚系疾患、免疫・アレルギー系疾患、婦人科系疾患、加齢・疾患に伴う変化について学ぶ。				
到達目標	1.代表的な疾病の成因について理解し説明できる。 2.代表的な疾病の病態について理解し説明できる。 3.代表的な疾病の診断について理解し説明できる。 4.代表的な疾病の治療について理解し説明できる。 5.代表的な疾病と栄養学との関わりについて理解し説明できる。				
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	1.筆記試験 100% 2.評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対する フィードバック	定期試験は、正答の提示と出題意図の解説をする。				
使用教材	1.「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学疾病の成り立ち 改訂第2版」・田中明ほか・羊土社・2015年・2800円(税別)・ISBN978-4-7581-0881-2C3047 2.講義スライドをプリントして配布する。				
1	講義内容	呼吸器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 呼吸器系の概要と上気道感染症			
	該当する到達目標	予習	教科書の第10章1~2に目を通す。		1時間
	1,2,3,4,5	復習	呼吸器系の概要と上気道感染症について理解する。		1.5時間
2	講義内容	呼吸器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 慢性閉塞性肺疾患			
	該当する到達目標	予習	教科書の第10章3に目を通す。		1時間
	1,2,3,4,5	復習	慢性閉塞性肺疾患について理解する。		1.5時間
3	講義内容	呼吸器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 気管支喘息、肺がん			
	該当する到達目標	予習	教科書の第10章4~5に目を通す。		1時間
	1,2,3,4,5	復習	気管支喘息、肺がんについて理解する。		1.5時間
4	講義内容	血液・造血器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 各種貧血			
	該当する到達目標	予習	教科書の第11章1に目を通す。		1時間
	1,2,3,4,5	復習	各種貧血について理解する。		1.5時間
5	講義内容	血液・造血器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 血液悪性疾患			
	該当する到達目標	予習	教科書の第11章2~4に目を通す。		1時間
	1,2,3,4,5	復習	血液悪性疾患について理解する。		1.5時間
6	講義内容	血液・造血器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 出血傾向を来す疾患			
	該当する到達目標	予習	教科書の第11章5に目を通す。		1時間
	1,2,3,4,5	復習	出血傾向を来す疾患について理解する。		1.5時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

7	講義内容	運動器疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 骨粗鬆症、骨軟化症、変形性関節症		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章 1～3 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	骨粗鬆症、骨軟化症、変形性関節症について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	運動器疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) フレイルティ、サルコペニア、ロコモティブシンドローム		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章 4～6 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	フレイルティ、サルコペニア、ロコモティブシンドロームについて理解する。	1.5 時間
9	講義内容	皮膚系疾患の成因・病態・診断・治療の概要		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章 1～4 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	創傷の治癒家庭、熱傷、褥瘡について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	免疫・アレルギー系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) アレルギー疾患、後天性免疫不全症候群		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章 1～2 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	アレルギー疾患、後天性免疫不全症候群について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	免疫・アレルギー系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 代表的な膠原病		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章 3 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	代表的な膠原病について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	婦人科疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 婦人科腫瘍性疾患		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 15 章 1 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	婦人科腫瘍性疾患について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	婦人科疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 子宮内膜症、月経異常、更年期障害		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 15 章 2～3 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	子宮内膜症、月経異常、更年期障害について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	加齢・疾患に伴う変化		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 16 章 1～3 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	加齢に伴う変化、疾患に伴う変化、個体の子について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	疾病の成り立ちⅢのまとめ		
	該当する到達目標	予習	疾病の成り立ちⅢの教科書該当部分や配付資料に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	理解不十分だったところを復習する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 金曜日の 5 時限 メールアドレス: okamura@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 4 階 403 号室 予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。			

科目名	疾病の成り立ち実習(専門基幹科目)			HNB244	実習
担当教員	岡村 信一				
学年・開講期	3年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	「疾病の成り立ちⅠ、Ⅱ、Ⅲ」で取得した基礎知識について、実習を通してさらに理解を深め、臨床栄養管理に活用できるようにする。臨床診査や臨床検査(血圧測定、尿検査、血液検査、血糖検査、心電図検査、超音波検査など)を体験するとともに、各種疾患の症例問題作成と検討もおこない、理解を深める。				
到達目標	1.代表的な臨床診査や検査について意義を理解し、実施することができる。 2.検査データを解釈し、栄養管理へ結びつけることができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	1.実習参加および実習態度を重視し、レポート・プレゼンテーション等も含めて総合的に評価する。 2.評価方法の詳細については初回講義でアナウンスする。				
課題に対するフィードバック	課題について、出題意図を解説する。				
使用教材	1.実習資料を配布する。 2.「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学疾病の成り立ち 改訂第2版」・田中明ほか・羊土社・2015年・2800円(税別)・ISBN978-4-7581-0881-2C3047 3.「栄養アセスメントに役立つ臨床検査値の読み方・考え方・ケーススタディ 第2版」・奈良信雄・医歯薬出版・2014年・2500円(税別)・ISBN978-4-263-70626-8C3047 4.教科書は授業および予習・復習で使用する。				
1	講義内容	ガイダンス及び身体所見①バイタルサインの基本と診察方法			
	該当する到達目標 1,2	予習	シラバスを確認する。		0.5 時間
		復習	実習の予定と概略を把握する。バイタルサインの基本と診察方法について理解する。		0.5 時間
2	講義内容	身体所見②頭頸部・胸部・腹部・神経系・脱水・浮腫の診察			
	該当する到達目標 1,2	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。		0.5 時間
		復習	頭頸部・胸部・腹部・神経系・脱水・浮腫の診察の基本と実施方法について理解する。		0.5 時間
3	講義内容	呼吸機能検査			
	該当する到達目標 1,2	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。		0.5 時間
		復習	スパイロメトリーおよび経皮的酸素飽和度の基本と実施方法について理解する。		0.5 時間
4	講義内容	食物アレルギー			
	該当する到達目標 1,2	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。		0.5 時間
		復習	食物アレルギーの基本と救急対応方法について理解する。		0.5 時間
5	講義内容	救急蘇生法			
	該当する到達目標 1,2	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。		0.5 時間
		復習	心肺蘇生法および異物除去法の基本と実施方法について理解する。		0.5 時間
6	講義内容	尿検査			
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。		0.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2	復習	尿検査の基本と実施方法について理解する。	0.5 時間
7	講義内容	血糖検査および末梢血液塗抹観察		
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間
	1,2	復習	血糖の基本と測定法および末梢血液塗抹観察について理解する。	0.5 時間
8	講義内容	骨密度測定		
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間
	1,2	復習	骨密度の基本と測定法について理解する。	0.5 時間
9	講義内容	心電図検査およびヘモグロビン測定		
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間
	1,2	復習	心電図の基本と測定法およびヘモグロビン測定について理解する。	0.5 時間
10	講義内容	超音波検査		
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間
	1,2	復習	超音波検査の基本と実施方法について理解する。	0.5 時間
11	講義内容	各種疾患の症例問題の作成・検討・解説①		
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間
	1,2	復習	各種疾患の病態や検査値異常などについて、例題を通じて理解する。	0.5 時間
12	講義内容	各種疾患の症例問題の作成・検討・解説②		
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間
	1,2	復習	各種疾患の病態や検査値異常などについて、さらに例題を積み重ねて理解する。	0.5 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	<p>オフィスアワー: 金曜日の 5 時限 メールアドレス: okamura@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 4 階 403 号室 次回の実習内容について、関連する教科書等により予習する。 実習後には実習内容をまとめて、習得した点や不明点について明らかにするとともに、教科書・文献等を参照・引用しながら考察を加える。</p>			

科目名	調理学(専門基幹科目)			HNB251	講義
担当教員	綾部 園子				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	調理とは、食品に手を加え、安全性・栄養性・嗜好性の高い食べ物にする過程である。「調理学」では、人間と食べ物の関わりについての歴史の変遷、食べ物の嗜好性を学び、さらに栄養面・安全面・嗜好面の各特性を高める調理の方法を理解して修得することを目的とする。				
到達目標	1.食べ物のおいしさとその知覚について説明できる。 2.種々の調理操作を理解し説明できる。 3.食生活・食文化・食事計画について説明できる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 60%、小テスト 30%(15%×2)、課題 10%、授業中のコメントシートによる加点(10点まで)あり				
課題に対するフィードバック	小テストを返却し解説する。コメントシートについて、概要を説明し回答する。提出課題にコメントをつけて返却する				
使用教材	栄養管理と生命科学シリーズ「調理の科学」、吉田恵子、綾部園子編、理工図書				
1	講義内容	調理学の概要:調理の意義・目的			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針との対応、成績評価方法などを確認する。	1 時間	
2	講義内容	食生活・食文化の変遷			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。	0.5 時間	
	3	復習	食生活・食文化の変遷について理解する	1 時間	
3	講義内容	食物の嗜好性(おいしさ)(1)おいしさとは・食べ物の化学的要因			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章p8~20に目を通す。	0.5 時間	
	1	復習	おいしさ、食べ物の化学的要因を理解する	1 時間	
4	講義内容	食物の嗜好性(おいしさ)(2)食べ物の物理的要因と食べる人の要因			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章p20~25に目を通す。	0.5 時間	
	1	復習	食べ物の物理的要因、食べる側の要因を理解する	1 時間	
5	講義内容	食物の嗜好性(おいしさ)(3)おいしさの評価			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章p25~31に目を通す。	0.5 時間	
	1	復習	官能評価について理解する。小テストをするので復習しておく	2 時間	
6	講義内容	調理操作(1)非加熱調理操作			
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章p54~62に目を通す。	0.5 時間	
	2	復習	非加熱調理操作について理解する	1 時間	
7	講義内容	調理操作(2)加熱調理操作(伝熱・湿式加熱)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章p62~67に目を通す。	0.5 時間	
	2	復習	伝熱、湿式加熱について理解する	1 時間	
8	講義内容	調理操作(3)加熱調理操作(乾式加熱)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章p68~71に目を通す。	0.5 時間	
	2	復習	乾式加熱について理解する	1 時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

9	講義内容	調理操作(4)加熱調理操作(誘電・誘導加熱)		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章p70～71に目を通す。	0.5時間
	2	復習	誘電・誘導加熱について理解する	1時間
10	講義内容	調理操作(5)調味について		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章p72～79に目を通す。	0.5時間
	2	復習	調味について理解する	1時間
11	講義内容	調理機器		
	該当する到達目標	予習	教科書の第5章p81～96に目を通す。	0.5時間
	2	復習	調理器具について理解する。小テストをするので試験範囲の復習しておく。	2時間
12	講義内容	食事計画 (1)食事設計の基礎知識		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章p34～37に目を通す。	0.5時間
	3	復習	食事設計の基礎を理解し、課題を完成する	1時間
13	講義内容	食事計画 (2)献立作成①		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章p37～42に目を通す。	0.5時間
	3	復習	献立作成の課題を完成する	1時間
14	講義内容	食事計画 (3)献立作成② 相互評価		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章p48～51に目を通す。	0.5時間
	3	復習	評価に基づき、課題を修正する。	1時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書p229～236を確認する	1時間
	1,2,3	復習	学習事項について、確実に理解する	2時間
備考	自宅学習: 自習時間の不足分は、試験前の学習で補完すること ・メールアドレス: ayabe@takasaki-u.ac.jp、オフィスアワーは前期(火 5 時限目)、後期(金 1 時限目)			

科目名	調理学実習 I (専門基幹科目)			HNB252	実習
担当教員	綾部 園子				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	食物摂取の最終段階である調理について、食品が人に摂取されるまでの過程であることを理解し、人々の健康をサポートする管理栄養士として必要な調理の知識と技術の基礎を、実習を通して確実に修得する。				
到達目標	1.衛生に留意し、安全に調理ができる 2.食材の洗浄、切裁、加熱が適切にできる 3.日常の基礎的な食事を作ることができる				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 30%、実技テスト 20%、レポート(実習ノート)30%、実習への積極性 20%				
課題に対する フィードバック	実習レポートにコメントをつけて返却する				
使用教材	「流れと要点がわかる 調理学実習」、香西みどり・綾部園子編著、光生館				
1	講義内容	ガイダンス:調理実習の意義、調理実習室の使い方・実習心得)			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスを読んで実習の目標を確認する		0.5 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針との対応、成績評価方法などを確認する。		1 時間
2	講義内容	白飯(p28)、みそ汁(p30)、豚肉のしょうが焼き、酢の物(p35)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。		0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる		2 時間
3	講義内容	たけのご飯(p41)、若竹汁(p42)、きんぴらごぼう(p39)、厚焼き卵(p30)、桜餅(p141)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。		0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる。テストの勉強をする		3 時間
4	講義内容	食育実習(幼児料理教室)、実技テスト 1(きゅうりの輪切り、じゃがいもの皮むき、きゃべつの千切り等)・筆記テスト			
	該当する到達目標	予習	実施要領に目を通す。		1 時間
	1,2,3	復習	実習・テスト内容を振り返る。		1 時間
5	講義内容	豆ごはん(p33)、かきたま汁(p34)、かれいの煮つけ(p34)、青菜のごま和え(p31)、まんじゅう(p142)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。		0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる		2 時間
6	講義内容	赤飯(p45)、あじの姿焼き(p47)、炊き合わせ(p50)、吉野鶏の吸い物(p46)、水羊羹(p143)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。		0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる		2 時間
7	講義内容	西洋料理について、ハンバーグステーキ(p93)、コンソメスープ(p94)、ピラフ(p94)、ゼリー			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。		0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる		2 時間
8	講義内容	いわしの香草焼き(p98)、キャロットスープ(p99)、トマトサラダ(p97)、トーナッツ(p99)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。		0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる		2 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

9	講義内容	カレー&サフランライス(p105)、ポテトサラダ(p106)、マドレーヌ(p107)、ラッシー(p156)		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる	2 時間
10	講義内容	中華料理について、涼拌三絲(p61)、炒米粉(p62)、餛飩湯(p62)、青椒牛肉絲(p70)		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる	2 時間
11	講義内容	涼拌茄子(p73)、麻婆豆腐(p41)、蕃茄蛋花湯(p82)、杏仁豆腐(p71)、白飯		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる	2 時間
12	講義内容	手打ちうどん(p148)、てんぷら(p43)、みぞれあえ		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる	2 時間
13	講義内容	実技テスト 2・筆記試験		
	該当する到達目標	予習	試験課題の練習、基本事項の確認。	2 時間
	1,2,3	復習	試験内容を振り返る。夏季休業中の課題の計画をたてる	1.5 時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・受講ルール: ユニホーム、クッキングシューズ着用、包丁、ノート必携 ・実習レポート: 調理のポイントと実習内容に関連した事項を調べてまとめること ・自宅学習: 自習時間の不足分は、試験前の学習および夏季休暇の課題で補完すること ・メールアドレス: ayabe@takasaki-u.ac.jp、オフィスアワーは前期(火 5 時限目)、後期(金時限目) 			

科目名	調理学実習Ⅱ(専門基幹科目)			HNB253	実習
担当教員	綾部 園子				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	前期の調理学実習Ⅰを基礎として、応用・発展的な実習を通して、調理の技術と知識を高め、栄養バランス、食品、食文化、経済等に配慮して、献立作成する力を修得する。				
到達目標	1.応用的な調理技術を修得する 2.安全で衛生的に調理を作ることができる 3.主な食品の調理性を説明できる 4.適切な調味、供卓方法ができる				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 30%、実技テスト 20%、レポート(実習ノート)30%、実習への積極性 20%				
課題に対するフィードバック	レポートにコメントをつけて返却する				
使用教材	「流れと要点がわかる 調理学実習」、香西みどり・綾部園子編著、光生館				
1	講義内容	ぶりの照り焼き・菊花カブ(p58)、白和え(p47)、けんちん汁(p38)、白飯、なんきん白玉(p142)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す		0.5 時間
	2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる		2 時間
2	講義内容	栗ご飯(p33)、茶碗蒸し(p51)、さば(いわし)の竜田揚げ、炒り鶏(p55)、じょうよまんじゅう(p142)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す		0.5 時間
	2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる		2 時間
3	講義内容	巻きずし(p53)、いなりずし(p54)、手まり寿司、菊花豆腐の吸い物(p42)、即席漬け(p37)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す		0.5 時間
	1,2,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる		2 時間
4	講義内容	古噛肉(p65)、芙蓉蟹(p82)、搾菜肉絲湯(p74)、玻璃青梗菜(p89)、水果西米露(p79)、白飯			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す		0.5 時間
	2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる		2 時間
5	講義内容	鍋貼餃子(p81)、干焼明蝦(p74)、辣白菜(p66)、西湖魚羹(p69)、拔絲地瓜(p78)、白飯			
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章p48～51に目を通す。		0.5 時間
	2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる		2 時間
6	講義内容	八宝肉飯(p75)、きのこ鶏肉のオイスターソース炒め、酢辣湯(p86)、杏仁酥餅(p75)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す		0.5 時間
	1,2,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる		2 時間
7	講義内容	珍珠丸子(p77)、糖醋魚(p81)、芒果布丁(p79)、玉米湯(p66)、白飯			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す		0.5 時間
	1,2,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる		2 時間
8	講義内容	スパゲッティミートソース(p109)、クラムチャウダー(p110)、カスタードプディング(p116)、コールスロー(p110)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す		0.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる	2 時間
9	講義内容	パン(p120-120)、鶏肉のクリーム煮、ミネストローネ(p122)、パイ生地(次回使用)		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	1,2,3,4,	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる	2 時間
10	講義内容	ドイツ料理:ウィーンナーシュニッツェル(p116)、キッシュ(p149)、アプルストウルーデル、チーズスープ(p114),		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる	2 時間
11	講義内容	クリスマス料理:ブッシュドノエル(p153)、パンプキンスープ(p135)、ローストチキン(p132)、キャロットライス		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる	2 時間
12	講義内容	正月料理(p124~): 田作り、松風焼き、伊達巻、栗きんとん、紅白なます、野菜の煮しめ、かまぼこ、えびのうま煮、黒豆、雑煮		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる	2 時間
13	講義内容	韓国料理:ビビンバ(p153)、あじの韓国風照り焼き、オイキムチ(p154)、スープ春雨		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる	2 時間
14	講義内容	実習テスト(あじの三枚下ろし、大根せん切り、リンゴの皮むき)		
	該当する到達目標	予習	基本事項を確認し、練習する	1 時間
	2,3,4	復習	振り返り	0.5 時間
15	講義内容	テーブルマナー		
	該当する到達目標	予習	西洋料理のマナーについてテキストに目を通しておく	0.5 時間
	4	復習	マナーや料理についてレポートにまとめる	2 時間
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・受講ルール: ユニホーム、クッキングシューズ着用、包丁、ノート必携 ・実習レポート: 調理のポイント、栄養計算と実習内容に関連した事項を調べてまとめること ・自宅学習: 自習時間の不足分は、試験前の学習および日常の調理で補完すること ・メールアドレス: ayabe@takasaki-u.ac.jp、オフィスアワーは前期(火 5 時限目)、後期(金 1 時限目) 			

科目名	調理科学(専門基幹科目)			HNB254	演習
担当教員	綾部 園子				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	食品が調理を経て人に摂取されるまでの過程を学ぶとともに、人体に対しての栄養面や安全面等への影響や評価を理解する。 「調理」の要点は、調理操作による食品の物理的、化学的、組織学的変化を望ましい状態に制御することであり、そのためには個々の食品の調理特性を熟知しておく必要がある。調理科学では食品の調理特性を学び、調理操作の諸条件と関連づけて理解する。食品の物性および嗜好性とその評価方法について修得する。				
到達目標	1.食品の調理性を理解し説明できる。 2.食べ物の評価方法とテクスチャーを理解し、説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 50%、小テスト 30%(10%×3)、レポート 20%				
課題に対するフィードバック	レポートにコメントをつけて返却する				
使用教材	栄養管理と生命科学シリーズ「調理の科学」、吉田恵子、綾部園子編、理工図書 「調理科学実験」、今井悦子、小西史子編、アイ・ケイ・コーポレーション				
1	講義内容	調理科学とは(調理学の復習を含む)			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。	1.5 時間	
	1,2	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針との対応、成績評価方法などを確認する。	1 時間	
2	講義内容	炭水化物を主成分とする食品 ①米			
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章p100～110に目を通す。	0.5 時間	
	1	復習	炭水化物の特徴、米の調理性について理解する	1 時間	
3	講義内容	【実験】1 炊飯について			
	該当する到達目標	予習	実験書のp56～61に目を通す。	0.5 時間	
	1,2	復習	実験結果をまとめ、レポートを作成する	2 時間	
4	講義内容	炭水化物を主成分とする食品 ②小麦			
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章p111～120に目を通す。	0.5 時間	
	1	復習	小麦の調理性を理解する	1 時間	
5	講義内容	【実験】2 小麦粉について			
	該当する到達目標	予習	実験書のp62～65に目を通す。	0.5 時間	
	1,2	復習	実験結果をまとめ、レポートを作成する	2 時間	
6	講義内容	炭水化物を主成分とする食品 ③いも、豆			
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章p120～132に目を通す。	0.5 時間	
	1	復習	いも、豆の調理性を理解する。小テストをするので復習しておく	2 時間	
7	講義内容	たんぱく質を主成分とする食品① たんぱく質			
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章p133～137に目を通す。	0.5 時間	
	1	復習	たんぱく質の特徴を理解する。	1 時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	たんぱく質を主成分とする食品② 肉	
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第6章p137～144に目を通す。 0.5時間
		復習	食肉の調理性を理解する 1時間
9	講義内容	たんぱく質を主成分とする食品③ 魚・卵	
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第6章p144～160に目を通す。 0.5時間
		復習	魚介類、卵類の調理性を理解する 1時間
10	講義内容	【実験】3 卵について	
	該当する到達目標 1,2	予習	実験書のp106～107、114～115に目を通す。 0.5時間
		復習	実験結果をまとめ、レポートを作成する。小テストをするので復習しておく 3時間
11	講義内容	ビタミン・無機質の給源となる食品	
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第6章p160～178に目を通す。 0.5時間
		復習	乳類、野菜の調理性について理解する 1時間
12	講義内容	【実験】4 野菜について	
	該当する到達目標 1,2	予習	実験書のp72～73に目を通す。 0.5時間
		復習	実験結果をまとめ、レポートを作成する 2時間
13	講義内容	成分抽出素材の調理性	
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第6章p184～217に目を通す。 0.5時間
		復習	成分抽出素材の調理性について、理解する 1時間
14	講義内容	【実験】5 ゲル化剤について	
	該当する到達目標 1,2	予習	実験書のp126～127、130～131に目を通す。 0.5時間
		復習	実験結果をまとめ、レポートを作成する。小テストをするので復習しておく。 3時間
15	講義内容	まとめ	
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書のp237～249のまとめ。 1時間
		復習	学習内容全般について、確認する 1時間
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅学習: 自習時間の不足分は、試験前の学習で補完すること。 ・メールアドレス: ayabe@takasaki-u.ac.jp、オフィスアワーは前期(火 5 時限目)、後期(金 1 時限目) ・実験後、1 週間以内にレポートを提出すること。 		

科目名	食品学I(専門基幹科目)			HNB261	講義
担当教員	松岡 寛樹				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	今日、生活習慣病対策が国民の健康問題の大きな課題となっている。生活習慣病の発症と進行を防ぐためには、食生活改善が重要であるといわれている。本講座は食と健康について科学的に理解を深めることを目標とする。				
到達目標	1.食品成分表を理解し、その意味について説明できる。 2.食品の化学成分(栄養成分・嗜好成分)の特性について説明できる。 3.有機化学的な視点から食品を説明できる。				
学位授与方針との対応	豊かな人間性と職業倫理				
	専門的知識				
	✓ 問題発見・解決力				
	多様な社会・背景を理解し対応する能力				
	コミュニケーション能力				
	自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	試験(100%)にて評価する。◎ 評価方法の基準については講義初回時と終了時に説明する。				
課題に対するフィードバック	試験問題出題の意図について解説する。				
使用教材	教科書:「食品学」久保田紀久枝、森光康次郎編、東京化学同人、ISBN978-4-8079-1665-8				
1	講義内容	食品の分類と食品成分表について			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.3~22 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	
2	講義内容	水分について			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.25~29 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	
3	講義内容	アミノ酸について			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.43~45 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	
4	講義内容	ペプチド・タンパク質について			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.46~51 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	
5	講義内容	酵素について			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.51~55 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	
6	講義内容	糖質について			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.30~34 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	
7	講義内容	オリゴ糖・多糖類について			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.34~38 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	
8	講義内容	食物繊維について			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.39 ~42 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

9	講義内容	脂質について		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.56～64 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
10	講義内容	微量栄養素について(ビタミン)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.65～73 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
11	講義内容	微量栄養素について(ミネラル)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.74～78 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる	0.5 時間
12	講義内容	嗜好成分について(ポルフィリン系色素)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.79～82 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
13	講義内容	嗜好成分について(カロテノイド系色素)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.83～84 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
14	講義内容	嗜好成分について(フラボノイド系色素)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.84～89 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	全体を見直し、これまでの学習で不十分と思われる事項を書き出す	0.5 時間
	1,2,3	復習	当日、配布される資料を復習する	0.5 時間
備考	オフィスアワー: 講義のある曜日の午後(3～5 時限) 研究室: 1 号館 4 階 402 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	食品学Ⅱ(専門基幹科目)			HNB262	講義
担当教員	松岡 寛樹				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	今日、生活習慣病対策が国民の健康問題の大きな課題となっている。生活習慣病の発症と進行を防ぐためには、食生活改善が重要であるといわれている。本講座は食と健康について科学的に理解を深めることを目標とする。				
到達目標	1.食品の機能性成分について説明できる。 2.植物性食品、動物性食品などの特性と機能性について説明できる。 3.有機化学的な視点から食品を説明できる。				
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	試験(100%)にて評価する。◎ 評価方法の基準については講義初回時と終了時に説明する。				
課題に対する フィードバック	試験問題出題の意図について解説する。				
使用教材	教科書:「食品学」久保田紀久枝、森光康次郎編、東京化学同人、ISBN978-4-8079-1665-8				
1	講義内容	食品の呈味成分について(甘味、酸味、苦味、)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.89~95 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	
2	講義内容	食品の呈味成分について(塩味、旨味、その他)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.95~98 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	
3	講義内容	食品の香気成分について(総論)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.99~101 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	
4	講義内容	食品の香気成分について(植物性食品)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.102~105 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	
5	講義内容	食品の香気成分について(その他の食品)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.105~109 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	
6	講義内容	食品成分間反応(酸化と劣化)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.121~129 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	
7	講義内容	食品成分間反応(食品の酸化抑制)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.129~133 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	
8	講義内容	食品成分の変化について(酵素による変化、非酵素的褐変)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.134 ~143 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

9	講義内容	食品成分の変化について(成分間反応による有害成分)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.144～146 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
10	講義内容	機能性食品について(保健機能食品)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.166～174 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
11	講義内容	機能性食品について(機能性表示食品など)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.158～165 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
12	講義内容	植物性食品について		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.176～208 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
13	講義内容	動物性食品について		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.209～235 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
14	講義内容	その他の食品について(嗜好飲料・発酵食品)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.236～262 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	全体を見直し、これまでの学習で不十分と思われる事項を書き出す	0.5 時間
	1,2,3	復習	当日、配布される資料を復習する	0.5 時間
備考	オフィスアワー: 講義のある曜日の午後(3～5 時限) 研究室: 1 号館 4 階 402 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	食べ物と健康基礎実験(専門基幹科目)		HNB263	実験
担当教員	松岡 寛樹			
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	必修 1 単位	
講義目標	本実験は2～3年生で学ぶ実験・実習等の基本となるため、実験のための基礎知識や考え方を習得することを目的とする。			
到達目標	1.ガラス器具の名称と用途及び操作を理解し、説明できる。 2.試料の適切な取り扱いができる。 3.食品分析法について理解し、化学的な実験方法の基礎を身につけることができる。			
学位授与方針 との対応	豊かな人間性と職業倫理			
	専門的知識			
	問題発見・解決力			
	✓ 多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	コミュニケーション能力			
	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	期末試験(100%) レポート提出、出席回数の要件を満たすことは期末試験を受けるために必須条件です。			
課題に対する フィードバック	実験レポートはコメントを付けて返却する。			
使用教材	教科書: わかりやすい食品の基礎と機能性分析法、宇田靖、大石祐一編アイ・ケイコーポレーション ISBN-13: 978-4874923306			
1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書1に記載されている原理および実験方法を読み、実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
2	講義内容	魅せる実験(人工いくら、物質の発光特性)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習		0 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
3	講義内容	ガラス器具の取り扱いと測容		
	該当する到達目標 1,2,3	予習		0 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
4	講義内容	ガラス細工		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書1に記載されている原理および実験方法を読み、実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
5	講義内容	魅せる実験2(液体窒素、エステル合成、有機溶媒の取り扱い、食品色素による酸化還元反応)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書1に記載されている原理および実験方法を読み、実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
6	講義内容	食品の比重測定(ガラス製ピペット)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書1に記載されている原理および実験方法を読み、実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
7	講義内容	食品の比重測定(マイクロピペット)		

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1・2に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
8	講義内容	緩衝液調製とアントシアニン色素および pH メーターによる pH 測定		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
9	講義内容	水分・灰分の定量		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
10	講義内容	粗脂肪の抽出と定量		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
11	講義内容	油脂の薄相クロマトグラフィー分析		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
12	講義内容	油脂の化学的試験(ケン化価の測定)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	オフィスアワー: 講義のある曜日の午後(3~5 時限) 研究室: 1 号館 4 階 402 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	食品学実験(専門基幹科目)			HNB264	実験
担当教員	松岡 寛樹				
学年・開講期	2年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	本実験は2～3年生で学ぶ実験・実習等の基本となるため、実験のための基礎知識や考え方を習得することを目的とする。				
到達目標	1.食品分析法について理解し、定性定量分析ができる。 2.高度な分析機器を用いた定量分析ができる。 3.実験をするための準備からまとめまで理解し、活用することができる。				
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	期末試験(100%) レポート提出、出席回数の要件を満たすことは期末試験を受けるために必須条件です。				
課題に対する フィードバック	実験レポートはコメントを付けて返却する。				
使用教材	教科書: わかりやすい食品の基礎と機能性分析法、宇田靖、大石祐一編アイ・ケイコーポレーション ISBN-13: 978-4874923306 配布資料				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	なし	0 時間	
	1,2,3	復習	なし	0 時間	
2	講義内容	有機酸の中和滴定			
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間	
	1,2,3	復習	レポートの作成	1 時間	
3	講義内容	食塩の沈殿滴定			
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間	
	1,2,3	復習	レポートの作成	1 時間	
4	講義内容	食塩の定量(試料調製と簡易分析)			
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間	
	1,2,3	復習	レポートの作成	1 時間	
5	講義内容	食塩の定量(電量滴定法、原子吸光分析)			
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間	
	1,2,3	復習	レポートの作成	2 時間	
6	講義内容	ポリフェノールの定量(フォーリン・チオカルト法)			
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間	
	1,2,3				

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

		復習	レポートの作成	2 時間
7	講義内容	ポリフェノールの定量(DPPH ラジカル消去試験)		
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間
	1,2,3	復習	レポートの作成	2 時間
8	講義内容	アミノ酸の分析(試料の調製)		
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間
	1,2,3	復習	レポートの作成	2 時間
9	講義内容	アミノ酸の分析(高速液体クロマトグラフィー分析)		
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間
	1,2,3	復習	レポートの作成	2 時間
10	講義内容	脂肪酸の定量(ケン化・メチルエステル化による試料調製)		
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間
	1,2,3	復習	レポートの作成	2 時間
11	講義内容	脂肪酸の定量(接触水素添加ならびにガスクロマトグラフィー分析)		
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間
	1,2,3	復習	レポートの作成	2 時間
12	講義内容	施設見学		
	該当する到達目標	予習	なし	0 時間
	1,2,3	復習	レポートの作成	0.5 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	オフィスアワー: 講義のある曜日の午後(3~5 時限) 研究室: 1 号館 4 階 402 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	食品衛生学(専門基幹科目)			HNB271	講義
担当教員	村松 芳多子				
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	食品の安全に関する基本的な知識と衛生的取扱いやその原理に関する知識を修得し、人体に対しての栄養面や安全面等への影響や評価について理解することを目標とする。				
到達目標	1.食品における理化学的, 微生物学的劣化の原理を理解し説明できる。 2.食品の安全性を損なうウイルス, 細菌, かびなどの微生物の特徴や有害化学物質について説明できる。 3.食品安全に関する基本的知識を説明できる。				
学位授与方針 との対応	豊かな人間性と職業倫理 専門的知識 ✓ 問題発見・解決力 ✓ 多様な社会・背景を理解し対応する能力 コミュニケーション能力 ✓ 自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	試験(90%), 課題(10%)にて評価する。◎ 評価方法の基準については講義初回時と終了時に説明する。				
課題に対する フィードバック	課題レポートはコメントスタンプを付けて返却する。 講義時に解説する。				
使用教材	教科書:「新入門食品衛生学 改定第 3 版」, 和泉喬・小田隆弘・貞包治夫・堀井正治・松岡麻男共著, 南江堂, 2016 (ISBN978-4-524-25823-9), 定価 2,484 円(本体 2,300 円+税) その他:授業支援システム CaLabo Bridge を活用する。				
1	講義内容	食品衛生学の概念(概要, 食品衛生管理, 食品の安全性問題)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p. 1~4 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる	0.5 時間	
2	講義内容	食品衛生行政(食品等の検査, 食品衛生監視, 輸入食品監視), 食品衛生関係法規(食品衛生法規, 一般食品の規格, 食品の規格基準, 国際食品規格)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p. 1~38 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる	0.5 時間	
3	講義内容	食品と微生物 1(微生物の種類と特徴)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p. 39~51 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる	0.5 時間	
4	講義内容	食品と微生物 2(微生物の増殖と環境, 食品と微生物の関係)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p. 51~56 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる	0.5 時間	
5	講義内容	食品の変質とその防止(変質・腐敗と防止・制御)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p. 57~70 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる	0.5 時間	
6	講義内容	食中毒 1(食中毒の発生状況, 細菌性食中毒(感染型))			
	該当する到達目標	予習	教科書 p. 71~92 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる	0.5 時間	
7	講義内容	食中毒 2(細菌性食中毒(毒素型), ウイルス性食中毒,)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p. 92~111 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間	
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる	0.5 時間	
8	講義内容	食中毒 3(自然毒食中毒, 化学物質による食中毒, マスターテーブル法, その他の食中毒)			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 p.112 ~125 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	【課題】国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる	0.5 時間
9	講義内容	食品の媒介による経口感染・寄生虫(赤痢, 腸チフス, コレラ, 伝染性下痢症, 人畜感染症, 寄生虫の種類, 有害昆虫, 経口感染対策)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 p. 127~156 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	【課題】国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる	0.5 時間
10	講義内容	食品中の汚染物質(カビ毒, 農薬の食品汚染, 有害物質の生体内蓄積)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 p. 157~175 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	【課題】国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる	0.5 時間
11	講義内容	食品添加物 1(種類と用途, 食品添加物の安全性)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 p. 177~188 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	【課題】国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる	0.5 時間
12	講義内容	食品添加物 2(食品の表示制度と規格基準, 健康や栄養に関する表示制度と基準)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 p. 26~27, p. 188~194 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	【課題】国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる	0.5 時間
13	講義内容	集団給食における衛生管理 1(危害分析重要管理事項; HACCP, 食材料の仕入れから喫食までの汚染防止対策, 施設衛生とその取扱)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 p. 201~219 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	【課題】国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる	0.5 時間
14	講義内容	集団給食における衛生管理 2(集団給食従事者の衛生管理, 検食・保存食, 事故発生時の対応)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 p. 219~220 及び「大量調理施設衛生管理マニュアル」を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	【課題】国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる	0.5 時間
15	講義内容	食品用の器具と包装(素材と衛生, 素材の環境汚染), 食品の安全性問題		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 p. 195~200, p. 221~228 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	【課題】国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる	0.5 時間
備考	<p>※ 平日の予習・復習時間では, 学習時間が不足です。土日祝日及び長期休暇時等に不足の学習時間を補うこと(課題は平日だけでは終了できません)。</p> <p>オフィスアワー: 講義のある曜日の午後(3~5 時限)</p> <p>研究室: 1 号館 4 階 404</p> <p>◎ 相談・質問がある場合は予めアポイントメントを取ること。</p>			

科目名	食品衛生学実験(専門基幹科目)			HNB272	実験
担当教員	村松 芳多子				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	「食品衛生学」で修得した基礎知識について、実験を通してさらに理解を深めることを目的とする。「食品衛生学実験」では、化学物質の特性や検出方法、微生物の特性と取り扱い方、細菌やかびの検出、観察、取り扱い実験、保存料や発色剤などの食品添加物の検出実験を取り上げ、知識をより深める。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.微生物の実験操作ができる。 2.飲料水の水質検査ができる。 3.食品の鮮度を測定できる。 4.調理器具を衛生に管理することができる。 5.食品の抗菌効果について理解できる。 6.食品添加物の検出ができる。 				
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	<p>実験ノート(40%)、試験(33%)、共同の実験記録用紙(27%)等の総合評価。ただし、総合評価の条件は試験を6割超えた場合に限る。</p> <p>◎ 評価方法の基準については実験初回時と終了時に説明する。</p> <p>実験ノートの評価方法は、実験書および実験ノートに記載した評価法による。</p> <p>定期試験範囲は、初回に説明し試験前に提示する。</p>				
課題に対する フィードバック	<p>実験ノートはコメントスタンプを付けて返却する。</p> <p>授業支援システム CaLabo Bridge に記載する。</p>				
使用教材	<p>教科書 1:専用の食品衛生学実験書と実験ノートを配布する。</p> <p>教科書 2:「新入門食品衛生学 改定第3版」, 和泉喬・小田隆弘・貞包治夫・堀井正治・松岡麻男共著, 南江堂, 2016 (ISBN978-4-524-25823-9), 定価 2,484 円(本体 2,300 円+税)</p> <p>その他:授業支援システム CaLabo Bridge を活用する。</p>				
1	講義内容	食品衛生学実験の基本 1 (実験の概要、微生物の取扱方等、パン酵母の観察と培養)			
	該当する到達目標 1	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み、実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。		0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。		1 時間
2	講義内容	食品衛生学実験の基本 2 (微生物の分離・培養方法;微生物の釣菌方法)			
	該当する到達目標 1	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み、実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。		0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。		1 時間
3	講義内容	食品衛生学実験の基本 3 (食品からの微生物の分離・培養;生菌数の測定および算定方法)			
	該当する到達目標 1	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み、実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。		0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。		1 時間
4	講義内容	飲料水の水質検査 (残留塩素の測定, pH の測定, 亜硝酸性窒素の測定他)			
	該当する到達目標	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み、実験のフローチャートま		0.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	2		たはプロトコルを作成する。		
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間	
5	講義内容	食品の鮮度測定 1 (品質判定・鑑別:食品の簡易鮮度試験)			
		該当する到達目標	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		1,3	復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
6	講義内容	食品の鮮度測定 2 (揮発性塩基窒素の測定)			
		該当する到達目標	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		1,3	復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
7	講義内容	食品の衛生検査 1 (食品からの環境衛生管理上の汚染指標菌の検査) 調理器具等の衛生検査 1 (食器等洗浄の簡易検査, 拭き取り検査法, 簡易微生物測定法)			
		該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		1,4	復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
8	講義内容	食品添加物の検査 1 (保存料の抗菌力測定(ペーパーディスク法), 防ばい剤の抗菌試験) 調理器具等の衛生検査 2 (簡易測定法の評価方法)			
		該当する到達目標	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		1,4,5,6	復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
9	講義内容	食品添加物の検査 2 (食品中の発色剤の検出)			
		該当する到達目標	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		1,6	復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
10	講義内容	食中毒菌の分離検査 1 (選択培地による分離法)			
		該当する到達目標	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		1	復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
11	講義内容	食品衛生検査 2 (分離微生物のグラム染色), 食品添加物の検査 3 (食品からの漂白剤の検出)			
		該当する到達目標	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		1,6	復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
12	講義内容	食中毒菌の分離検査 2 (食中毒菌の同定鑑別), 食品添加物の検査 4 (食品からの保存料の検出)			
		該当する到達目標	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		1,6	復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
13	講義内容	食品添加物の検査 5 (食品からの着色料の検出)			
		該当する到達目標	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		6	復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
14	講義内容				
	該当する到達目標	予習		時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	<p>※ 微生物系の実験は結果を導くために期間を要する場合がある。そのため、講義内容全てを記載することができません。実験ごとの詳細内容は、授業支援システム CaLabo Bridge を活用し公開している。</p> <p>オフィスアワー: 講義のある曜日の午後(5 時限)</p> <p>研究室: 1 号館 4 階 404</p> <p>◎ 相談・質問がある場合は予めアポイントメントを取ることを。</p>			

科目名	食品加工学(専門基幹科目)			HNB281	講義
担当教員	村松 芳多子				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	栄養面, 安全面, 嗜好面の各特性を高める各種食品の加工・貯蔵原理や方法, 容器包装食品等について理解することを目標とする。				
到達目標	1.食品加工法と加工食品(日本食品標準成分表に記載されている加工食品)を理解し説明できる。 2.食品の貯蔵法, 食品の包装を理解し説明できる。 3.加工食品の製造規格を理解し説明できる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	試験(67%), 食品選択の理解(20%), 提出課題(13%)にて評価する。 ◎ 評価方法の基準については講義初回時と終了時に説明する。				
課題に対する フィードバック	課題レポートはコメントスタンプを付けて返却する。 講義時に解説する。				
使用教材	教科書 1:「日本食品標準成分表 2015 年版(七訂)」, 文部科学省 科学技術・学術審議会 資源調査分科報告, 全官報, 2015(ISBN978-4-86458-118-9), 定価 1,998 円(本体 1,850 円+税) 教科書 2:「改訂初版 食品加工学概説」, 國崎直道・川澄俊之編著, 同文書院, 2013(ISBN978-4-8103-1430-4), 定価 2,268 円(本体 2,100 円+税) その他: C-learning, 授業支援システム CaLabo Bridge を活用する。				
1	講義内容	食品加工貯蔵の原理(食品の変敗, 加工と貯蔵による食品の変化, 食品の保存法, 食品加工貯蔵の新技术等, 日本食品標準成分表に記載されている加工食品)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	日本食品標準成分表の第 1 章説明 p. 1~28 を読む		1.5 時間
		復習	国家試験過去問題を解く 1		0.5 時間
2	講義内容	農産食品加工貯蔵(穀類・いも類およびでん粉類の加工貯蔵)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	【課題】加工食品と食品標準成分表を理解する 1		1.5 時間
		復習	国家試験過去問題を解く 2		0.5 時間
3	講義内容	農産食品・発酵食品加工貯蔵(砂糖及び甘味類・豆類・種実類の加工貯蔵)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	【課題】加工食品と食品標準成分表を理解する 2		1.5 時間
		復習	国家試験過去問題を解く 3		0.5 時間
4	講義内容	農産食品加工貯蔵(野菜類・果物類・きのこ類の加工貯蔵)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	【課題】加工食品と食品標準成分表を理解する 3, 4		1.5 時間
		復習	国家試験過去問題を解く 4		0.5 時間
5	講義内容	海産食品加工貯蔵(藻類・魚介類の加工貯蔵)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	【課題】加工食品と食品標準成分表を理解する 5		1.5 時間
		復習	国家試験過去問題を解く 5		0.5 時間
6	講義内容	畜産食品加工貯蔵(肉類・卵類・乳類の加工貯蔵)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	【課題】加工食品と食品標準成分表を理解する 6		1.5 時間
		復習	国家試験過去問題を解く 6		0.5 時間
7	講義内容	嗜好食品・その他の加工貯蔵(油脂類・菓子類・嗜好飲料類・調味料及び香辛料類・調理加工食品類加			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

		工貯蔵)		
	該当する到達目標	予習	【課題】加工食品と食品標準成分表を理解する 7	1.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験過去問題を解く 7	0.5 時間
	講義内容	器包装食品(食品と包装素材), 食品流通・保存と栄養		
8	該当する到達目標	予習	【課題】加工食品と食品標準成分表を理解する 8, 9	1.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験過去問題を解く 8	0.5 時間
備考	<p>※ 平日の復習時間 0.5 時間では学習時間が不足です。土日祝日等に不足の学習時間を補うこと(復習内容は, 国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる内容です。平日だけでは終了できません)。</p> <p>オフィスアワー: 講義のある曜日の午後(3~5 時限)</p> <p>研究室: 1 号館 4 階 404</p> <p>◎ 相談・質問がある場合は予めアポイントメントを取ること。</p>			

科目名	食品加工学実習(専門基幹科目)			HNB282	実習
担当教員	村松 芳多子				
学年・開講期	2年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	食品の生育・生産から、加工を経て人に摂取されるまでの過程を学び、人体に対しての栄養面や安全面の影響や評価を理解・修得する。「食品学ⅠとⅡ」や「食品加工学」で学んだことを基礎として実習し、より実践的に食品の嗜好性・栄養性・機能性の変化および品質保持技術と安全性の確保についての知識を深めることを目的とする。				
到達目標	1.各食品原料の特性, 特有成分の栄養的・し好的・化学的性質を理解し説明できる。 2.食品の安全な取扱の基本を修得する。 3.食品加工製造方法および原理を理解し, 実際に製造できる。 4.食品の評価および選択の方法を理解する。 5.食品表示および食品添加物について説明できる。				
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	実習ノート(57%), 試験(43%)等の総合評価。ただし, 総合評価の条件は試験を6割超えた場合に限る。 ◎ 評価方法の基準については実習初回時と終了時に説明する。 実習ノートの評価方法は, 実習書および実習ノートに記載した評価法による。 定期試験範囲は, 初回に説明し試験前に提示する。				
課題に対する フィードバック	実習ノートはコメントスタンプを付けて返却する。 実習時に解説, またはメールにて説明連絡を行う。授業支援システム CaLabo Bridge に記載する。				
使用教材	教科書 1: 専用の食品加工学実習書と実習ノートを配布する。 教科書 2: 「改訂初版 食品加工学概説」, 國崎直道・川澄俊之編著, 同文書院, 2013 (ISBN978-4-8103-1430-4), 定価 2,268 円(本体 2,100 円+税) その他: 授業支援システム CaLabo Bridge を活用する。				
1	講義内容	畜産物の加工品 1 バター, カッテージチーズ(カゼインの実験)			
	該当する到達目標	1,2,3,4,5	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
			復習	実習ノートの作成; 【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
2	講義内容	農産物の加工品 1 こんにゃく, こんにゃくゼリー			
	該当する到達目標	1,2,3,4,5	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
			復習	実習ノートの作成; 【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
3	講義内容	農産物の加工品 2 豆腐			
	該当する到達目標	1,2,3,4,5	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
			復習	実習ノートの作成; 【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
4	講義内容	発酵食品の加工品 1 ヨーグルト 1 発酵食品および乳製品の加工			
	該当する到達目標	1,2,3,4,5	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

		復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
5	講義内容	発酵食品の加工品 2 ヨーグルト 2 乳製品の種類とその保存		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
6	講義内容	発酵食品の加工品 3 納豆		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
7	講義内容	農産物の加工品 3 リンゴジャム		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
8	講義内容	水産物の加工品 1 かまぼこ		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
9	講義内容	畜産物の加工品 2 ポークソーセージ		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
10	講義内容	農産物の加工品 4 みかんの缶詰		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
11	講義内容	農産物の加工品 5 みかんの缶詰検査		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
12	講義内容	農産物の加工品 6 つぶしあん		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
13	講義内容	し好食品の加工品 1 キャラメル(砂糖の加熱実験)		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備	オフィスアワー:講義のある曜日の午後(5 時限)			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

考

研究室:1号館4階404

◎ 相談・質問がある場合は予めアポイントメントを取ること。

科目名	基礎栄養学(専門科目)			HNA311	講義
担当教員	永井 俊匡				
学年・開講期	2年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	栄養とは何か、その意義について理解することを目標とする。特に、健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解し、エネルギー代謝と栄養素の代謝、およびそれらの生理学的意義を理解することを目標とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養と栄養素の用語の違いを、説明できる。 2. 栄養における各栄養素の役割を、説明できる。 3. エネルギー代謝の概要と意義を、説明できる。 4. 各栄養素の消化・吸収の流れを、説明できる。 5. 各栄養素がどう代謝されるかを、説明できる。 6. 健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を、説明できる。 				
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 100%				
課題に対する フィードバック	試験の正答は、試験実施後に公表するので、自己採点して復習すること。				
使用教材	「栄養科学イラストレイテッド基礎栄養学」田地陽一編、羊土社 2016 年、2,800 円。 基本的にテキストに沿って授業を進める。				
	講義内容	栄養の概念			
1	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章を精読し、疑問点をまとめておく。		1.5 時間
	1, 2, 6	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。		1 時間
	講義内容	食物の摂取			
2	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章を精読し、疑問点をまとめておく。		1.5 時間
	4, 6	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。		1 時間
	講義内容	消化・吸収と栄養素の体内動態			
3	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章を精読し、疑問点をまとめておく。		1.5 時間
	4	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。		1 時間
	講義内容	糖質の栄養(1)血糖とその調節			
4	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 [1]～[4] を精読し、疑問点をまとめておく。		1.5 時間
	2, 5, 6	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。		1 時間
	講義内容	糖質の栄養(2)エネルギー源としての作用、糖質の体内代謝			
5	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 [5]～[7] を精読し、疑問点をまとめておく。		1.5 時間
	2, 3, 5	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。		1 時間
	講義内容	脂質の栄養(1)脂質の臓器間輸送			
6	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 [1]～[2] を精読し、疑問点をまとめておく。		1.5 時間
	2, 4, 5	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。		1 時間
	講義内容	脂質の栄養(2)脂質の体内代謝、脂肪酸由来の生理活性物質			
7	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 [3]～[7] を精読し、疑問点をまとめておく。		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	2, 3, 5	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
8	講義内容	たんぱく質の栄養(1)たんぱく質・アミノ酸の体内代謝		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 [1]～[4] を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
	2, 3, 5	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
9	講義内容	たんぱく質の栄養(2)摂取するたんぱく質の量と質の評価		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 [5]～[6] を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
	2, 6	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
10	講義内容	ビタミンの栄養(1)脂溶性ビタミン		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章のうち、脂溶性ビタミンに関する箇所を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
	2, 5, 6	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
11	講義内容	ビタミンの栄養(2)水溶性ビタミン		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章のうち、水溶性ビタミンに関する箇所を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
	2, 3, 5, 6	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
12	講義内容	ミネラルの栄養(1)多量ミネラル、微量ミネラル		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 [1]～[4] を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
	2, 5, 6	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
13	講義内容	ミネラルの栄養(2)鉄の代謝		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 [5]～[6] を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
	2, 5, 6	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
14	講義内容	水・電解質の栄養学的意義		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
	5, 6	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
15	講義内容	エネルギー代謝		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 10 章を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
	3, 6	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
備考	<p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p> <p>受講資格:「有機化学Ⅱ」を履修済みであることが望ましい。</p> <p>キーワード:糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、代謝。</p> <p>オフィスアワー:月曜 5 限。1 号館 504 研究室または 1 号館 4F 栄養学研究室に常駐しているので、メールで連絡をもらえれば、それ以外の時間も柔軟に対応する。</p> <p>メールアドレス:tnagai@takasaki-u.ac.jp</p> <p>参考書:</p> <p>①「栄養科学イラストレイテッド演習版基礎栄養学ノート」(田地陽一編、羊土社 2016 年、2,600 円) 教科書のサブノート。予習・復習教材として演習することを推奨する。</p> <p>②「健康・栄養科学シリーズ基礎栄養学改訂第 5 版」(奥恒行・柴田克己編、南江堂 2015 年、2,800 円) 説明が詳しい。分からないことを調べるときに、辞書的な使い方で役立つ。</p>			

科目名	基礎栄養学実験(専門科目)			HNA312	実験
担当教員	永井 俊匡				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	1. 栄養素の化学的性質・ヒト体内での代謝過程を、実験を通して理解することを目標とする。 2. 栄養素に関する定性実験・定量実験の基礎を身につけることを目標とする。 3. データ処理・科学的考察・レポート記述能力を身につけることを目標とする。				
到達目標	1. 各栄養素の消化酵素・消化補助物質の働きを説明できる。 2. たんぱく質電気泳動の原理を説明できる。 3. 実験結果の正しい計算、および目的に合ったデータ処理を行うことができる。 4. 実験結果と科学的知識から、適切な結論を導き出すことができる。 5. 論理的かつ読み手に理解しやすい文章で、レポートを記述できる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	レポート(60%)、実験への積極性(40%)				
課題に対する フィードバック	レポートは、採点・添削して返却し、授業中に解説を行う。合格点に満たないレポートは、再提出を求める。				
使用教材	教員が作成した実験書を、各部のガイダンスの日にそれぞれ配布する。 ガイダンスの日などに、基礎栄養学の復習を行うので、「栄養科学イラストレイテッド基礎栄養学」(田地陽一編、羊土社 2016 年、2,800 円)を持参することが望ましい。				
1	講義内容	たんぱく質の消化(1)ガイダンス、試薬・器具等の準備			
	該当する到達目標	予習	基礎栄養学のたんぱく質分野について、教科書等で復習しておく。		1 時間
	1, 2, 5	復習	ガイダンス内容を、配布プリント等で復習する。		0.5 時間
2	講義内容	たんぱく質の消化(2)卵白の人工消化			
	該当する到達目標	予習	実験書をよく読み、当日の手順をイメージしておく。備考欄参照。		1 時間
	1	復習	実験方法・結果を、ノートにまとめておく。		0.5 時間
3	講義内容	たんぱく質の消化(3)卵白消化物の電気泳動			
	該当する到達目標	予習	実験書をよく読み、当日の手順をイメージしておく。備考欄参照。		1 時間
	1, 2	復習	実験方法・結果を、ノートにまとめておく。		0.5 時間
4	講義内容	たんぱく質の消化(4)電気泳動結果の検討、まとめ講義			
	該当する到達目標	予習	実験書をよく読み、当日の手順をイメージしておく。備考欄参照。		1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	レポートを作成する。		3 時間
5	講義内容	脂質の消化(1)ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	基礎栄養学の脂質分野について、教科書等で復習しておく。		1 時間
	1	復習	ガイダンス内容を、配布プリント等で復習する。		0.5 時間
6	講義内容	脂質の消化(2)脂質の人工消化			
	該当する到達目標	予習	実験書をよく読み、当日の手順をイメージしておく。備考欄参照。		1 時間
	1	復習	実験方法・結果を、ノートにまとめておく。		0.5 時間
7	講義内容	脂質の消化(3)酸価測定			
	該当する到達目標	予習	実験書をよく読み、当日の手順をイメージしておく。備考欄参照。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1	復習	実験方法・結果を、ノートにまとめておく。	0.5 時間
8	講義内容	脂質の消化(4)まとめ講義		
	該当する到達目標	予習	実験結果を、整理しておく。	0.5 時間
	1, 3, 4, 5	復習	レポートを作成する。	3 時間
9	講義内容	リボフラビンの抽出(1)ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	基礎栄養学のビタミン分野について、教科書等で復習しておく。	1 時間
	1	復習	ガイダンス内容を、配布プリント等で復習する。	0.5 時間
10	講義内容	リボフラビンの抽出(2)牛乳中のリボフラビンの抽出		
	該当する到達目標	予習	実験書をよく読み、当日の手順をイメージしておく。備考欄参照。	1 時間
	1	復習	実験方法・結果を、ノートにまとめておく。	0.5 時間
11	講義内容	リボフラビンの抽出(3)リボフラビンの定量		
	該当する到達目標	予習	実験書をよく読み、当日の手順をイメージしておく。備考欄参照。	1 時間
	1	復習	実験方法・結果を、ノートにまとめておく。	0.5 時間
12	講義内容	リボフラビンの抽出(4)まとめ講義		
	該当する到達目標	予習	実験結果を、整理しておく。	0.5 時間
	3, 4, 5	復習	レポートを作成する。	3 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	<p>予習について:自ら考え、自発的に行動することを重視するので、細かい指示は行わない。したがって事前に実験書を予習し、手順をイメージしておくこと。さらに、実験原理について、図書資料等で調べておくとよい。</p> <p>受講資格:「基礎栄養学」を履修済みであることが望ましい。</p> <p>キーワード:たんぱく質、SDS-PAGE、脂質、リボフラビン。</p> <p>オフィスアワー:月曜 5 限。1 号館 504 研究室または 1 号館 4F 栄養学研究室に常駐しているので、メールで連絡をもらえれば、それ以外の時間も柔軟に対応する。</p> <p>メールアドレス:tnagai@takasaki-u.ac.jp</p> <p>受講のルール:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.電卓・キッチンタイマー・ノートパソコン・デジカメは、使用可。 2.実験中は飲食禁止。ガイダンス等の講義中は飲み物を許可。 3.実験中は白衣を着用。 4.安全を第一とし、指示に従う。 5.薬品類・機器類は、事前に説明を聞いてから使用する。 			

科目名	応用栄養学 I (専門科目)			HNA321	講義
担当教員	曾根 保子				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	健康増進、疾病予防に寄与する栄養素の機能、特性等を理解し、健康にかかわるリスク管理の基本的な考え方について理解する。身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方や方法を習得する。				
到達目標	1.健康増進、疾病予防に寄与する栄養素の機能、特性等について説明できる。 2.健康にかかわるリスク管理の基本的な考え方について説明できる。 3.身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方や方法について説明できる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 60%、中間試験 25%、小テスト(15回)15%で評価する。 定期試験での評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	小テストについて、採点・解説を行う。 定期試験、中間試験について、出題の意図を講評する。				
使用教材	教科書 「日本人の食事摂取基準」佐々木 敏・菱田明監修(第一出版株式会社) ISBN 最新版				
1	講義内容	食事摂取基準の策定の方針と基本的事項			
	該当する到達目標	1,2,3	予習	食事摂取基準の第 1 章 1-1 を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
			復習	食事摂取基準の第 1 章 1-1 を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	2 時間
2	講義内容	食事摂取基準の指標の概要			
	該当する到達目標	1,2,3	予習	食事摂取基準の第 1 章 1-2 を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
			復習	食事摂取基準の第 1 章 1-2 を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	2 時間
3	講義内容	食事摂取基準策定の留意事項、活用に関する基本的事項			
	該当する到達目標	1,2,3	予習	食事摂取基準の第 1 章 1-3～1-4 を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
			復習	食事摂取基準の第 1 章 1-3～1-4 を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	2 時間
4	講義内容	食事改善を目的とした食事摂取基準の活用の基本的概念			
	該当する到達目標	1,2,3	予習	食事摂取基準の第 1 章 1-4 を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
			復習	食事摂取基準の第 1 章 1-4 を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習す	2 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

			る。	
5	講義内容	エネルギーに関する基本的な考え方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-1(前半)を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-1(前半)を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	2 時間
6	講義内容	ライフステージ別のエネルギー必要量の推定方法		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-1(後半)を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-1(後半)を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	2 時間
7	講義内容	たんぱく質・脂質に関する基本的な考え方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-2～1-3 を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-2～1-3 を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	2 時間
8	講義内容	炭水化物・エネルギー産生栄養素に関する基本的な考え方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-3～1-4 を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-3～1-4 を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	2 時間
9	講義内容	脂溶性ビタミンに関する基本的な考え方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-6(1)を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-6(1)を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	2 時間
10	講義内容	水溶性ビタミン(ビタミン B 群等)に関する基本的な考え方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-6(2)を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-6(2)を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	2 時間
11	講義内容	水溶性ビタミン(葉酸・パントテン酸、ビオチン、ビタミン C 等)に関する基本的な考え方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-6(2)を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-6(2)を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	2 時間
12	講義内容	中間試験、及び講評、学校給食摂取基準の考え方と活用方法		

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書・配布資料を再度よく読み、理解する。小テスト・演習用問題集の問題を正答できるまで繰り返し、復習する。	3 時間
		復習	中間試験で間違えた問題の関連事項をまとめ、正答できるまで問題を繰り返し解く。学校給食摂取基準に関する配布資料を熟読し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。	3 時間
13	講義内容	微量ミネラルに関する基本的な考え方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-7(1)を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-7(1)を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	2 時間
14	講義内容	多量ミネラルに関する基本的な考え方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-7(2)を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-7(2)を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	2 時間
15	講義内容	栄養マネジメントの基礎、演習用問題集の復習		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。演習用問題集の問題を解く。	2 時間
		復習	配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。	2 時間
備考	<p>オフィスアワー：月曜日の5時限、質問はメールでも受け付ける。</p> <p>メールアドレス：sone-y@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室：1号館3階306</p> <p>キーワード：食事摂取基準、学校給食摂取基準</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完する。</p>			

科目名	応用栄養学Ⅱ(専門科目)			HNA322	講義
担当教員	曾根 保子				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	妊娠や発育、加齢等における人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態の変化について十分に理解し、栄養状態の評価・判定(栄養アセスメント)の基本的な考え方を修得する。				
到達目標	1.妊娠や発育、加齢等における人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態の変化について説明できる。 2.栄養状態の評価・判定(栄養アセスメント)の基本的な考え方について説明できる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験60%、中間試験40%で評価する。 定期試験での評価60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	定期試験、中間試験について、出題の意図を講評する。				
使用教材	教科書 「栄養科学イラストレイテッド応用栄養学」栢下淳・上西一弘 編著(株式会社羊土社) ISBN 978-4-7581-0877-5 「管理栄養士・栄養士必携 データ資料集(最新版)」日本栄養士会編(第一出版株式会社) ISBN 最新版 「日本人の食事摂取基準(最新版)」佐々木 敏・菱田明監修(第一出版株式会社) ISBN 最新版 講義のスライド、演習用の問題集を随時プリントして配布する。				
1	講義内容	栄養マネジメントの基礎、栄養ケア・プロセスの基礎			
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書第1章 1-1、1-3、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。		2 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。		2 時間
2	講義内容	栄養アセスメントの方法			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第1章 1-2、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。		2 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。		2 時間
3	講義内容	妊娠期の特性			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第3章 1-1～1-7、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。		2 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。		2 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

4	講義内容	妊娠期の健康管理		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第3章2-1~2-3、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	2時間
5	講義内容	妊娠期の栄養アセスメントと栄養管理		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第3章2-4、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	2時間
6	講義内容	授乳期の特性		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第3章2-1~2-3、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	2時間
7	講義内容	授乳期の栄養アセスメントと栄養管理、乳汁の特性		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第3章2-5、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	2時間
8	講義内容	新生児期・乳児期の特性		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第4章1、及び2、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	2時間
9	講義内容	新生児期・乳児期の栄養アセスメントと栄養管理		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第4章3、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	2時間
10	講義内容	幼児期の栄養アセスメントと栄養管理		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第5章1、及び3、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	2時間
11	講義内容	学童期の栄養アセスメントと栄養管理、食物アレルギー		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第5章1、及び4、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。食物アレルギーに関する配布資料を熟読し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。	2 時間
12	講義内容	中間試験、及び講評、思春期の栄養アセスメントと栄養管理		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書・配布資料を再度よく読み、理解する。演習用問題集を正答できるまで繰り返し、復習する。	2 時間
		復習	中間試験で間違えた問題の関連事項をまとめ、正答できるまで問題を繰り返し解く。思春期の栄養アセスメントと栄養管理に関する配布資料を熟読し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。	2 時間
13	講義内容	成人期(更年期を含む)の栄養アセスメントと栄養管理		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第 6 章、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	2 時間
14	講義内容	高齢期の栄養アセスメントと栄養管理		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第 7 章、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	2 時間
15	講義内容	特殊環境における栄養管理、災害時の栄養管理		
	該当する到達目標 1,2,	予習	教科書第 9 章、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	2 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	2 時間
備考	<p>オフィスアワー：月曜日の4時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス：sone-y@takasaki-u.ac.jp 研究室：1号館3階306 キーワード：栄養マネジメント、ライフステージ 予習・復習については、試験前の学習で補完する。</p>			

科目名	スポーツ栄養学(専門科目)			HNA323	講義
担当教員	木村 典代				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	身体活動状況に応じた栄養管理の考え方を理解すること。 身体活動時の人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態等の変化について十分に理解し、身体活動時の栄養状態の評価・判定(栄養アセスメント)ができるようになること。				
到達目標	1.身体活動と生理機能の関係を説明できる。 2.身体活動時に生じやすい栄養学的障害を説明できる。 3.身体活動時の糖質・たんぱく質・ビタミン・ミネラルの代謝を説明できる。 4.身体活動時の水分補給・栄養補給について説明できる。 5.身体活動基準・指針を理解しメッツ計算ができる。 6.身体活動時のエネルギー代謝を理解し、消費エネルギー量の計算ができる。 7.身体活動のメリットを説明できる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	専門的知識				
	問題発見・解決力				
	✓ 多様な社会・背景を理解し対応する能力				
	コミュニケーション能力				
	✓ 自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	「期末試験」80%、「平常点」20%とする。 期末試験は、 1.身体活動時の生理機能を説明できるか。 2.身体活動時に生じやすい栄養障害を説明できるか。 3.身体活動時の糖質・たんぱく質・ビタミン・ミネラルの代謝を説明できるか。 4.身体活動時の水分補給・栄養補給について説明できるか。 5.身体活動基準・指針を理解しメッツ計算をつかいこなすことができるか。 6.消費エネルギー量の計算ができるか。 7.身体活動の健康へのメリットを説明できるかを評価する。 平常点は、 1.毎回予習・復習を行った上で授業に臨んでいるか。 2.第5回、第11回、第14回の授業内容が終わったあとに実施する小テスト。 3.積極的な授業への参加の状況を含む。				
課題に対するフィードバック	課題提出物は、毎回コメントとともに返却しグループディスカッションに用いる。 期末試験後には、問題解説意図を説明する。				
使用教材	コンディショニングのスポーツ栄養学、市村出版、樋口満編著 2600円 教科書は基本的に授業の予習・復習用として使用する。講義毎に配布するプリントと教科書およびパワーポイントを併用して講義を進める。				
1	講義内容	身体活動時の生理機能(呼吸循環器系機能)			
	該当する到達目標 1	予習	解剖生理学で行った呼吸循環器系の復習をしておくこと		1 時間
		復習	配布プリントの課題を行うこと		1.5 時間
2	講義内容	身体活動時の生理機能(骨格筋機能)			
	該当する到達目標 1	予習	解剖生理学で行った骨格筋系の復習をしておくこと		1 時間
		復習	配布プリントの課題を行うこと		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

3	講義内容	身体活動時の生理機能(内分泌・血液生化学・疲労)		
	該当する到達目標	予習	解剖生理学・疾病の成り立ちで学んだ内分泌・血液生化学の復習をしておくこと	1 時間
	1,2	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
4	講義内容	身体組成・摂食障害・ウエイトコントロール		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当範囲に目を通してくること	1 時間
	1,2	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
5	講義内容	スポーツ性貧血・骨代謝		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当範囲に目を通してくること	1 時間
	1,2,3	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
6	講義内容	身体活動とエネルギー代謝		
	該当する到達目標	予習	生化学・基礎栄養学で学んだエネルギー代謝の復習をしておくこと	1 時間
	1,2,5,6	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
7	講義内容	身体活動と糖質代謝		
	該当する到達目標	予習	生化学・基礎栄養学で学んだ糖質代謝の復習と教科書の該当範囲に目をとおしてくる	1 時間
	3	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
8	講義内容	身体活動とたんぱく質代謝		
	該当する到達目標	予習	生化学・基礎栄養学で学んだたんぱく質代謝の復習と教科書の該当範囲に目を通してくること	1 時間
	3	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
9	講義内容	コンディション維持とビタミン摂取・サプリメント		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当範囲に目を通してくること	1 時間
	3,5	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
10	講義内容	水分補給		
	該当する到達目標	予習	基礎栄養学の水分代謝の復習と教科書の該当範囲に目を通してくること	1 時間
	2,4	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
11	講義内容	運動前後の食事		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当範囲に目を通してくること	1 時間
	4	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
12	講義内容	身体活動基準・指針 1		
	該当する到達目標	予習	管理栄養士実践入門で配布した資料に目を通してくること	1 時間
	5,6,7	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
13	講義内容	身体活動基準・指針 2		
	該当する到達目標	予習	管理栄養士実践入門で配布した資料に目を通してくること	1 時間
	5,6,7	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
14	講義内容	体力と運動処方と運動負荷試験		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当範囲に目を通してくること	1 時間
	6,7	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
15	講義内容	まとめ 運動の健康影響		
	該当する到達目標	予習	半期で学んだ範囲に目を通してくること	1 時間
	6,7	復習	半期で学んだ学習内容を理解すること	1.5 時間
備考	予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること キーワード: 身体活動基準・アクティブガイド、エネルギー補給、競技スポーツ、スポーツ障害			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

オフィスアワー: 前期水曜日 5 限目、後期月曜日 5 限目

事前にメール連絡があれば講義のある曜日の 13:00-17:00 は対応可

研究室: 1 号館 301 研究室

問い合わせ先: kimura@takasaki-u.ac.jp

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	応用栄養学実習(専門科目)			HNA324	実習
担当教員	曾根 保子				
学年・開講期	3年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	基本的な栄養マネジメントの方法を習得する。食事摂取基準を活用し、さまざまなライフステージの対象者に対する適切な栄養マネジメントの方法を習得する。				
到達目標	<p>1. 栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養管理計画(主にエネルギー・栄養素の設定)の作成、評価を実施することができる。</p> <p>2. さまざまなライフステージの心身機能の特徴を理解し、適切な栄養アセスメントを行うことができる。</p> <p>3. 食事摂取基準の科学的根拠、策定の基本的な考え方にに基づき、さまざまなライフステージの対象者に適切な栄養管理計画を提案し、栄養ケアを実施することができる。</p>				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験60%、授業内課題提出40%で評価する。 定期試験での評価60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	授業内課題について、事例研究、解説を行う。 定期試験について、出題の意図を講評する。				
使用教材	<p>教科書</p> <p>「NEXT 応用栄養学実習(最新刷版)」木戸康博・小林ゆき子編(株式会社講談社サイエンティフィック) ISBN 978-4-06-155375-0</p> <p>「日本人の食事摂取基準」佐々木 敏・菱田明監修(第一出版株式会社) ISBN 最新版</p> <p>「管理栄養士・栄養士必携 データ資料集(最新版)」日本栄養士会編(第一出版株式会社) ISBN 最新版</p> <p>講義のスライドを随時プリントして配布する。</p>				
1	講義内容	栄養アセスメントの基礎			
	該当する到達目標 1	予習	教科書第1章1、及び3、応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。		1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。		1 時間
2	講義内容	食事調査方法と評価			
	該当する到達目標 1	予習	食事摂取基準の食事摂取基準策定の留意事項、活用に関する基本的事項を復習する。教科書第1章1、及び3、第10章、応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。		1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。		1 時間
3	講義内容	栄養ケア・プロセスの基礎			
	該当する到達目標 1	予習	応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。		1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。		1 時間
4	講義内容	エネルギー・栄養素量の設定、栄養管理計画の基礎			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

1	該当する到達目標	予習	食事摂取基準の食事摂取基準策定の留意事項、活用に関する基本的事項を復習する。応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。	1.5 時間	
		復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間	
講義内容		妊娠期・授乳期の栄養管理			
5	該当する到達目標	1,2,3	予習	教科書第 7 章、応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。	1.5 時間
			復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
講義内容		乳児期の栄養管理			
6	該当する到達目標	1,2,3	予習	教科書第 8 章、応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。	1.5 時間
			復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
講義内容		小児期の栄養管理			
7	該当する到達目標	1,2,3	予習	教科書第 9 章、応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。	1.5 時間
			復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
講義内容		高齢期の栄養管理			
8	該当する到達目標	1,2,3	予習	教科書第 11 章、応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。	1.5 時間
			復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
講義内容		妊娠期・授乳期の栄養管理の実践			
9	該当する到達目標	1,3	予習	第 5 回の授業で課された実習課題に記載されている内容をよく読み、ワークフローを理解する。	1.5 時間
			復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
講義内容		乳児期の栄養管理の実践			
10	該当する到達目標	1,3	予習	第 6 回の授業で課された実習課題に記載されている内容をよく読み、ワークフローを理解する。	1.5 時間
			復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
講義内容		小児期の栄養管理の実践			
11	該当する到達目標	1,3	予習	第 7 回の授業で課された実習課題に記載されている内容をよく読み、ワークフローを理解する。	1.5 時間
			復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
講義内容		高齢期の栄養管理の実践			
12	該当する到達目標	1,3	予習	第 8 回の授業で課された実習課題に記載されている内容をよく読み、ワークフローを理解する。	1.5 時間
			復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

13	講義内容	定期試験、及び講評		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書、食事摂取基準、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。	3 時間
		復習	授業で課された実習課題をまとめる。	3 時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		1.5 時間
		復習		1 時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		1.5 時間
		復習		1 時間
備考	<p>オフィスアワー：月曜日の5時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス：sone-y@takasaki-u.ac.jp 研究室：1号館3階306 キーワード：栄養マネジメント、ライフステージ、食事摂取基準 予習・復習については、試験前の学習で補完する。</p>			

科目名	栄養教育論 I (専門科目)			HNA331	講義
担当教員	木村 典代				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	栄養教育論では、対象に応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントできるよう健康や生活の質(QOL)の向上につながる主体的な実践力形成の支援に必要な健康・栄養教育の理論や方法を修得する。特に「栄養教育論 I」では栄養教育の定義・目的、行動科学やカウンセリングの理論と方法を修得することを目標とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教育を行う目的を説明できる。 2. 栄養教育のアセスメントおよび実施において必要となる行動科学の理論を説明できる。 3. 栄養教育に必要なカウンセリング技法の理論を説明できる。 4. 組織や地域づくりと食環境づくりの関係を説明できる。 5. 栄養教育マネジメントの目的を説明できる。 				
学位授与方針との対応	豊富な人間性と職業倫理				
	専門的知識				
	✓ 問題発見・解決力				
	✓ 多様な社会・背景を理解し対応する能力				
	✓ コミュニケーション能力				
	自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	期末試験 80%、平常点 20%とする。 期末試験では、 <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教育の目的は何か 2. 行動科学理論・モデルのフレームワークができるか 3. カウンセリング技法の種類や手法について理解できているか 4. 栄養教育と組織・地域づくりの関係や食環境整備について理解できているかを問う。 平常点は、 <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回予習・復習を行った上で授業に臨んでいるか 2. 授業時に実施する小テストの点数 3. 積極的な授業への参加状況 を含むものとする。 				
課題に対するフィードバック	課題提出物は、毎回コメントとともに返却しグループディスカッションに用いる。 期末試験後には、問題解説意図を説明する。				
使用教材	N ブックス・栄養教育論 下田妙子編著・建帛社・2013 年・2300 円 ISBN9078-4-7679-0463-4 教科書は基本的に授業の予習・復習用として使用する。 講義毎に配布するプリントと教科書およびパワーポイントを併用して講義を進める。				
1	講義内容	栄養教育の定義・目的と目標			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと	1 時間	
	1	復習	配布プリントの見直しと、実施した教科書の範囲を確認すること	1.5 時間	
2	講義内容	食行動変容と栄養教育1(刺激・反応理論、ヘルスビリーフモデル)			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと	1 時間	
	2	復習	日常のオペラント条件付けを探してくること	1.5 時間	
3	講義内容	食行動変容と栄養教育2(計画的行動理論と自己効力理論)			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと	1 時間	
	2	復習	計画的行動理論の活用方法を探してくること	1.5 時間	
4	講義内容	食行動変容と栄養教育3(社会的認知理論とトランスセオレティカル			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 2	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと	1 時間
		復習	社会的行動理論・自己効力理論の活用法を考えてくること	1.5 時間
5	講義内容	食行動変容と栄養教育4(トランスセオレティカルモデル「変容プロセス・意思決定バランス・自己効力感」) 1～5回までの小テストの実施		
	該当する到達目標 2	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
		復習	課題プリントを実施してくる	1.5 時間
6	講義内容	食行動変容と栄養教育5(ソーシャルネットワーク、コミュニティオーガニゼーション)		
	該当する到達目標 2	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
		復習	コミュニティオーガニゼーションの例を確認してくる	1.5 時間
7	講義内容	食行動変容と栄養教育6(プリシードプロシードモデル その他の行動科学モデル)		
	該当する到達目標 2	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
		復習	その他の行動科学で実施した手法の応用例を考えてくる	1.5 時間
8	講義内容	行動科学技法1(刺激統制・行動置換・認知再構成・目標宣言行動契約・自己効力感・社会技術訓練)		
	該当する到達目標 2	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
		復習	行動科学技法の応用例をそれぞれ5つずつ考えてくる	1.5 時間
9	講義内容	行動科学技法2(反応妨害 拮抗法 オペラント強化 意思決定バランス セルフモニタリング ストレス マネジメント)		
	該当する到達目標 2	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
		復習	行動科学技法の応用例をそれぞれ5つずつ考えてくる	1.5 時間
10	講義内容	栄養カウンセリング技法1 (カウンセリングの基本テクニック)		
	該当する到達目標 3	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
		復習	課題プリントを実施してくる	1.5 時間
11	講義内容	栄養カウンセリング技法2 (行動カウンセリングの基本テクニック)		
	該当する到達目標 3	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
		復習	課題プリントを実施してくる	1.5 時間
12	講義内容	組織・地域づくりと食環境づくり		
	該当する到達目標 4	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
		復習	食物へのアクセスと情報へのアクセス例を10個ずつ考えてくる	1.5 時間
13	講義内容	栄養教育マネジメントの概要(PCDAサイクルと6W)		
	該当する到達目標 5	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
		復習	課題プリントを実施してくる	1.5 時間
14	講義内容	栄養教育マネジメントの診断(ABCD評価)		
	該当する到達目標 5	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
		復習	課題プリントを実施してくる	1.5 時間
15	講義内容	栄養教育論 I のまとめ		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	半期で実施した教科書の全範囲を読んでくること	1 時間
		復習	授業中に実施した課題を見直し、完全に理解できるようにすること	1.5 時間
備考	<p>予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること</p> <p>キーワード: 行動変容・行動科学・栄養カウンセリング・食環境・栄養教育マネジメント</p> <p>オフィスアワー: 前期水曜日 5 限目、後期月曜日 5 限目</p> <p>事前にメール連絡があれば講義のある曜日の 13:00-17:00 は対応可</p> <p>研究室: 1 号館 301 研究室</p> <p>問い合わせ先: kimura@takasaki-u.ac.jp</p>			

科目名	栄養教育論Ⅱ(専門科目)			HNA332	演習
担当教員	木村 典代				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	対象に応じた栄養教育プログラムの作成・評価のために必要な、健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報の収集・分析の方法、栄養教育プログラム実施の理論と方法を講義・演習形式で修得することを目標とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教育に必要なアセスメントの種類とその特徴を説明できる。 2. 対象に応じた栄養教育の目標の種類とその特徴を説明できる。 3. 対象に応じた栄養教育の方法とその特徴を説明できる。 4. 栄養教育プログラムの評価の種類とその特徴を説明できる。 5. 栄養教育プログラムを作成し実施できる。 				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	期末試験 80%、平常点 20%とする。 期末試験は、 <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教育マネジメントの一連の流れを理解できているか 2. 栄養教育の計画立案ができるか 3. 栄養教育の実施ができるか 4. 栄養教育実施後の評価改善ができるか 5. 栄養教育プログラムの評価・改善を行うことができるかを問う。 平常点は、 <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回予習・復習を行った上で授業に臨んでいるか 2. 定期的実施する課題の達成度 3. 積極的な授業への参加の状況 を含むものとする。 				
課題に対する フィードバック	課題提出物は、毎回コメントとともに返却しグループディスカッションに用いる。 期末試験後には、問題解説意図を説明する。				
使用教材	N ブックス・栄養教育論 下田妙子編著・建帛社・2013 年・2300 円 ISBN9078-4-7679-0463-4 教科書は基本的に授業の予習・復習用として使用する。				
1	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の目標設定			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと		1 時間
	1,2	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること		1.5 時間
2	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の計画 カリキュラム			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと		1 時間
	3	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること		1.5 時間
3	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の計画 教材			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと		1 時間
	3	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること		1.5 時間
4	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育のバイアス			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

3	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
		復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
5	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の形式		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
3		復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の計画 指導案の作成		
6	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
	3	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
7		講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の評価の種類	
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
4		復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
	8	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の実施 プレゼンテーション	
該当する到達目標		予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
5		復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
	9	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の実践演習1 プログラムの立案	
該当する到達目標		予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
5		復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
	10	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の実践演習2 プログラムの準備	
該当する到達目標		予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
5		復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
	11	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の実践演習3 プログラムの実施	
該当する到達目標		予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
5		復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
	12	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の実践演習4 プログラムの評価	
該当する到達目標		予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
5		復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
	13	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の実践演習5 プログラムの改善	
該当する到達目標		予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
5		復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
	14	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の実践演習6 プログラム事業の全体評価	
該当する到達目標		予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
5		復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
	15	講義内容	栄養教育マネジメント 全体のまとめ	
該当する到達目標		予習	半期で実施した教科書の全範囲を読んでくこと	1 時間
1,2,3,4,5		復習	授業中に実施した課題を見直し、完全に理解できるようにすること	1.5 時間
	備考	<p>予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること</p> <p>キーワード: 行動変容・行動科学・栄養カウンセリング・食環境・栄養教育マネジメント</p> <p>オフィスアワー: 前期水曜日 5 限目、後期月曜日 5 限目</p> <p>事前にメール連絡があれば講義のある曜日の 13:00-17:00 は対応可</p> <p>研究室: 1 号館 301 研究室</p> <p>問い合わせ先: kimura@takasaki-u.ac.jp</p>		

科目名	栄養教育論Ⅲ(専門科目)			HNA333	講義
担当教員	木村 典代				
学年・開講期	3年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	身体的、精神的、社会的状況等ライフステージ、ライフスタイルに応じた栄養教育のあり方や方法を講義・演習形式で修得することを目標とする。				
到達目標	1.対象者の特性に応じた栄養教育の特徴を説明できる。 2.対象者の特性に応じた栄養教育プログラムを作成できる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	評価方法「期末試験」80%、「平常点」20%とする。 期末試験は、 1.ライフステージに応じた栄養教育の計画立案ができるか 2.ライフスタイルに応じた栄養教育の計画立案ができるか 平常点は、 1.毎回予習・復習を行った上で授業に臨んでいるか 2.定期的実施する小テストの点数 3.積極的な授業への参加の状況 を含むものとする。				
課題に対する フィードバック	課題提出物は、毎回コメントとともに返却しグループディスカッションに用いる。 期末試験後には、問題解説意図を説明する。				
使用教材	N ブックス・栄養教育論 下田妙子編著・建帛社・2013 年・2300 円 ISBN9078-4-7679-0463-4 教科書は基本的に授業の予習・復習用として使用する。				
1	講義内容	妊娠期の栄養教育			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる		1 時間
	1,2	復習	妊婦を対象とした栄養教育指導案の作成		1.5 時間
2	講義内容	授乳期の栄養教育			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる		1 時間
	1,2	復習	授乳婦を対象とした栄養教育指導案の作成		1.5 時間
3	講義内容	乳児期の栄養教育			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる		1 時間
	1,2	復習	乳児および保護者を対象とした栄養教育指導案の作成		1.5 時間
4	講義内容	幼児期の栄養教育			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる		1 時間
	1,2	復習	幼児および保護者を対象とした栄養教育指導案の作成		1.5 時間
5	講義内容	学童期の栄養教育			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる		1 時間
	1,2	復習	学童を対象とした栄養教育指導案の作成		1.5 時間
6	講義内容	思春期の栄養教育			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる		1 時間
	1,2	復習	思春期の若者を対象とした栄養教育指導案の作成		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

7	講義内容	成人期の栄養教育 1 職域 単身者 外国人		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
		復習	中学生・高校生を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
8	講義内容	成人期の栄養教育 2 特定保健指導		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
		復習	単身者を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
9	講義内容	成人期の栄養教育 3 疾病別 1		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
		復習	メタボリックシンドローム予備群を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
10	講義内容	成人期の栄養教育 4 疾病別 2		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
		復習	糖尿病患者・肥満者を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
11	講義内容	高齢者の栄養教育		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
		復習	入院患者を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
12	講義内容	障害者の栄養教育		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
		復習	障害者を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
13	講義内容	身体活動量の多い人への栄養教育		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
		復習	スポーツ選手を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
14	講義内容	特殊環境下での栄養教育		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
		復習	特殊環境で生活する人を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
15	講義内容	ライフスタイル・ステージ別栄養教育のまとめ		
	該当する到達目標 1,2	予習	半期で実施した教科書の全範囲を読んでくること	1 時間
		復習	授業中に実施した課題を見直し、完全に理解できるようにすること	1.5 時間
備考	<p>予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること</p> <p>キーワード: 行動変容・行動科学・栄養カウンセリング・食環境・栄養教育マネジメント</p> <p>オフィスアワー: 前期水曜日 5 限目、後期月曜日 5 限目</p> <p>事前にメール連絡があれば講義のある曜日の 13:00-17:00 は対応可</p> <p>研究室: 1 号館 301 研究室</p> <p>問い合わせ先: kimura@takasaki-u.ac.jp</p>			

科目名	栄養教育論実習(専門科目)			HNA334	実習
担当教員	木村 典代				
学年・開講期	3年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	「栄養教育論実習」は、「栄養教育論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」において学んできた基礎的理論を踏まえて、事例をあげた栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントできるようにすることを目標とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.アセスメントにより対象者の特徴や状況が把握できる 2.対象者に応じた支援計画をたてることができる 3.対象者に応じた支援を実施できる 4.栄養教育計画・実施内容・対象者の変化を正しく評価でき、教育計画を改善することができる。 5.カウンセリングテクニック、行動科学スキルを使い分けられることができる。 6.コミュニケーションスキル・プレゼンテーションスキルを使い分けられることができる。 				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	<p>「期末試験」40%、「平常点」60%とする。</p> <p>期末試験は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.個別指導時の栄養教育のポイント 2.集団指導時の栄養教育のポイント 3.行動科学理論を用いたアセスメントと栄養教育の理解 <p>平常点は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.毎回予習・復習を行った上で授業に臨んでいるか 10% 2.個別指導実習のレポートと実施 20% 3.集団指導実習のレポートと実施 20% 4.積極的な授業参加と課題取り組み姿勢 10% <p>評価方法の基準については講義初回時と終了時にアナウンスする。</p>				
課題に対する フィードバック	<p>課題提出物は、毎回コメントとともに返却しグループディスカッションに用いる。</p> <p>期末試験後には、問題解説意図を説明する。</p>				
使用教材	<p>N ブックス・栄養教育論 下田妙子編著・建帛社・2013 年・2300 円 ISBN9078-4-7679-0463-4</p> <p>教科書は基本的に授業の予習・復習用として使用する。</p> <p>講義毎に配布するプリントと教科書およびパワーポイントを併用して講義を進める。</p>				
	講義内容	栄養教育の対象の把握			
1	該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	栄養教育論Ⅰで習得した栄養教育の理論的基礎を確認しておく		1.5 時間
		復習	栄養教育論Ⅱで習得した栄養教育マネジメントの一連の流れを確認する		1 時間
	講義内容	個別指導計画			
2	該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	栄養教育論Ⅱで習得した栄養教育マネジメントの一連の流れを確認する		1.5 時間
		復習	個別支援に向けたアセスメント項目を決定する		1 時間
	講義内容	個別指導実習 1(対象者 A・B)			
3	該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	アセスメント項目を確認し、支援計画を練ってくる		1.5 時間
		復習	次週の支援に向けたアセスメント項目を決定する		1 時間
4	講義内容	個別指導実習 2(対象者 C・D)			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	1,2,3,4,5,6	予習	2 週後の支援に向けた対象者表の作成と、次週のアセスメント項目の確認し支援計画を練ってくる	1.5 時間
			復習	次週の支援に向けたアセスメント項目を決定する	1 時間
5	講義内容	個別指導実習 3(対象者 E・F)			
	該当する到達目標	1,2,3,4,5,6	予習	アセスメント項目を確認し、支援計画を練ってくる	1.5 時間
			復習	個別支援資料を作成する	1 時間
6	講義内容	集団指導の概要			
	該当する到達目標	1,2,3,4,5,6	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと	1.5 時間
			復習	パワーポイント資料の作成方法を確認する	1 時間
7	講義内容	対象者の把握と集団指導計画			
	該当する到達目標	1,2,3,4,5,6	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと	1.5 時間
			復習	集団指導計画を完成させる	1 時間
8	講義内容	グループ討論の選択と実施			
	該当する到達目標	1,2,3,4,5,6	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと	1.5 時間
			復習	課題プリントを実施してくること	1 時間
9	講義内容	集団指導実習 1			
	該当する到達目標	1,2,3,4,5,6	予習	集団指導の準備	1.5 時間
			復習	課題プリントを実施してくること	1 時間
10	講義内容	集団指導実習 2			
	該当する到達目標	1,2,3,4,5,6	予習	集団指導の準備	1.5 時間
			復習	課題プリントを実施してくること	1 時間
11	講義内容	集団指導実習 3			
	該当する到達目標	1,2,3,4,5,6	予習	集団指導の準備	1.5 時間
			復習	課題プリントを実施してくること	1 時間
12	講義内容	集団支援の評価・改善計画の立て直し			
	該当する到達目標	1,2,3,4,5,6	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと	1.5 時間
			復習	課題プリントを実施してくること	1 時間
13	講義内容				
	該当する到達目標		予習		時間
			復習		時間
14	講義内容				
	該当する到達目標		予習		時間
			復習		時間
15	講義内容				
	該当する到達目標		予習		時間
			復習		時間
備考	<p>予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること</p> <p>キーワード: 行動変容・行動科学・栄養カウンセリング・食環境・栄養教育マネジメント</p> <p>オフィスアワー: 前期水曜日 5 限目、後期月曜日 5 限目</p> <p>事前にメール連絡があれば講義のある曜日の 13:00-17:00 は対応可</p> <p>研究室: 1 号館 301 研究室</p> <p>問い合わせ先: kimura@takasaki-u.ac.jp</p>				

科目名	臨床栄養学 I (専門科目)			HNA341	講義
担当教員	河原田律子				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、各種疾患別に身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法について修得することを目標とする。各種疾患の概要(定義・原因・治療方法)に基づいて、身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法について修得する。「臨床栄養学 I」では、内分泌疾患、肝・胆・腎臓疾患などの臨床的疾患構造と各疾病治療ガイドラインを基に治療および栄養療法を学修、修得する。				
到達目標	1.各種疾患の定義・原因について、説明できる。 2.疾患ごとの診断基準や治療法について、説明できる。 3.疾患ごとの栄養基準や栄養指導方法について、説明できる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 80%、平常点 20%(授業参加度・小テスト等を含む)				
課題に対する フィードバック	毎回授業時に事前に配布する確認問題の回答を求めており、各自復習を行うこと。				
使用教材	栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学疾患別編、羊土社、2,800 円と毎回授業で配布するプリント				
1	講義内容	オリエンテーション・代謝系疾患 1			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章の 1 に目を通す。		1 時間
	1,2,3	復習	糖尿病の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
2	講義内容	代謝系疾患 2			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章の 2-3 に目を通す。		1 時間
	1,2,3	復習	脂質異常症・肥満症の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
3	講義内容	代謝系疾患 3			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章の 4-7 に目を通す。		1 時間
	1,2,3	復習	痛風・低栄養・ビタミン・ミネラル異常症・アシドーシスの概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
4	講義内容	内分泌系疾患			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章の 1-4 に目を通す。		1 時間
	1,2,3	復習	脳下垂体異常・甲状腺異常の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
5	講義内容	消化器系疾患 1			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章の 1-2 に目を通す。		1 時間
	1,2,3	復習	口腔・歯科疾患や上部消化管疾患の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
6	講義内容	消化器系疾患 2・肝疾患 1			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章の 3、第 4 章の 1 に目を通す。		1 時間
	1,2,3	復習	下部消化管疾患や肝疾患の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

			題を解き、次回の授業時に確認。	
7	講義内容	肝疾患 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章の 2 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	膵・胆道系疾患の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
8	講義内容	循環器疾患 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章の 1-3 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	高血圧・動脈硬化・虚血性心疾患の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
9	講義内容	循環器疾患 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章の 4-5 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	心不全・脳血管疾患の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
10	講義内容	呼吸器疾患・腎疾患 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 1-4 と第 6 章の 1 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	上気道疾患や COPD、CKD の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
11	講義内容	腎疾患 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章の 2-4 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	糸球体腎炎・ネフローゼ症候群・腎不全の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
12	講義内容	腎疾患 3		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章の 5-6 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	糖尿病性腎症・透析療法の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
13	講義内容	腎疾患 4・血液系疾患 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章の 7 と第 9 章の 1 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	尿路系疾患や貧血の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
14	講義内容	血液系疾患 2・免疫アレルギー疾患 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章の 2 と第 11 章の 1 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	造血器系腫瘍やアレルギー性疾患の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
15	講義内容	免疫アレルギー疾患 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章の 2-3 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	自己免疫性疾患・AIDS の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日 5 時限 メールアドレス: nasu@takasaki-u.ac.jp 研究室: 406 研究室 (4 階 臨床栄養学研究室) 予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること</p>			

科目名	臨床栄養学Ⅱ(専門科目)			HNA342	講義
担当教員	河原田律子				
学年・開講期	3年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、各種疾患別に身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法について修得することを目標とする。各種疾患の概要(定義・原因・治療方法)に基づいて、身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法について修得する。「臨床栄養学Ⅱ」では、運動器疾患、神経・精神疾患、小児・妊娠期における疾患などの臨床的疾患構造と各疾病治療ガイドラインを基に治療および栄養療法を学修、修得する。				
到達目標	1.各種疾患の定義・原因について、説明できる。 2.疾患ごとの診断基準や治療法について、説明できる。 3.疾患ごとの栄養基準や栄養指導方法について、説明できる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 80%、平常点 20%(授業参加度・小テスト等を含む)				
課題に対する フィードバック	毎回授業時に事前に配布する確認問題の回答を求めており、各自復習を行うこと。				
使用教材	栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学疾患別編、羊土社、2,800 円と毎回授業で配布するプリント				
1	講義内容	運動器系疾患 ①骨粗鬆症、くる病			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 10 章の 1-3 に目を通す。		1 時間
	1,2,3	復習	骨粗鬆症、くる病の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
2	講義内容	運動器系疾患 ②サルコペニア、ロコモティブシンドローム			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 10 章の 4-5 に目を通す。		1 時間
	1,2,3	復習	サルコペニア、ロコモティブシンドロームの概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
3	講義内容	クリティカルケア			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 15 章に目を通す。		1 時間
	1,2,3	復習	外傷・熱傷・集中治療の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
4	講義内容	障がい者に対するケア			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 17 章に目を通す。		1 時間
	1,2,3	復習	精神障害・重症心身障害の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
5	講義内容	神経・精神系疾患 ①認知症、パーキンソン病			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章の 1-3 に目を通す。		1 時間
	1,2,3	復習	認知症、パーキンソン病、摂食障害の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
6	講義内容	神経・精神系疾患 ②アルコール依存症、精神疾患			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章の 4-5 に目を通す。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	アルコール依存症、精神疾患の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
7	講義内容	摂食嚥下障害		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 16 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	摂食嚥下障害の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
8	講義内容	周術期の管理		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	術前・術後管理、消化管切除術前・術後の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
9	講義内容	がんとターミナルケア		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	消化管のがん、消化管以外のがん、末期医療、緩和医療の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
10	講義内容	小児疾患 ①消化不良症、周期性嘔吐症		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 18 章 1-5 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	消化不良症、周期性嘔吐症、アレルギー疾患、小児肥満の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
11	講義内容	小児疾患 ②先天性代謝異常症		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 18 章の 6 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	先天性代謝異常症、小児糖尿病、小児腎臓病の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
12	講義内容	妊娠期・授乳期の疾患 ①肥満、妊娠高血圧症		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 19 章の 1-3 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	肥満、貧血、妊娠高血圧症の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
13	講義内容	妊娠期・授乳期の疾患 ②妊娠糖尿病		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 19 章の 4 章と第 20 章の 1 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	妊娠糖尿病の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
14	講義内容	高齢期の疾患		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 20 章の 2 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	褥瘡の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの配布資料に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	これまでに学んだ疾患を復習しながら、問題を解く。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 水曜日 5 時限 メールアドレス: nasu@takasaki-u.ac.jp 研究室: 406 研究室 (4 階 臨床栄養研究室) 予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること			

科目名	臨床栄養活動論(専門科目)			HNA344	講義
担当教員	竹内 真理				
学年・開講期	3年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理(栄養マネジメント)を行うために、栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解する。具体的な栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について理解する。医療・介護制度やチーム医療における役割について理解する。				
到達目標	1.適切な栄養管理(栄養マネジメント)を行うために、栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解できる 2.具体的な栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について理解できる 3.医療・介護制度やチーム医療における役割について理解できる				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 80%、平常点(積極的な授業への参加状況など)20%				
課題に対するフィードバック	講義内容は臨地実習Ⅲ(病院実習)で実践演習を通して活かす。定期試験結果について総評コメントを掲示する。				
使用教材	栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学基礎編 改訂第2版 本田佳子他編 羊土社 2700円(税抜)				
1	講義内容	臨床栄養学の基礎、意義と目的、疾病と栄養			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと		1.5 時間
	1	復習	講義内容の復習		1.5 時間
2	講義内容	チーム医療、在宅医療			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと		1.5 時間
	3	復習	講義内容の復習		1.5 時間
3	講義内容	医療保険制度、介護保険制度			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと		1.5 時間
	3	復習	講義内容の復習		1.5 時間
4	講義内容	栄養ケアマネジメントの概要			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと		1.5 時間
	1	復習	講義内容の復習		1.5 時間
5	講義内容	栄養ケアプログラムのプラン・目標設定			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容の復習		1.5 時間
6	講義内容	栄養ケアプログラムの実施と評価			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容の復習		1.5 時間
7	講義内容	傷病者の栄養アセスメント、栄養スクリーニング			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容の復習		1.5 時間
8	講義内容	必要栄養量の算定			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容の復習	1.5 時間
9	講義内容	食事療法・栄養補給の方法		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容の復習	1.5 時間
10	講義内容	薬と栄養・食物の相互作用		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容の復習	1.5 時間
11	講義内容	栄養ケア計画書の作成と実施		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容の復習	1.5 時間
12	講義内容	問題志向型システム(POS)の活用と SOAP に基づく記録		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容の復習	1.5 時間
13	講義内容	傷病者への栄養教育		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容の復習	1.5 時間
14	講義内容	栄養ケアの評価、臨床経過のモニタリング、リアセスメント		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容の復習	1.5 時間
15	講義内容	評価と評価結果のフィードバック		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容の復習	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 木曜 2-4 時限. 1 号館 308 研究室. 質問等はメールでも受け付ける.</p> <p>メールアドレス: mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp</p> <p>予習・復習は試験前の学習で補完すること.</p>			

科目名	臨床栄養管理論(専門科目)			HNA343	講義
担当教員	竹内 真理				
学年・開講期	3年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理(栄養ケアマネジメント)を行うために、具体的な栄養スクリーニングおよび栄養アセスメントの手技を修得し、栄養補給、栄養教育などの栄養ケアプランの立案、作成、実施、モニタリング、評価の方法を修得する。				
到達目標	1. 栄養スクリーニングおよび栄養アセスメントができる 2. 栄養アセスメントの結果をふまえ、栄養補給、栄養教育などの栄養ケアプランの立案、作成、実施、モニタリング、評価ができ、アウトカムを得ることができる。 3. 傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理(栄養ケアマネジメント)を行うことができる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 80%、平常点(積極的な授業への参加状況など)20%				
課題に対するフィードバック	講義内容は臨床栄養学実習Ⅱで実践演習を通して活かす。定期試験結果について総評コメントを掲示する。				
使用教材	Visual 栄養学テキスト 臨床栄養学Ⅰ総論 津田謹輔監修 中山書店 2700円(税抜)				
1	講義内容	栄養ケアの基礎			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく		1.5 時間
	3	復習	講義内容を復習する		1.5 時間
2	講義内容	栄養スクリーニングの手技			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく		1.5 時間
	1	復習	講義内容を復習する		1.5 時間
3	講義内容	栄養アセスメント 1 身体計測、臨床検査と評価			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容を復習する		1.5 時間
4	講義内容	栄養アセスメント 2 臨床診査(医療面接と身体観察)と評価			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容を復習する		1.5 時間
5	講義内容	栄養アセスメント 3 栄養・食事調査と評価、必要栄養量の算定			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容を復習する		1.5 時間
6	講義内容	栄養・食事療法と栄養補給法 1 経口栄養補給法、経腸栄養、静脈栄養			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容を復習する		1.5 時間
7	講義内容	栄養ケアの実施(栄養補給方法の決定)と栄養教育			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容を復習する		1.5 時間
8	講義内容	栄養ケアの目標設定と計画の立案、および実施とモニタリング			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
9	講義内容	栄養ケアの評価とフィードバックおよびリアセメント、栄養ケア記録		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
10	講義内容	栄養ケアと薬物絵療法、		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
11	講義内容	症候への栄養ケア 1(発熱、ビタミン欠乏症、脱水、浮腫)		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
12	講義内容	症候への栄養ケア 2(下痢、便秘、褥瘡)		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
13	講義内容	新生児期・乳幼児期の栄養ケア(新生児、低出生体重児)		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
14	講義内容	回復を促す栄養ケア(外科療法、化学療法、放射線療法)		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
15	講義内容	終末期の栄養ケア		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 木曜 2-4 時限. 1 号館 308 研究室. 質問等はメールでも受け付ける.</p> <p>メールアドレス: mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp</p> <p>予習・復習は試験前の学習で補完すること.</p>			

科目名	臨床栄養学実習 I (食事療法実習)(専門科目)			HNA345	実習
担当教員	河原田律子				
学年・開講期	3年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	<p>傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、各種疾患別に身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法について修得することを目標とする。</p> <p>「臨床栄養学実習 I」では、「臨床栄養学 I・II」で学んできた傷病者の病態や栄養状態に基づいた栄養管理法の理論をもとに、臨床現場における急性および慢性疾患の病期・病態に応じた適正な食事デザインを作成でき、精度の高い食事を提供することができる知識や技能を学ぶ。各食種の献立は、常食を基に展開し、献立に合わせた適切な調理方法・食材の使い分けを理解し、それに基づいた献立作成や調理作業について修得する。</p>				
到達目標	<p>1.治療食の種類を説明できる。</p> <p>2.指示された栄養基準に合わせた献立が作成できる。</p> <p>3.常食からそれぞれの病態への展開ができる。</p> <p>4.献立に合わせた調理法や食材の使い分けができる。</p>				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	課題提出 70%、平常点(授業態度・実習態度等を含む)30%				
課題に対するフィードバック	課題については、授業内で個々に達成度の確認をする。指摘事項があればその点を直し次回の授業で提出する。提出された課題は評価後に返却するので、臨地実習などの献立作成時に資料として使用する。				
使用教材	<p>糖尿病食事療法のための食品交換表 日本糖尿病学会編文光堂 900 円(税別):エネルギーコントロール食で使用</p> <p>腎臓病食品交換表 黒川清・中尾俊之医歯薬出版 1,300 円(税別):たんぱく質コントロール食で使用</p> <p>使用方法:授業時に配布するプリントと併用して用いる。</p>				
1	講義内容	オリエンテーション・栄養ケアの基礎(栄養食事療法)、特別治療食の種類(成分栄養管理) 一般食(常食)説明・献立作成			
	該当する到達目標 1,2,4	予習	シラバスを確認		0.5 時間
		復習	特別治療食の種類を理解し、献立作成のポイントを把握する。		1 時間
2	講義内容	常食の献立作成			
	該当する到達目標 1,2,4	予習	常食の献立に必要な資料を準備する。		0.5 時間
		復習	常食の献立作成のポイントを確認し、献立作成を行う。		1 時間
3	講義内容	常食から全粥食への献立展開する方法と献立作成			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	全粥の献立に必要な資料を準備する。		0.5 時間
		復習	全粥の献立作成のポイントを確認し、献立作成を行う。		1 時間
4	講義内容	全粥の献立作成 常食をエネルギーコントロール食に展開する方法と献立作成。			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	エネルギーコントロール食の献立作成に必要な資料を準備する。 糖尿病食品交換表を読んで、使い方を理解する。		0.5 時間
		復習	全粥献立作成。		1 時間
5	講義内容	全粥食の調理実習			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 2,3,4	予習	授業で配布する全粥の資料をよく読み、理解すること。	0.5 時間
		復習	実習で作成した献立の評価をして、改善点があれば次回にいかす。	1 時間
6	講義内容	エネルギーコントロール食の献立作成 常食をたんぱく質コントロール食(腎臓食)に展開する方法と献立作成。		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	たんぱく質コントロール食の献立作成に必要な資料を準備する。 糖尿病食品交換表をみる。	0.5 時間
		復習	エネルギーコントロール食の献立作成	1 時間
7	講義内容	エネルギーコントロール食の調理実習		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	授業で配布するエネルギーコントロール食の資料をよく読み、理解すること。	0.5 時間
		復習	実習で作成した献立の評価をして、改善点があれば次回にいかす。	1 時間
8	講義内容	たんぱく質コントロール食(腎臓病食)の献立作成。 常食を脂質コントロール食に展開する方法。		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	脂質コントロール食の献立作成に必要な資料を準備する。	0.5 時間
		復習	たんぱく質コントロール食の献立作成。	1 時間
9	講義内容	たんぱく質コントロール食(腎臓病食)の調理実習		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	授業で配布するたんぱく質コントロール食の資料をよく読み、理解すること。	0.5 時間
		復習	実習で作成した献立の評価をして、改善点があれば次回にいかす。	1 時間
10	講義内容	脂質コントロール食の献立作成。		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	脂質コントロール食の献立作成に必要な資料を準備する。	0.5 時間
		復習	脂質コントロール食の献立作成	1 時間
11	講義内容	脂質コントロール食の調理実習		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	授業で配布する脂質コントロール食の資料をよく読み、理解すること。	0.5 時間
		復習	実習で作成した献立の評価をして、改善点があれば次回にいかす。	1 時間
12	講義内容	常食、全粥、エネルギーコントロール食、たんぱく質コントロール食、脂質コントロール食の献立作成のポイントを復習し、常食からどのように展開していくか理解する。		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	常食、全粥、エネルギーコントロール食、たんぱく質コントロール食、脂質コントロール食についての資料をよく読み、ポイントを理解する。	0.5 時間
		復習	常食の献立から展開をし、栄養計算をする。	1 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	オフィスアワー:水曜日 5 時限 メールアドレス: nasu@takasaki-u.ac.jp 研究室: 406 研究室(4 階 臨床栄養研究室) 予習復習: 課題作成のための資料確認や献立作成を行う時間に充てる。			

科目名	臨床栄養学実習Ⅱ(臨床栄養ケアマネジメント実習)(専門科目)			HNA346	実習
担当教員	竹内 真理				
学年・開講期	3年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理(栄養ケアマネジメント)を行うために、栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解する。具体的な栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について理解する。医療・介護保険制度やチーム医療における役割について理解する。				
到達目標	1.適切な栄養管理(栄養ケアマネジメント)を行うために、栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解できる 2.具体的な栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について理解できる 3.医療・介護保険制度やチーム医療における役割について理解できる				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 60%、レポート提出 30%、平常点 10% 平常点は授業への参加度や積極性を評価する。評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対する フィードバック	実習ごとに課題を完成させて提出する。実習内容は臨地実習Ⅲ(病院実習)の実習課題設定の際に反映させる。また病院実習での実体験で活かす。				
使用教材	改訂 臨床栄養学実習 フローチャートで学ぶ臨床栄養管理〔第2版〕 中村富予他編 建帛社 2600円(税抜)				
1	講義内容	管理栄養士・栄養士倫理綱領、臨地実習心得、栄養スクリーニングとアセスメント			
	該当する到達目標	予習	臨床栄養管理論を復習し、教科書の該当箇所を読んでおく		0.5 時間
	1	復習	栄養スクリーニングおよび栄養アセスメントの手法について確認し、次回以降の実習内容に活かせるよう準備する。		0.5 時間
2	講義内容	栄養アセスメント(身体計測)			
	該当する到達目標	予習	身体計測の手技および評価についての復習をしておく		0.5 時間
	1,2	復習	実習内容をまとめてレポート提出		0.5 時間
3	講義内容	栄養アセスメント(栄養必要量の算定<推定>)、メタボリックアナライザー			
	該当する到達目標	予習	必要栄養量の算出方法についての復習をしておく		0.5 時間
	1,2	復習	実習内容をまとめてレポート提出		0.5 時間
4	講義内容	栄養アセスメント(栄養・食事調査)			
	該当する到達目標	予習	食事摂取状況調査および栄養調査についての復習をしておく		0.5 時間
	1,2	復習	実習内容をまとめてレポート提出		0.5 時間
5	講義内容	栄養補給法(半固形栄養)			
	該当する到達目標	予習	栄養補給方法(経腸栄養法)についての復習をしておく		0.5 時間
	1,2	復習	実習内容をまとめてレポート提出		0.5 時間
6	講義内容	経腸栄養剤の種類と選択			
	該当する到達目標	予習	栄養補給方法(経腸栄養法)についての復習をしておく		0.5 時間
	1,2	復習	実習内容をまとめてレポート提出		0.5 時間
7	講義内容	栄養管理計画書の作成(症例検討①)			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	栄養ケアマネジメントの流れについての復習をしておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をまとめてレポート提出	0.5 時間
8	講義内容	口腔ケアと摂食・嚥下障害		
	該当する到達目標	予習	嚥下障害および嚥下訓練食についての復習をしておく	0.5 時間
	1,2	復習	実習内容をまとめてレポート提出	0.5 時間
9	講義内容	要介護者の食支援(症例検討②)		
	該当する到達目標	予習	要介護者の食支援および介護報酬についての復習をしておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をまとめてレポート提出	0.5 時間
10	講義内容	栄養ケアプランの作成(POS[問題志向型システム]に基づく SOAP での栄養ケア記録)(症例検討③)		
	該当する到達目標	予習	栄養ケアプランの作成および栄養ケアの記録についての復習をしておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をまとめてレポート提出	0.5 時間
11	講義内容	在宅療養者の食生活支援(症例検討④)		
	該当する到達目標	予習	在宅における療養支援についての復習をしておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をまとめてレポート提出	0.5 時間
12	講義内容	総合演習(各種課題症例検討)		
	該当する到達目標	予習	症例検討に用いる症例を選択し、検査数値や身体計測値、病状等から病態を把握しておく。	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をまとめてレポート提出	0.5 時間
13	講義内容	—		
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容	—		
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容	—		
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	<p>オフィスアワー:木曜 2-4 時限. 1 号館 308 研究室. 質問等はメールでも受け付ける.</p> <p>メールアドレス:mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp</p> <p>臨床栄養学 I、II、臨床栄養管理論を履修していることが望ましい. 予習・復習は試験前の学習で補完すること.</p>			

科目名	公衆栄養学 I (専門科目)			HNA351	講義
担当教員	五十嵐 美絵				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報を収集・分析し、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。また、あらゆる健康・栄養状態の者に対し適切な栄養関連プログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得する。 「公衆栄養学 I」では、基本的な公衆栄養関連法規の他、健康・栄養問題の現状と課題、要因を理解し、健康増進と疾病予防を目指す栄養政策や公衆栄養活動の現状について学ぶ。				
到達目標	1. 公衆栄養の意義と目的、公衆栄養関連法規の内容が説明できる。 2. 日本や諸外国及び、地域や職域等の健康・栄養問題の現状と課題が説明できる。 3. 健康・栄養問題を取り巻く、自然、社会、文化的要因が分析、評価できる。 4. 健康・栄養課題を解決するため現在行われている健康づくり及び食環境づくりのプログラムについて説明できる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	ミニテスト(12回)10% 授業の復習確認のため、授業の初めに前回分を行う。 レポート(1回)10% 地元の健康増進計画、食育推進計画を調査する。 期末試験(筆記試験)80% 6割以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	ミニテストは授業時間内に解答を示し、解説する。レポート課題は事前に意図を説明し、事後に全体説明を行った後返却する。期末試験は解答を掲示する。				
使用教材	教科書「ウエルネス公衆栄養学 2017 年版」前大道教子、松原知子編集 (医歯薬出版) ISBN978-4-263-70655-8 講義のスライドを印刷し毎回配布する。 国民健康・栄養調査結果の概要等授業内容の補足資料は必要に応じて配布する				
1	講義内容	講義の目的・ガイダンス 公衆栄養の概念1(意義と目的)			
	該当する到達目標	予習	シラバスを確認する。教科書の 1-1 公衆栄養の概念を読んでおく。		1 時間
	1	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。		1.5 時間
2	講義内容	公衆栄養の概念2(公衆栄養活動の歴史)			
	該当する到達目標	予習	教科書の 1-2 公衆栄養活動を読んでおく。		1 時間
	1	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。		1.5 時間
3	講義内容	健康栄養問題の現状と課題1(社会環境と健康・栄養問題、健康状態の変化)			
	該当する到達目標	予習	教科書 2-1 社会環境と健康・栄養問題、2-2 健康状態の変化を読んでおく。		1 時間
	2,3	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。		1.5 時間
4	講義内容	健康栄養問題の現状と課題2(食事・食生活の変化、食環境の変化)			
	該当する到達目標	予習	教科書 2-3 食事の変化、2-4 食生活の変化、2-5 食環境の変化を読んでおく		1 時間
	2,3	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。		1.5 時間
5	講義内容	健康栄養問題の現状と課題3(食料需給表、食料自給率、食品ロス)			
	該当する到達目標	予習	教科書 2-5 食環境の変化、フードバランスシート、食料自給率絵を読んでおく。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	2,3	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
6	講義内容	健康栄養問題の現状と課題4(諸外国の健康・栄養問題)		
	該当する到達目標	予習	教科書 2-6 諸外国の健康・栄養問題の現状と課題を読んでおく。	1 時間
	2,3	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
7	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動1(栄養士法:管理栄養士・栄養士制度)		
	該当する到達目標	予習	栄養士法の条文を読んでおく。	1 時間
	1	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
8	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動2(健康増進法、地域保健法:法の制定と経緯・意義・内容)		
	該当する到達目標	予習	健康増進法、地域保健法の条文を読んでおく。	1 時間
	1	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
9	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動3(国民健康栄養調査の目的・実施方法)		
	該当する到達目標	予習	教科書 3-4 国民健康・栄養調査を読んでおく。	1 時間
	4	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
10	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動4(健康づくりのための指針・ツール)		
	該当する到達目標	予習	教科書 3-5 実施に関する指針、ツールを読んでおく。	1 時間
	4	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
11	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動5(国の健康増進対策健、康日本 21、地方計画)		
	該当する到達目標	予習	教科書 3-6 国の健康増進基本方針と地方計画を読んでおく。	1 時間
	4	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
12	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動6(食育基本法と食育推進基本計画)		
	該当する到達目標	予習	食育基本法の条文を読んでおく。	1 時間
	1	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。レポート課題を行う。	2 時間
13	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動7(食環境づくり施策の展開、食品の表示)		
	該当する到達目標	予習	教科書食品表示法による表示の活用を読んでおく。	1 時間
	4	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
14	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動8(特定健康診査・特定保健指導)		
	該当する到達目標	予習	教科書特定健康診査・特定保健指導を読んでおく。	1 時間
	4	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
15	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動9(諸外国の健康・栄養政策)		
	該当する到達目標	予習	教科書 3-7 諸外国の健康・栄養政策を読んでおく	1 時間
	2,4	復習	国連の関連機関、諸外国の栄養政策について理解する。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー:木曜日の5時限(1号館305研究室) メールアドレス:igarashi@takasaki-u.ac.jp</p> <p>予習・復習については、レポート作成、期末試験前の学習で補完すること。</p> <p>参考図書・ホームページ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康・栄養科学シリーズ「公衆栄養学」(改訂第4版)田中平三他編(南江堂) ・「管理栄養士・栄養士必携」データ・資料集(公社)日本栄養士会編(第一出版) ・「国民衛生の動向」(最新版)厚生労働協会編(厚生統計協会) ・「厚生労働省国民健康・栄養調査報告国民栄養の現状」健康・栄養情報研究会編(第一出版) ・厚生労働省、農林水産省、文部科学省、内閣府、国立健康・栄養研究所、食品安全委員会のホームページ 			

科目名	公衆栄養学Ⅱ(専門科目)			HNA352	講義
担当教員	五十嵐 美絵				
学年・開講期	3年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	「公衆栄養学Ⅱ」では、「公衆栄養学Ⅰ」で学んだ基礎と現状を土台とし、地域、職域等の健康・栄養問題と要因の把握、分析、評価、判定と栄養上のハイリスク集団を特定する能力を養う。同時に、保健・医療・福祉・介護システムの中で、適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの立案・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得する。さらに、公衆栄養活動に必要な各種サービスやプログラムの調整、人的資源など社会的資源の活用、栄養情報の管理、コミュニケーションの管理などの仕組みについて理解する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域、職域等の健康・栄養問題とその要因の分析、評価、判定ができる。 2. 適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの立案、実施、評価、フィードバックを行う総合的な公衆栄養マネジメントの理論と方法がわかる。 3. 各種サービスやプログラムの調整、社会的資源の活用、栄養情報の管理、コミュニケーションの管理などの仕組みについて説明できる。 				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	ミニテスト(12回)10% 授業の復習確認のため、授業の初めに前回分を行う。 期末試験(筆記試験)90% 6割以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	ミニテストは授業時間内に解答を示し、解説する。期末試験は解答を掲示する。				
使用教材	教科書「ウエルネス公衆栄養学 2017年版」前大道教子、松原知子編集(医歯薬出版) ISBN978-4-263-70655-8 講義のスライドを印刷し毎回配布する。 食事調査用紙、国民健康・栄養調査結果の概要等授業内容の補足資料は必要に応じて配布する				
1	講義内容	ガイダンス、公衆栄養活動の視点			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み実施内容を確認する。		1 時間
		復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。		1.5 時間
2	講義内容	栄養疫学の概要1(栄養疫学の概念)			
	該当する到達目標	予習	教科書 4-1 栄養疫学の概要、4-2 曝露情報としての食事摂取量を読んでおく。		1 時間
	1	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。		1.5 時間
3	講義内容	栄養疫学の概要2(食事調査法)			
	該当する到達目標	予習	教科書 4-3 食事摂取量の測定方法を読んでおく。		1 時間
	1	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。		1.5 時間
4	講義内容	栄養疫学の概要3(栄養疫学調査研究事例、結果の解釈)			
	該当する到達目標	予習	教科書 4-4 食事摂取量の評価方法を読んでおく。		1 時間
	1	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。		1.5 時間
5	講義内容	公衆栄養マネジメント1(公衆栄養活動の役割、行政栄養士の基本指針)			
	該当する到達目標	予習	教科書 3-1 わが国の公衆栄養活動を読んでおく。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	3	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
6	講義内容	公衆栄養マネジメント2(公衆栄養マネジメントの考え方)		
	該当する到達目標	予習	教科書 5-1 公衆栄養マネジメントを読んでおく。	1 時間
	2	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
7	講義内容	公衆栄養マネジメント3(アセスメントの目的と方法、食事摂取基準の集団への活用)		
	該当する到達目標	予習	教科書 5-2 公衆栄養アセスメントを読んでおく。	1 時間
	2	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
8	講義内容	公衆栄養マネジメント4(地域の実態把握理論モデルの活用と実態把握の方法)		
	該当する到達目標	予習	質問紙調査の方法と活用を調べておく。	1 時間
	2	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
9	講義内容	公衆栄養マネジメント5(国民健康・栄養調査結果とアセスメント)		
	該当する到達目標	予習	一番新しい国民健康・栄養調査の概要に目を通しておく。	1 時間
	2	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
10	講義内容	公衆栄養プログラム1(目標設定)		
	該当する到達目標	予習	教科書 5-3 公衆栄養プログラムの目標設定を読んでおく。	1 時間
	2	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
11	講義内容	公衆栄養プログラム2(計画・実施)		
	該当する到達目標	予習	教科書 5-4 公衆栄養プログラム計画、実施部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
12	講義内容	公衆栄養プログラム3(評価)		
	該当する到達目標	予習	教科書 5-4 公衆栄養プログラム評価・評価の実際部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
13	講義内容	公衆栄養プログラムの展開1(地域特性に対応したプログラム)		
	該当する到達目標	予習	教科書 6-1 地域特性に対応したプログラムの展開を読んでおく。	1 時間
	3	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
14	講義内容	公衆栄養プログラムの展開2(食環境づくりのためのプログラム)		
	該当する到達目標	予習	教科書 6-2 食環境づくりのためのプログラムの展開を読んでおく。	1 時間
	3	復習	次回、ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
15	講義内容	公衆栄養プログラムの展開3(地域集団の特性別プログラム)		
	該当する到達目標	予習	教科書 6-3 地域集団の特性別プログラムの展開を読んでおく。	1 時間
	3	復習	公衆栄養プログラムの展開事例をまとめる。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日の 5 時限(1 号館 305 研究室) メールアドレス: igarashi@takasaki-u.ac.jp</p> <p>予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること。</p> <p>参考図書、ホームページ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康・栄養科学シリーズ「公衆栄養学」(改訂第 4 版) 田中平三他編(南江堂) ・「管理栄養士・栄養士必携」データ・資料集(公社)日本栄養士会編(第一出版) ・「国民衛生の動向」(最新版) 厚生労働協会編(厚生統計協会) ・「厚生労働省国民健康・栄養調査報告国民栄養の現状」健康・栄養情報研究会編(第一出版) ・厚生労働省、農林水産省、文部科学省、内閣府、国立健康・栄養研究所、食品安全委員会のホームページ 			

科目名	公衆栄養学実習(専門科目)			HNA353	実習
担当教員	五十嵐 美絵				
学年・開講期	3年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	「公衆栄養学Ⅰ、Ⅱ」において学んだ理論を基盤として、理論的な考え方で公衆栄養実践活動へ展開するための具体的な技能や姿勢を身につける。事前学習、グループワーク、発表、ディスカッションを行うので、自発的、積極的に参加することを必要とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食事記録の書き方が説明できる。 2. 記入された食事調査の聞き取り、コード付け、栄養量の(栄養計算ソフトで)算出ができる。 3. 集団の食事調査結果の解析ができる。 4. 結果の解析をもとに、集団の健康・栄養アセスメント、目標設定、実践事例の作成、評価等の地域公衆栄養活動計画が作成できる。 5. グループのチームワークを固め、お互いの意義を高めことができる。 				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業態度、グループ活動による発表、ワークシートの提出状況 30% <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な態度でグループ活動に貢献すること。 ・グループ代表としてグループの見解を発表できる。 ・ワークシートはもれなく提出されていること。 確認テスト 30% 適切に食事調査の聞き取りができるか。 期末試験(レポート) 40% 地域公衆栄養活動計画が作成できるか。 6割以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	実習課題は、授業中に全体で内容を確認する。ワークシートは授業内で返却し、解説を行う。				
使用教材	教科書「ウエルネス公衆栄養学 2017 年版」 前大道教子、松原知子編集 (医歯薬出版) ISBN978-4-263-70655-8 講義のスライドを印刷し毎回配布する。 実習内容に合わせた書き込み式ワークシートを毎回配布する。				
1	講義内容	オリエンテーション、公衆栄養アセスメントのための情報収集			
	該当する到達目標	予習	シラバスを確認する。アセスメントのための情報源は何か予習する。		0.5 時間
	5	復習	ワークシート 1 食事調査法の種類と概要を次回までに整理し、提出する。		1 時間
2	講義内容	地域での食事調査の実際1(食事記録法の書き方の説明方法とコード付けの方法)			
	該当する到達目標	予習	食事調査法の種類と利用方法を予習する。		0.5 時間
	1,2,5	復習	自分の 2 日分の食事を食事記録法で記録し、次回持参する。		2.5 時間
3	講義内容	地域での食事調査の実際2(食事記録の聞き取り、コード付けの実施)			
	該当する到達目標	予習	食事記録の聞き取り方法を予習する。		0.5 時間
	2,5	復習	食事記録の聞き取り方をまとめる		0.5 時間
4	講義内容	地域での食事調査の実際3(コード付けの実施、食事記録の集計)			
	該当する到達目標	予習	食事記録集計ソフトが使用できるようにしておく。		1 時間
	2,5	復習	自身の食事記録集計結果をまとめ、評価する。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

5	講義内容	地域での食事調査の実際4(食事調査データの解析)	
	該当する到達目標	予習	エクセルの基本統計量の算出ができるようにしておく。食事摂取基準「集団の食事改善を目的として食事摂取基準を活用する場合の基本的事項」及びエネルギー調整法がわかるようにしておく。
	3,5	復習	集団の食事調査の評価方法を復習する。
			2 時間
			1 時間
6	講義内容	地域での食事調査の実際5(集団の食事調査結果の評価・国民健康・栄養調査の実施)	
	該当する到達目標	予習	国民健康・栄養調査の実施方法を予習する。
	1,5	復習	集団の食事調査結果をまとめる。 栄養摂取状況調査票の書き方をまとめ、比例案分法の実施方法を復習する。
			0.5 時間
			1 時間
7	講義内容	グループ学習の効果を高める方法を学ぶ	
	該当する到達目標	予習	ブレインストーミングとは何かを調べておく。
	5	復習	グループ学習の効果について復習する。
			0.5 時間
			0.5 時間
8	講義内容	公衆栄養活動計画策定の実際1(アセスメント、課題の抽出)	
	該当する到達目標	予習	プリソード・プロソードモデルの使い方の予習を行う。
	3,4,5	復習	既存資料から地域診断のためのデータを収集し、次回持参する
			0.5 時間
			1.5 時間
9	講義内容	公衆栄養活動計画策定の実際2(課題の整理、目標設定)	
	該当する到達目標	予習	目標設定の方法を予習する。
	4,5	復習	目標設定の方法を復習する。
			0.5 時間
			0.5 時間
10	講義内容	公衆栄養活動計画策定の実際3(実践事例の内容、評価指標の検討)	
	該当する到達目標	予習	目標にあった各方面の実践事例をいくつか調べておく。
	4,5	復習	次の発表に向けて、作成した事例を確認しておく。
			0.5 時間
			0.5 時間
11	講義内容	公衆栄養活動計画策定の実際4(実践事例の発表、相互評価)	
	該当する到達目標	予習	他の班の作成した事例を全部確認しておく。
	4,5	復習	発表後他の班から出たアドバイスをまとめておく。
			1 時間
			0.5 時間
12	講義内容	公衆栄養活動計画策定の実際5(実践事例のブラッシュアップ、実習の振り返り)	
	該当する到達目標	予習	ブラッシュアップしたいところを確認しておく
	4,5	復習	実習の振り返りをレポートに備えまとめておく。
			0.5 時間
			0.5 時間
13	講義内容	公衆栄養活動計画策定の実際6(実習まとめ、確認テスト)	
	該当する到達目標	予習	確認テストに備えて、食事記録の聞き取り方法、コード化を復習する。
	1,2,4,5	復習	レポート作成に向けた全体の復習を行う。
			3 時間
			0.5 時間
14	講義内容		
	該当する到達目標	予習	
		復習	
			時間
			時間
15	講義内容		
	該当する到達目標	予習	
		復習	
			時間
			時間
備考	<p>オフィスアワー: 木曜日の 5 時限(1 号館 305 研究室) メールアドレス: igarashi@takasaki-u.ac.jp</p> <p>参考図書、ホームページ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「管理栄養士・栄養士必携」データ・資料集(公社)日本栄養士会編(第一出版) ・「国民衛生の動向」(最新版)厚生労働協会編(厚生統計協会) ・「厚生労働省国民健康・栄養調査報告国民栄養の現状」健康・栄養情報研究会編(第一出版) ・厚生労働省、農林水産省、文部科学省、内閣府、国立健康・栄養研究所、食品安全委員会のホームページ 		

科目名	給食経営管理 I (専門科目)			HNA361	講義
担当教員	神戸 美恵子				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	給食施設における管理栄養士の役割は、対象(喫食)者の健康の保持・増進、心身の健全な成長及び疾病予防と治療を促すための食事管理と栄養教育を行うことである。そのため、給食施設の概要及び給食施設における管理栄養士の役割を理解し、さらに、特定多数の人々の健康状態・栄養状態の改善・維持・向上・QOLの向上を目標とした栄養・食事管理を効率的、かつ効果的に継続して実施していくための生産、安全・衛生について理解する。また、各施設における給食の位置づけを理解し、給食運営に応用する能力を身につける。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.給食の意義及び運営について説明できる。 2.各施設、対象(喫食)者に応じた給食の概要について説明できる。 3.特定多数の人々に食事を提供する給食施設における食事の提供にかかわる栄養・食事管理について説明できる。 4.給食経営における品質管理について説明できる。 5.安全・衛生的な給食の経営管理について説明できる。 				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 90%、課題 10%、平常点(授業参加度・貢献度等)を加味して総合的に判断する。 評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対する フィードバック	課題提出時に模範解答を配布する。 定期試験に課題を一部反映させる。				
使用教材	サクセス管理栄養士講座 給食経営管理論 第一出版 2016 年 4 月 25 日 2,400 円 講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	給食の概要(1)給食の概念			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		1 時間
	1	復習	課題プリントによる復習を行い、給食の概念について理解する。		1 時間
2	講義内容	給食の概要(2)給食システム、給食を提供する施設と関連法規			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		1 時間
	1	復習	課題プリントによる復習を行い、給食システム、給食を提供する施設と関連法規について理解する。		1 時間
3	講義内容	給食の概要(3)各施設における給食の意義(医療施設、高齢者・介護福祉施設)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		1 時間
	1	復習	課題プリントによる復習を行い、医療施設、高齢者・介護福祉施設の給食の意義について理解する。		1 時間
4	講義内容	給食の概要(4)各施設における給食の意義(児童福祉施設、障害者福祉施設)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		1 時間
	1	復習	課題プリントによる復習を行い、児童福祉施設、障害者福祉施設の給食の意義について理解する。		1 時間
5	講義内容	給食の概要(5)各施設における給食の意義(学校、事業所、その他の給食施設)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1	復習	課題プリントによる復習を行い、学校、事業所、その他の給食施設の給食の意義について理解する。	1 時間
6	講義内容	栄養・食事管理(1) 栄養・食事の概要とアセスメント、食事計画		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	2	復習	課題プリントによる復習を行い、栄養・食事の概要とアセスメント、食事計画について理解する。	1 時間
7	講義内容	栄養・食事管理(2) 食事の計画、栄養・食事計画実施、評価、改善		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	2	復習	課題プリントによる復習を行い、食事の計画、栄養・食事計画実施、評価、改善について理解する。	1 時間
8	講義内容	給食経営における品質管理(1) 品質と標準化		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	課題プリントによる復習を行い、給食の品質と標準化について理解する。	1 時間
9	講義内容	給食経営における品質管理(2) 原価		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	課題プリントによる復習を行い、給食の原価について理解する。	1 時間
10	講義内容	給食経営における品質管理(3) 食材		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	課題プリントによる復習を行い、給食の食材について理解する。	1 時間
11	講義内容	給食経営における品質管理(4) 生産と提供(1)		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	課題プリントによる復習を行い、給食のオペレーションシステム、生産と人員配置について理解する。	1 時間
12	講義内容	給食経営における品質管理(5) 生産と提供(2)		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	課題プリントによる復習を行い、大量調理の調理特性、生産性、廃棄物処理、配膳・配食について理解する。	1 時間
13	講義内容	給食の安全・衛生(1) 安全・衛生の概念		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	4	復習	課題プリントによる復習を行い、安全・衛生の実際について理解する。	1 時間
14	講義内容	給食の安全・衛生(2) 安全・衛生の実際		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	4	復習	課題プリントによる復習を行い、事故・災害時対策について理解する。	1 時間
15	講義内容	給食の安全・衛生(3) 事故・災害時対策		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	4	復習	課題プリントによる復習を行い、給食の施設・設備する。配布済みの講義プリントにより全授業内容の確認を行う。	5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日の 2 時限と 3 時限、質問はメールでも受け付けます。</p> <p>メールアドレス: mieko@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 6 号館 1 階</p> <p>予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること</p>			

科目名	給食経営管理Ⅱ(専門科目)			HNA362	講義
担当教員	神戸 美恵子				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	給食経営管理の概念について理解し、給食運営や関係の資源を総合的に判断し、栄養面・安全面・経営管理全般のマネジメントを行う能力を養う。特に、食事・栄養管理、生産管理、安全・衛生管理の計画作成を通して、トータルマネジメントを行うための知識と技術を身につける。 また、食料の生産から消費までの流通のしくみやマーケティングについて理解する。				
到達目標	1.給食運営管理の概念について説明できる。 2.給食の施設・設備、食事・栄養管理、生産管理、安全・衛生管理に関するマネジメントについて説明できる。 3.食品の生産、流通、加工、消費の仕組みや現状について説明できる。 4.食品流通や消費の課題について考察できる。 5.給食を取り巻く環境や経済情勢に応じたマーケティング手法について説明できる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 90%、レポート 10%、平常点(授業参加度・貢献度等)を加味して総合的に判断する。 評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対する フィードバック	課題提出時に模範解答を配布する。 定期試験に課題を一部反映させる。				
使用教材	サクセス管理栄養士講座 給食経営管理論 第一出版 2016年4月25日 2,400円 三訂食品の消費と流通 建帛社 2016年2月10日 1,900円 日本人の食事摂取基準、調理のためのベーシックデータ食品成分表、日本標準食品成分表 2015、電卓 講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	給食経営管理の概念(1)給食経営と献立、経営管理の概要			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		1時間
	1	復習	課題プリントによる復習を行い、給食経営と献立、経営管理の概要について理解する。		1時間
2	講義内容	給食経営管理の概念(2)給食とマーケティング、給食経営と組織			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		1時間
	1,5	復習	課題プリントによる復習を行い、給食とマーケティング、給食経営と組織について理解する。		1時間
3	講義内容	給食の施設・設備、給食の人事・事務			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		1時間
	2	復習	課題プリントによる復習を行い、給食の原価について理解する。		1時間
4	講義内容	給食経営管理の実際(1)食事計画			
	該当する到達目標	予習	給食経営管理Ⅰ 4回の内容を復習する。		1時間
	2	復習	健康な人を対象とした食事計画を完成させる。		1時間
5	講義内容	給食経営管理の実際(2)栄養計画①献立作成			
	該当する到達目標	予習	給食経営管理Ⅰ 5回の内容を復習する。		1時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	2	復習	健康な人を対象とした献立を完成させる。	2 時間
6	講義内容 給食経営管理の実際(3) 栄養計画②食品構成			
	該当する到達目標	予習	給食経営管理 I 6 回の内容を復習する。	1 時間
	2	復習	食品構成表作成手順について理解する。	1 時間
7	講義内容 給食経営管理の実際(4) 生産計画			
	該当する到達目標	予習	給食経営管理 I 7 回の内容を復習する。	1 時間
	2	復習	大量調理衛生管理マニュアル」にそった作業工程表、作業動線について理解する。	2 時間
8	講義内容 食品の消費と流通(1) 食市場の変化①食市場			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	課題プリントによる復習を行い、食市場の変化について理解する。 1ヶ月間の食事(食事形態・内容)記録を行う。	1 時間
9	講義内容 食品の消費と流通(2) 食市場の変化②			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	課題プリントによる復習を行い、消費者の食品消費の変化や食生活の多様化について理解する。	1 時間
10	講義内容 食品の消費と流通(3) 食品の流通			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	課題プリントによる復習を行い、食品の流通について理解する。	1 時間
11	講義内容 食品の消費と流通(4) 外食・中食産業のマーチャンダイジング			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	課題プリントによる復習を行い、外食・中食産業のマーチャンダイジングについて理解する。	1 時間
12	講義内容 食品の消費と流通(5) 主要食品の流通①			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	課題プリントによる復習を行い、商品の分類、温度帯別食品流通について理解する。	1 時間
13	講義内容 食品の消費と流通(6) 主要食品の流通②			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	講義プリントによる復習を行い、主要食品の流通について理解する。	1 時間
14	講義内容 食品の消費と流通(7) 主要食品の流通③			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	講義プリントによる復習を行い、主要食品の流通について理解する。	1 時間
15	講義内容 食品の消費と流通(8) フードマーケティングと食料消費の課題、関係統計			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	4,5	復習	課題プリントによる復習を行い、フードマーケティングと食料消費の課題、関係統計について理解する。	1 時間
備考	<p>オフィスアワー: 火曜日の 2 時限と 3 時限、質問はメールでも受け付けます。</p> <p>メールアドレス: mieko@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 6 号館 1 階</p> <p>予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること</p>			

科目名	給食経営管理実習 I (専門科目)		HNA363	実習
担当教員	神戸 美恵子			
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 1 単位	
講義目標	<p>関連教科で学習した基本的な知識や技術をもとに、「給食経営管論 I、II」で学習した給食運営の PDCA(マネジメント)サイクルを活用し、健康な学生を対象とした約 110 食の給食提供実習を行うことより、給食計画から評価までの一連の業務について理解する。</p> <p>1食で栄養バランス等のとれた食事を計画することは困難であるため、一定期間でバランスがとれる献立を作成する。</p>			
到達目標	<p>1.健康な人を対象とした給食提供を経営管理の PDCA サイクルに従い計画することができる。</p> <p>2.「調理学実習 I、II」の献立を大量調理に展開することができる。</p> <p>3.「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基づく衛生管理について確認することができる。</p> <p>4.給食組織運営やチームワークやコミュニケーション力を身に付けることができる。</p> <p>5.給食運営業務に関する基本的な方法、技術を取得することができる。</p> <p>6.実施給食を活用した望ましい 5 日間(昼食)の献立(期間献立)を作成することができる。</p>			
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理			
との対応	✓	専門的知識		
	✓	問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力		
	✓	コミュニケーション能力		
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	課題 20%、平常点(授業参加度・貢献度等)80%として総合的に評価する。 評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。			
課題に対する フィードバック	<p>献立作成、試作、各計画書は、個別にアドバイスをを行う。</p> <p>献立課題は、添削後コメントをつけ返却する。</p>			
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> 給食経営管理論テキスト、日本人の食事摂取基準 2015、調理のためのベーシックデータ食品成分表、日本標準食品成分表 2015 担当教員作成実習書(プリント)及び帳票 白衣、実習用白ズボン、実習用帽子、クッキングシューズ、包丁セット、電卓 			
1	講義内容	オリエンテーション(実習の目的、方法、日程、グループ編成、実習室説明)		
	該当する到達目標	予習		0 時間
	1	復習	オリエンテーション内容を確認する。	1 時間
2	講義内容	給食経営管理計画(1)食事計画、栄養計画、献立作成		
	該当する到達目標	予習	給食経営管理 II 4・5 回の内容を復習する。	1 時間
	1	復習	実習で使用する食事計画、栄養計画、献立表の作成手順を理解する。	1 時間
3	講義内容	給食経営管理計画(2)食材計画、作業計画、評価計画		
	該当する到達目標	予習	給食経営管理 II 6・7 回の内容を復習する。	1 時間
	1	復習	実習で使用する食材計画、作業計画、評価計画の作成手順を理解する。	1 時間
4	講義内容	大量調理と衛生管理について		
	該当する到達目標	予習	前回の内容及び給食経営管理 I 13・14 回の内容を復習する。	1 時間
	3	復習	給食経営管理実習室における衛生管理について理解する。	1 時間
5	講義内容	献立作成 I (グループ実習)		
	該当する到達目標	予習	調理学実習 I・II の献立やレシピに目を通す。	1 時間
	2,4,5,	復習	グループごとに、テーマに沿った予定献立案を作成する。	2 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	試作 I (グループ実習)		
	該当する到達目標	予習	使用する食材や器具、調理手順の確認をする。	1 時間
	2,4,5	復習	試作の結果に基づき、献立の修正を行い、予定献立を完成させる。	2 時間
7	講義内容	献立に基づく作業計画作成(グループ実習)		
	該当する到達目標	予習	予定献立に使用する食材や器具、調理手順の確認をする。	1 時間
	2,4,5	復習	グループごとに、必要な計画書を完成させる。	2 時間
8	講義内容	給食提供実習事前準備、確認(グループ実習)		
	該当する到達目標	予習	各計画書を確認する。	1 時間
	2,5	復習	実習に向け、留意事項等をまとめる。	1 時間
9	講義内容	給食提供実習 I (1) 献立作成担当(グループ実習)		
	該当する到達目標	予習	各計画書に目を通し、担当する作業の確認をする。	1 時間
	2,3,4,5,6	復習	振り返りを行い、記録をする。	1 時間
10	講義内容	給食提供実習 I (2) 調理担当(グループ実習)		
	該当する到達目標	予習	各計画書に目を通し、担当する作業の確認をする。	1 時間
	2,3,4,5,6	復習	振り返りを行い、記録をする。	1 時間
11	講義内容	給食提供実習 I (3) 洗浄担当(グループ実習)		
	該当する到達目標	予習	洗浄手順の確認をする。	0.5 時間
	3,5	復習	振り返りを行い、記録をする。	0.5 時間
12	講義内容	給食提供実習 I (4) 事務・情報処理担当(グループ実習)		
	該当する到達目標	予習	アンケート調査の集計やまとめ方、事務処理方法の確認をする。	0.5 時間
	3,5	復習	振り返りを行い、記録をする。	0.5 時間
13	講義内容	給食提供実習の評価と改善(グループ実習)、期間献立作成		
	該当する到達目標	予習	各自の実習記録を確認する。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	評価と改善策をまとめる。	1 時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
備考	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
<p>オフィスアワー: 月曜日の 2 時限と 3 時限、質問はメールでも受け付けます。 メールアドレス mieko@takasaki-u.ac.jp 研究室: 6 号館 1 階 予習・復習の時間数: 課題(期間献立)作成は、授業時間では不足するため、家庭学習で補完すること</p>				

科目名	給食経営管理実習Ⅱ(専門科目)			HNA364	実習
担当教員	神戸 美恵子				
学年・開講期	3年 前期	必選・単位数	必修 1単位		
講義目標	<p>「給食経営管理実習Ⅰ」で身に付けた知識や技術及び評価をもとに、給食運営や関連の資源(食品流通や食品開発の状況、給食に関わる組織や経費等)を総合的に判断し、栄養面・安全面・経済面を統合した給食経営管理マネジメントを行う能力を養う。さらに、与えられたテーマと課題(給食経営管理実習Ⅰにおける自己評価、マーケティング結果)に対応した給食をPDCA サイクルを活用して実施する。</p> <p>給食を活用した栄養教育の工夫や新調理システムについて理解する。</p> <p>臨地実習Ⅰ・Ⅱに向けて個人個人が給食経営管理に関するスキルや意欲を高める。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.給食経営管理実習Ⅰにおける自己評価、マーケティング結果から対応策を検討することができる。 2.栄養面、安全面、経済面全般について円滑にマネジメントすることができる。 3.提供する給食を活用した栄養教育を実施することができる。 4.新調理システム(真空調理)について理解することができる。 5.実施給食を活用した望ましい3日間(1日3食)の献立を作成することができる。 				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	レポート20%、平常点(授業参加度・貢献度等)80%として総合的に評価する。 評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対する フィードバック	<p>献立作成、試作、各計画書は、個別にアドバイスを行う。</p> <p>献立課題は、添削後コメントをつけ返却する。</p>				
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・給食経営管理論テキスト、日本人の食事摂取基準 2015、調理のためのベーシックデータ、日本標準食品成分表 2015 ・担当教員作成実習書(プリント)及び帳票類 ・白衣、実習用白ズボン、実習用帽子、クッキングシューズ、包丁セット、電卓 				
1	講義内容	オリエンテーション、給食経営管理実習Ⅰの報告会			
	該当する到達目標	1	予習	給食経営管理実習Ⅰ最終回のグループでまとめた評価と改善について確認する。	0.5時間
			復習	各グループの報告内容を整理する。	1時間
2	講義内容	グループでの課題の整理、食事計画作成(グループ実習)			
	該当する到達目標	1,2	予習	給食経営管理実習Ⅰ 2回の内容を確認する。	0.5時間
			復習	食事計画を作成する。	1時間
3	講義内容	献立作成Ⅱ(グループ実習)			
	該当する到達目標	2	予習	献立作成に参考となる本等を準備する。	1時間
			復習	グループごとに、テーマに沿った予定献立案を作成する。	2時間
4	講義内容	試作Ⅱ(グループ実習)			
	該当する到達目標	2	予習	使用する食材や器具、調理手順の確認をする。	1時間
			復習	試作の結果に基づき、献立の修正を行い、予定献立を完成させる。	2時間
5	講義内容	献立に基づく作業計画、栄養指導資料作成(グループ実習)			
	該当する到達目標		予習	予定献立に使用する食材や器具、調理手順の確認をする。栄養指導資料を確	1時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	2,3		認する。	
		復習	グループごとに、必要な計画書を完成させる。	2 時間
6	講義内容	給食提供実習事前準備、確認(グループ実習)、栄養指導資料作成		
	該当する到達目標	予習	各計画書を確認する。	2 時間
	2,3	復習	実習に向け、留意事項等をまとめる。	1 時間
7	講義内容	給食提供実習Ⅱ(1)献立、栄養指導担当(グループ実習)、		
	該当する到達目標	予習	各計画書に目を通し、担当する作業の確認をする。	1 時間
	2,3	復習	振り返りを行い、記録をする。	1 時間
8	講義内容	給食提供実習Ⅱ(2)調理担当(グループ実習)		
	該当する到達目標	予習	各計画書に目を通し、担当する作業の確認をする。	1 時間
	2	復習	振り返りを行い、記録をする。	1 時間
9	講義内容	給食提供実習Ⅱ(3)洗浄担当(グループ実習)		
	該当する到達目標	予習	確実に効率的な手順について検討する。	0.5 時間
	2	復習	振り返りを行い、記録をする。	0.5 時間
10	講義内容	給食提供実習Ⅱ(4)事務・情報処理担当(グループ実習)		
	該当する到達目標	予習	正確でわかりやすい事務処理やデータ処理について検討する。	0.5 時間
	2	復習	振り返りを行い、記録をする。	0.5 時間
11	講義内容	新調理システム(真空調理)、期間献立作成		
	該当する到達目標	予習	給食の調理システムについて確認する。	0.5 時間
	4,5	復習	新調理システムの種類と特徴について理解する。	0.5 時間
12	講義内容	給食提供実習の評価とまとめ(グループ実習)		
	該当する到達目標	予習	各自の実習記録を確認する。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	実習報告会に向け、グループの発表内容をまとめる。	1 時間
13	講義内容	給食提供実習報告会		
	該当する到達目標	予習	グループでまとめた評価と改善について確認する。	1 時間
	1,2,3,4	復習	給食提供実習の振り返りを行う。	1 時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	<p>オフィスアワー: 火曜日の 2 時限と 3 時限、質問はメールでも受け付けます。 メールアドレス mieko@takasaki-u.ac.jp 研究室: 6 号館 1 階 予習・復習の時間数: 課題(期間献立)作成は、授業時間では不足するため、家庭学習で補完すること</p>			

科目名	総合演習 I (臨地実習前後教育)(専門科目)		HNA371	演習
担当教員	神戸 美恵子			
学年・開講期	3年 後期	必修・単位数	必修 1 単位	
講義目標	臨地実習施設における管理栄養士の役割、業務内容、知識や技術について再度確認を行う。さらに、実践の場で働く外部講師によるより具体的な指導により各施設の理解を深め、自己課題を設定するとともに臨地実習に臨む意欲を高める。また、社会人としての知識やマナーを修得する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.各施設の特徴や管理栄養士業務について説明することができる。 2.関連科目で修得した知識や技術を活用することができる。 3.各施設の給食経営管理について説明することができる。 4.自己課題を設定し、適切な取り組み策を考えることができる。 5.適切な実習態度やマナーについて説明することができる。 			
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理		
	✓	専門的知識		
	✓	問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力		
	✓	コミュニケーション能力		
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	レポート(ワークシート)80%、平常点(授業参加度・貢献度等)20%として総合的に判断する。 評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。			
課題に対するフィードバック	レポート(ワークシート)は確認後、返却するので、臨地実習記録に綴じ、臨地実習で活用する。			
使用教材	臨地実習マニュアル 松崎政三・名倉秀子 建帛社 2,415 円 管理栄養士・栄養士必携(データ・資料集)日本栄養士会編第一出版 2,500 円 臨地実習記録(学内作成)			
1	講義内容	臨地実習の意義と目的・目標、臨地実習に臨む心構え		
	該当する到達目標	予習		0 時間
	1,2	復習	教科書により復習し、臨地実習の意義と目的・目標、臨地実習に臨む心構えについて理解する。	1 時間
2	講義内容	給食の運営、給食経営管理の臨地実習について		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	0.5 時間
	1,2,3	復習	教科書により復習し、給食の運営、給食経営管理の臨地実習について理解する。	1 時間
3	講義内容	各施設の概要		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	0.5 時間
	1,3	復習	教科書により復習し、各施設の概要について理解する。	1 時間
4	講義内容	公衆栄養の臨地実習と保健所管理栄養士の職務について(外部講師)		
	該当する到達目標	予習	ワークシートにそって保健所栄養士の職務を整理する。	1 時間
	1,2	復習	講義内容をワークシートに整理する。	1 時間
5	講義内容	学校給食の実際と管理栄養士の職務について		
	該当する到達目標	予習	ワークシートにそって学校給食について整理する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容をワークシートに整理する。	1 時間
6	講義内容	事業所給食の実際と管理栄養士の職務について(外部講師)		
	該当する到達目標	予習	ワークシートにそって事業所給食について整理する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容をワークシートに整理する。	1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

7	講義内容	福祉施設給食の実際と管理栄養士の職務について(外部講師)	
	該当する到達目標	予習	ワークシートにそって福祉施設給食について整理する。
	1,2,3	復習	講義内容をワークシートに整理する。
8	講義内容	実習課題の設定(グループ演習)	
	該当する到達目標	予習	各自の実習予定施設の給食について確認する。
	4	復習	各自の実習課題を考える。
9	講義内容	実習課題の検討(グループ演習)	
	該当する到達目標	予習	各自の実習課題を確認する。
	4	復習	各自の実習課題を決定する。
10	講義内容	実習課題の取り組み策を検討(グループ演習)	
	該当する到達目標	予習	実習課題の取り組み策を考える。
	2,4	復習	各自の実習課題の取り組み策を決定する。
11	講義内容	社会人としてのマナーについて(外部講師)	
	該当する到達目標	予習	
	5	復習	ワークシートにそって社会人としてのマナーについて整理する。
12	講義内容	臨地実習における注意事項・事前訪問の諸注意、臨地実習記録の作成について	
	該当する到達目標	予習	
	5	復習	事前訪問の連絡を取り、臨地実習記録の必要事項を記載する。
13	講義内容		
	該当する到達目標	予習	時間
		復習	時間
14	講義内容		
	該当する到達目標	予習	時間
		復習	時間
15	講義内容		
	該当する到達目標	予習	時間
		復習	時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日の 2 時限と 3 時限、質問はメールでも受け付けます。</p> <p>メールアドレス: mieko@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 6 号館 1 階</p> <p>予習・復習の時間数: 不足分については、献立作成や調理に関する知識や技術の向上、衛生管理の理解を深めるなど、臨地実習を円滑に行えるよう予習を行うこと</p>		

科目名	総合演習Ⅱ(専門科目)			HNA372	演習
担当教員	岡村 信一、竹内 真理				
学年・開講期	3年 後期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標	「総合演習Ⅱ」では、専門分野を横断し、幅広い視野から栄養評価や栄養ケアマネジメントが行えるような総合的な知識と技能を養うことを目的とする。				
到達目標	1.各専門分野で修得してきた学修内容を集約して栄養評価をすることができる 2.各専門分野で修得してきた学修内容を集約して栄養ケアマネジメントを実施することができる				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 100% 評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする				
課題に対する フィードバック	各項目の確認と症例検討を繰り返すことで、栄養アセスメント、栄養診断、栄養ケアの一連の流れを修得する。総合演習で検討したケースは臨床実習Ⅲ(病院実習)で生かすことができる。				
使用教材	栄養アセスメントに役立つ臨床検査値の読み方・考え方・ケーススタディ第2版 奈良信雄著 医歯薬出版 2500(税抜) ステップアップ臨床栄養管理演習 長谷川輝美他編著 建帛社				
1	講義内容	ライフステージに応じた栄養管理(小児、成人、妊産婦、中年期、老年期)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当するページを読む		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容のまとめ		1.5 時間
2	講義内容	福祉(高齢者、障がい者)における栄養管理			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当するページを読む		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容のまとめ		1.5 時間
3	講義内容	傷病者に対する栄養管理(疾病と病態)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当するページを読む		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容のまとめ		1.5 時間
4	講義内容	集団に対する健康管理			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当するページを読む		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容のまとめ		1.5 時間
5	講義内容	栄養ケアプロセス			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当するページを読む		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容のまとめ		1.5 時間
6	講義内容	症例検討 1			
	該当する到達目標	予習	課題症例について、検査数値の示す意味など予め把握しておく		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容のまとめ		1.5 時間
7	講義内容	症例検討 2			
	該当する到達目標	予習	課題症例について、検査数値の示す意味など予め把握しておく		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容のまとめ		1.5 時間
8	講義内容	症例検討 3			
	該当する到達目標	予習	課題症例について、検査数値の示す意味など予め把握しておく		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2	復習	講義内容のまとめ	1.5 時間
9	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	講義第 1 回～8 回までの学習内容を整理する	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容のまとめ	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: (岡村) 月曜 1,3 時限. 1 号館 403 研究室. (竹内) 木曜 2-4 時限. 1 号館 308 研究室. 質問等はメールでも受け付ける. メールアドレス: (岡村)okamura@takasaki-u.ac.jp, (竹内)mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp 予習・復習は試験前の学習で補完すること.</p>			

科目名	総合演習Ⅲ(専門科目)			HNA373	演習
担当教員	綾部園子、五十嵐美絵、岡村信一、木村典代、下川哲昭、曾根保子、竹内真理、田中進、永井俊匡、松岡寛樹、村松芳多子、渡辺由美				
学年・開講期	4年 通年	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	「総合演習Ⅱ」で学んだ知識・技能を基に、専門分野を横断して幅広い視野から栄養評価や栄養ケアマネジメントが行えるような実践力や応用力を養うことを目的とする。				
到達目標	1.管理栄養士が社会で活動する多様な分野において、適切な栄養評価ができる。 2.管理栄養士が社会で活動する多様な分野において、栄養ケアマネジメントを展開・応用することができる。				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 100%で評価する。				
課題に対するフィードバック	授業中の質疑応答等を通じてフィードバックを行う。				
使用教材	授業時に配布するプリント、各科目で使用した教科書				
1	講義内容	食事摂取基準を調理・給食提供へ展開するための演習課題(個人への活用)1			
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。		1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。		1 時間
2	講義内容	食事摂取基準を調理・給食提供へ展開するための演習課題(個人への活用)2			
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。		1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。		1 時間
3	講義内容	食事摂取基準を調理・給食提供へ展開するための演習課題(集団への活用)1			
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。		1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。		1 時間
4	講義内容	食事摂取基準を調理・給食提供へ展開するための演習課題(集団への活用)2			
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。		1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。		1 時間
5	講義内容	食事摂取基準を調理・給食提供へ展開するための演習課題(集団への活用)3			
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。		1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。		1 時間
6	講義内容	各種疾病に応じた食事提供、栄養指導へ展開するための症例・事例研究 1			
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。		1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。		1 時間
7	講義内容	各種疾病に応じた食事提供、栄養指導へ展開するための症例・事例研究 2			
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。		1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。		1 時間
8	講義内容	各種疾病に応じた食事提供、栄養指導へ展開するための症例・事例研究 3			
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。		1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

9	講義内容	各種疾病に応じた食事提供、栄養指導へ展開するための症例・事例研究 4		
	該当する到達目標 1,2	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。	1 時間
		復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
10	講義内容	各種疾病に応じた食事提供、栄養指導へ展開するための症例・事例研究 5		
	該当する到達目標 1,2	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。	1 時間
		復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
11	講義内容	各種健康関連の指針や法律を理解し、地域健康政策や栄養指導へ展開するための症例・事例研究 1		
	該当する到達目標 1,2	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。	1 時間
		復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
12	講義内容	各種健康関連の指針や法律を理解し、地域健康政策や栄養指導へ展開するための症例・事例研究 2		
	該当する到達目標 1,2	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。	1 時間
		復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
13	講義内容	各種健康関連の指針や法律を理解し、地域健康政策や栄養指導へ展開するための症例・事例研究 3		
	該当する到達目標 1,2	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。	1 時間
		復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
14	講義内容	各種健康関連の指針や法律を理解し、地域健康政策や栄養指導へ展開するための症例・事例研究 4		
	該当する到達目標 1,2	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。	1 時間
		復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
15	講義内容	各種健康関連の指針や法律を理解し、地域健康政策や栄養指導へ展開するための症例・事例研究 5		
	該当する到達目標 1,2	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。	1 時間
		復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
備考	<p>オフィスアワー：月曜日の 5 時限、質問はメールでも受け付ける。</p> <p>予習・復習の不足分は、日頃から関連分野の情報に関心を持ち、理解を深めることで補完する。</p>			

科目名	臨地実習 I (給食運営)(専門科目)		HNA381	実習
担当教員	神戸 美恵子			
学年・開講期	3 年 後期	必修・単位数	必修 1 単位	
講義目標	給食現場での管理栄養士の実践力を身につけるために、給食経営管理論 I・II、給食経営管理実習 I・II、総合演習 I および関連科目で学んだ基本的な知識や技術をもとに、特定多数人を対象とした大量調理について、計画から評価までの一連の実習を行う。実践活動の場での実体験を通して、必要とされる給食の運営に関する専門的知識及び技術の統合を図る。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.施設の特徴や管理栄養士業務について説明できる。 2.栄養・食事・食材管理(献立作成)等について説明できる。 3.安全で衛生的に食事を提供することができる。 4.施設に応じた給食の生産工程について説明できる。 5.提供サービスについて説明できる。 6.給食実務に関する事務処理を行うことができる。 			
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理		
	✓	専門的知識		
	✓	問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力		
	✓	コミュニケーション能力		
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	実習先からの評価票(実習態度、実習内容等)80%、臨地実習記録 10%、実習報告会内容 10%、巡回指導教員からの報告等を総合的に評価する。			
課題に対する フィードバック	臨地実習記録は、担当者からのコメントを付して返却する。			
使用教材	臨地実習記録、臨地実習マニュアル、日本標準食品成分表 2015、日本人の食事摂取基準 2015 年版、管理栄養士・栄養士必携(データ・資料集)日本栄養士会編、大量調理施設衛生管理マニュアル(厚生労働省)、実習施設の指示するもの			
講義内容	<p>学内 事前学習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)給食運営について 2)自己課題の確認 <p>学外実習先(特定給食施設:事業所、学校、福祉施設等)に 1 週間(1 日 9 時間(1 時間を 45 分として換算)、週 5 日)通い、上記の到達目標達成に向けて実習する。</p> <p>※実習内容の詳細は配属される実習先によって異なるが、次に掲げる事項について指導を受ける</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)特定給食施設の概要、施設の特性、給食の目標、目的 2)特定給食施設における給食業務の法的根拠 3)特定給食施設における管理栄養士の実務 4)給食システム 5)栄養・食事計画 6)献立作成 7)会計・原価計画 8)食材の計画と管理 9)生産(調理)の計画と実際 10)提供の計画と実際 11)マニュアルに基づく安全・衛生管理の実際 			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	12) 栄養教育		
	13) 事務処理		
	14) 自己課題に基づいた調査研究 学内 事後学習		
	1) 実習のまとめ(実習目的の到達度、課題の確認、実習全体の自己評価・改善)		
	予習	実習先に関する予習、総合演習 I の復習	期間中適宜
	復習	臨地実習記録整理(実習先で学んだことの再確認、現場で得た実体験のまとめなど)	期間中適宜
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日の 2 時限と 3 時限、質問はメールでも受け付けます。</p> <p>メールアドレス: mieko@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 6 号館 1 階</p> <p>実習期間中は、予定されている実習内容について予習を行い、帰宅後は指導されたことや学んだことなどを書き出すなどの復習を行うこと</p> <p>受講資格: 給食経営管理 I・II、給食経営管理実習 I・II、総合演習 I の修得が必須</p>		

科目名	臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)(専門科目)		HNA382	実習
担当教員	神戸 美恵子			
学年・開講期	3年 後期	必修・単位数	選択 1 単位	
講義目標	<p>「臨地実習Ⅰ」を踏まえ、給食運営や関連する資源を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行う能力を身につける。また、実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識および技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識及び技能を修得する。</p> <p>実習後は、報告会においてプレゼンテーション技術を活用した発表を行い、グループ討議を通して、実習成果を共有する。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.施設の特徴に応じた給食全般のマネジメントについて説明できる。 2.実践活動の場での課題解決に取り組むことができる。 3.多(他)職種との連携について説明できる。 4.報告会資料を作成し、プレゼンテーション技術を活用した発表を行うことができる。 			
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理		
との対応	✓	専門的知識		
	✓	問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力		
	✓	コミュニケーション能力		
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	実習先からの評価票(実習態度、実習内容等)80%、臨地実習記録 10%、実習報告会内容 10%、巡回指導教員からの報告等を総合的に評価する。			
課題に対する フィードバック	<p>臨地実習記録は、担当者からのコメントを付して返却する。</p> <p>実習報告会に向けて作成した資料は資料集として当日配布を予定している。</p>			
使用教材	臨地実習記録、臨地実習マニュアル、日本標準食品成分表 2015、日本人の食事摂取基準 2015 年版、管理栄養士・栄養士必携(データ・資料集)日本栄養士会編、大量調理施設衛生管理マニュアル(厚生労働省)、実習施設の指示するもの			
講義内容	<p>学内 事前学習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)給食運営管理について 2)自己課題の確認 <p>学外実習先(特定給食施設:事業所、学校、福祉施設等)に1週間(1日9時間(1時間を45分として換算)、週5日)通い、上記の到達目標達成に向けて実習する。</p> <p>※実習内容の詳細は配属される実習先によって異なるが、次に掲げる事項について指導を受ける</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)特定給食施設の給食経営管理 2)栄養・食事評価 3)給食の組織、人事管理と労務管理 4)調理施設・設備設計 5)機器・設備の保安全管理 6)食材の流通と購買管理 7)安全・衛生管理 8)給食の品質保証と標準化 9)給食経営とマネジメント 10)会計・原価管理と評価 11)事故対策・災害対策 			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	12) 多(他)職種との連携 13) 自己課題に基づいた調査研究 学内 事後学習 1) 実習のまとめ(実習目的の到達度、課題の確認、実習全体の自己評価・改善) 2) 実習報告会、グループ討議		
	予習	実習先に関する予習、実習指導で準備した資料の確認	期間中適宜
	復習	実習先で学んだことの再確認、現場で得た実体験のまとめ、報告会用資料準備	期間中適宜
備考	オフィスアワー: 月曜日の 2 時限と 3 時限、質問はメールでも受け付けます。 メールアドレス mieko@takasaki-u.ac.jp 研究室: 6 号館 1 階 受講資格: 給食経営管理 I・II、給食経営管理実習 1・II、総合演習 I、臨地実習 I の修得が必須 実習期間中は、予定されている実習内容について予習を行い、帰宅後は指導されたことや学んだことなどを書き出すなどの復習を行うこと 全履修学生の実習が終了後に報告会を予定しているため、実習期間中から報告会資料の作成をすすめること		

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)(専門科目)		HNA383	実習
担当教員	竹内 真理、河原田 律子			
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位	
講義目標	<p>実践活動の場(病院)における課題発見や問題解決を通して、病態や栄養状態の評価・判定を行い、専門知識・技術の統合化を図って的確な栄養ケアマネジメントを行うために必要な知識や技能を修得する事を目標とする。臨地実習Ⅲを通して、知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術等を体得する。国家資格に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を身につける。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.病態や栄養状態に基づいて栄養の評価や判定ができる。 2.チーム医療を経験し、管理栄養士として必要な知識や技能を身につけることができる。 3.関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を説明できる。 4.実習を通して、課題の発見や問題を解決することができる。 			
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理		
との対応	✓	専門的知識		
	✓	問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力		
	✓	コミュニケーション能力		
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	<p>実習先からの評価票(実習態度・取り組み等)60%、実習報告会 20%、課題レポート 10%、実習ノート 10%、巡回指導教員からの報告なども含め総合的に評価する。</p>			
課題に対するフィードバック	<p>実習ノートを提出期限内に提出した学生には、授業担当者からのコメントを付して返却する。実習報告会に向けて作成した資料は資料集として当日配布を予定している。</p>			
使用教材	<p>ステップアップ臨地・校外実習 長谷川輝美・永井徹編著 建帛社 2200(税別) 臨地実習記録(実習前に配布) 実習に関係する教科書や資料(臨床栄養学に関連する教科書・食品成分表等)</p>			
講義内容	<p>実習先に 2 週間(1 日 9 時間(1 時間を 45 分として換算))通い、上記の到達目標達成に向けて実習を受講する。</p> <p>学内(事前学習)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 病院管理栄養士の役割と活動 2) 実習課題の確認 <p>学外(病院)において以下の内容について習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 栄養部門の業務概要・栄養管理業務の概要 2) 施設利用者を対象とした栄養食事管理 3) 栄養管理システム 4) 栄養アセスメント 5) 栄養ケアプラン 6) 栄養補給法 7) クリニカルパス 8) チーム医療(栄養サポートチーム、褥瘡対策チーム等) 9) 病棟カンファレンス症例研究 10) 個別栄養指導・集団栄養指導 11) 栄養指導報告書作成 12) 実習課題の発表 <p>学内 事後学習</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	<p>1) 実習のまとめ(実習目的の到達度、課題の確認、実習全体の自己評価・改善) 2) 課題レポートの作成 3) 実習報告会 ※実習内容の詳細は配属される実習先によって異なるが、上記に掲げる事項について学生は実習指導者による指導を受ける。</p>	
<p>予習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先の特徴を調べ、病院の特性にあった実習課題について考える。 ・臨床栄養学に関する講義や実習で学んだことを復習する。 ・病院管理栄養士の役割と活動・実習課題の確認をする。 ・治療食の献立について、献立の立て方を確認する。 	<p>期間中適宜</p>
<p>復習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習内容の復習、実習記録の作成・提出。 ・実習課題についてレポート提出。 ・実習報告会のレジメやパワーポイントの作成を行い、発表の準備を行う。 	<p>期間中適宜</p>
<p>備考</p>	<p>オフィスアワー: 木曜日 2-4 時限(竹内)、木曜日の 1-4 時限(河原田) メールアドレス: mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp(竹内)、nasu@takasaki-u.ac.jp(河原田) 研究室: 3 階 308 研究室(竹内)・ 4 階 臨床栄養学実習室(406 研究室)(河原田) 受講資格: 臨床栄養学 I・II・臨床栄養管理論・臨床栄養学実習 I・II の修得が必須。 また、報告会を全履修学生の実習が終了して 2 週間後に予定しているため、実習期間中から報告会資料の作成に着手することを勧める。</p>	

科目名	臨地実習Ⅳ(公衆栄養学)(専門科目)			HNA384	実習
担当教員	五十嵐 美絵				
学年・開講期	4年 前期	必選・単位数	選択 1単位		
講義目標	<p>実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図る。臨地実習Ⅳでは、実践活動の場で、「公衆栄養学Ⅰ、Ⅱ」、「公衆栄養学実習」で修得した公衆栄養マネジメントの理論と方法がどのように行われているかを学ぶことでその統合を図り、身につけた専門的知識、技術を実践現場に活かす方法を探ることを目的とする。</p>				
到達目標	<p>1.健康・栄養問題を取り巻く様々な情報を収集・分析し、総合的に評価・判定して行う、健康増進等計画策定・推進の方法が理解できる。(各事業の意味づけ)</p> <p>2.対象に応じた適切な健康関連サービスを提供するプログラムの作成、実施、評価の過程を通じて総合的な公衆栄養マネジメントに必要な事項が理解できる。(食生活相談、集団指導などの技法)</p> <p>3.上記を通して、実践活動の場での課題発見、解決を行い、今まで学んだ専門的知識及び技術の統合を図り、それを実践の場に活かす方法を考えることができる。</p>				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	<p>実習態度、実習先からの評価票 70%、臨地実習記録 30%</p> <p>実習先からの評価表、実習自己評価、巡回指導教員からの報告、実習報告会の報告内容なども含め総合的に評価する。</p>				
課題に対する フィードバック	<p>実習終了後、実習課題を報告する事後指導時間を設け、この時実習先からの評価を伝え、全員で実習についてディスカッションを行う</p>				
使用教材	<p>臨地実習記録、実習に関係する教科書、資料、実習先から配布された資料、プリント</p>				
講義内容	<p>【保健所、保健センター共通内容】</p> <p>管内の現況、市町村内の状況・組織及び機構・衛生行政の概要・管理栄養士の業務の概要、栄養関係法令(法的根拠)</p> <p>【保健所における内容】</p> <p>1.地域保健による栄養体制の整備</p> <p>①地域の実態把握、分析</p> <p>②施策化</p> <p>③政策評価</p> <p>④専門的な栄養指導、食生活支援</p> <p>⑤住民に対する健康教育、栄養相談</p> <p>⑥健康なまちづくり地区組織等の育成</p> <p>⑦健康危機管理体制の整備</p> <p>⑧関係機関団体との連携</p> <p>⑨食環境整備(食に関する情報の整備、外食・調理済み加工食品等の栄養成分表示の推進等)</p> <p>2.特定給食施設への栄養管理指導</p> <p>3.市町村に対する栄養改善事業支援と連絡調整</p> <p>4.人材育成・活用</p> <p>【市町村保健センターにおける内容】</p>				

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	<p>1.地域保健栄養体制の整備</p> <p>①「健康日本 21」地方計画や地域保健医療計画等への参画、栄養改善事業の企画・評価</p> <p>②健康づくり・栄養関連情報等の収集と住民への提供</p> <p>③関係機関団体との連携</p> <p>2.栄養相談(母子、学童・思春期、成人、高齢者などへの一般的栄養指導)</p> <p>3.住民に対する健康教育(各種教室・講習会の企画・実施・評価)</p> <p>4.地区組織の育成・支援(患者会・自治会等の健康づくり活動への支援)</p> <p>5.啓発事業(健康まつり・栄養展の企画・実施・評価)</p> <p>6.人材の育成・活用(在宅栄養士の育成と活用)</p>	
<p>予習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先地域、施設の特徴を調べるなどの事前学習 ・自分の実習課題の事前学習 ・実習先からの課題の予習 ・公衆栄養学講義、実習の復習 	<p>5 時間</p>
<p>復習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・臨地実習記録の整理 ・自分の実習課題のまとめ ・実習報告会、実習事後指導への準備 ・実習の振り返りを行う 	<p>5 時間</p>
<p>備考</p>	<p>オフィスアワー:木曜日の 5 時限(1 号館 3 階 305 研究室) メールアドレス:igarashi@takasaki-u.ac.jp</p> <p>受講資格:公衆栄養学 I・II、公衆栄養学実習の修得が必要</p>	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	食物学特別講座 I (応用専門科目)			HNA391	講義
担当教員	熊倉 慧				
学年・開講期	3 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	食生活に関する見識を深め、フードスペシャリストとして要求される知識・技術および姿勢を修得することを目標とする。				
到達目標	1. フードスペシャリストの仕事について説明できる 2. 人類の食物獲得の歴史を理解し、伝統的な食品加工・保存技術を説明できる 3. 世界の食作法や食事内容の多様性を理解する 4. 日本の食物史と食の地域差を理解する 5. 日本の食の状況や環境を理解し、「よりよい食生活の営み」の基本を説明できる 6. 食品産業の役割を説明できる 7. 食品の品質規格と表示を説明できる				
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理				
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 50%、認定試験 50%で評価する。				
課題に対する フィードバック	定期試験及び認定試験後に問題解説を行い、出題の意図と正解を示す。				
使用教材	「四訂フードスペシャリスト論第 4 版」(公社)日本フードスペシャリスト協会編 建帛社 2017				
1	講義内容	ガイダンス・フードスペシャリストとは			
	該当する到達目標	予習	教科書第 1 章を読む。シラバスの内容を確認する。	1 時間	
	1	復習	到達目標や成績評価方法、フードスペシャリストの責務を理解する。	1 時間	
2	講義内容	人類と食物			
	該当する到達目標	予習	教科書第 2 章を読む。	1 時間	
	2	復習	人類の歩みと食物との関わり、食品加工保存史を理解する。	2 時間	
3	講義内容	世界の食			
	該当する到達目標	予習	教科書第 3 章を読む。	1 時間	
	3	復習	世界の食作法や食事情を理解する。	2 時間	
4	講義内容	日本の食 1			
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章日本食物史を読む。	1 時間	
	4	復習	日本における食物史を理解する。	2 時間	
5	講義内容	日本の食 2			
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章食の地域差を読む。	1 時間	
	4	復習	日本における食の地域差を理解する。	2 時間	
6	講義内容	現代日本の食生活 1-2			
	該当する到達目標	予習	教科書第 5 章 1-2 を読む。	1 時間	
	5	復習	現代の日本における食生活の現状を理解する。	2 時間	
7	講義内容	現代日本の食生活 3-5			
	該当する到達目標	予習	教科書第 5 章 3-5 を読む。	1 時間	
	5,6	復習	食産業や食料供給、食と環境について理解する。	2 時間	
8	講義内容	食品産業の役割			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書第 6 章を読む。	1 時間
	5,6	復習	フードシステムと食産業について理解する。	2 時間
9	講義内容	食品の品質規格と表示		
	該当する到達目標	予習	教科書第 7 章を読む。	1 時間
	7	復習	食品の品質表示、関連の法律による表示を理解する。	2 時間
10	講義内容	食情報と消費者保護		
	該当する到達目標	予習	教科書第 8 章を読む。	1 時間
	5,7	復習	食情報の利用、食品の安全、消費者保護について理解する。	2 時間
11	講義内容	フードスペシャリスト論のまとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書及び配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5,6,7	復習	フードスペシャリスト論について理解する。	2 時間
12	講義内容	認定試験対策講座 1		
	該当する到達目標	予習	認定試験の過去問に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5,6,7	復習	出題傾向や要点を理解する。	3 時間
13	講義内容	認定試験対策講座 2		
	該当する到達目標	予習	認定試験の過去問に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5,6,7	復習	出題傾向や要点を理解する。	3 時間
14	講義内容	認定試験解説講座 1		
	該当する到達目標	予習	認定試験の問題に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5,6,7	復習	出題傾向や要点、正解を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	認定試験解説講座 2		
	該当する到達目標	予習	認定試験の問題に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5,6,7	復習	出題傾向や要点、正解を理解する。	1.5 時間
備考	<p>※フードスペシャリストの認定試験受験資格を希望する学生は必ず本科目を受講すること。</p> <p>※フードスペシャリストの資格は、フードスペシャリスト養成課程の必須科目を取得した後、(公社)フードスペシャリスト協会が実施する認定試験を受験し、合格することで取得することができる。</p> <p>※フードスペシャリスト認定試験に合格しても、本学科を卒業しなければ資格は取得できない。</p> <p>※フードスペシャリスト認定試験の受験と認定証の発行(卒業時)には、別途、受験料と認定料が必要となる。</p> <p>オフィスアワー: 木曜日の 5 時限、メールでアPOINTメントを取れば、その他の時間帯でも受け付ける。</p> <p>メールアドレス「kumakura@takasaki-u.ac.jp」 研究室: 1号館 4 階天秤室</p> <p>※予習・復習については、試験前の学習で補完すること</p>			

科目名	食物学特別講座Ⅱ(応用専門科目)		HNA392	講義
担当教員	福留 奈美			
学年・開講期	3年 前期	必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標	食に関する様々な場において、快適な食事を提供するために、料理・メニュー・食卓・食空間を含めた食のコーディネートができる知識と技術を修得することを目標とする。			
到達目標	1.フードコーディネートの基礎理念について説明できる。 2.食事の文化について説明できる。 3.メニュープランニングと食卓のマナー、サービスについて説明できる。 4.食卓のコーディネートについて説明できる。 5.食空間のコーディネートについて説明できる。 6.フードサービスマネジメントについて説明できる。 7.食企画のコーディネートができる。			
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と職業倫理		
	✓	専門的知識		
	✓	問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力		
		コミュニケーション能力		
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	小テスト 30 % 課題・レポート 40% 平常点 30%			
課題に対する フィードバック	授業内で、課題(実践企画)に対するアドバイス、コメントを適宜行う。 小テストを実施し、その後解答及び解説を行う。			
使用教材	日本フードスペシャリスト協会編「三訂フードコーディネート論」建帛社			
1	講義内容	フードコーディネートの基本理念、現場の仕事紹介		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 1 章を読んでおく。	1 時間
	1	復習	おいしさの本質やフードコーディネートの基本理念を理解する。	1 時間
2	講義内容	食事の文化		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 2 章を読んでおく。	1 時間
	2	復習	日本の食事の歴史や諸外国の食事の特徴を理解する。	1 時間
3	講義内容	メニュープランニングと食事のマナー1 日本料理と和風メニュー		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 5 章(1, 2-(1)), 第 4 章(1,2)を読んでおく。	1 時間
	3	復習	日本料理の献立とサービス、マナーについて理解する。	1 時間
4	講義内容	メニュープランニングと食事のマナー2 西洋料理と洋風メニュー		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 5 章(2-(3)), 第 4 章(4)を読んでおく。	1 時間
	3	復習	西洋料理の献立とサービス、マナーについて理解する。	1 時間
5	講義内容	メニュープランニングと食事のマナー3 中国料理・パーティ料理ほか		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 5 章(2-(2)(4)), 第 4 章(3,5,6)を読んでおく。	1 時間
	3	復習	中国料理、パーティ料理等の献立とサービス、マナーについて理解する	1 時間
6	講義内容	小テスト 1、実践企画 1 ホームパーティのメニュープランニング		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 1,2,4,5 章の復習。実践企画のための情報収集と整理	2 時間
	1,2,3	復習	実践企画のメニュープランニング	1 時間
7	講義内容	テーブルウェアとコーディネート 1 和食器の種類と取扱い		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 3 章(1,2)を読んでおく。	1 時間
	4	復習	和食器の種類や用途、扱い方、セッティングについて理解する。	1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	テーブルウェアとコーディネート 2 洋食器他の種類と取扱い		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 3 章(3,4-(1)(2))を読んでおく。	1 時間
	4	復習	中国料理、西洋料理に適応した食器の種類や用途、扱い方、セッティングについて理解する。	1 時間
9	講義内容	テーブルコーディネートのスタイル分類、実践企画② テーブルコーディネート		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 3 章(4-(3))を読んでおく。実践企画のための情報収集と整理	1 時間
	4	復習	テーブルコーディネートの主要なスタイルを理解する。	1 時間
10	講義内容	食空間のコーディネート、実践企画③ 空間コーディネート		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 6 章を読んでおく。実践企画のための情報収集と整理	1 時間
	5	復習	食空間とキッチンレイアウトに関わる基本的な要素について理解する。	1 時間
11	講義内容	小テスト 2、実践企画④ レシピ開発と料理製作		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 3,6 章の復習。実践企画のための情報収集と整理	2 時間
	3,4,5	復習	実践企画のレシピ開発と料理製作の手順の整理	1 時間
12	講義内容	フードサービスマネジメント 実践企画⑤ 原価計算		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 7 章を読んでおく。実践企画のための情報収集と整理	1 時間
	6	復習	レストランの起業に向けた投資計画、収支計画について理解する。	1 時間
13	講義内容	食企画のコーディネート 実践企画⑥ プレゼンテーションを考える		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 8 章を読んでおく。実践企画のための情報収集と整理	2 時間
	7	復習	食企画の概要を理解する。実践企画のプレゼンテーション準備	1 時間
14	講義内容	小テスト 3、実践企画のプレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 7, 8 章の復習。発表者はその準備	2 時間
	7	復習	発表に対する振り返り(レポート作成)	2 時間
15	講義内容	実践企画のプレゼンテーション、まとめ		
	該当する到達目標	予習	発表者はその準備	1 時間
	7	復習	発表に対する振り返り(レポート作成)。実践企画書を期日までに提出する。	2 時間
備考	<p>※フードスペシャリストの認定試験受験資格を希望する学生は必ず本科目を受講すること。</p> <p>※フードスペシャリストの資格は、フードスペシャリスト養成課程の必須科目を取得した後、(公社)フードスペシャリスト協会が実施する認定試験を受験し、合格することで取得することができる。</p> <p>※フードスペシャリスト認定試験に合格しても、本学科を卒業しなければ資格証は取得できない。</p> <p>※フードスペシャリスト認定試験の受験と認定証の発行(卒業時)には、別途、受験料と認定料が必要となる。</p> <p>予習復習については、試験前の学習で補完すること。</p> <p>質問等は、授業前後またはメールで応じる。</p> <p>メールアドレス:namifukutome@gmail.com</p> <p>研究室:1号館4階 調理学研究室</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	NR・サプリメントアドバイザー(応用専門科目)		HNA393	講義
担当教員	曾根 保子、河原田 律子			
学年・開講期	3年 前期	必選・単位数	選択 2単位	
講義目標	対象者・対象集団の栄養状態を評価し、保健機能食品およびサプリメントについて適切にアドバイスを行うために求められる専門的知識を修得する。			
到達目標	1.NR・サプリメントアドバイザーに必要な専門的知識を理解し、説明することができる。 2.NR・サプリメントアドバイザー認定試験を受験するために必要な規定単位を取得する。			
学位授与方針	豊かな人間性と職業倫理			
との対応	✓	専門的知識		
		問題発見・解決力		
		多様な社会・背景を理解し対応する能力		
		コミュニケーション能力		
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	定期試験 60%、小テスト 40%で評価する。 定期試験での評価 60%以上を合格とする。			
課題に対する フィードバック	定期試験について、出題の意図を講評する。			
使用教材	教科書 「NR・サプリメントアドバイザー必携(最新版)」一般社団法人日本臨床栄養協会編(第一出版株式会社) ISBN 最新版 演習用シート、演習用の問題を随時プリントして配布する。			
1	講義内容	『NR・サプリメントアドバイザー』の役割と倫理、認定試験の概要		
	該当する到達目標 1	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	2時間
		復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	2時間
2	講義内容	基礎の生理学①		
	該当する到達目標 1	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	2時間
		復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	2時間
3	講義内容	基礎の生理学②		
	該当する到達目標 1	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	2時間
		復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	2時間
4	講義内容	基礎の生化学①		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	2時間
		復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	2時間
5	講義内容	基礎の生化学②		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	2時間
		復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	2時間
6	講義内容	人間栄養学①		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	2時間
		復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	2時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

			に取り組む。	
7	講義内容	人間栄養学②		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	2 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	2 時間
8	講義内容	生活習慣病概論①		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	2 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	2 時間
9	講義内容	生活習慣病概論②		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	2 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	2 時間
10	講義内容	臨床栄養		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	2 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	2 時間
11	講義内容	臨床検査と身体活動と栄養①		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	2 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	2 時間
12	講義内容	臨床検査と身体活動と栄養②		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	2 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	2 時間
13	講義内容	食品安全衛生学①		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	2 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	2 時間
14	講義内容	食品安全衛生学②		
	該当する到達目標	予習	健康食品①	2 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	2 時間
15	講義内容	演習用問題集の総復習		
	該当する到達目標	予習	教科書、演習用シートを見直す。正答できるまで、演習用の問題に繰り返し、取り組む。	3 時間
	2,3	復習	演習用問題集のなかで間違えた問題の関連事項をまとめ、正答できるまで問題を繰り返し解く。	3 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日の5時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: sone-y@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 3 階 306 キーワード: 機能性食品、サプリメント 予習・復習については、試験前の学習で補完する。</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	チーム医療アプローチ演習(応用専門科目)			HNA394	演習
担当教員	各学科担当教員				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	チーム医療が必要な事例を用いて、福祉・医療系の各専門職の役割・活動および患者、家族に必要な福祉・医療活動について検討する。さらにチーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性、および専門職の連携の課題について学ぶ。				
到達目標	1.各専門職の役割と活動について理解できる。 2.患者・家族に必要な福祉・医療活動が理解できる。 3.チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性が理解できる。 4.チーム医療における専門職の連携を促進するための課題を考察できる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	演習参加への積極性 20%、レポート 50%、グループ発表の内容 30%の総合評価				
課題に対するフィードバック	模擬症例検討を行う際には教員がファシリテートし、グループごとに結果をまとめて発表させ、それに対して教員と他チームの学生による検討を行いフィードバックする。				
使用教材	関連する資料を随時プリントして配布する。				
1	講義内容	ガイダンス／チーム医療アプローチについて			
	該当する到達目標	予習	チーム医療について調べておく。	1 時間	
	1,2,3,4	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。	1 時間	
2	講義内容	チームビルディング			
	該当する到達目標	予習	専門職について調べておく	1 時間	
	1,2,3,4	復習	チーム内の他職種について学習しておく	1 時間	
3	講義内容	模擬症例検討・報告書作成①			
	該当する到達目標	予習	症例解析について学んでおく。	1 時間	
	1,2,3,4	復習	模擬症例について学習する。	1 時間	
4	講義内容	模擬症例検討・報告書作成②			
	該当する到達目標	予習	疾病と治療について学習し、専門職としてのかかわり方を学習する。	1 時間	
	1,2,3,4	復習	グループ内で各専門職の観点から模擬症例を読み合わせておく。	1 時間	
5	講義内容	模擬症例検討・報告書作成③			
	該当する到達目標	予習	疾病と治療について学習し、各専門職のかかわり方を学習する。	1 時間	
	1,2,3,4	復習	グループ内で専門職の役割と活動について意見交換をし、学習を深める。	1 時間	
6	講義内容	発表・フィードバック①			
	該当する到達目標	予習	発表の準備をしておく。	1 時間	
	1,2,3,4	復習	発表された各症例について復習しておく。	1 時間	
7	講義内容	発表・フィードバック②			
	該当する到達目標	予習	発表の準備をしておく。	1 時間	
	1,2,3,4	復習	発表された各症例について復習しておく。	1 時間	
8	講義内容	発表・フィードバック③			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	発表の準備をしておく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	発表された各症例について復習しておく。	1 時間
備考	<p>予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。</p> <p>キーワード: 専門職、チーム医療、多職種連携</p> <p>オフィスアワー: 竹内(栄養) 木曜 2-4 時限(1 号館 308 研究室) mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp</p> <p>上記以外の日程でも可能な限り調整します。メール等で問い合わせてください。</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	特別講座(食育・公衆栄養学コース)(専門科目)			HNT411	講義
担当教員	渡辺由美、五十嵐美絵、深見匡				
学年・開講期	3年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	食育・公衆栄養学分野に関する専門的な知識を修得し、各研究分野の理解を深め、充実した研究成果をあげることを目標とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.卒業研究に必要な研究の進め方や論文の書き方を理解する。 2.研究内容を活発にディスカッションできる能力を身につける。 3.研究成果を論理的に説明できるプレゼンテーション能力を身につける。 4.各分野の専門的な知識を理解し、要点をまとめることができる。 				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	課題レポート 20%、グループディスカッション 30%、発表の取り組み(発表要旨のまとめ方、説明内容、発表態度等)50% 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	提出したレポートにはコメントを付けて返却する。				
使用教材	適宜プリントを配布する。				
1	講義内容	オリエンテーション、研究の方法(1) 卒業研究とは			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。		0.5 時間
	1	復習	卒業研究の基礎的事項について整理し、指示された課題に取り組む。		1 時間
2	講義内容	研究の方法(2) 学術論文を読む			
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1	復習	講義内容を整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
3	講義内容	研究の方法(3) 文献の検索方法			
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1	復習	先行研究・文献・資料・調査などについて整理する。		1.5 時間
4	講義内容	栄養疫学(1) 栄養疫学の概要			
	該当する到達目標	予習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
	4	復習	授業内容を整理し、栄養疫学に関する理解を深める。		1.5 時間
5	講義内容	栄養疫学(2) 研究デザイン			
	該当する到達目標	予習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
	4	復習	授業内容を整理し、栄養疫学に関する理解を深める。		1.5 時間
6	講義内容	レポートの発表(1)			
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションに必要な資料を作成し、説明内容をまとめる。		1 時間
	2,3	復習	指摘されたことを整理する		1.5 時間
7	講義内容	レポートの発表(2)			
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションに必要な資料を作成し、説明内容をまとめる。		1 時間
	2,3	復習	指摘されたことを整理する		1.5 時間
8	講義内容	学童期の食生活の現状			
	該当する到達目標	予習	学童期の食生活の現状について調べる。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	4	復習	学童期の食生活の現状から課題を整理し、取り組みそうな課題を選ぶ。	1 時間
9	講義内容	青年期の食生活の食育		
	該当する到達目標	予習	青年期の食生活の現状について調べる。	1 時間
	4	復習	青年期の食生活の現状から課題を整理し、取り組みそうな課題を選ぶ。	1 時間
10	講義内容	青年期の食生活改善に向けた食育(グループ演習)		
	該当する到達目標	予習	ワークシートに従って、各自の食生活の現状をまとめる。	1 時間
	2,4	復習	グループで話し合った結果をまとめ、食育計画を作成する。	1 時間
11	講義内容	地域の健康・栄養活動の評価		
	該当する到達目標	予習	公衆栄養学教科書で公衆栄養活動の評価方法について確認する。	1 時間
	4	復習	課題の論文を講義で示されたチェックリストに沿って分析する。	2 時間
12	講義内容	地域の健康・栄養活動(論文)の評価研究の分析		
	該当する到達目標	予習	課題の論文を講義で示されたチェックリストに沿って分析する。	1 時間
	4	復習	分析結果を復習する。	1 時間
13	講義内容	栄養データの読み方		
	該当する到達目標	予習	論文や各種調査結果など、図表で示されたデータを収集し、内容を読む。	2 時間
	4	復習	データの表現方法を復習する。	0.5 時間
14	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(1)		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションに必要な資料を作成し、説明内容をまとめる。	2 時間
	2,3	復習	指摘されたことを整理する。	0.5 時間
15	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(2)		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションに必要な資料を作成し、説明内容をまとめる。	2 時間
	2,3	復習	指摘されたことを整理する。	0.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 渡辺 由美 水曜日の 5 時限(1 号館 3 階 304) 五十嵐美絵 木曜日の 5 時限(1 号館 3 階 305) 深見 匡 月曜日の 4 時限(1 号館 3 階 307)・水曜日の 5 時限(同)</p> <p>卒業研究に関連した論文を講読する。 予習・復習の不足分については、各自で補完すること。</p>			

科目名	特別講座(食品科学コース)(専門科目)			HNT421	講義
担当教員	綾部園子、松岡寛樹、村松芳多子、熊倉慧				
学年・開講期	3年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	食品科学の各分野に関する専門的な知識を修得することを目的とし、合同セミナー(研究紹介)を通じて各研究分野への理解を深める。				
到達目標	1.各分野の専門的な知識を横断的に吸収することができる。 2.研究に関するディスカッション能力を身につけることができる。 3.卒業研究に反映することができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	議論への参加度 50%, 研究紹介 50%, 授業への参加度で 10%までの加点あり				
課題に対するフィードバック	講義の中で説明する。				
使用教材	適宜プリントを配布				
1	講義内容	オリエンテーション			
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。		1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
2	講義内容	文献検索(科学的根拠と情報の取扱い)			
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。		1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
3	講義内容	食品の機能性物質の単離と同定(1) FT-IR と NMR スペクトル法			
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。		1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
4	講義内容	食品の機能性物質の単離と同定(2) LC/MS と GC/MS			
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。		1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
5	講義内容	食品の嗜好性の主観的・客観的評価(1) 官能評価と色の測定			
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。		1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
6	講義内容	食品の嗜好性の主観的・客観的評価(2) 物性測定と筋電位測定			
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。		1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
7	講義内容	微生物学の最近話題、食品への応用と衛生管理			
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。		1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
8	講義内容	微生物の単離と同定(DNA 解析を含む)			
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。		1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
9	講義内容	文献収集と、文献抄読(発表を含む) 1			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。	1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
10	講義内容	文献収集と、文献抄読(発表を含む) 2		
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。	1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
11	講義内容	文献収集と、文献抄読(発表を含む) 3		
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。	1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
12	講義内容	文献収集と、文献抄読(発表を含む) 4		
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。	1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
13	講義内容	文献収集と、文献抄読(発表を含む) 5		
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。	1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
14	講義内容	文献収集と、文献抄読(発表を含む) 6		
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。	1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
15	講義内容	まとめ(情報収集とその公開、研究活動とその成果報告の意義)		
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。	1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
備考	<p>予習・復習の時間数: 不足については試験前等の学習で補完すること。</p> <p>オフィスアワー: 講義のある曜日の午後(3~5 時限)</p> <p>研究室: 1 号館 4 階 402, 404, 405, 天秤室</p> <p>◎ 相談・質問がある場合は予めアポイントメントを取ること。</p>			

科目名	特別講座(栄養科学・スポーツ栄養学コース)(専門科目)			HNT431	講義
担当教員	田中進、木村典代、大家千枝子、永井俊匡、曾根保子				
学年・開講期	3年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	栄養科学・スポーツ栄養学の各分野に関する専門的な知識を修得することを目標として、合同セミナー(研究紹介)を通して各研究分野の理解を深める。				
到達目標	<p>1.分子生物学分野:分子生物学研究の歴史を理解し、細胞間の情報伝達の仕組みや遺伝子発現の制御が説明できる。</p> <p>2.分子栄養学分野:細胞内の情報伝達の仕組みや遺伝子多型を理解し、研究で利用されている実験の結果を正しく解釈できる。</p> <p>3.栄養生理学分野:特定のライフステージと各栄養素の生理学的作用の関わりについて理解し、健康増進・疾病予防に有効な栄養管理について説明できる。</p> <p>4.スポーツ栄養学分野:競技スポーツにおける栄養上の問題、パフォーマンスと身体組成、パフォーマンスを高めるための栄養補給方法を理解し、そのメカニズムや評価方法を説明できる。</p> <p>5.合同セミナーで行う研究紹介により各研究分野の理解を深め、プレゼンテーションを通して文献の調査方法、研究の立案方法、研究・実験方法、研究内容の理解、研究のまとめ方、研究の発表方法を身に付け、卒業研究に応用することができる。</p>				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	レポート(4回)80%、研究紹介 20%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付けて返却する。				
使用教材	講義のプリントは随時プリントして配布する。				
1	講義内容	イントロダクション			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義目標や到達目標などを理解する。		1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを理解する。		1 時間
2	講義内容	分子生物学(1)分子生物学の歴史			
	1 該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。		1 時間
		復習	メンデルから Watson & Crick の DNA の二重らせん構造およびヒトゲノム計画までの分子生物学の歴史を理解する。		1 時間
3	講義内容	分子生物学(2)細胞間情報伝達			
	1 該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。		1 時間
		復習	細胞間情報伝達の仕組みとそれに関連する生活習慣病などについて理解する。		1 時間
4	講義内容	分子生物学(3)遺伝子発現の制御			
	1 該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。		1 時間
		復習	転写と翻訳レベルの調節について理解する。		1 時間
5	講義内容	分子栄養学(1)細胞内情報伝達			
	2 該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。		1 時間
		復習	細胞内情報伝達の仕組みと、活性制御・発現制御の違いを理解し、プリントの演		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

			習問題を解く。	
6	講義内容	分子栄養学(2) 遺伝子多型と栄養		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。	1 時間
	2	復習	遺伝子多型とは何か、それがどうヒトの生体に影響するかを理解し、プリントの演習問題を解く。	1 時間
7	講義内容	分子栄養学(3) 分子栄養学の研究手法		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。	1 時間
	2	復習	研究手法の原理と、そこから何が分かるかを理解し、プリントの演習問題を解く。	1 時間
8	講義内容	栄養生理学(1) タンパク質の生理学的作用		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。	1 時間
	3	復習	特定のライフステージとタンパク質の生理学的作用について理解し、健康増進・疾病予防に有効な栄養管理についての新規知見・情報をまとめる。	1 時間
9	講義内容	栄養生理学(2) 脂質の生理学的作用		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。	1 時間
	3	復習	特定のライフステージと脂質の生理学的作用について理解し、健康増進・疾病予防に有効な栄養管理についての新規知見・情報をまとめる。	1 時間
10	講義内容	栄養生理学(3) ビタミンの生理学的作用		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。	1 時間
	3	復習	特定のライフステージとビタミンの生理学的作用について理解し、健康増進・疾病予防に有効な栄養管理についての新規知見・情報をまとめる。	1 時間
11	講義内容	スポーツ栄養学(1) 競技スポーツと栄養問題		
	該当する到達目標	予習	2 年次のスポーツ栄養学で学んだ栄養障害を見直してくる。	1 時間
	4	復習	講義の内容を理解し、配布プリントの課題を行うこと	1 時間
12	講義内容	スポーツ栄養学(2) パフォーマンスと身体組成		
	該当する到達目標	予習	2 年次のスポーツ栄養学で学んだ身体組成の章を見直してくる。	1 時間
	4	復習	講義の内容を理解し、配布プリントの課題を行うこと	1 時間
13	講義内容	スポーツ栄養学(3) パフォーマンスと栄養補給		
	該当する到達目標	予習	2 年次のスポーツ栄養学で学んだ栄養補給の章を見直してくる。	1 時間
	4	復習	講義の内容を理解し、配布プリントの課題を行うこと	1 時間
14	講義内容	合同セミナー研究紹介(1)		
	該当する到達目標	予習	合同セミナーのプレゼンテーションに向けての準備を行う。	3 時間
	5	復習	各研究紹介の研究内容を理解する。	1 時間
15	講義内容	合同セミナー研究紹介(1)		
	該当する到達目標	予習	合同セミナーのプレゼンテーションに向けての準備を行う。	3 時間
	5	復習	各研究紹介の研究内容を理解する。	1 時間
備考	<p>田中: オフィスアワーは前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。質問はメール(tanaka@takasaki-u.ac.jp)でも受け付ける。</p> <p>木村: オフィスアワーは前期(水 5 時限目)、後期(月 5 時限目)。質問はメール(kimura@takasaki-u.ac.jp)でも受け付ける。</p> <p>大家: オフィスアワーは前期・後期とも火曜日 12 時～14 時 30 分。</p> <p>永井: オフィスアワーは前期・後期とも月 5 時限目。質問はメール(tnagai@takasaki-u.ac.jp)でも受け付ける。</p> <p>1 号館 504 研究室または 1 号館 4F 栄養学研究室に常駐しているので、メールで連絡をもらえれば、それ以外の時間も柔軟に対応する。</p> <p>曾根: オフィスアワーは前期(月 5 時限目)、後期(月 4 時限目)。質問はメール(sony@takasaki-u.ac.jp)でも受け</p>			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

付ける。

※2 単位を修得するためには、講義時間(30 時間(実質 90 分×15 回))+予習・復習時間(60 時間)が必要です。
不足分は各自の学習で補完すること。

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	特別講座(臨床栄養学コース)(専門科目)			HNT441	講義
担当教員	岡村信一、下川哲昭、竹内真理、河原田律子、内田薫				
学年・開講期	3年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	臨床栄養学分野に関する専門的な知識を横断的に修得し、卒業研究内容についてあらゆる観点から考察し、充実した研究成果をあげる事を目的とする				
到達目標	1.所属ゼミに関連する分野の知識を横断的に吸収し、研究内容についてディスカッションすることができる。 2.卒業研究内容をまとめて発表することができる。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	評価方法の基準は講義初回時に配布する				
課題に対する フィードバック	特別講座で学修した専門知識をそれぞれの卒業研究に反映させる。それぞれの研究テーマは、合同セミナーにおいて中間発表を行う。				
使用教材	適宜プリントを使用する				
	講義内容	イントロダクション			
1	該当する到達目標	予習	各所属ゼミにおける卒業研究テーマを明確にしておく。		1.5 時間
	1,2	復習	卒業研究に必要な知識や情報収集の方法などを整理する。		1.5 時間
	講義内容	解剖学・生理学			
2	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の解剖学・生理学分野についての知識の整理		1.5 時間
	1,2	復習	学修内容のまとめ		1.5 時間
	講義内容	臨床医学・病理学			
3	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の臨床医学・病理学分野についての知識の整理		1.5 時間
	1,2	復習	学修内容のまとめ		1.5 時間
	講義内容	臨床栄養学の基礎			
4	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の臨床栄養学の基礎についての知識の整理		1.5 時間
	1,2	復習	学修内容のまとめ		1.5 時間
	講義内容	臨床栄養学			
5	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の臨床栄養学についての知識の整理		1.5 時間
	1,2	復習	学修内容のまとめ		1.5 時間
	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(1)			
6	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の研究紹介準備		1.5 時間
	1,2	復習	学修内容のまとめ		1.5 時間
	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(2)			
7	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の研究紹介準備		1.5 時間
	1,2	復習	学修内容のまとめ		1.5 時間
	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(3)			
8	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の研究紹介準備		1.5 時間
	1,2	復習	学修内容のまとめ		1.5 時間
	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(4)			
9	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の研究紹介準備		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2	復習	学修内容のまとめ	1.5 時間
10	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(5)		
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の研究紹介準備	1.5 時間
	1,2	復習	学修内容のまとめ	1.5 時間
11	講義内容	卒業研究活動(1)		
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の報告会準備	1.5 時間
	1,2	復習	学修内容のまとめ	1.5 時間
12	講義内容	卒業研究活動(2)		
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の報告会準備	1.5 時間
	1,2	復習	学修内容のまとめ	1.5 時間
13	講義内容	卒業研究活動(3)		
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の報告会準備	1.5 時間
	1,2	復習	学修内容のまとめ	1.5 時間
14	講義内容	卒業研究活動(4)		
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の報告会準備	1.5 時間
	1,2	復習	学修内容のまとめ	1.5 時間
15	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(2)		
	該当する到達目標	予習	研究紹介に向けた準備	1.5 時間
	1,2	復習	質疑応答などにより改善する	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: (岡村)金曜 5 時限, (下川)月曜 1-5 時限, 金曜 1-2 時限, (竹内)木曜 2-4 時限, (河原田)木曜 1-4 時限, (内田)木曜 5,6 時限</p> <p>メールアドレス: (岡村)okamura@takasaki-u.ac.jp, (下川)shimokawa-n@takasaki-u.ac.jp, (竹内)mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp, (河原田)nasu@takasaki-u.ac.jp, (内田)uchida-k@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: (岡村)1 号館 403 研究室, (下川)1 号館 311 研究室, 6 号館栄養生理学研究室, (竹内)1 号館 308 研究室, (河原田)1 号館 4 階 臨床栄養学実習室(406 研究室), (内田)1 号館 3 階セミナー室</p> <p>特別講座で修得した専門的な知識を、各所属ゼミにおいて卒業研究に活かす。</p> <p>予習・復習時間はそれぞれの研究に充てる。</p>			

科目名	卒業研究(専門科目)		HNT412,HNT422,HNT432,HNT442	演習
担当教員	健康栄養学科教員			
学年・開講期	4年 前期	必修・単位数	必修 4 単位	
講義目標	<p>管理栄養士養成の教育課程の中で修得した基礎的・専門的知識を用いて、健康・栄養に関わる様々な課題に対して、自らその課題を解決するための計画を立て、実験・調査を行い、論理的思考および手法によって総合的に判断する力を習得することを目標とする。</p> <p>また、多領域分野の関係者との対話を通して、管理栄養士に求められるコミュニケーション能力、表現力、社会への対応力等を向上させ、生涯にわたって自律的に学習しようという意欲の向上と、豊かな人間性を養うことを目標とする。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.研究計画を立てることができる。 2.自ら意欲的に実験・調査を実施することができる。 3.論理的思考や手法を用いて総合的に判断することができる。 4.多領域分野との対話を通して、課題解決に取り組むことができる。 5.得られた結果を適切な手法を用いて表現することができる(口頭・論文の内容)。 6.生涯にわたって自律的に学習しようという意欲がある(口頭・論文への取り組み) 			
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理		
との対応	✓	専門的知識		
	✓	問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力		
	✓	コミュニケーション能力		
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	研究貢献度、論文内容、研究発表、論文の提出、試問結果により、各指導教員が評価する。			
課題に対する フィードバック	ゼミによるディスカッション時のコメントおよび課題提出物はコメントともに返却			
使用教材	必要に応じて、各指導教員が準備した資料等を用いる			
講義内容	<p>第1回 ゼミの全体計画 オリエンテーション(卒業研究をはじめるにあたり留意事項等)</p> <p>第2回 卒業論文の構成</p> <p>第3回 テーマの検索 文献の探し方</p> <p>第4～5回 文献調査 文献調査の発表 テーマ検討</p> <p>第6回 テーマの決定</p> <p>第7～8回 研究計画の作成</p> <p>第9～10回 研究準備</p> <p>第11～22回 研究の実施 データの解釈 統計の方法 文献調査継続</p> <p>第23～28回 論文の書き方 まとめ方 論文の作成</p> <p>第29～30回 研究発表の準備および成果発表 まとめ</p> <p>※講義内容の進行は、各指導教員による。</p> <p>※各指導教員の研究テーマは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物成分による疾病の予防・治療 ・幼児の食育に関する研究、介護食の適切な調理条件の検討 ・人間の健康をめぐる諸問題に関する実態調査と要因分析 ・母性行動に対するドーパミン・PRL系の解析、褐色脂肪誘導因子の機能解析、脊柱側弯症の発症機序の解明 ・細胞の高次機能に対する微量栄養素の影響解析 			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ栄養に関する研究、競技選手の栄養サポートスポーツ食育に関する研究、健康増進に関する食事と運動を組合わせた調査・介入研究 ・食品(食べ物)と微生物に関する研究と、食事の総合評価に関する研究 ・塩蔵野菜の生理活性に関する有研究、イソチオシアネート由来化合物の抗遺伝毒性に関する構造活性相関、ダイコン塩蔵下におけるアミノ酸、脂肪酸、糖、辛味成分の動態解析 ・学校給食、栄養教諭、学校等における食育に関する研究、健康な食事に関する研究 ・栄養政策、公衆栄養活動に関する研究 ・食にかかわる様々な取り組みや教育実践を切り口として、人間の発達の問題や人間が暮らしやすい社会のあり方について考察する ・食品の摂取と食後血糖上昇の影響についての研究、1型糖尿病罹患児における管理栄養士の役割についての研究 ・下仁田ネギの辛味成分に関する遺伝子の解析、ポリフェノールの体内動態の解析、PFC バランスの違いによる肝臓代謝の変化、咀嚼の脳への影響、味覚受容体の解析 ・栄養成分の生体内作用とその分子機構の解析 ・糖尿病モデルラットを用いた分子栄養学的研究 ・食品の機能性に関与する酵素の研究 ・流産予防に向けた食品成分に関する研究 	
予習	研究分野関連の文献検索、データ収集、データ整理を行う	毎2時間
復習	研究分野関連の文献検索、データ収集、データ整理を行う。	毎1時間
備考	<p>4単位を修得するためには、講義時間(60時間(実質90分×30回))+予習・復習時間(120時間)が必要です。不足分は各自の学習で補完すること。</p> <p>オフィスパワーは、以下の通り(前:前期 後:後期 数字は時限目)</p> <p>※その他設定時間以外でも対応してもらえることがあるため各自でメールおよび口頭で確認すること。</p> <p>綾部園子(前水3,後金3)、岡村信一(前金5,後金5)、木村典代(前水5,後月5)</p> <p>下川哲昭(前月5,後月5)、田中進(前金5,後金5)</p> <p>松岡寛樹(前金5,後金5)、村松芳多子(前月5,後月5)、渡辺由美(前月5,後月5)</p> <p>五十嵐美絵(前木5,後木5)、大家千枝子(前月3,後月3)、神戸美恵子(前火3,4,後月5)</p> <p>竹内真理(前木2~4,後木2~4)、永井俊匡(前月5,後月5)、曾根保子(前金5,後月6)、</p> <p>河原田律子(前水5,後月5)、深見匡(前水5,後火5)、</p> <p>内田薫(前水5,6,後木5,6)、熊倉慧(前木5,後木5)</p>	

科目名	栄養教諭論(教職科目)			HNE511	講義
担当教員	三井 久味子				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	生活環境の急速な変化に対応するために、食教育の必要性が問われてきた。食に関する教育は生涯を通して健康的な生き方や自己実現を図ることが基礎基本である。本講義では栄養教諭として授業へ参画できる能力を養うことを目的とする。				
到達目標	栄養教諭の役割を把握すること。栄養教諭としての資質を高めること 1.食教育の考え方、法的に基づく食育とらえかた 2.栄養教諭の位置づけを説明できる 3.食教育のシステム化				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業態度・意欲 60%、レポート 40%で評価する。				
課題に対するフィードバック	最後に作成するレポートは添削し、コメント・アドバイスを付けて返却する。				
使用教材	資料(構想からメニューまで) 学習指導要領(文部科学省)、栄養教諭のための学校栄養教育論(笠原賀子監修)				
1	講義内容	学校・学校教育とは			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自分が過ごしてきた学校について思い起こす。		1 時間
		復習	客観的に見た学校と現実とを違いを考える。		1 時間
2	講義内容	学習指導要領とは			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	学習指導要領をめぐってみる。		1 時間
		復習	学習指導要領は学校全体の教則本ということを知る。		1 時間
3	講義内容	教育課程とは			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教育課程とは何かを調べる。		1 時間
		復習	教育課程は学校教育の全体を支える計画であること確認する。		1 時間
4	講義内容	学校における栄養教諭(法的根拠・役割)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	先人たちの困難の末に栄養教諭制度が生まれたことについて調べてくる。		1 時間
		復習	栄養教諭制度は法的な体制に支えられ、大切な役割を担うことを確認する。		1 時間
5	講義内容	学校教育構想への位置づけ			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食育は単独ではなく学校全体の構想にどのように位置付けられているか調べる。		1 時間
		復習	栄養教諭の役割が学校全体の教育に連鎖していることを確認する。		1 時間
6	講義内容	健康教育の中の学校給食			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	学校栄養教育が単独であるのではなく、将来を通して健康な子どもを育成する役割を担っていること気づく		1 時間
		復習	教育組織の中の1つとして健康的な子どもを育成の図ることを確認する。		1 時間
7	講義内容	学校栄養教諭の教育構想			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	学校栄養教育のビジョンを描くことを知る。	1 時間
	1,2,3	復習	ビジョンに基づくことが日常の給食に結びつくことを確認する。	1 時間
8	講義内容	「構想からメニューまで」の考え方		
	該当する到達目標	予習	年間計画とは構想実現するためにあることを知る。	1 時間
	1,2,3	復習	年間計画に基づいて献立作成が成しうることを確認する。	1 時間
9	講義内容	年間指導計画とは		
	該当する到達目標	予習	教育課程に位置づけられ、年間計画を作成し、週目標から献立へと繋がることを知る。	1 時間
	1,2,3	復習	年間計画こそが栄養教諭が描く食に関わるグランドデザインに関連することを確認する。	1 時間
10	講義内容	年間指導計画の作成1		
	該当する到達目標	予習	年間計画の図、月目標・週目標・1 日の目標に基づいて献立が作成されることを知る。	1 時間
	1,2,3	復習	全ての教科や道徳・総合的学習の関連に食育があること確認する。	1 時間
11	講義内容	年間指導計画の作成2		
	該当する到達目標	予習	一ヶ月の年間計画において食が実際に教科領域と結びついているかを調べる。	1 時間
	1,2,3	復習	組織としての食教育の在り方を確認する。	1 時間
12	講義内容	年間指導計画の作成3		
	該当する到達目標	予習	1 年を通しての総合的な年間計画の在り方を考える。	1 時間
	1,2,3	復習	構想からメニューまでの在り方を確認する。	1 時間
13	講義内容	学校給食と学習指導(特別活動)		
	該当する到達目標	予習	特に学習指導要領の中に食育が特記されていることを知る。	1 時間
	1,2,3	復習	食育がホームルームや週1回の学級活動等々の要になっていることを確認する。	1 時間
14	講義内容	実際の年間指導計画の作成1		
	該当する到達目標	予習	テーマを見つける。学校教育目標・学校給食目標を調べる。	1 時間
	1,2,3	復習	学習指導要領の総則の3つの在り方を知り、計画に活かす。	1 時間
15	講義内容	実際の年間指導計画の作成2		
	該当する到達目標	予習	全ての教科・領域と食育との関連を抽出する。	1 時間
	1,2,3	復習	全教育活動、放送から朝・帰りの学活、家庭や地域との関連性を抽出する。	1 時間
備考	質問等は、授業開始前もしくは終了後に教室で応じる。 予習復習時間については、各自補完すること。			

科目名	学校食指導各論(教職科目)			HNE512	講義
担当教員	三井 久味子				
学年・開講期	3年 後期	必選・単位数	選択 2単位		
講義目標	<p>学校教育の本来のねらいをふまえ、全教育活動と連携連動する学校給食を目指す中で必要な教育技術を学ぶ。</p> <p>毎日の食指導と授業との関連を学習指導案の作成や模擬授業を通して学ぶ。</p>				
到達目標	<p>学校現場で食の指導を実践するための指導案を作成できる。作成にあたっては、ねらい・内容・評価という一連の流れを大事にする。</p> <p>1.学校教育における食育の授業展開を説明できる 2.全教育活動と連携・連動を図ることの大切さを学ぶ 3.食育の学校指導案の立て方と授業展開を説明できる</p>				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業態度・意欲 60% レポート 40%で評価する。				
課題に対するフィードバック	模擬授業は、教職担当の教員、教職科目を履修している1～4年生に向けて行い、教員・4年生の先輩方から授業に関するアドバイスをもらう				
使用教材	<p>教材:学習指導案</p> <p>学習指導要領(文部科学省) 食に関する指導参考資料(文部科学省)</p>				
1	講義内容	学習指導の目的や意義			
	該当する到達目標	1,2,3	予習	学びたい意欲の喚起を呼び起こす。期待感を持つ。	1時間
			復習	学ぶことのおもしろさを喚起できたか確認する。	1時間
2	講義内容	学校教育目標とリンクする授業展開			
	該当する到達目標	1,2,3	予習	授業は単独ではなく学校教育目標や教科の目標とリンクしていることを知る。	1時間
			復習	食育が教育課程(全体計画)の中の一環であることを確認する。	1時間
3	講義内容	教科を補完する授業			
	該当する到達目標	1,2,3	予習	各教科は様々な教科と関連しあっていることを知る。	1時間
			復習	栄養教諭は全ての教科と相互補完することを確認する。	1時間
4	講義内容	年間計画の中での位置づけ			
	該当する到達目標	1,2,3	予習	授業選択にあたって、年間計画のどこに位置付けられているかを確認する。	1時間
			復習	食育の重要性を再確認する。	1時間
5	講義内容	単元構想・計画と授業			
	該当する到達目標	1,2,3	予習	特別活動や道徳と教科の計画の違いを調べる。	1時間
			復習	教科書を作る教科と教科書がある教科との違いを確認する。	1時間
6	講義内容	一時間の授業の展開1(特別活動)			
	該当する到達目標	1,2,3	予習	学級活動は食との関連が根強く、クラスの食の実態を解決するために栄養教諭とのTTが大事であることを知る。	1時間
			復習	効果的な授業を展開するための栄養教諭の役割を知る。	1時間
7	講義内容	一時間の授業の展開2(教科)			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科には教科の目標に基づく単元構想並びに計画があることを確認する。	1 時間
	1,2,3	復習	一時間ごとの流れに沿って授業が展開することを知る。	1 時間
8	講義内容	学習指導案の作成1		
	該当する到達目標	予習	学習指導案を読んで、学級活動のテーマを考える。	1 時間
	1,2,3	復習	進行状況を確認して、指導案作成を進める。	1 時間
9	講義内容	学習指導案の作成2		
	該当する到達目標	予習	学級活動指導案は事前指導・本時・事後指導(家庭の連携を含む)で成り立つことを知る。	1 時間
	1,2,3	復習	進行状況を確認して、指導案作成を進める。	1 時間
10	講義内容	学習指導案の作成3		
	該当する到達目標	予習	学習指導案を読んで、教科を選択する。	1 時間
	1,2,3	復習	進行状況を確認して、指導案作成を進める。	1 時間
11	講義内容	学習指導案の作成4		
	該当する到達目標	予習	教科の指導案は教科の目標・単元の目標に基づくことを知る。	1 時間
	1,2,3	復習	進行状況を確認して、指導案作成を進める。	1 時間
12	講義内容	学習指導案の作成5		
	該当する到達目標	予習	単元計画の中でどの授業を選択するか確認する。	1 時間
	1,2,3	復習	進行状況を確認して、指導案作成を進める。	1 時間
13	講義内容	学習指導案の作成6		
	該当する到達目標	予習	学習指導案を読み、指導案の形式を知る。	1 時間
	1,2,3	復習	進行状況を確認して、指導案作成を進める。	1 時間
14	講義内容	模擬授業1		
	該当する到達目標	予習	指導案をよく確認する。	1 時間
	1,2,3	復習	模擬授業について各班で振り返る。	1 時間
15	講義内容	模擬授業2		
	該当する到達目標	予習	指導案をよく確認する。	1 時間
	1,2,3	復習	模擬授業について各班で振り返る。	1 時間
備考	<p>模擬授業で使用する指導案は学生が各自指導案を読み込み、選定する。</p> <p>2班にわかれて指導案を検討修正し、資料作成をする。</p> <p>質問等は、授業開始前もしくは終了後に教室で応じる。</p> <p>予習復習時間については、各自補完すること。</p>			

科目名	教職論(教職科目)			HNE521	講義
担当教員	深見 匡				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	この講義では以下を目標とする。 ①現代社会における教職の意義・教員の役割・資質能力・職務内容について理解し、実践できる。 ②教職に対する適性を理解し、適切な進路選択ができる。				
到達目標	1.現代の学校教育や教職の社会的意義について説明できる。 2.教員の役割や資質・能力について説明でき、実践できる。 3.教員の職務内容や教員の服務上・身分上の義務について説明でき、実践できる。 4.現代の学校が学校内外の専門家と連携する必要について説明できる。				
学位授与方針	—	豊かな人間性と職業倫理			
との対応	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 70%、平常点 30%(レポート提出、授業態度など)で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対する フィードバック	レポートは必要に応じてコメントを付して返却する。定期試験については試験後、関連講義において解説する。個別の質疑等には対応する。				
使用教材	講義用のテキストプリントを使用する(毎回配布)。				
1	講義内容	ガイダンス ・ 現代における学校教育や教員の社会的意義について			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標・講義内容・評価方法などを理解する。		1 時間
	1	復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
2	講義内容	現代における学校教育や教員の社会的意義、教員の職業的特徴について			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2	復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
3	講義内容	教員の役割と資質能力について(歴史)			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2	復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
4	講義内容	教員の役割と資質能力について(現代)			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2	復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
5	講義内容	教育法と教員の職務や義務 ① 日本国憲法・教育基本法			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教員の職務や義務について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
6	講義内容	教育法と教員の職務や義務 ② 学校教育法			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教員の職務や義務について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
7	講義内容	教育法と教員の職務や義務 ③ 教育公務員特例法			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	教育法制の中の教員の職務や義務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	学校教育と教員の職務や義務 ④ 教育課程(学習指導要領等)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教員の職務や義務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	学校教育と教員の職務や事務 ⑤ 教育課程(各教科・領域他)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教職員の職務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	学校教育と教員の職務や義務 ⑥ 研修他		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教職員の職務や義務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	学校教育と教員の職務や義務 ⑦ 学校運営(チームとしての学校)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3,4	復習	教育法制の中の教員の職務は義務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	現代的な教育課題と教員の職務や義務 ① 学力問題		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3,4	復習	現代の教育課題について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	現代的な教育課題と教員の職務や義務 ② 生徒指導		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3,4	復習	現代の教育課題について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	現代的な教育課題と教員の職務や義務 ③ 教育改革動向		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3,4	復習	近年の教育改革動向について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	教員の資質能力と自身の適性について考える		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3,4	復習	自身の教員としての適性について考察し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜 4 限、水曜 4 限、メールでの問い合わせ可。 メールアドレス: fukami@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 307 室 予習・復習については、試験前の学習等で補完すること。</p>			

科目名	教育基礎論(教職科目)			HNE522	講義
担当教員	深見 匡				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	この講義では以下を目標とする。 ①教育の基本的概念、教育の理念、教育に関する歴史及び思想に関わる基礎的知識について理解し、説明できる。 ②教員に求められる基礎的な資質能力について理解し、実践できる。				
到達目標	1.教育の基本的概念について理解し、説明できる。 2.教育に関する歴史の基礎的知識について理解し、説明できる。 3.教育に関する思想の基礎的知識について理解し、説明できる。 4.現代的な教育課題について理解し、考察できる。				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 70%、平常点 30%(レポート提出、授業態度など)で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対するフィードバック	レポートについては必要に応じてコメントを付して返却する。定期試験については関連講義において解説する。個別の質疑等には対応する。				
使用教材	講義用のテキストプリントを使用する(毎回配布)。				
	講義内容	ガイダンス			
1	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標・講義内容・評価方法などを理解する。	1 時間	
	1,2,3,4	復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
	講義内容	教育の基礎的概念を学ぶ(社会と教育)			
2	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1	復習	教育の基礎的概念について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
	講義内容	教育の基礎的概念を学ぶ(発達と教育)			
3	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1	復習	教育の基礎的概念について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
	講義内容	教育の基礎的概念を学ぶ(学校教育と教員)			
4	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1	復習	教育の基礎的概念について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
	講義内容	教育の基礎的概念を学ぶ(教育基本法等の教育理念)			
5	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1,	復習	教育の基礎的概念について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
	講義内容	教育の歴史について(近代)			
6	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1,2	復習	教育の歴史の基礎的知識について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
	講義内容	教育の歴史について(戦前日本)			
7	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1,2	復習	教育の歴史の基本的知識について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	教育の歴史について(戦後日本)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2	復習	教育の歴史の基礎的知識について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	教育の思想について(コメニウス、ルソー、コンドルセ等)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	古典的な教育思想について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	教育の思想について(ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイ等)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	古典的な教育思想について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	現代的な教育課題について ① 学力について考える		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,4	復習	近年の学力論の概要について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	現代的な教育課題について ② 教育における不平等問題		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,4	復習	教育と社会階層の問題の概要について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	現代的な教育課題について ③ 子どもの様々な「問題行動」		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,4	復習	近年の子どもの「問題行動」とされる問題について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	現代的な教育課題について ④ 日本の教育政策動向		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,4	復習	近年の日本の教育政策動向について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	現代的な教育課題について ⑤ 諸外国の教育政策動向		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,4	復習	近年の諸外国の教育政策動向について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜 4 限、水曜 5 限、メールでの問い合わせ可。</p> <p>メールアドレス: fukami@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 1 号館 307 室</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	教育心理学(教職科目)			HNE523	講義
担当教員	宮内 洋				
学年・開講期	2年 前期	必選・単位数	選択 2単位		
講義目標	<p>本科目は、初等中等教育段階の学校の教員を目指す上で理解しておくべき、教育心理学に関する基本的な知識の理解・修得をめざす。</p> <p>幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。</p> <p>教育心理学に関する知識を生涯発達の各発達段階毎に理解し、人間の生涯発達を通じた視野を持ちながら理解できるようになる。また、各段階における障害とその支援についても学ぶ。</p> <p>臨床発達心理士である講師としては、机上の空論や理想論ではなく、より現実的な内容に徹したい。</p>				
到達目標	<p>1. 幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴を理解する。</p> <p>2. 幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。</p> <p>3. 種々の障害について正しく理解する。</p>				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	全講義終了後に実施される定期試験(85%)と、講義期間中に課せられる課題(10%)、講義に臨む態度・参加する姿勢(5%)によって、総合的に判断する。				
課題に対するフィードバック	講義終了時に可能な限り感想シートを配付し、そこで書かれた質問等には次回に回答するように努める。				
使用教材	<p>教科書は指定しない。必要に応じて、資料を配付する。また、より知りたい・学びたい人のために、参考文献や映画やマンガ等の種々の作品を、講義の中で適宜紹介する。</p> <p>・J.A.L.シング『野生児の記録 1 狼に育てられた子』福村出版</p> <p>・A.ゲゼル『狼にそだてられた子』家政教育社</p>				
1	講義内容	ガイダンス:発達とは何か			
	該当する到達目標	予習	なし		0時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間
2	講義内容	生涯発達と「優生思想」			
	該当する到達目標	予習	人間の生涯発達について客観的に考察できるように準備しておくこと。		1時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間
3	講義内容	新生児期・乳児期における学び(1):「無能な赤ちゃん」というイメージ			
	該当する到達目標	予習	自らの乳児期の体験を可能な限り聞き、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。		1時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間
4	講義内容	新生児期・乳児期における学び(2):「有能な赤ちゃん」と脳科学			
	該当する到達目標	予習	脳科学について客観的に考察できるように準備しておくこと。		1時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間
5	講義内容	幼児期における学び(1):学びの基礎			
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。		1時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	幼児期における学び(2):認知発達を中心に		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
7	講義内容	児童期における学び(1):記憶研究を中心に		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
8	講義内容	児童期における学び(2):学習		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
9	講義内容	児童期における学び(3):動機付け		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
10	講義内容	障害のある児童・生徒の心身の発達と学び		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
11	講義内容	思春期・青年期における学び		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
12	講義内容	成人期以降の学び(1):学びの効果的支援		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの学びに関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
13	講義内容	成人期以降の学び(2):学んだ成果の評価		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの学びに関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
14	講義内容	老年期における学び		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	なし	0 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	これまでの講義内容の理解を深めておく。	6 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
備考	質問等は、授業開始前もしくは終了後に教室で応じる。 講義を妨害する者の受講を基本的に認めない。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	教育制度論(教職科目)			HNE524	講義
担当教員	深見 匡				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	この講義は以下を目標とする。 ①現代の学校教育に関する社会的・制度的・経営的事項に関わる基礎的な知識を身につける。 ②学校と地域との連携、学校安全に関わる基礎的な知識を身につける。 ③これらの知識を実践(学校運営)に活用する力を身につける。				
到達目標	1.教育に関する社会的事項(社会状況と学校教育の変化等)について説明できる。 2.教育に関する制度的事項(教育法・制度とその意義)について説明できる。 3.教育に関する経営的事項(学校経営について)について説明できる。 4.学校と地域の連携・協働について説明できる。 5.学校安全への対応について説明できる。				
学位授与方針 との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験70%、平常点30%(レポート提出、授業態度など)で評価する。総合評価60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対する フィードバック	レポートは必要に応じてコメントを付して返却する。定期試験については試験後、関連講義において解説する。個別の質疑等には対応する。				
使用教材	講義用のテキストプリントを使用する(毎回配布)。				
	講義内容	ガイダンス			
1	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標・講義内容・評価方法など理解する。	1 時間	
	1,2,3,4,5	復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
	講義内容	近年の社会状況や子どもの変化と学校教育			
2	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1	復習	社会状況や子どもの変化について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
	講義内容	日本の教育政策動向			
3	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1	復習	日本の教育政策動向について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
	講義内容	公教育に関わる法と制度 ① 公教育の理念			
4	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	2	復習	現代の公教育の組織化について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
	講義内容	公教育に関わる法と制度 ② 学校教育法(学校体系)			
5	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	2	復習	様々な学校について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
	講義内容	公教育に関わる法と制度 ③ 学校教育法(教育内容)			
6	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	2	復習	教育課程や教育内容に関する事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
7	講義内容	公教育に関わる法と制度 ④ 地方教育行政法等			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2	復習	教育行政に関する事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	公教育に関わる法と制度 ⑤ 教育公務員特例法		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2	復習	教員に関わる事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	学校経営について ① 学校の組織と経営		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	3	復習	学校の組織や運営・経営について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	学校経営について ② 学校評価		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	3	復習	学校評価について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	学校経営について ③ 学級経営		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	3	復習	学級経営について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	学校と地域との連携・協働		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	4	復習	学校と地域の連携・協働について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	学校安全について		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	5	復習	学校安全の目的・取り組みについて整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	諸外国の教育政策動向 ①		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1	復習	諸外国(英米圏)の教育政策について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	諸外国の教育政策動向 ②		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1	復習	諸外国(その他)の教育政策について整理、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー:火曜 3 限、金曜 5 限、メールでの問い合わせ可。</p> <p>メールアドレス: fukami@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室:1 号館 307 室</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	教育課程論(教職科目)			HNE525	講義
担当教員	栗原 幸正				
学年・開講期	2年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	学校教育における教育課程の意義を、学習指導要領総則編の読解や教育課程(教育内容)の変遷を知ることを通して理解すると共に、教育課程実施に係る現代的な教育的課題について深く考えながら、その重要性について理解する。				
到達目標	<p>1.教育課程とは何かについて具体的に理解し、設問等に解答し、記述することができる。</p> <p>2.教育課程が不易な教育的内容の定着を図るためにあるのと同時に、社会からのニーズによって編成されていることを知り、変遷の過程を説明する事ができる。</p> <p>3.教育課程編成の主体である学校組織について理解を深め、栄養・養護に係る教育実習に向けての視点を明確にできる。</p> <p>4.平成 29 年 3 月告示学習指導要領についての認識を深め、説明することができる。</p>				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験(小論文を含む)60% 日常の提出物(小テストや感想を含む)やプレゼンテーション(40%)				
課題に対するフィードバック	紙媒体については評価の説明並びに評価コメント。 プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。				
用教材	文部科学省小中学校学習指導要領解説総則編(購入のこと 130 円程度) 幼稚園教育要領 学校要覧(プリントして配付) その他講義に必要なプリントを随時配付する。				
1	講義内容	小中学習指導要領と幼稚園教育要領			
	該当する到達目標 1,2	予習	小中学校学習指導要領解説総則編及び幼稚園教育要領に目を通し、教育課程の概要についてつかんでおく。		1 時間
		復習	幼小中のつながりのある教育課程について概略を理解する。		1 時間
2	講義内容	教育課程の意義とその変遷(戦後～現在)			
	該当する到達目標 1,2	予習	小中学校学習指導要領解説総則編に目を通し、教育課程の変遷の概略を掴んでおく。		1 時間
		復習	社会的ニーズと教育課程の関連について、自分の考えを説明できる。		1 時間
3	講義内容	教育課程の具体としての学校要覧Ⅰ(小・中における学校教育目標・学校経営案)			
	該当する到達目標 1,3,4	予習	貸与資料「学校要覧」の上記関係箇所目を通す。		1 時間
		復習	教育課程を規定する関係法規や社会的ニーズと学校経営について理解する。		1 時間
4	講義内容	教育課程の具体としての学校要覧Ⅱ(授業時数・日課表)			
	該当する到達目標 1,3,4	予習	貸与資料「学校要覧」の上記関係箇所目を通す。		1 時間
		復習	教育課程を具現化するために機能する学校教育内容を理解する。		1 時間
5	講義内容	教育課程の具体としての学校要覧Ⅲ(校務分掌と教職員の業務)			
	該当する到達目標 1,3,4	予習	貸与資料「学校要覧」の上記関係箇所目を通す。		1 時間
		復習	学校の運営組織について理解し、小学校・中学校の違いを認識する。		1 時間
6	講義内容	教育課程とカリキュラムマネジメント(学校長業務)			
	該当する到達目標	予習	配付文書を元に、教育課程の全体構造についてノートにまとめておく。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,3,4	復習	学習指導要領を基本とするカリキュラムマネジメントの意味を理解する。	1 時間
7	講義内容	現代的課題に向けての教育課程(養護・栄養の連携とアレルギー対応)		
	該当する到達目標	予習	図書館を用いてアレルギーに係る文献や新聞記事に目を通しておく。	1 時間
	2,4	復習	アレルギー対応に不可欠な教育課程編成や具体的な連携方法について理解し、小学校・中学校での対応の違いを認識する。	1 時間
8	講義内容	「社会に開かれた教育課程」創造に向けて		
	該当する到達目標	予習	文部科学省の HP 等で学習指導要領の特徴を掴んでおく。	1 時間
	4	復習	今後学校が進む教育課程と、養護・栄養職の関わり方についての自分の考えを持つ。	1 時間
備考	<p>オフィスアワー:水曜日 2 限・金曜日 2 限 研究室:9 号館 305 研究室</p> <p>メールアドレス:kurihara-y@takasaki-u.ac.jp</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	特別活動論(教職科目)			HNE526	講義
担当教員	石川 勉				
学年・開講期	2年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	学校教育は学習指導要領にそって教育課程が実施される。その教育課程に教科の他に特別活動の領域があり、児童・生徒の教育に重要な役割を果たしている。本講義では、学校教育における重要な特別活動を教育課程との関連を踏まえ、学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の目標や内容、そして、これらの指導方法や学習指導案の書き方について学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.学校における特別活動の意義とその内容について理解できる。 2.特別活動の教育的意義、教育課程上の役割などについて、自分の言葉で説明することができる。 3.内容目標に照らして具体的な活動を自分なりにイメージできる。 4.特別活動の内容を具体化する実践的方法を身に付けることができる。 5.特別活動の学習指導案を作成することができる。 6.学校における教育活動全体の視点から特別活動の意義や目標具現化を目指そうとする見通しと意欲をもつことができる。 				
学位授与方針 との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	レポート(20%)、平常点(30%)、定期試験(50%)、総合評価60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対する フィードバック	レポート、小テストは必要に応じてコメントして返却する。定期試験の内容や質疑は個別に対応する。				
使用教材	小中学校学習指導要領、同解題特別活動編、その他、講義用のテキストプリントを使用する。(毎回配布)				
1	講義内容	学習指導要領と教育課程、学校要覧の内容理解			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標、講義内容、評価方法を理解する。	1 時間	
	1,2	復習	講義内容について整理し、内容を理解する。	1 時間	
2	講義内容	学校教育目標、学校経営案、教育課程、日課表、校務分掌と現代的課題			
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1,2	復習	講義内容について整理し、内容を理解する。	1 時間	
3	講義内容	養護、栄養職からみる学校の課題、取組方法の実際			
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1,2,3	復習	学習指導要領、教育課程、学校の教育内容について整理し、内容を理解する。	1 時間	
4	講義内容	学習指導要領における特別活動の目標と内容、指導の在り方			
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1,2,3,4,5	復習	講義内容について整理し、内容を理解する。	1 時間	
5	講義内容	学級活動、児童会・生徒会活動、学校行事の実際			
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1,2,3,4,5	復習	特別活動の内容について整理し、内容を理解する。	1 時間	
6	講義内容	児童生徒の話し合い活動、集団活動の育成、評価と改善			
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1,2,3,4,5	復習	特別活動の具体的な指導項目について整理し、内容を理解する。	1 時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

7	講義内容	特別活動における家庭、地域住民、関係機関との連携		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	学校教育と地域、機関との連携について整理し、内容を理解する。	1 時間
8	講義内容	学校全体の教育活動で取り組む「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」		
	該当する到達目標 1,2,3,6	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	教育課程、特別活動、学校教育全体についてまとめ、内容を理解する。	1 時間
備考	<p>質問等は、授業開始もしくは終了後に教室で応じる。</p> <p>予習・復習については、レポート作成、定期試験時の学習等で補完すること。</p>			

科目名	道徳教育の研究(教職科目)			HNE527	講義
担当教員	石川 勉				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	この講義では、教職をめざすにあたり以下のことを目標とする。 1.公教育における道徳教育の意義や役割を理解すること。 2.公教育における道徳教育、その要となる道徳科の基礎的な知識を習得すること。 3.道徳教育を実践する上で必要となる資質・能力の基本的な事項を身につける。				
到達目標	道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育、及びその要となる指導計画や指導方法を理解する。 1.道徳の本質を説明できる。 2.道徳教育の歴史や現代社会における道徳教育の課題(いじめ・情報モラル等)を理解している。 3.子どもの心の成長と道徳性の発達について理解している。 4.学習指導要領に示された道徳教育の主な内容を理解している。 5.学校における道徳教育の指導計画や教育活動を通じた指導の必要性を理解している。 6.道徳科の特質を生かした多様な指導方法の特徴を理解している。 7.道徳科における教材の特徴を踏まえて、授業設計に活用することができる。 8.授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成することができる。 9.道徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方を理解している。 10.模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	小テスト(30%)、レポート(30%)、定期試験(25%)、平常点(15%)、総合評価60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対するフィードバック	レポート、小テストは必要に応じてコメントして返却する。定期試験の内容や質疑は個別に対応する。				
使用教材	小中学校学習指導要領、同解題道徳編、その他、講義用のテキストプリントを使用する。(毎回配布)				
1	講義内容	ガイダンス、道徳の本質(道徳とは何か)			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標、講義内容、評価方法を理解する。	1 時間	
	1,4	復習	講義内容について整理し、内容を理解する。	1 時間	
2	講義内容	学校の教育活動全体で行う道徳教育とその要となる道徳科			
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1,4,5	復習	道徳教育の目標、道徳教育と道徳科の違いについて整理し、内容を理解する。	1 時間	
3	講義内容	学習指導要領に示された道徳教育、道徳教育全体計画、道徳科の目標や内容			
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1,4,5	復習	学習指導要領、道徳教育全体計画、道徳科指導計画等、整理し、内容を理解する。	1 時間	
4	講義内容	道徳教育の歴史、現代社会の道徳教育の課題			
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
	1,2	復習	道徳教育の歴史、現代社会の課題について整理し、内容を理解する。	1 時間	

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

5	講義内容	道徳性の発達の理論	
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。
	1,3,5	復習	道徳性の発達の理論、具体的指導内容について整理し、内容を理解する。
6	講義内容	特別支援を配慮した道徳教育、子どもの心の成長	
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。
	1,3,5	復習	子どものこころの成長、特別支援を配慮した道徳教育について整理し、内容を理解する。
7	講義内容	道徳性、道徳的価値内容の補充・深化・統合、授業のねらい	
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。
	1,4,5,6,7	復習	簡単な授業の実際を通し、道徳性、価値内容について整理し、内容を理解する。
8	講義内容	道徳教育年間計画、指導の重点、学級の道徳教育指導計画	
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。
	1,5,6	復習	学級の道徳教育指導の方法について整理し、内容を理解する。
9	講義内容	道徳科指導案作り、資料分析の手法、授業のねらいや指導過程の明確化	
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。
	6,7,8	復習	資料分析の手法と指導案について整理し、内容を理解する。
10	講義内容	模擬授業と授業改善	
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。
	6,7,8,10	復習	指導案をまとめ上げ、内容を理解する。
11	講義内容	多様な指導方法の理解と道徳科指導案作り	
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。
	6,7,8	復習	多様な指導方法について整理し、内容を理解する。
12	講義内容	模擬授業と授業改善、道徳科の特性を踏まえた学習評価	
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。
	6,7,8,10	復習	指導案をまとめ、評価について整理し、内容を理解する。
13	講義内容	模擬授業と授業改善、道徳科の特性を踏まえた学習評価	
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。
	6,7,8,9,10	復習	指導案をまとめ上げ、内容を理解する。
14	講義内容	学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と社会問題、非行問題の課題	
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。
	1,2,5	復習	道徳教育と生徒指導、現代社会の課題について整理し、内容を理解する。
15	講義内容	学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と社会問題、非行問題の課題 まとめ	
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。
	1,2,5,	復習	道徳教育、道徳科についてまとめ、内容を理解する。
備考	質問等は、授業開始前もしくは終了後に教室で応じる。 予習・復習については、レポート作成、定期試験時の学習等で補完すること。		

科目名	教育方法論(保育・教育の方法技術)			HNE528	講義
担当教員	栗原 幸正				
学年・開講期	2年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	教育方法論の対象領域は、児童の発達段階等の心理学的視点から教育の歴史、教科・特別活動の内容及び教育技術と広範である。その全てに精通することは教員としての資質形成にとって重要であるが、小・中の学校現場に出てからの実践知として具体的に認知されるものとする。そこで、本講義では、養護教諭並びに栄養教諭として学校現場に出る際に必要と思われる教育方法に係る内容を、できるだけ事例に則して習得する。				
到達目標	1.教育方法学の歴史の変遷及び領域の広さについて理解し、教育現場に出た際のファーストステップ方法論を習得することができる。 2.授業の在り方の重要性並びに方法について理解し、小・中・高等学校現場で主体的に授業研究に参画することができる。 3.教育方法学に係る現代的課題について理解することができる。				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と教養			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	—	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	定期試験(小論文を含む)60% 日常の提出物(小テストや感想を含む)やプレゼンテーション(40%)。				
課題に対するフィードバック	紙媒体については評価点の明記並びに評価コメント。プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。				
使用教材	教育の方法(佐藤学著 放送大学叢書 本体 1,524円)				
1	講義内容	教育方法学の歴史(ソクラテスからヘルバルト、ヴィゴツキー、そして現代)			
	該当する到達目標	予習	テキスト p57~p85 に目を通し、教育の概要をつかんでおく。		1 時間
	1,3	復習	教育観の変遷の流れをノートにまとめる。		1 時間
2	講義内容	小中学校における教育方法の現状と課題(学級崩壊を通して)			
	該当する到達目標	予習	自分の小中学校時代の経験に即し、学校の荒れの要因について検討する。		1 時間
	2,3	復習	学級崩壊の要因について理解するとともに、養護・栄養の立場でどう対応できるかの自分の考えをまとめる。		1 時間
3	講義内容	教育方法の実際①(養護教諭の授業ビデオを元にした授業研究)			
	該当する到達目標	予習	テキスト p86~p150 に目を通し、「授業」の構成要因の概要をつかんでおく。		1 時間
	1,2	復習	授業研究を通して得た授業構成に必要な教育方法をまとめる。		1 時間
4	講義内容	教育方法の実際②(栄養教諭の授業ビデオを元にした授業研究)			
	該当する到達目標	予習	テキスト p86~p150 に再度目を通し、「授業」の構成要因を確認する。		1 時間
	1,2	復習	授業研究を通して得た授業構成に必要な教育方法を理解する。		1 時間
5	講義内容	小・中学校におけるアクティブラーニングの可能性(実践事例を通して)			
	該当する到達目標	予習	事前配付の資料に目を通しておく。		1 時間
	2,3	復習	授業実践についての協議内容をまとめ、アクティブラーニングについて理解する。		1 時間
6	講義内容	小・中学校における授業づくりの方法①(年間計画・指導計画・評価計画)			
	該当する到達目標	予習	事前配付の資料に目を通しておく。		1 時間
	1,2	復習	年間計画に沿った自らの指導計画を立案し、文書化する。		1.5 時間
7	講義内容	小・中学校における授業づくりの方法②(教材研究と学習指導案・学習評価)			

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	構想した指導計画から、具体的な授業化する内容を検討しておく。	1 時間
	1,2	復習	教材研究を行い、パワーポイントを用いた学習指導案並びに教材を作成する。	2 時間
8	講義内容	コンピュータと教育 I (CAI を用いた授業実践演習)		
	2,3	予習	PowerPoint で作成した授業プレゼンテーションの発表練習をしておく。	1 時間
		復習	CAI を活用した教育の課題について理解する。	1 時間
備考	<p>オフィスアワー:水曜日 2 限・金曜日 2 限 研究室:9 号館 305 研究室</p> <p>メールアドレス:kurihara-y@takasaki-u.ac.jp</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p> <p>※PowerPoint を使用できる環境を準備しておく。</p>			

科目名	生徒指導論(教職科目)			HNE529	講義
担当教員	小西 尚之				
学年・開講期	2年 前期	必選・単位数	選択 2単位		
講義目標	生徒指導は、学校教育において学習指導(教科指導)と並ぶ重要な分野として位置付けられる。本授業では、学校における教師の生徒指導について、理論と実践の両面から考察していく。授業の進め方としては、各テーマについての説明を聞くだけでなく、話し合い活動を通じて課題に取り組むことによって理解を深めていく。				
到達目標	1.生徒指導の理論について理解している。 2.生徒指導について実践的に思考することができる。 3.他者と協力しながら課題に積極的に取り組むことができる。				
学位授与方針 との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	小テストに約 70%、日常点(授業への参加、授業態度、課題への取り組み、討論、授業に対する貢献度等)に約 30%を配分して総合評価する。				
課題に対する フィードバック	試験前後に出題の意図等を説明する。				
使用教材	教科書:『よくわかる生徒指導・キャリア教育』(小泉令三編著、ミネルヴァ書房、2010年、2,400円(税別))、参考書:『生徒指導提要』(平成22年3月 文部科学省)				
	講義内容	オリエンテーション			
1	該当する到達目標 1	予習	シラバスを読んで、毎回の授業内容を確認し、自分との関連などを考えておく。		1.5時間
		復習	資料を読み直し、授業の概要を確認し、生徒指導を学ぶ意味を理解する。		1.5時間
	講義内容	問題行動への対応(1)校則・生徒心得について			
2	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5時間
		復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5時間
	講義内容	問題行動への対応(2)懲戒・体罰について			
3	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5時間
		復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5時間
	講義内容	問題行動への対応(3)不登校・ひきこもりについて			
4	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5時間
		復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5時間
	講義内容	問題行動への対応(4)いじめについて			
5	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5時間
		復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5時間
	講義内容	問題行動への対応(5)非行について			
6	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5時間
		復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5時間
	講義内容	他分野との連携(1)生徒指導と情報教育(各種メディア、情報リテラシーなど)			
7	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5時間
		復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	他分野との連携(2) 生徒指導と学習指導(授業における指導など)		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	他分野との連携(3) 家庭・地域・社会との連携		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	将来の生き方の指導(1) キャリア教育の意義と理論		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	将来の生き方の指導(2) キャリア教育の進め方		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	将来の生き方の指導(3) キャリア教育の方法と技術		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	将来の生き方の指導(4) 職業観・勤労観の形成		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	将来の生き方の指導(5) 中学校でのキャリア教育実践		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	将来の生き方の指導(6) 生涯学習の現状と今後		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	15 回分の資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー： 火曜 5 限、金曜 2 限 メールアドレス： konishi@takasaki-u.ac.jp 研究室： 8 号館 4 階 409 号室 予習・復習については、小テストの学習等で補完すること。			

科目名	教育相談(教職科目)			HNE530	講義
担当教員	宮内 洋				
学年・開講期	3年 後期	必選・単位数	選択 2単位		
講義目標	<p>本科目は、初等中等教育段階の学校の教員を目指す上で理解しておくべき、教育相談に関する基本的な知識と技能の理解・修得をめざす。</p> <p>教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を身に付ける。</p> <p>この際には、密室に閉じた相談活動ではなく、学校、さらには地域に開かれた支援を視野に入れる。臨床発達心理士である講師としては、机上の空論や理想論ではなく、より現実的な内容に徹したい。</p>				
到達目標	<p>1.学校における教育相談の意義と理論を理解する。</p> <p>2.教育相談を進める際に必要な基礎的知識(カウンセリングに関する基礎的事柄を含む)を理解する。</p> <p>3.教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解する。</p>				
学位授与方針	—	豊かな人間性と職業倫理			
との対応	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	全講義終了後に実施される定期試験(85%)と、講義期間中に課せられる課題(10%)、講義に臨む態度・参加する姿勢(5%)によって、総合的に判断する。				
課題に対するフィードバック	講義終了時に可能な限り感想シートを配付し、そこで書かれた質問等には次回に回答するように努める。				
使用教材	<p>教科書は指定しない。必要に応じて、資料を配付する。また、より知りたい・学びたい人のために、参考文献や映画やマンガ等の種々の作品を、講義の中で適宜紹介する。</p> <p>参考書・参考資料等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮内洋『体験と経験のフィールドワーク』北大路書房 ・宮内洋・好井裕明 編著『〈当事者〉をめぐる社会学—調査での出会いを通して』北大路書房 ・秋山千枝子・堀口寿広 監修『スクールカウンセリングマニュアル(第2版)』日本小児医事出版社 				
1	講義内容	オリエンテーション:受容と共感			
	該当する到達目標	1,3	予習	自らの中学・高校での教育相談に関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	7時間
			復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
2	講義内容	他者との距離			
	該当する到達目標	1,3	予習	他者との距離に関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
			復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
3	講義内容	生徒に対する誤解への注意と気づき			
	該当する到達目標	1,3	予習	自らの気づきに関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
			復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
4	講義内容	「教育相談」とは何か			
	該当する到達目標	1,3	予習	これまでの講義から、教育相談とは何かについて考察できるように準備しておくこと。	1時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
5	講義内容	各自の枠組の相違の体験的理解		
	該当する到達目標	予習	なし	0 時間
	1,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
6	講義内容	コミュニケーションの困難性		
	該当する到達目標	予習	コミュニケーションの失敗に関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
7	講義内容	生徒の「性格」理解		
	該当する到達目標	予習	自らの性格について理解を深める。	1 時間
	1,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
8	講義内容	カウンセリングの基礎的理解と技法		
	該当する到達目標	予習	カウンセリングについて調べておく。	1 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
9	講義内容	いじめに対する対応		
	該当する到達目標	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	6 時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
10	講義内容	いじめとスクールカウンセリング: 中学校におけるいじめの実態		
	該当する到達目標	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	6 時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
11	講義内容	校内暴力に対する生徒指導と教育相談		
	該当する到達目標	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	6 時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
12	講義内容	臨床発達心理学的視点からの教育相談		
	該当する到達目標	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
13	講義内容	教育相談のロール・プレイング(1): ロール・プレイングの実践		
	該当する到達目標	予習	ロール・プレイングについて調べておく。	1 時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
14	講義内容	教育相談のロール・プレイング(2): ロール・プレイングの振り返り		
	該当する到達目標	予習	前回のロール・プレイングについて理解を深めておく。	3 時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
15	講義内容	緊急時・災害時・事後における教育相談		
	該当する到達目標	予習	緊急時の教育相談について客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
備考	<p>質問等は、授業開始前もしくは終了後に教室で応じる。</p> <p>講義を妨害する者の受講を基本的に認めない。</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	事前・事後指導(教職科目)			HNE513	講義
担当教員	深見 匡、曾根 保子				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	<p>「事前指導」では、栄養教育実習を円滑に行えるよう次のことを目標とする。①教育実習生として必要な資質能力や態度を修得すること。②栄養教育実習に必要となる包括的な知識・技能を修得すること。</p> <p>「事後指導」では次のことを目標とする。①栄養教育実習で修得した知識・技能、体験について総括すること、②「教育実習報告会」において自身の実践を総括し、他者に報告すること。</p>				
到達目標	<p>1.教育実習生として求められる資質能力や態度について説明し、実践することができる。</p> <p>2.栄養教育実習に必要となる知識・技能について説明し、基本的な実践をすることができる。</p> <p>3.栄養教育実習での体験について自身で客観的に反省し総括することができる。</p>				
学位授与方針	—	豊かな人間性と職業倫理			
との対応	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	平常点 50%(授業への貢献等)、報告内容・提出課題等(50%)で総合的に評価する。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対する フィードバック	必要に応じて課題を課し、コメントなど付して評価を返す。				
使用教材	<p>『食に関する指導の手引き』文部科学省 2010 年(ISBN: 9784827814927)</p> <p>『教育実習の手引き・ノート』本学テキスト</p> <p>講義用のテキストプリントを配布する。</p>				
1	講義内容	栄養教育実習の意義・目的・心構え			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
		復習	教育実習に必要となる資質能力や態度、知識・技能について整理し、授業時の課題に取り組む。		1.5 時間
2	講義内容	栄養教育実習の実際 ①			
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
		復習	教育実習に必要となる資質能力や態度、知識・技能について整理し、授業時の課題に取り組む。		1.5 時間
3	講義内容	栄養教育実習の実際 ②			
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
		復習	教育実習に必要となる資質能力や態度、知識・技能について整理し、授業時の課題に取り組む。		1.5 時間
4	講義内容	学習指導案の作成・検討 ①			
	該当する到達目標 1,2	予習	学習指導案を作成する。		3 時間
		復習	教育実習に必要となる資質能力や態度、知識・技能について整理し、授業時の課題に取り組む。		1 時間
5	講義内容	学習指導案の作成・検討 ②			
	該当する到達目標 1,2	予習	学習指導案を作成する。		3 時間
		復習	教育実習に必要となる資質能力や態度、知識・技能について整理し、授業時の課題に取り組む。		1 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	事後指導 実習の反省 ①		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教育実習報告を作成する。	2 時間
		復習	教育実習報告の集団的検討をふまえ、自身の実習の総括を深める。	1 時間
7	講義内容	事後指導 実習の反省 ②		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教育実習報告を作成する	2 時間
		復習	教育実習報告の集団的検討をふまえ、自身の実習の総括を深める。	1 時間
8	講義内容	事後指導 「教育実習報告会」		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	「教育実習報告会」用の報告書を作成する。	2 時間
		復習	「教育実習報告会」での発表・検討会の結果をふまえ、自身の実習の総括を深める。	1 時間
備考	<p>授業の問い合わせは深見まで(1号館 307 室、メールでも可能)。 オフィスアワー(深見): 火曜 3 限、金曜 5 限 メールアドレス: fukami@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、実習報告書の作成等で補完すること。</p>			

科目名	栄養教育実習(教職科目)		HNE514	実習
担当教員	深見 匡、曾根 保子			
学年・開講期	4年 前期	必選・単位数	選択 1単位	
講義目標	この栄養教育実習では、小中学校において5日間の実習を行い、以下のことを目標とする。①栄養教育実習について体験的・総合的な認識を得ること。②大学で修得した関連する知識・技能を生かし、学校現場での児童生徒の発達に即した指導を行うこと。③教育実践上の問題解決や創意工夫に必要な研究的態度や能力を養うこと。④教育者としての愛情と使命感を深め、自覚を得ること。			
到達目標	1.食の指導の専門家に必要な専門的知識・技能について説明でき、基本的な教育実践ができる。 2.教員に必要な専門的知識・技能について説明でき、基本的な教育実践ができる。 3.教育実践に必要な問題解決的・研究的な行動ができる。 4.教育実習体験について、自身で客観的に反省し総括をすることができる。			
学位授与方針 との対応	—	豊かな人間性と職業倫理		
	—	専門的知識		
	—	問題発見・解決力		
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力		
	—	コミュニケーション能力		
	—	自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法	「実習ノート」の内容(30%)、実習校からの評価(70%)などを参考に総合的に評価する。			
課題に対する フィードバック	必要な場合は実習校とは別に課題を課し、その評価についてコメントを付して返す。			
使用教材	本学テキスト『教育実習の手引き・ノート』			
講義内容	実習校で平日5日間の実習を行う(全体で32時間~45時間)。 ①校長・指導教員等からの指導、②児童生徒への個別的な相談・指導の実習、③児童生徒への教科・特別活動等における食の指導の実習、④学校給食等における食の指導の実習、⑤学校の教育活動の参観や補助、⑥他の教職員との連携・調整の実習、⑦保護者や地域との連携の実習 等。			
	予習	実習校指導者の指示に従う。		必要時間行う
	復習	実習校指導者の指示に従う。		必要時間行う
備考	栄養教育実習についての相談は、随時、深見まで(1号館307室)。 オフィスアワー(深見):火曜3限、金曜5限 メールアドレス:fukami@takasaki-u.ac.jp			

科目名	教職実践演習(栄養教諭)(教職科目)			HNE515	演習
担当教員	深見 匡				
学年・開講期	4年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	この講義は、栄養教諭養成課程の最終的な段階として以下を行うことを目標とする。 ①栄養教諭に求められる様々な資質(食の指導の専門家としての知識・技能、教員として知識・技能)の修得状況を確認すること。 ②学生各自の①の資質の修得状況を踏まえ、必要な補足やいっそうの充実をはかること。				
到達目標	1.食の指導の専門家に必要な知識・技能について説明できる。 2.教員に求められる知識・技能について説明できる。 3.これらの知識・技能を活用した基本的な教育実践ができる。				
学位授与方針	—	豊かな人間性と職業倫理			
との対応	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	平常点 50%(授業への貢献度等)、期末試験 50%(レポート・試験等)。総合評価 60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対するフィードバック	レポートは必要に応じてコメントを付して返却する。期末試験は試験後、必要に応じて関連講義で解説する。個別の質疑等には対応する。				
使用教材	教科書:『食の指導に関する手引き』文部科学省 2010 (ISBN: 9784827814927) 講義用のテキストプリントを毎回配布する。				
	講義内容	ガイダンス			
1	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標・講義内容・評価方法などを理解する。		1 時間
	1,2,3	復習	栄養教育実習等これまでの学習を振り返り、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
	講義内容	教職の意義・教員の職務内容と責任についての演習			
2	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2,3	復習	教員の職務内容・責務について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
	講義内容	食に関する指導と食の全体計画についての演習 ①			
3	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2	復習	食の全体計画の作成、討議の成果を整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
	講義内容	食に関する指導と食の全体計画についての演習 ②			
4	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2	復習	食の全体計画の作成、討議の成果を整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
	講義内容	給食時間の指導についての演習			
5	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2,3	復習	給食時間の指導について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
	講義内容	特別活動における食に関する指導についての演習			
6	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2,3	復習	特別活動における指導について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
	講義内容	教科における食に関する指導についての演習			
7	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2,3	復習	教科における指導について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間

H30 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	「食生活学習教材」の活用(演習)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	食生活教材の活用について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	学校現場の見学・調査 ①		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	参観・補助等した学校現場での実習について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	学校現場の見学・調査 ②		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	参観・補助等した学校現場での実習について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	カウンセリングや集団指導についての演習		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	教育相談や指導の実践について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	他の教職員との連携・協力についての演習		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	「チームとしての学校」の意義について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	児童・生徒の発達を踏まえた指導についての演習。		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	子どもの発達と教育方法について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	模擬授業の実践・相互評価・討論 ①		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	模擬授業実践について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	模擬授業の実践・相互評価・討論 ②		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	模擬授業実践について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜 4 限、水曜 5 限、メールでの問い合わせ可。</p> <p>メールアドレス: fukami@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 1 号館 307 室</p> <p>予習・復習については、試験前・学校見学前後等の学習で補完すること。</p>			

